

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料21）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p>2. 評価方針</p> <p>(1) 消火栓からの放水による溢水</p> <p>日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による、火災荷重に対応する等価火災時間を放水時間として評価した。</p> <div data-bbox="129 363 669 874" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【解説-4-5】「耐火壁」</p> <p>(1) 評価法</p> <p>火災に対する耐火能力の評価を行い、耐火壁の健全性を確認する。</p> <p>a. 耐火壁にて囲まれた区域の可燃物の種類及び量から、全可燃物の燃焼時の発生熱量を求める。</p> <p>b. 次式により区域の火災荷重を求める。</p> $F_{tot} = Q_T / A$ <p>ここで F_{tot} : 火災荷重 (MJ/m²) Q_T : 発生熱量 (MJ) A : 区域積面積 (m²)</p> <p>c. 米国NFPA Handbook（表4-3参照）に示されている火災荷重と等価火災時間より、当該区域の壁が必要とする耐火時間を求める。</p> <p>d. 耐火壁の仕様と当該区域の壁が必要とする耐火時間を比較し、耐火壁が必要な耐火時間を満足していることを確認する。</p> <p>表4-3 火災荷重と等価火災時間について <small>(米国NFPA Handbook Twentieth Edition より)</small></p> <table border="1" data-bbox="271 678 517 853"> <thead> <tr> <th>火災荷重 (MJ/m²)</th> <th>等価火災時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>454</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>909</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>1,360</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>1,820</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>2,730</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>3,640</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>4,320</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>4,910</td><td>8.0</td></tr> <tr><td>5,680</td><td>9.0</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>図1 「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」抜粋</p> <p>(2) スプリンクラーからの放水（誤作動を含む）による溢水</p> <p>スプリンクラーからの放水量については、火災防護に関する基本方針で示されている値を用いるとともに、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定（30分）し、溢水量を算出した。また、スプリンクラーには、自動起動及び手動起動があるが、溢水影響評価においては、両者を区別せずに溢水量を算定した。</p>	火災荷重 (MJ/m ²)	等価火災時間 (h)	454	0.5	909	1.0	1,360	1.5	1,820	2.0	2,730	3.0	3,640	4.5	4,320	7.0	4,910	8.0	5,680	9.0			<p>【大飯】</p> <p>記載箇所の相違</p> <p>女川と同様に後段にて評価放水量を記載する。その際に、大飯と同様に等価時間について、JEAG4607-2010を基に算出しているということを記載する。</p> <p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。</p>
火災荷重 (MJ/m ²)	等価火災時間 (h)																						
454	0.5																						
909	1.0																						
1,360	1.5																						
1,820	2.0																						
2,730	3.0																						
3,640	4.5																						
4,320	7.0																						
4,910	8.0																						
5,680	9.0																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料21）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 時間評価における保守性について</p> <p>時間評価における保守性については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、(1)現場到着時間の設定について、現場到着までの時間が長くなるように、中央制御室からの移動時間が長いE. L. +26.0mエリアを選定し評価を実施した。さらに、(2)スプリンクラーの放水時間について、運転員は現場到着後に火災状況をすぐに確認でき、現場より中央制御室の運転員に予作動弁閉止（閉止時間 約1分）を依頼して、放水の停止を行うので溢水量の低減は可能であるが、余裕を見てスプリンクラーの放水停止までの時間を10分と設定した。</p>			<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> 泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.放水時間等の設定</p> <p>(1)消火栓からの放水による溢水</p> <p>消火活動における消火栓からの放水による放水量については、溢水ガイドに記載のとおり、管理区域の原子炉周辺建屋の各溢水防護区画については、放水時間を3時間に設定するとともに、非管理区域の原子炉周辺建屋及び制御建屋内の各溢水防護区画については、火災源を考慮した放水時間を設定した。</p> <p>放水時間の設定における基本的な考え方は以下のとおり。</p> <p>○基本的な考え方：</p> <p>消火栓からの放水は、そのエリアにおける火災荷重に対する等価火災時間を用いる。火災評価においては区画内の可燃性物質の火災荷重（単位面積当たりの発熱量）と燃焼率（単位時間単位面積当たりの発熱量）から、各火災区画の等価火災時間（潜在的火災継続時間）を求め、求められた等価火災時間からの区画における耐火壁の耐火能力が十分であることを評価する。この等価火災時間により火災が継続する時間を概算できることから、火災荷重より求められた等価火災時間を放水時間として評価することは可能であると考えられる。</p> <p>○3時間放水エリア：</p> <p>管理区域の原子炉周辺建屋での消火活動においては、通路部に広大なスペースがあり、火災源も広がる。よって消火活動を行う際は、火災源の遠方から放水する必要があり、消火活動も難しいものと想定されるため、溢水ガイドに沿って3時間の放水時間にて評価した。</p> <p>○火災荷重を用いて評価するエリア：</p> <p>非管理区域の原子炉周辺建屋及び制御建屋においては、電気盤室等通路が、狭隘なスペースになっており火災源が広がらないため、火災源に接近して消火活動をしやすいと考えられることから、溢水ガイドに記載の「火災源が小さい場合」に該当すると判断し、現実的な評価として、各室の火災荷重を用いてJEAG4607-2010を参考に等価火災時間を用いて評価した。</p>	<p>2. 消火水放水量について</p> <p>(1) 消火水評価の放水時間に関する保守性について</p> <p>消火活動による放水時間は、火災荷重より求められる等価火災時間によらず一律3時間として設定している。この放水時間の3時間は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」で規定される「3時間以上の耐火能力を有する耐火壁」からなる時間であり、消火時間に対して十分保守性を持たせている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p.9条-別添1-添付6-1より抜粋</p> <p>(2) 消火栓からの溢水流量について</p> <p>a. 消火栓からの放水時間に関する保守性について</p> <p>消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。</p> </div>	<p>2. 消火水放水量について</p> <p>(1) 消火水評価の放水時間に関する保守性について</p> <p>消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は火災源の大きさを考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。（先行PWR、島根と同様） ・「消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。」という島根の記載を踏襲する。 <p>【島根】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>島根審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料21）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2)スプリンクラーからの放水による溢水</p> <p>消火活動におけるスプリンクラーからの放水による放水量については、火災防護に関する基本方針で示されている値を用いるとともに、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定(30分)し、溢水量を算出した。具体的には、図2に示す。</p> <p>a. 火災発生時の対応に要する時間</p>  <p>図2 火災発生時の対応に要する時間</p>	<p>(2) 評価放水量について</p> <p>消火活動における消火栓からの放水量は、消防法施行令により消火栓に要求される放水量（屋内消火栓：130ℓ/分以上，屋外消火栓：350ℓ/分以上）であることを考慮し、保守的に以下のとおり設定した。</p>	<p>(2) 評価放水量について</p> <p>消火活動における消火栓からの放水量は、消防法施行令により消火栓に要求される放水量（屋内消火栓：130L/min以上，屋外消火栓：350L/min以上）であることを考慮し、保守的に設定した。</p>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。</p>
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料p.9条-別添1-6-1より抜粋</p> <p>6.1 溢水量の算定</p> <p>(2) 放水時間</p> <p>消火活動における消火水の放水時間は、評価ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源の小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定した。</p>	<p>(2) 評価放水量について</p> <p>消火活動における消火栓からの放水量は、消防法施行令により消火栓に要求される放水量（屋内消火栓：130ℓ/分以上，屋外消火栓：350ℓ/分以上）であることを考慮し、保守的に以下のとおり設定した。</p>	<p>(2) 評価放水量について</p> <p>消火活動における消火栓からの放水量は、消防法施行令により消火栓に要求される放水量（屋内消火栓：130L/min以上，屋外消火栓：350L/min以上）であることを考慮し、保守的に設定した。</p> <p>また、消火活動における消火水の放水時間は、溢水ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源の小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定した。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は火災源の大きさを考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出していることについて、島根審査実績を参照し記載している。（先行PWR、島根と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>(3)溢水量 溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溢水量（屋内消火栓）＝15.6 [m³/h] × 放水時間 ・溢水量（屋外消火栓）＝42.0 [m³/h] × 放水時間 	<p>・屋内消火栓からの溢水量 1500ℓ/分×2箇所×3時間＝54m³</p> <p>・屋外消火栓からの溢水量 3900ℓ/分×2箇所×3時間＝141m³</p> <p>(3)実放水量について 消火水の放水による溢水源の想定に当たっては、単一箇所での異常状態（火災）の発生を想定していることから、管理区域内の屋内消火栓1箇所からの放水量の確認を行った。確認結果を表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 放水量確認結果</p> <table border="1" data-bbox="712 767 1256 871"> <thead> <tr> <th></th> <th>放水量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定結果1 (O.P.+11.0m)</td> <td>246.4 ℓ/分</td> </tr> <tr> <td>測定結果2 (O.P.- 8.1m)</td> <td>264.9 ℓ/分</td> </tr> </tbody> </table> <p>確認結果を踏まえ、保守的に3000ℓ/分として3時間放水量を算出すると、(2)と同様に54m³になることから、(2)によって算出した評価放水量は妥当であると判断できる。</p>		放水量	測定結果1 (O.P.+11.0m)	246.4 ℓ/分	測定結果2 (O.P.- 8.1m)	264.9 ℓ/分	<p>・屋内消火栓からの溢水量 溢水量（屋内消火栓）＝18.0[m³/h]×放水時間</p> <p>・屋外消火栓からの溢水量 溢水量（屋外消火栓）＝46.8[m³/h]×放水時間</p> <p>(3)実放水量について 消火水の放水による溢水源の想定に当たっては、単一箇所での異常状態（火災）の発生を想定していることから、管理区域内の屋内消火栓1箇所からの放水量の確認を行った。確認結果を表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 放水量確認結果</p> <table border="1" data-bbox="1294 762 1854 874"> <thead> <tr> <th></th> <th>放水量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定結果1 (T.P.2.8m)</td> <td>251.7L/min</td> </tr> <tr> <td>測定結果2 (T.P.33.1m)</td> <td>246.8L/min</td> </tr> </tbody> </table> <p>確認結果を踏まえ、保守的に300L/minとして3時間放水量を算出すると、(2)と同様に54m³になることから、(2)によって算出した評価放水量は妥当であると判断できる。</p>		放水量	測定結果1 (T.P.2.8m)	251.7L/min	測定結果2 (T.P.33.1m)	246.8L/min	<p>【女川】 記載方針の相違 等価時間を設定している島根の審査実績を参照し、屋内消火栓及び屋外消火栓からの溢水量について記載している。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・設置高さはプラント設計による相違 ・放水量は試験結果による相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>
	放水量														
測定結果1 (O.P.+11.0m)	246.4 ℓ/分														
測定結果2 (O.P.- 8.1m)	264.9 ℓ/分														
	放水量														
測定結果1 (T.P.2.8m)	251.7L/min														
測定結果2 (T.P.33.1m)	246.8L/min														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉
添付資料 1.4.2-2
消火活動に係る放水による溢水影響評価
大阪3号炉 消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)

女川原子力発電所2号炉
添付資料 26
消火水の放水による溢水影響評価結果

泊発電所3号炉
添付資料 22
消火水の放水による溢水影響評価結果
表1 没水影響評価結果整理表(消火水)(1/12)

相違理由
【女川・大阪】
記載表現の相違
【大阪】
設計方針の相違
泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。
記載方針の相違
女川審査実績の反映
【女川】
記載方針の相違
・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が激しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様)
・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし)
設計方針の相違
・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様)
・プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>女川原子力発電所2号炉の概要</p> <p>設備名：原子力発電所2号炉 型式：ABWR 出力：1,100MW</p> <p>設計者：三菱重工 製造者：三菱重工</p> <p>設計年度：平成10年 竣工年度：平成11年</p> <p>設計標準：JIS S 5000 設計規格：JIS S 5000</p> <p>設計方針：安全・信頼・経済・環境 設計内容：炉心・炉内機器・炉外機器・配管・電気系統・制御系統・保安系統・廃熱処理系統・廃水処理系統・廃棄物処理系統</p> <p>設計表現：図面・仕様書・設計報告書・設計レビュー記録</p> <p>設備名称：炉心・炉内機器・炉外機器・配管・電気系統・制御系統・保安系統・廃熱処理系統・廃水処理系統・廃棄物処理系統</p> </div>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 泊の消火栓からの放水による浸水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

大阪3号炉 消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(2/4)

項目	評価項目	評価結果	備考
設備	消火栓	○	消火栓の設置位置が適切である。
	消火栓の設置数	○	消火栓の設置数が適切である。
	消火栓の設置位置	○	消火栓の設置位置が適切である。
	消火栓の設置高さ	○	消火栓の設置高さが適切である。
	消火栓の設置方向	○	消火栓の設置方向が適切である。
	消火栓の設置環境	○	消火栓の設置環境が適切である。
	消火栓の設置経路	○	消火栓の設置経路が適切である。
	消火栓の設置点検	○	消火栓の設置点検が適切である。
	消火栓の設置記録	○	消火栓の設置記録が適切である。
	消火栓の設置説明書	○	消火栓の設置説明書が適切である。
運用	消火活動の計画	○	消火活動の計画が適切である。
	消火活動の実施	○	消火活動の実施が適切である。
	消火活動の記録	○	消火活動の記録が適切である。
	消火活動の点検	○	消火活動の点検が適切である。
	消火活動の説明書	○	消火活動の説明書が適切である。
	消火活動の訓練	○	消火活動の訓練が適切である。
	消火活動の点検	○	消火活動の点検が適切である。
	消火活動の記録	○	消火活動の記録が適切である。
	消火活動の説明書	○	消火活動の説明書が適切である。
	消火活動の訓練	○	消火活動の訓練が適切である。

女川原子力発電所2号炉

評価項目	評価結果	備考
設備	○	
運用	○	
体制	○	

泊発電所3号炉

表1 浸水影響評価結果整理表(消火水)(2/12)

評価項目	評価結果	備考
設備	○	
運用	○	
体制	○	

相違理由

【女川・大阪】
 記載表現の相違
 【大阪】
 設計方針の相違
 泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

【女川】
 記載方針の相違
 ・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が小さくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様)
 ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし)
 設計方針の相違
 ・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様)
 ・プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉										
階層	区画	防火区画	防火区画面積 [m ²]	防火区画の開口部面積 [m ²]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	備考
3号炉	3号炉	3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。

女川原子力発電所2号炉										
階層	区画	防火区画	防火区画面積 [m ²]	防火区画の開口部面積 [m ²]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	備考
2号炉	2号炉	2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。
		2号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2号炉は防火区画に該当しない。

泊発電所3号炉										
階層	区画	防火区画	防火区画面積 [m ²]	防火区画の開口部面積 [m ²]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	防火区画の開口部面積率 [%]	備考
3号炉	3号炉	3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。
		3号炉	31.6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3号炉は防火区画に該当しない。

相違理由

【女川・大飯】
 記載表現の相違

【大飯】
 設計方針の相違
 泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

【女川】
 記載方針の相違

・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が小さくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大飯と同様)

・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし)

設計方針の相違

・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様)

・プラント設計の違いによる評価結果の相違

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<div data-bbox="696 1029 795 1212" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>評価項目 床下床下の配水 配水器具位置 内一層一 排水路 排水路</p> </div> <table border="1" data-bbox="801 178 1003 1206"> <thead> <tr> <th colspan="2">新子炉設備</th> <th colspan="2">母線系統設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備 (注1)(注2)</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> </tr> <tr> <th>設備名称</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> <th>設計仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> <td>緊急停止設備</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	新子炉設備		母線系統設備		緊急停止設備 (注1)(注2)		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設備名称	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 泊の消火栓からの放水による放水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。
新子炉設備		母線系統設備		緊急停止設備 (注1)(注2)		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様		設計仕様																																																																					
設備名称	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様	設計仕様																																																																				
緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○																																																																				
緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○																																																																				
緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○	緊急停止設備	○																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉										
種別	区域 区分	T.C [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	
冷却 設備	冷却 設備	3.5	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
冷却 設備	冷却 設備	3.0	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11

女川原子力発電所2号炉										
種別	区域 区分	T.C [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	
冷却 設備	冷却 設備	3.5	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
冷却 設備	冷却 設備	3.0	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11

泊発電所3号炉										
種別	区域 区分	T.C [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	
冷却 設備	冷却 設備	3.5	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
										300-0-06
冷却 設備	冷却 設備	3.0	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11
										300-0-11

【女川・大阪】
 記載表現の相違
 【大阪】
 設計方針の相違
 泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映
 【女川】
 記載方針の相違
 ・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が小さくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様)
 ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし)
 設計方針の相違
 ・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様)
 ・プラント設計の違いによる評価結果の相違

表1 没水影響評価結果整理表(消火水)(4/12)

種別	区域 区分	T.C [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	先行 PWR [s]	没水影響評価			備考		
										A	B	C			
冷却 設備	冷却 設備	3.5	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	300-0-06	
															300-0-06
															300-0-06
															300-0-06
															300-0-06
															300-0-06
															300-0-06
															300-0-06
															300-0-06
															300-0-06
冷却 設備	冷却 設備	3.0	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	300-0-11	
															300-0-11
															300-0-11
															300-0-11
															300-0-11
															300-0-11
															300-0-11
															300-0-11
															300-0-11
															300-0-11

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<p style="text-align: center;">原子炉施設</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設備停止機能</th> <th colspan="2">緊急降圧機能 (U/S)</th> <th colspan="2">原子炉過熱防止機能 (D/S)</th> <th rowspan="2">手動停止機能</th> <th rowspan="2">任意停止機能</th> </tr> <tr> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th colspan="7">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th colspan="7">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> <th>緊急降圧機能 (U/S)</th> <th>緊急降圧機能 (D/S)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	設備停止機能	緊急降圧機能 (U/S)		原子炉過熱防止機能 (D/S)		手動停止機能	任意停止機能	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	○	○	○	○	○	○	○	原子炉施設							緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	○	○	○	○	○	○	○	原子炉施設							緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 泊の消火栓からの放水による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。
設備停止機能	緊急降圧機能 (U/S)		原子炉過熱防止機能 (D/S)		手動停止機能	任意停止機能																																																									
	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)																																																											
○	○	○	○	○	○	○																																																									
原子炉施設																																																															
緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)																																																									
○	○	○	○	○	○	○																																																									
原子炉施設																																																															
緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)	緊急降圧機能 (U/S)	緊急降圧機能 (D/S)																																																									
○	○	○	○	○	○	○																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																										
<p>大阪4号炉 消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価内容</th> <th>評価結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>1.1.1.1</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.2</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.3</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.4</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.5</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.6</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.7</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.8</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.9</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.10</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>		評価項目	評価内容	評価結果	備考	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	1.1.1.1	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.2	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.3	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.4	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.5	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.6	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.7	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.8	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.9	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.10	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	<p>女川2号炉 消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価内容</th> <th>評価結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>1.1.1.1</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.2</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.3</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.4</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.5</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.6</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.7</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.8</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.9</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.10</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>		評価項目	評価内容	評価結果	備考	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	1.1.1.1	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.2	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.3	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.4	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.5	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.6	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.7	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.8	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.9	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.10	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	<p>表1 浸水影響評価結果整理表(消火水)(5/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価内容</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>1.1.1.1</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.2</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.3</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.4</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.5</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.6</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.7</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.8</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.9</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>1.1.1.10</td> <td>消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>		評価項目	評価内容	評価結果	備考		A	B	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	1.1.1.1	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.2	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.3	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.4	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.5	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.6	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.7	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.8	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.9	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	1.1.1.10	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違 【大阪】 設計方針の相違 泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が小さくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様) ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし) 設計方針の相違 ・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様) ・プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
評価項目	評価内容	評価結果	備考																																																																																																																																													
消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	1.1.1.1	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.2	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.3	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.4	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.5	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.6	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.7	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.8	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.9	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.10	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
評価項目	評価内容	評価結果	備考																																																																																																																																													
消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	1.1.1.1	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.2	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.3	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.4	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.5	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.6	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.7	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.8	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.9	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.10	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
評価項目	評価内容	評価結果	備考																																																																																																																																													
			A	B																																																																																																																																												
消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	1.1.1.1	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.2	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.3	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.4	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.5	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.6	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.7	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.8	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.9	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												
	1.1.1.10	消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)	0.00	0.00																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<div data-bbox="696 1034 763 1214"> <p>評価項目 減水時の監視 減水発生装置： 共-2 減水警報： 警内用装置</p> </div> <table border="1" data-bbox="801 185 1003 1214"> <thead> <tr> <th rowspan="4">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="3">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="3">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="3">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="3">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> </tbody> </table>	監視項目	監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目		監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		<p>【女川】 設計方針の相違 ・女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 ・泊の消火栓からの放水による放水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。</p>
監視項目	監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目																																																																										
	監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目																																																																										
	監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目																																																																										
	監視項目		監視項目			監視項目		監視項目		監視項目																																																																										
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

大阪4号炉 消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(2/4)

評価項目	評価内容	評価結果	備考
1.1	放水による溢水の影響範囲	0.10	0.10
1.2	放水による溢水の被害程度	0.10	0.10
1.3	放水による溢水の被害防止対策	0.10	0.10
1.4	放水による溢水の被害防止対策の信頼性	0.10	0.10
1.5	放水による溢水の被害防止対策の維持管理	0.10	0.10
1.6	放水による溢水の被害防止対策の点検・保守	0.10	0.10
1.7	放水による溢水の被害防止対策の教育・訓練	0.10	0.10
1.8	放水による溢水の被害防止対策の記録・報告	0.10	0.10
1.9	放水による溢水の被害防止対策の改善	0.10	0.10
1.10	放水による溢水の被害防止対策のその他	0.10	0.10

女川原子力発電所2号炉

評価項目	評価内容	評価結果	備考
1.1	放水による溢水の影響範囲	0.10	0.10
1.2	放水による溢水の被害程度	0.10	0.10
1.3	放水による溢水の被害防止対策	0.10	0.10
1.4	放水による溢水の被害防止対策の信頼性	0.10	0.10
1.5	放水による溢水の被害防止対策の維持管理	0.10	0.10
1.6	放水による溢水の被害防止対策の点検・保守	0.10	0.10
1.7	放水による溢水の被害防止対策の教育・訓練	0.10	0.10
1.8	放水による溢水の被害防止対策の記録・報告	0.10	0.10
1.9	放水による溢水の被害防止対策の改善	0.10	0.10
1.10	放水による溢水の被害防止対策のその他	0.10	0.10

泊発電所3号炉

表1 浸水影響評価結果整理表 (消火水) (6/12)

評価項目	評価内容	評価結果	浸水影響評価結果		
			浸水影響評価結果	浸水影響評価結果	浸水影響評価結果
1.1	放水による溢水の影響範囲	0.10	0.10	0.10	0.10
1.2	放水による溢水の被害程度	0.10	0.10	0.10	0.10
1.3	放水による溢水の被害防止対策	0.10	0.10	0.10	0.10
1.4	放水による溢水の被害防止対策の信頼性	0.10	0.10	0.10	0.10
1.5	放水による溢水の被害防止対策の維持管理	0.10	0.10	0.10	0.10
1.6	放水による溢水の被害防止対策の点検・保守	0.10	0.10	0.10	0.10
1.7	放水による溢水の被害防止対策の教育・訓練	0.10	0.10	0.10	0.10
1.8	放水による溢水の被害防止対策の記録・報告	0.10	0.10	0.10	0.10
1.9	放水による溢水の被害防止対策の改善	0.10	0.10	0.10	0.10
1.10	放水による溢水の被害防止対策のその他	0.10	0.10	0.10	0.10

相違理由

【女川・大阪】
 記載表現の相違
 【大阪】
 設計方針の相違
 泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

【女川】
 記載方針の相違
 ・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様)
 ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし)
 設計方針の相違
 ・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様)
 ・プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

大阪4号炉 消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(3/4)

Table with columns for evaluation items (e.g., 評価項目, 評価内容, 評価結果) and rows for various fire scenarios (e.g., 3B-1, 3B-2, 3B-3).

女川原子力発電所2号炉

Table with columns for evaluation items (e.g., 評価項目, 評価内容, 評価結果) and rows for various fire scenarios (e.g., 3B-1, 3B-2, 3B-3).

大阪発電所3号炉に比べて、大阪4号炉は、大阪4号炉の放水による溢水影響評価結果が、大阪4号炉の放水による溢水影響評価結果よりも優れている。

泊発電所3号炉

表1 没水影響評価結果整理表 (消火水) (7/12)

Table with columns for evaluation items (e.g., 評価項目, 評価内容, 評価結果) and rows for various fire scenarios (e.g., 3B-1, 3B-2, 3B-3).

大阪発電所3号炉に比べて、大阪4号炉は、大阪4号炉の放水による溢水影響評価結果が、大阪4号炉の放水による溢水影響評価結果よりも優れている。

相違理由

【女川・大阪】
記載表現の相違
【大阪】
設計方針の相違
泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。
記載方針の相違
女川審査実績の反映
【女川】
記載方針の相違
・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様)
・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし)
設計方針の相違
・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様)
・プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1"> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">原子炉施設</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(1) 炉心及び炉圧力調整装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(2) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(3) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(4) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(5) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(6) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(7) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(8) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(9) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(10) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(11) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(12) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(13) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(14) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(15) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(16) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(17) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(18) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(19) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(20) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(21) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(22) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(23) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(24) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(25) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(26) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(27) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(28) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(29) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(30) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(31) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(32) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(33) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(34) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(35) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(36) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(37) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(38) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(39) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(40) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(41) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(42) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(43) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(44) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(45) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(46) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(47) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(48) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(49) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(50) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(51) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(52) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(53) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(54) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(55) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(56) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(57) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(58) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(59) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center;">(60) 炉心の過熱防止装置</td> </tr> </table> </div>	原子炉施設													(1) 炉心及び炉圧力調整装置													(2) 炉心の過熱防止装置													(3) 炉心の過熱防止装置													(4) 炉心の過熱防止装置													(5) 炉心の過熱防止装置													(6) 炉心の過熱防止装置													(7) 炉心の過熱防止装置													(8) 炉心の過熱防止装置													(9) 炉心の過熱防止装置													(10) 炉心の過熱防止装置													(11) 炉心の過熱防止装置													(12) 炉心の過熱防止装置													(13) 炉心の過熱防止装置													(14) 炉心の過熱防止装置													(15) 炉心の過熱防止装置													(16) 炉心の過熱防止装置													(17) 炉心の過熱防止装置													(18) 炉心の過熱防止装置													(19) 炉心の過熱防止装置													(20) 炉心の過熱防止装置													(21) 炉心の過熱防止装置													(22) 炉心の過熱防止装置													(23) 炉心の過熱防止装置													(24) 炉心の過熱防止装置													(25) 炉心の過熱防止装置													(26) 炉心の過熱防止装置													(27) 炉心の過熱防止装置													(28) 炉心の過熱防止装置													(29) 炉心の過熱防止装置													(30) 炉心の過熱防止装置													(31) 炉心の過熱防止装置													(32) 炉心の過熱防止装置													(33) 炉心の過熱防止装置													(34) 炉心の過熱防止装置													(35) 炉心の過熱防止装置													(36) 炉心の過熱防止装置													(37) 炉心の過熱防止装置													(38) 炉心の過熱防止装置													(39) 炉心の過熱防止装置													(40) 炉心の過熱防止装置													(41) 炉心の過熱防止装置													(42) 炉心の過熱防止装置													(43) 炉心の過熱防止装置													(44) 炉心の過熱防止装置													(45) 炉心の過熱防止装置													(46) 炉心の過熱防止装置													(47) 炉心の過熱防止装置													(48) 炉心の過熱防止装置													(49) 炉心の過熱防止装置													(50) 炉心の過熱防止装置													(51) 炉心の過熱防止装置													(52) 炉心の過熱防止装置													(53) 炉心の過熱防止装置													(54) 炉心の過熱防止装置													(55) 炉心の過熱防止装置													(56) 炉心の過熱防止装置													(57) 炉心の過熱防止装置													(58) 炉心の過熱防止装置													(59) 炉心の過熱防止装置													(60) 炉心の過熱防止装置														<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 ・泊の消火栓からの放水による浸水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。</p>
原子炉施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(1) 炉心及び炉圧力調整装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(2) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(3) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(4) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(5) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(6) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(7) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(8) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(9) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(10) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(11) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(12) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(13) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(14) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(15) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(16) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(17) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(18) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(19) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(20) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(21) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(22) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(23) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(24) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(25) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(26) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(27) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(28) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(29) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(30) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(31) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(32) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(33) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(34) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(35) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(36) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(37) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(38) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(39) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(40) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(41) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(42) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(43) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(44) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(45) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(46) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(47) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(48) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(49) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(50) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(51) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(52) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(53) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(54) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(55) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(56) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(57) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(58) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(59) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(60) 炉心の過熱防止装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1添付資料22)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉
大飯4号炉 消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(4/4)
Table with columns: 階層, 区域区分, 放水位置, 放水時間, 放水流量, 放水速度, 放水圧力, 放水高さ, 放水範囲, 放水方向, 放水速度, 放水圧力, 放水高さ, 放水範囲, 放水方向, 備考

女川原子力発電所2号炉
Table with columns: 階層, 区域区分, 放水位置, 放水時間, 放水流量, 放水速度, 放水圧力, 放水高さ, 放水範囲, 放水方向, 放水速度, 放水圧力, 放水高さ, 放水範囲, 放水方向, 備考

泊発電所3号炉
表1 没水影響評価結果整理表(消火水)(8/12)
Table with columns: 階層, 区域区分, 放水位置, 放水時間, 放水流量, 放水速度, 放水圧力, 放水高さ, 放水範囲, 放水方向, 放水速度, 放水圧力, 放水高さ, 放水範囲, 放水方向, 備考

相違理由
【女川・大飯】
記載表現の相違
【大飯】
設計方針の相違
泊では、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。
記載方針の相違
女川審査実績の反映
【女川】
記載方針の相違
・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が小さくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大飯と同様)
・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし)
設計方針の相違
・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様)
・プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>表 1 没水影響評価結果整理表 (消火水) (9/12)</p>	<p>表 1 没水影響評価結果整理表 (消火水) (9/12)</p> <p>表 1 没水影響評価結果整理表 (消火水) (9/12)</p>	<p>表 1 没水影響評価結果整理表 (消火水) (9/12)</p> <p>表 1 没水影響評価結果整理表 (消火水) (9/12)</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様) ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし) 設計方針の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様) ・プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">新子守機関</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施停止機能</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> </tr> <tr> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">新子守機関</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施停止機能</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> <th colspan="2">新子守機関</th> </tr> <tr> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> <th>新子守機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	実施停止機能	新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実施停止機能	新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 ・泊の消火栓からの放水による設水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。
実施停止機能	新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関																																																																																																																																																																								
	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
実施停止機能	新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関		新子守機関																																																																																																																																																																								
	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関	新子守機関																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>表1 浸水影響評価結果整理表(消火水) (10/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区 区分</th> <th rowspan="2">工場 区分</th> <th rowspan="2">評価 区分</th> <th rowspan="2">① 浸水 高さ [m]</th> <th rowspan="2">② 浸水 範囲 面積 [㎡]</th> <th rowspan="2">③ 浸水 時間 [分]</th> <th rowspan="2">④ 浸水 体積 [m³]</th> <th rowspan="2">⑤ 浸水 圧力 [kPa]</th> <th rowspan="2">⑥ 浸水 速度 [m/s]</th> <th rowspan="2">⑦ 浸水 方向</th> <th rowspan="2">⑧ 浸水 位置</th> <th rowspan="2">⑨ 浸水 高さ [m]</th> <th colspan="3">⑩ 浸水 影響 評価</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">10.3 島根 地区</td> <td rowspan="10">3号炉</td> <td rowspan="10">3A-1</td> <td>27.0</td> <td>240.3</td> <td>340分51</td> <td>0.000</td> <td>0.100</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>3A-1、3A-2、3A-3、3A-4、3A-5、3A-6、3A-7、3A-8、3A-9、3A-10、3A-11、3A-12、3A-13、3A-14、3A-15、3A-16、3A-17、3A-18、3A-19、3A-20、3A-21、3A-22、3A-23、3A-24、3A-25、3A-26、3A-27、3A-28、3A-29、3A-30、3A-31、3A-32、3A-33、3A-34、3A-35、3A-36、3A-37、3A-38、3A-39、3A-40、3A-41、3A-42、3A-43、3A-44、3A-45、3A-46、3A-47、3A-48、3A-49、3A-50、3A-51、3A-52、3A-53、3A-54、3A-55、3A-56、3A-57、3A-58、3A-59、3A-60、3A-61、3A-62、3A-63、3A-64、3A-65、3A-66、3A-67、3A-68、3A-69、3A-70、3A-71、3A-72、3A-73、3A-74、3A-75、3A-76、3A-77、3A-78、3A-79、3A-80、3A-81、3A-82、3A-83、3A-84、3A-85、3A-86、3A-87、3A-88、3A-89、3A-90、3A-91、3A-92、3A-93、3A-94、3A-95、3A-96、3A-97、3A-98、3A-99、3A-100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>27.0</td> <td>250.3</td> <td>340分54</td> <td>0.000</td> <td>0.100</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 浸水高さ：消火水の放水高さ。② 浸水範囲：浸水する機器の範囲。③ 浸水時間：浸水する機器の浸水時間。④ 浸水体積：浸水する機器の浸水体積。⑤ 浸水圧力：浸水する機器の浸水圧力。⑥ 浸水速度：浸水する機器の浸水速度。⑦ 浸水方向：浸水する機器の浸水方向。⑧ 浸水位置：浸水する機器の浸水位置。⑨ 浸水高さ：浸水する機器の浸水高さ。⑩ 浸水影響評価：浸水する機器の浸水影響評価。</p>	地区 区分	工場 区分	評価 区分	① 浸水 高さ [m]	② 浸水 範囲 面積 [㎡]	③ 浸水 時間 [分]	④ 浸水 体積 [m ³]	⑤ 浸水 圧力 [kPa]	⑥ 浸水 速度 [m/s]	⑦ 浸水 方向	⑧ 浸水 位置	⑨ 浸水 高さ [m]	⑩ 浸水 影響 評価			備考	A	B	C	10.3 島根 地区	3号炉	3A-1	27.0	240.3	340分51	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1、3A-2、3A-3、3A-4、3A-5、3A-6、3A-7、3A-8、3A-9、3A-10、3A-11、3A-12、3A-13、3A-14、3A-15、3A-16、3A-17、3A-18、3A-19、3A-20、3A-21、3A-22、3A-23、3A-24、3A-25、3A-26、3A-27、3A-28、3A-29、3A-30、3A-31、3A-32、3A-33、3A-34、3A-35、3A-36、3A-37、3A-38、3A-39、3A-40、3A-41、3A-42、3A-43、3A-44、3A-45、3A-46、3A-47、3A-48、3A-49、3A-50、3A-51、3A-52、3A-53、3A-54、3A-55、3A-56、3A-57、3A-58、3A-59、3A-60、3A-61、3A-62、3A-63、3A-64、3A-65、3A-66、3A-67、3A-68、3A-69、3A-70、3A-71、3A-72、3A-73、3A-74、3A-75、3A-76、3A-77、3A-78、3A-79、3A-80、3A-81、3A-82、3A-83、3A-84、3A-85、3A-86、3A-87、3A-88、3A-89、3A-90、3A-91、3A-92、3A-93、3A-94、3A-95、3A-96、3A-97、3A-98、3A-99、3A-100	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	27.0	250.3	340分54	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	<p>表1 浸水影響評価結果整理表(消火水) (10/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区 区分</th> <th rowspan="2">工場 区分</th> <th rowspan="2">評価 区分</th> <th rowspan="2">① 浸水 高さ [m]</th> <th rowspan="2">② 浸水 範囲 面積 [㎡]</th> <th rowspan="2">③ 浸水 時間 [分]</th> <th rowspan="2">④ 浸水 体積 [m³]</th> <th rowspan="2">⑤ 浸水 圧力 [kPa]</th> <th rowspan="2">⑥ 浸水 速度 [m/s]</th> <th rowspan="2">⑦ 浸水 方向</th> <th rowspan="2">⑧ 浸水 位置</th> <th rowspan="2">⑨ 浸水 高さ [m]</th> <th colspan="3">⑩ 浸水 影響 評価</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">10.3 島根 地区</td> <td rowspan="10">3号炉</td> <td rowspan="10">3A-1</td> <td>27.0</td> <td>240.3</td> <td>340分51</td> <td>0.000</td> <td>0.100</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>3A-1、3A-2、3A-3、3A-4、3A-5、3A-6、3A-7、3A-8、3A-9、3A-10、3A-11、3A-12、3A-13、3A-14、3A-15、3A-16、3A-17、3A-18、3A-19、3A-20、3A-21、3A-22、3A-23、3A-24、3A-25、3A-26、3A-27、3A-28、3A-29、3A-30、3A-31、3A-32、3A-33、3A-34、3A-35、3A-36、3A-37、3A-38、3A-39、3A-40、3A-41、3A-42、3A-43、3A-44、3A-45、3A-46、3A-47、3A-48、3A-49、3A-50、3A-51、3A-52、3A-53、3A-54、3A-55、3A-56、3A-57、3A-58、3A-59、3A-60、3A-61、3A-62、3A-63、3A-64、3A-65、3A-66、3A-67、3A-68、3A-69、3A-70、3A-71、3A-72、3A-73、3A-74、3A-75、3A-76、3A-77、3A-78、3A-79、3A-80、3A-81、3A-82、3A-83、3A-84、3A-85、3A-86、3A-87、3A-88、3A-89、3A-90、3A-91、3A-92、3A-93、3A-94、3A-95、3A-96、3A-97、3A-98、3A-99、3A-100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>27.0</td> <td>250.3</td> <td>340分54</td> <td>0.000</td> <td>0.100</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 浸水高さ：消火水の放水高さ。② 浸水範囲：浸水する機器の範囲。③ 浸水時間：浸水する機器の浸水時間。④ 浸水体積：浸水する機器の浸水体積。⑤ 浸水圧力：浸水する機器の浸水圧力。⑥ 浸水速度：浸水する機器の浸水速度。⑦ 浸水方向：浸水する機器の浸水方向。⑧ 浸水位置：浸水する機器の浸水位置。⑨ 浸水高さ：浸水する機器の浸水高さ。⑩ 浸水影響評価：浸水する機器の浸水影響評価。</p>	地区 区分	工場 区分	評価 区分	① 浸水 高さ [m]	② 浸水 範囲 面積 [㎡]	③ 浸水 時間 [分]	④ 浸水 体積 [m ³]	⑤ 浸水 圧力 [kPa]	⑥ 浸水 速度 [m/s]	⑦ 浸水 方向	⑧ 浸水 位置	⑨ 浸水 高さ [m]	⑩ 浸水 影響 評価			備考	A	B	C	10.3 島根 地区	3号炉	3A-1	27.0	240.3	340分51	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1、3A-2、3A-3、3A-4、3A-5、3A-6、3A-7、3A-8、3A-9、3A-10、3A-11、3A-12、3A-13、3A-14、3A-15、3A-16、3A-17、3A-18、3A-19、3A-20、3A-21、3A-22、3A-23、3A-24、3A-25、3A-26、3A-27、3A-28、3A-29、3A-30、3A-31、3A-32、3A-33、3A-34、3A-35、3A-36、3A-37、3A-38、3A-39、3A-40、3A-41、3A-42、3A-43、3A-44、3A-45、3A-46、3A-47、3A-48、3A-49、3A-50、3A-51、3A-52、3A-53、3A-54、3A-55、3A-56、3A-57、3A-58、3A-59、3A-60、3A-61、3A-62、3A-63、3A-64、3A-65、3A-66、3A-67、3A-68、3A-69、3A-70、3A-71、3A-72、3A-73、3A-74、3A-75、3A-76、3A-77、3A-78、3A-79、3A-80、3A-81、3A-82、3A-83、3A-84、3A-85、3A-86、3A-87、3A-88、3A-89、3A-90、3A-91、3A-92、3A-93、3A-94、3A-95、3A-96、3A-97、3A-98、3A-99、3A-100	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	27.0	250.3	340分54	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	-	-	-	-	-	-	-	-	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大飯と同様) ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし) <u>設計方針の相違</u> ・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様) ・プラント設計の違いによる評価結果の相違
地区 区分	工場 区分													評価 区分	① 浸水 高さ [m]	② 浸水 範囲 面積 [㎡]		③ 浸水 時間 [分]	④ 浸水 体積 [m ³]	⑤ 浸水 圧力 [kPa]				⑥ 浸水 速度 [m/s]	⑦ 浸水 方向	⑧ 浸水 位置	⑨ 浸水 高さ [m]	⑩ 浸水 影響 評価			備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		A	B	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
10.3 島根 地区	3号炉	3A-1	27.0	240.3	340分51	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1、3A-2、3A-3、3A-4、3A-5、3A-6、3A-7、3A-8、3A-9、3A-10、3A-11、3A-12、3A-13、3A-14、3A-15、3A-16、3A-17、3A-18、3A-19、3A-20、3A-21、3A-22、3A-23、3A-24、3A-25、3A-26、3A-27、3A-28、3A-29、3A-30、3A-31、3A-32、3A-33、3A-34、3A-35、3A-36、3A-37、3A-38、3A-39、3A-40、3A-41、3A-42、3A-43、3A-44、3A-45、3A-46、3A-47、3A-48、3A-49、3A-50、3A-51、3A-52、3A-53、3A-54、3A-55、3A-56、3A-57、3A-58、3A-59、3A-60、3A-61、3A-62、3A-63、3A-64、3A-65、3A-66、3A-67、3A-68、3A-69、3A-70、3A-71、3A-72、3A-73、3A-74、3A-75、3A-76、3A-77、3A-78、3A-79、3A-80、3A-81、3A-82、3A-83、3A-84、3A-85、3A-86、3A-87、3A-88、3A-89、3A-90、3A-91、3A-92、3A-93、3A-94、3A-95、3A-96、3A-97、3A-98、3A-99、3A-100	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			27.0	250.3	340分54	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			-	-	-	-	-	-	-	-	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
-	-	-	-	-	-	-	-	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
地区 区分	工場 区分	評価 区分	① 浸水 高さ [m]	② 浸水 範囲 面積 [㎡]	③ 浸水 時間 [分]	④ 浸水 体積 [m ³]	⑤ 浸水 圧力 [kPa]	⑥ 浸水 速度 [m/s]	⑦ 浸水 方向	⑧ 浸水 位置	⑨ 浸水 高さ [m]	⑩ 浸水 影響 評価			備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
												A	B	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
10.3 島根 地区	3号炉	3A-1	27.0	240.3	340分51	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1、3A-2、3A-3、3A-4、3A-5、3A-6、3A-7、3A-8、3A-9、3A-10、3A-11、3A-12、3A-13、3A-14、3A-15、3A-16、3A-17、3A-18、3A-19、3A-20、3A-21、3A-22、3A-23、3A-24、3A-25、3A-26、3A-27、3A-28、3A-29、3A-30、3A-31、3A-32、3A-33、3A-34、3A-35、3A-36、3A-37、3A-38、3A-39、3A-40、3A-41、3A-42、3A-43、3A-44、3A-45、3A-46、3A-47、3A-48、3A-49、3A-50、3A-51、3A-52、3A-53、3A-54、3A-55、3A-56、3A-57、3A-58、3A-59、3A-60、3A-61、3A-62、3A-63、3A-64、3A-65、3A-66、3A-67、3A-68、3A-69、3A-70、3A-71、3A-72、3A-73、3A-74、3A-75、3A-76、3A-77、3A-78、3A-79、3A-80、3A-81、3A-82、3A-83、3A-84、3A-85、3A-86、3A-87、3A-88、3A-89、3A-90、3A-91、3A-92、3A-93、3A-94、3A-95、3A-96、3A-97、3A-98、3A-99、3A-100	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			27.0	250.3	340分54	0.000	0.100	0.000	0.000	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3A-1から3A-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			-	-	-	-	-	-	-	-	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3B-1から3B-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3C-1から3C-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3D-1から3D-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3E-1から3E-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3F-1から3F-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3G-1から3G-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3H-1から3H-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			-	-	-	-	-	-	-	-	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3I-1から3I-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
-	-	-	-	-	-	-	-	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。	○	○	○	3J-1から3J-100までの各機器が浸水しないことを確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表1 浸水影響評価結果整理表 (消火水) (11/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価内容</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th colspan="3">評価結果</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">浸水影響</td> <td>浸水影響</td> <td>①<②</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>浸水影響</td> <td>③<④</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 浸水影響評価結果整理表 (消火水) (11/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価内容</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th colspan="3">評価結果</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">浸水影響</td> <td>浸水影響</td> <td>①<②</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>浸水影響</td> <td>③<④</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 浸水影響評価結果整理表 (消火水) (11/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価内容</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th colspan="3">評価結果</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">浸水影響</td> <td>浸水影響</td> <td>①<②</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>浸水影響</td> <td>③<④</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価内容	評価結果	評価結果			A	B	C	浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○	浸水影響	③<④	○	○	○	評価項目	評価内容	評価結果	評価結果			A	B	C	浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○	浸水影響	③<④	○	○	○	評価項目	評価内容	評価結果	評価結果			A	B	C	浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○	浸水影響	③<④	○	○	○	<p>表1 浸水影響評価結果整理表 (消火水) (11/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価内容</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th colspan="3">評価結果</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">浸水影響</td> <td>浸水影響</td> <td>①<②</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>浸水影響</td> <td>③<④</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価内容	評価結果	評価結果			A	B	C	浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○	浸水影響	③<④	○	○	○	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様) 泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし) <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様) プラント設計の違いによる評価結果の相違
評価項目	評価内容				評価結果	評価結果																																																																													
		A	B	C																																																																															
浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○																																																																														
	浸水影響	③<④	○	○	○																																																																														
評価項目	評価内容	評価結果	評価結果																																																																																
			A	B	C																																																																														
浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○																																																																														
	浸水影響	③<④	○	○	○																																																																														
評価項目	評価内容	評価結果	評価結果																																																																																
			A	B	C																																																																														
浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○																																																																														
	浸水影響	③<④	○	○	○																																																																														
評価項目	評価内容	評価結果	評価結果																																																																																
			A	B	C																																																																														
浸水影響	浸水影響	①<②	○	○	○																																																																														
	浸水影響	③<④	○	○	○																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																		
	<p>表 1 浸水影響評価結果整理表 (消火水) (12/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th colspan="3">評価基準</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>② 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>③ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>④ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑤ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑥ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑦ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑧ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑨ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑩ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑪ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑫ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：①～⑫は、評価項目番号を示す。○は、評価結果が「A」であることを示す。○は、評価結果が「B」であることを示す。○は、評価結果が「C」であることを示す。</p>	評価項目	評価値	評価結果	評価基準			A	B	C	① 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	② 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	③ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	④ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑤ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑥ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑦ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑧ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑨ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑩ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑪ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑫ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	<p>表 1 浸水影響評価結果整理表 (消火水) (12/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th colspan="3">評価基準</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>② 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>③ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>④ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑤ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑥ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑦ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑧ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑨ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑩ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑪ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>⑫ 浸水影響評価</td> <td>0.000</td> <td>○</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> <td>0.000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：①～⑫は、評価項目番号を示す。○は、評価結果が「A」であることを示す。○は、評価結果が「B」であることを示す。○は、評価結果が「C」であることを示す。</p>	評価項目	評価値	評価結果	評価基準			A	B	C	① 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	② 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	③ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	④ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑤ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑥ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑦ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑧ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑨ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑩ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑪ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	⑫ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方、泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに、最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。(大阪と同様) ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。(消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし) <u>設計方針の相違</u> ・泊では、消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については、3時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。(すべての先行PWR、島根と同様) ・プラント設計の違いによる評価結果の相違
評価項目	評価値				評価結果	評価基準																																																																																																																																																															
		A	B	C																																																																																																																																																																	
① 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
② 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
③ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
④ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑤ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑥ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑦ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑧ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑨ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑩ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑪ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑫ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
評価項目	評価値	評価結果	評価基準																																																																																																																																																																		
			A	B	C																																																																																																																																																																
① 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
② 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
③ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
④ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑤ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑥ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑦ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑧ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑨ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑩ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑪ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																
⑫ 浸水影響評価	0.000	○	0.000	0.000	0.000																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<p>設備概要： 潤水塔の撤去 潤水塔設置位置： 中央部1号 潤水塔： 潤水塔1号</p> <table border="1" data-bbox="808 178 1010 1189"> <thead> <tr> <th colspan="2">潤水塔設置位置</th> <th colspan="2">潤水塔設置位置</th> <th colspan="2">潤水塔設置位置</th> <th colspan="2">潤水塔設置位置</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>設置位置</th> <th>項目</th> <th>設置位置</th> <th>項目</th> <th>設置位置</th> <th>項目</th> <th>設置位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1066 233 1267 1189"> <thead> <tr> <th colspan="2">潤水塔設置位置</th> <th colspan="2">潤水塔設置位置</th> <th colspan="2">潤水塔設置位置</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>設置位置</th> <th>項目</th> <th>設置位置</th> <th>項目</th> <th>設置位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> <tr> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> <td>潤水塔設置位置</td> <td>中央部1号</td> </tr> </tbody> </table>	潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		項目	設置位置	項目	設置位置	項目	設置位置	項目	設置位置	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		項目	設置位置	項目	設置位置	項目	設置位置	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 ・泊の消火栓からの放水による浸水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。</p>
潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		潤水塔設置位置																																																																																	
項目	設置位置	項目	設置位置	項目	設置位置	項目	設置位置																																																																																
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																
潤水塔設置位置		潤水塔設置位置		潤水塔設置位置																																																																																			
項目	設置位置	項目	設置位置	項目	設置位置																																																																																		
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																		
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																		
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																		
潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号	潤水塔設置位置	中央部1号																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表 1-1-1 炉内圧力</th> <th colspan="2">表 1-1-2 炉内圧力</th> </tr> <tr> <th>炉内圧力</th> <th>単位</th> <th>炉内圧力</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.1MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.2MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.2MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.3MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.3MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.4MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.4MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.5MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.5MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.6MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.6MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.7MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.7MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.8MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.8MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>0.9MPa</td> <td>MPa</td> <td>0.9MPa</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>1.0MPa</td> <td>MPa</td> <td>1.0MPa</td> <td>MPa</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：本表は、本発電所内の圧力計の検定値を示すものである。検定値は、本発電所の運転記録に示す通りである。また、本表は、本発電所の運転記録に示す通りである。また、本表は、本発電所の運転記録に示す通りである。</p>	表 1-1-1 炉内圧力		表 1-1-2 炉内圧力		炉内圧力	単位	炉内圧力	単位	0.1MPa	MPa	0.1MPa	MPa	0.2MPa	MPa	0.2MPa	MPa	0.3MPa	MPa	0.3MPa	MPa	0.4MPa	MPa	0.4MPa	MPa	0.5MPa	MPa	0.5MPa	MPa	0.6MPa	MPa	0.6MPa	MPa	0.7MPa	MPa	0.7MPa	MPa	0.8MPa	MPa	0.8MPa	MPa	0.9MPa	MPa	0.9MPa	MPa	1.0MPa	MPa	1.0MPa	MPa		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
表 1-1-1 炉内圧力		表 1-1-2 炉内圧力																																																	
炉内圧力	単位	炉内圧力	単位																																																
0.1MPa	MPa	0.1MPa	MPa																																																
0.2MPa	MPa	0.2MPa	MPa																																																
0.3MPa	MPa	0.3MPa	MPa																																																
0.4MPa	MPa	0.4MPa	MPa																																																
0.5MPa	MPa	0.5MPa	MPa																																																
0.6MPa	MPa	0.6MPa	MPa																																																
0.7MPa	MPa	0.7MPa	MPa																																																
0.8MPa	MPa	0.8MPa	MPa																																																
0.9MPa	MPa	0.9MPa	MPa																																																
1.0MPa	MPa	1.0MPa	MPa																																																

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																									
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p> 計画種別： 漁水等の取水 取水 取水区画： 水-子-10 取水層： 取水層(水層) </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">東京原子力発電所</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">東京原子力発電所</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">東京原子力発電所</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">東京原子力発電所</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">設備停止機能</th> <th colspan="2">東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th colspan="2">東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th colspan="2">東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th colspan="2">東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th colspan="2">東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th colspan="2">東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th colspan="2">東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> </tr> <tr> <th>設備停止機能</th> <th>東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th>設備停止機能</th> <th>東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th>設備停止機能</th> <th>東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th>設備停止機能</th> <th>東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th>設備停止機能</th> <th>東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th>設備停止機能</th> <th>東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> <th>設備停止機能</th> <th>東京原子力発電所 (HIM) 停止区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	東京原子力発電所				東京原子力発電所				東京原子力発電所				東京原子力発電所				設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
東京原子力発電所				東京原子力発電所				東京原子力発電所				東京原子力発電所																																																																																																
設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画		東京原子力発電所 (HIM) 停止区画																																																																																															
	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画	設備停止機能	東京原子力発電所 (HIM) 停止区画																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th colspan="2">大阪の現状</th> <th colspan="2">女川の現状</th> <th colspan="2">相違</th> <th colspan="2">相違理由</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備仕様</td> <td>...</td> <td>設備仕様</td> <td>...</td> <td>設備仕様</td> <td>...</td> <td>設備仕様</td> <td>...</td> <td>設備仕様</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：大阪発電所3号炉に比べ、女川原子力発電所2号炉は、...</p> </div>	項目		大阪の現状		女川の現状		相違		相違理由		項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	設備仕様	...	設備仕様	...	設備仕様	...	設備仕様	...	設備仕様		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
項目		大阪の現状		女川の現状		相違		相違理由																																			
項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容																																		
設備仕様	...	設備仕様	...	設備仕様	...	設備仕様	...	設備仕様	...																																		
...																																		

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目： 揚水機の駆動 揚水機に設置 揚水機 揚水機</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">揚水機</th> <th colspan="4">揚水機</th> <th colspan="4">揚水機</th> </tr> <tr> <th colspan="4">揚水機</th> <th colspan="4">揚水機</th> <th colspan="4">揚水機</th> </tr> <tr> <th colspan="4">揚水機</th> <th colspan="4">揚水機</th> <th colspan="4">揚水機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> <td>揚水機</td> </tr> </tbody> </table> </div>	揚水機				揚水機				揚水機				揚水機				揚水機				揚水機				揚水機				揚水機				揚水機				揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
揚水機				揚水機				揚水機																																													
揚水機				揚水機				揚水機																																													
揚水機				揚水機				揚水機																																													
揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機	揚水機																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">基本水位</th> <th colspan="2">積水水位</th> <th colspan="2">積水位置</th> <th colspan="2">機器名称</th> <th colspan="2">機器番号</th> <th colspan="2">機器位置</th> <th colspan="2">機器名称</th> <th colspan="2">機器番号</th> <th colspan="2">機器位置</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>基本水位</th> <th>積水水位</th> <th>積水位置</th> <th>機器名称</th> <th>機器番号</th> <th>機器位置</th> <th>機器名称</th> <th>機器番号</th> <th>機器位置</th> <th>機器名称</th> <th>機器番号</th> <th>機器位置</th> <th>機器名称</th> <th>機器番号</th> <th>機器位置</th> <th>機器名称</th> <th>機器番号</th> <th>機器位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備種別</td> <td>設備名称</td> <td>基本水位</td> <td>積水水位</td> <td>積水位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> </tr> <tr> <td>設備種別</td> <td>設備名称</td> <td>基本水位</td> <td>積水水位</td> <td>積水位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> <td>機器名称</td> <td>機器番号</td> <td>機器位置</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;"> 備考：基本水位は運転中に発生する想定最大積水水位に相当する水位を示す。 積水位置は、基本水位又は積水水位より高くなる場合、その高さを示す。 機器位置は、基本水位又は積水水位より高くなる場合、その高さを示す。 機器名称は、機器の名称を示す。 機器番号は、機器の番号を示す。 機器位置は、機器の位置を示す。 </p>	設備概要		基本水位		積水水位		積水位置		機器名称		機器番号		機器位置		機器名称		機器番号		機器位置		設備種別	設備名称	基本水位	積水水位	積水位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	設備種別	設備名称	基本水位	積水水位	積水位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	設備種別	設備名称	基本水位	積水水位	積水位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備概要		基本水位		積水水位		積水位置		機器名称		機器番号		機器位置		機器名称		機器番号		機器位置																																																																	
設備種別	設備名称	基本水位	積水水位	積水位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置																																																																
設備種別	設備名称	基本水位	積水水位	積水位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置																																																																
設備種別	設備名称	基本水位	積水水位	積水位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置	機器名称	機器番号	機器位置																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
	<p>計装機能 減水の監視 溢水発生位置 炉-予-4 警報部 炉内部分設</p> <table border="1" data-bbox="801 183 1003 1209"> <thead> <tr> <th colspan="3">新1号炉</th> <th colspan="2">新2号炉</th> <th colspan="2">新3号炉</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">監視項目</th> <th rowspan="2">監視機器</th> <th rowspan="2">監視対象</th> <th colspan="2">監視機器</th> <th colspan="2">監視対象</th> </tr> <tr> <th>監視機器</th> <th>監視対象</th> <th>監視機器</th> <th>監視対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> <td>監視機器</td> <td>監視対象</td> </tr> </tbody> </table>	新1号炉			新2号炉		新3号炉		監視項目	監視機器	監視対象	監視機器		監視対象		監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
新1号炉			新2号炉		新3号炉																																												
監視項目	監視機器	監視対象	監視機器		監視対象																																												
			監視機器	監視対象	監視機器	監視対象																																											
○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象																																											
○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象																																											
○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象																																											
○	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象	監視機器	監視対象																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">計測項目</th> <th colspan="2">計測結果</th> <th colspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>規格</th> <th>評価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内温度</td> <td>℃</td> <td>46.0</td> <td>46.0</td> <td>A</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>MPa</td> <td>11.0</td> <td>11.0</td> <td>A</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内水位</td> <td>m</td> <td>2.44</td> <td>2.44</td> <td>A</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内流量</td> <td>m³/h</td> <td>9.011</td> <td>9.011</td> <td>A</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力変動率</td> <td>%</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>A</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内水位変動率</td> <td>%</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>A</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内流量変動率</td> <td>%</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>A</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：A：合格、B：要改善、C：要廃止</p>	計測項目		計測結果		評価		項目	単位	値	規格	評価	備考	炉内温度	℃	46.0	46.0	A	○	炉内圧力	MPa	11.0	11.0	A	○	炉内水位	m	2.44	2.44	A	○	炉内流量	m³/h	9.011	9.011	A	○	炉内圧力変動率	%	0.001	0.001	A	○	炉内水位変動率	%	0.001	0.001	A	○	炉内流量変動率	%	0.001	0.001	A	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
計測項目		計測結果		評価																																																					
項目	単位	値	規格	評価	備考																																																				
炉内温度	℃	46.0	46.0	A	○																																																				
炉内圧力	MPa	11.0	11.0	A	○																																																				
炉内水位	m	2.44	2.44	A	○																																																				
炉内流量	m³/h	9.011	9.011	A	○																																																				
炉内圧力変動率	%	0.001	0.001	A	○																																																				
炉内水位変動率	%	0.001	0.001	A	○																																																				
炉内流量変動率	%	0.001	0.001	A	○																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<p style="text-align: center;">原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">高圧動力機器 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">高圧動力機器 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子力発電機 （圧力以上）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">AD550 water pump</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	高圧動力機器 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧動力機器 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
高圧動力機器 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）																																																							
AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																						
高圧動力機器 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）		原子力発電機 （圧力以上）																																																							
AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump		AD550 water pump																																																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																						

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料 22）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																						
	<div data-bbox="696 180 1274 999" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">表 1-1-1 設備の相違</th> </tr> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">設備区分</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">設備名</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設備の相違</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">(a)</th> <th style="width: 10%;">(b)</th> <th style="width: 10%;">(c)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p>備考 1. 大阪発電所炉内に無い設備は、女川原子力発電所炉内に無い設備である。</p> <p>2. 女川原子力発電所炉内に無い設備は、大阪発電所炉内に無い設備である。</p> <p>3. 女川原子力発電所炉内に無い設備は、大阪発電所炉内に無い設備である。</p> <p>4. 女川原子力発電所炉内に無い設備は、大阪発電所炉内に無い設備である。</p> </div> </div>	表 1-1-1 設備の相違					設備区分	設備名	設備の相違			(a)	(b)	(c)	炉内機器	炉内機器				炉内機器	炉内機器				炉内機器	炉内機器				炉内機器	炉内機器				炉内機器	炉内機器					<p>【女川】</p> <p style="color: red;">設計方針の相違</p> <p style="color: red;">プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
表 1-1-1 設備の相違																																									
設備区分	設備名	設備の相違																																							
		(a)	(b)	(c)																																					
炉内機器	炉内機器																																								
炉内機器	炉内機器																																								
炉内機器	炉内機器																																								
炉内機器	炉内機器																																								
炉内機器	炉内機器																																								

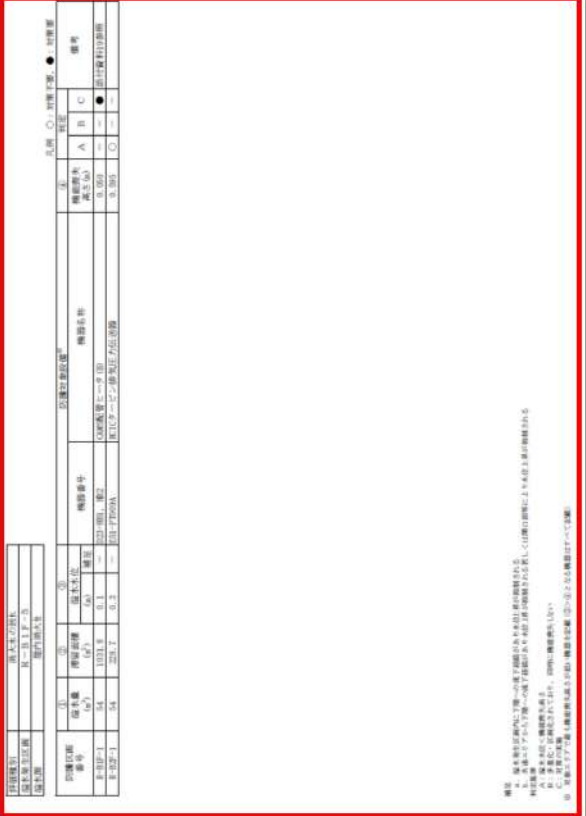
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
	<div data-bbox="694 1037 761 1212"> <p>評価項目 過大水位発生 備考 発生位置： 炉出口-3 備考欄： 原子炉水筒</p> </div> <table border="1" data-bbox="795 175 1008 1212"> <thead> <tr> <th colspan="2">機器停止機能</th> <th colspan="2">機器停止機能 (2014.2.21.5.0)</th> <th colspan="2">機器停止機能 (2014.2.21.5.0)</th> <th colspan="2">機器停止機能 (2014.2.21.5.0)</th> <th colspan="2">機器停止機能 (2014.2.21.5.0)</th> <th colspan="2">機器停止機能 (2014.2.21.5.0)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1064 231 1265 1212"> <thead> <tr> <th colspan="2">機器停止機能</th> <th colspan="2">機器停止機能</th> <th colspan="2">機器停止機能</th> <th colspan="2">機器停止機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	機器停止機能		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	機器停止機能		機器停止機能		機器停止機能		機器停止機能		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機器停止機能		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)		機器停止機能 (2014.2.21.5.0)																																																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																												
機器停止機能		機器停止機能		機器停止機能		機器停止機能																																																																																																	
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目 湯上水の発生</p> <p>備考 湯上り設備： 片・型付クーラー 取組内容： 湯上り防止対策</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="14">湯上り設備</th> </tr> <tr> <th colspan="4">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="4">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="4">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="4">湯上り設備の種類 (設備名)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th colspan="2">湯上り設備の種類 (設備名)</th> </tr> <tr> <th>湯上り設備の種類 (設備名)</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> <th>設備の仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湯上り設備の種類 (設備名)</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> </tr> <tr> <td>湯上り設備の種類 (設備名)</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> <td>設備の仕様</td> </tr> </tbody> </table> </div>	湯上り設備														湯上り設備の種類 (設備名)				湯上り設備の種類 (設備名)				湯上り設備の種類 (設備名)				湯上り設備の種類 (設備名)				湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	湯上り設備の種類 (設備名)	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	湯上り設備の種類 (設備名)	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
湯上り設備																																																																																																	
湯上り設備の種類 (設備名)				湯上り設備の種類 (設備名)				湯上り設備の種類 (設備名)				湯上り設備の種類 (設備名)																																																																																					
湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)		湯上り設備の種類 (設備名)																																																																																			
湯上り設備の種類 (設備名)	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様																																																																																		
湯上り設備の種類 (設備名)	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様																																																																																		
湯上り設備の種類 (設備名)	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様	設備の仕様																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="font-size: small;"> 備考：① 振動発生機内1階～5階の図面は本邦仕様と異なる。② 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。③ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。④ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。⑤ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。⑥ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。⑦ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。⑧ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。⑨ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。⑩ 機器の設置位置は、図面記載位置と異なる。 </p>		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>計測機器： 株式会社数々 型番：S-1000 型番：S-1000 型番：S-1000</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止機能</th> <th colspan="2">緊急停止機能</th> <th colspan="2">緊急停止機能</th> <th colspan="2">緊急停止機能</th> <th colspan="2">緊急停止機能</th> <th colspan="2">緊急停止機能</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能																																									
項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様																																								
緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能																																								
緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">設備種別</td> <td colspan="2">大阪原子力発電所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計図書</td> <td colspan="2">図一五-1上-2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計者</td> <td colspan="2">電力中央研究所</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>(1) 炉内寸法</td> <td>(2) 炉内寸法</td> <td>(3) 炉内寸法</td> <td>(4) 炉内寸法</td> </tr> <tr> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> </tr> <tr> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> </tr> <tr> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> <td>炉内寸法</td> </tr> </table> <p>備考：本表は大阪原子力発電所3/4号炉と大阪原子力発電所2号炉との比較結果を示す。相違箇所は赤字で示す。相違箇所は赤字で示す。相違箇所は赤字で示す。</p>	設備種別		大阪原子力発電所		設計図書		図一五-1上-2		設計者		電力中央研究所		(1) 炉内寸法	(2) 炉内寸法	(3) 炉内寸法	(4) 炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		大阪原子力発電所																													
設計図書		図一五-1上-2																													
設計者		電力中央研究所																													
(1) 炉内寸法	(2) 炉内寸法	(3) 炉内寸法	(4) 炉内寸法																												
炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法																												
炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法																												
炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法	炉内寸法																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="12" style="text-align: center;">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">島根県立川原</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">東京電力福島</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">島根県立川原 O島根県立川原</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">東京電力福島 O島根県立川原</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>A類(1番) 日換(異常)</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="12" style="text-align: center;">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">島根県立川原</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">東京電力福島</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">島根県立川原 O島根県立川原</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">東京電力福島 O島根県立川原</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">O</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>A類(1番) 日換(異常)</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> <td>A類 日換</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉施設												島根県立川原			東京電力福島			原子炉施設			原子炉施設			島根県立川原 O島根県立川原			東京電力福島 O島根県立川原			原子炉施設			原子炉施設			O			O			O			O			緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A類(1番) 日換(異常)	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉施設												島根県立川原			東京電力福島			原子炉施設			原子炉施設			島根県立川原 O島根県立川原			東京電力福島 O島根県立川原			原子炉施設			原子炉施設			O			O			O			O			緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A類(1番) 日換(異常)	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉施設																																																																																																																																																																																																																																																																											
島根県立川原			東京電力福島			原子炉施設			原子炉施設																																																																																																																																																																																																																																																																		
島根県立川原 O島根県立川原			東京電力福島 O島根県立川原			原子炉施設			原子炉施設																																																																																																																																																																																																																																																																		
O			O			O			O																																																																																																																																																																																																																																																																		
緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																
水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																
A類(1番) 日換(異常)	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																
原子炉施設																																																																																																																																																																																																																																																																											
島根県立川原			東京電力福島			原子炉施設			原子炉施設																																																																																																																																																																																																																																																																		
島根県立川原 O島根県立川原			東京電力福島 O島根県立川原			原子炉施設			原子炉施設																																																																																																																																																																																																																																																																		
O			O			O			O																																																																																																																																																																																																																																																																		
緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																
水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																
A類(1番) 日換(異常)	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換	A類 日換																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div data-bbox="712 718 817 965" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1"> <tr> <td>設計種別</td> <td>原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>B1-222P-1</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>炉内冷却</td> </tr> <tr> <td>設計種別</td> <td>原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>B1-222P-1</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>炉内冷却</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="750 183 817 710" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1"> <tr> <td>設計種別</td> <td>原子力発電所</td> <td>種別</td> <td>B1-222P-1</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>炉内冷却</td> <td>種別</td> <td>炉内冷却</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>炉内冷却</td> <td>種別</td> <td>炉内冷却</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1198 582 1265 973" style="font-size: 8px;"> <p>備考：本表は、設計種別、設計内容、設計方針、設計表現、設計内容、記載箇所、記載内容、記載表現、記載内容の相違を比較する。記載箇所、記載内容は、設計種別、設計内容、設計方針、設計表現、設計内容の相違を比較する。記載箇所、記載内容は、設計種別、設計内容、設計方針、設計表現、設計内容の相違を比較する。記載箇所、記載内容は、設計種別、設計内容、設計方針、設計表現、設計内容の相違を比較する。</p> </div>	設計種別	原子力発電所	種別	B1-222P-1	種別	炉内冷却	設計種別	原子力発電所	種別	B1-222P-1	種別	炉内冷却	設計種別	原子力発電所	種別	B1-222P-1	種別	炉内冷却	種別	炉内冷却	種別	炉内冷却	種別	炉内冷却		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計種別	原子力発電所																										
種別	B1-222P-1																										
種別	炉内冷却																										
設計種別	原子力発電所																										
種別	B1-222P-1																										
種別	炉内冷却																										
設計種別	原子力発電所	種別	B1-222P-1																								
種別	炉内冷却	種別	炉内冷却																								
種別	炉内冷却	種別	炉内冷却																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																		
<p>評価項目 湯水の取水</p> <p>備考 発生位置： 外-207-1</p> <p>備考 発生原因： 異圧発生</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">素子評価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">機器停止機能</th> <th colspan="4">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">素子評価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	素子評価												機器停止機能		異常検知機能 (D/E/S/L)				異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">素子評価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>												素子評価												異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">素子評価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	素子評価												異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
素子評価																																																																																																																																																					
機器停止機能		異常検知機能 (D/E/S/L)				異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)																																																																																																																																									
異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)																																																																																																																																									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">素子評価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> <th colspan="2">異常検知機能 (D/E/S/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>												素子評価												異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																		
素子評価																																																																																																																																																					
異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)																																																																																																																																									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																								
素子評価																																																																																																																																																					
異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)		異常検知機能 (D/E/S/L)																																																																																																																																									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

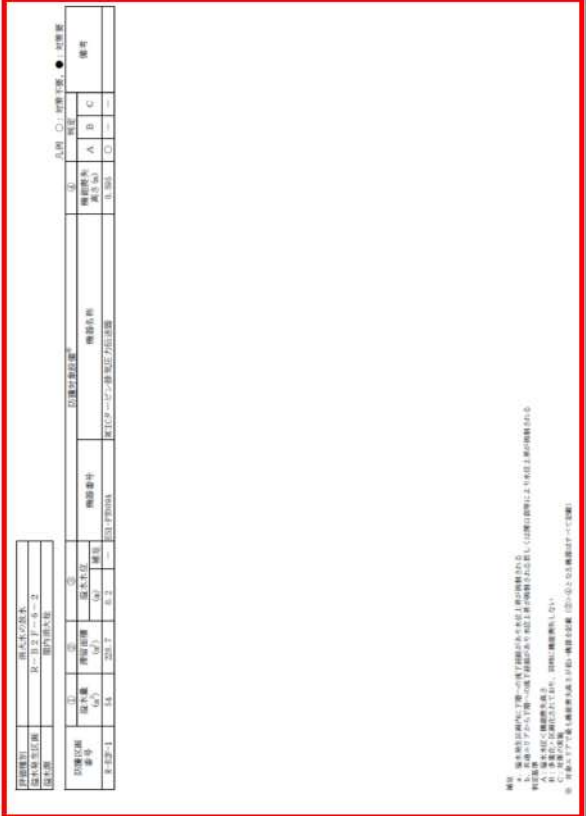
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
	<div data-bbox="696 177 1279 997" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備種別</td> <td colspan="2">炉内設備</td> <td colspan="2">炉内設備</td> </tr> <tr> <td>設備名称</td> <td>型式</td> <td>設備名称</td> <td>型式</td> <td>設備名称</td> <td>型式</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 備考：設備種別欄に「炉内設備」は、炉内設備に属する設備を指す。また、炉内設備に属する設備は、炉内設備に属する設備として記載する。 </p> </div>	設備種別		炉内設備		炉内設備		設備名称	型式	設備名称	型式	設備名称	型式		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		炉内設備		炉内設備																	
設備名称	型式	設備名称	型式	設備名称	型式																
...																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<p>評価項目： 済水の取水 備考発生位置： 外-227-4 備考： 屋外取込管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">異常停止機能</th> <th colspan="2">異常停止機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> <th colspan="2">異常発生機能 (HMIにて)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> <th>項目</th> <th>相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> <td>異常発生機能</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	異常停止機能		異常停止機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
異常停止機能		異常停止機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)		異常発生機能 (HMIにて)																																																																					
項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違	項目	相違																																																																				
異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○																																																																		
異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○	異常発生機能	○																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心冷却系</td> </tr> </table> </div>	原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	
炉心冷却系		炉心冷却系		炉心冷却系																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>1. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>1. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>1. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>1. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>2. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>2. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>2. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>2. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>3. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>3. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>3. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>3. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>4. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>4. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>4. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>4. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>5. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>5. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>5. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>5. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>6. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>6. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>6. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>6. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>7. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>7. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>7. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>7. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>8. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>8. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>8. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>8. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>9. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>9. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>9. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>9. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>10. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>10. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>10. 貯水タンク</td> <td>1</td> <td>10. 貯水タンク</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="font-size: 8px; margin-top: 10px;">備考： 1. 本表は、本所管内に設置された設備のうち、本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。2. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。3. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。4. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。5. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。6. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。7. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。8. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。9. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。10. 本表に記載されている設備は、本所管内に設置されている。</p>	型式		型式		型式		型式		型式		品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1		<p style="color: red;">【女川】</p> <p style="color: red;">設計方針の相違</p> <p style="color: red;">プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
型式		型式		型式		型式		型式																																																																																																																			
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量																																																																																																																		
1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1	1. 貯水タンク	1																																																																																																																		
2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1	2. 貯水タンク	1																																																																																																																		
3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1	3. 貯水タンク	1																																																																																																																		
4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1	4. 貯水タンク	1																																																																																																																		
5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1	5. 貯水タンク	1																																																																																																																		
6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1	6. 貯水タンク	1																																																																																																																		
7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1	7. 貯水タンク	1																																																																																																																		
8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1	8. 貯水タンク	1																																																																																																																		
9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1	9. 貯水タンク	1																																																																																																																		
10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1	10. 貯水タンク	1																																																																																																																		

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計者：東大電力株式会社 製図者：藤田 伸一郎 編者：藤田 伸一郎</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器仕様</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送電機</td> <td>○</td> <td>送電機</td> <td>○</td> <td>送電機</td> <td>○</td> <td>送電機</td> <td>○</td> <td>送電機</td> <td>○</td> <td>送電機</td> <td>○</td> <td>送電機</td> <td>○</td> <td>送電機</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> <td>水圧制御ユニット</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>B系</td> <td>○</td> <td>B系</td> <td>○</td> <td>B系</td> <td>○</td> <td>B系</td> <td>○</td> <td>B系</td> <td>○</td> <td>B系</td> <td>○</td> <td>B系</td> <td>○</td> <td>B系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>C系</td> <td>○</td> <td>C系</td> <td>○</td> <td>C系</td> <td>○</td> <td>C系</td> <td>○</td> <td>C系</td> <td>○</td> <td>C系</td> <td>○</td> <td>C系</td> <td>○</td> <td>C系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>D系</td> <td>○</td> <td>D系</td> <td>○</td> <td>D系</td> <td>○</td> <td>D系</td> <td>○</td> <td>D系</td> <td>○</td> <td>D系</td> <td>○</td> <td>D系</td> <td>○</td> <td>D系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>E系</td> <td>○</td> <td>E系</td> <td>○</td> <td>E系</td> <td>○</td> <td>E系</td> <td>○</td> <td>E系</td> <td>○</td> <td>E系</td> <td>○</td> <td>E系</td> <td>○</td> <td>E系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>F系</td> <td>○</td> <td>F系</td> <td>○</td> <td>F系</td> <td>○</td> <td>F系</td> <td>○</td> <td>F系</td> <td>○</td> <td>F系</td> <td>○</td> <td>F系</td> <td>○</td> <td>F系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>G系</td> <td>○</td> <td>G系</td> <td>○</td> <td>G系</td> <td>○</td> <td>G系</td> <td>○</td> <td>G系</td> <td>○</td> <td>G系</td> <td>○</td> <td>G系</td> <td>○</td> <td>G系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H系</td> <td>○</td> <td>H系</td> <td>○</td> <td>H系</td> <td>○</td> <td>H系</td> <td>○</td> <td>H系</td> <td>○</td> <td>H系</td> <td>○</td> <td>H系</td> <td>○</td> <td>H系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>I系</td> <td>○</td> <td>I系</td> <td>○</td> <td>I系</td> <td>○</td> <td>I系</td> <td>○</td> <td>I系</td> <td>○</td> <td>I系</td> <td>○</td> <td>I系</td> <td>○</td> <td>I系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>J系</td> <td>○</td> <td>J系</td> <td>○</td> <td>J系</td> <td>○</td> <td>J系</td> <td>○</td> <td>J系</td> <td>○</td> <td>J系</td> <td>○</td> <td>J系</td> <td>○</td> <td>J系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>K系</td> <td>○</td> <td>K系</td> <td>○</td> <td>K系</td> <td>○</td> <td>K系</td> <td>○</td> <td>K系</td> <td>○</td> <td>K系</td> <td>○</td> <td>K系</td> <td>○</td> <td>K系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>L系</td> <td>○</td> <td>L系</td> <td>○</td> <td>L系</td> <td>○</td> <td>L系</td> <td>○</td> <td>L系</td> <td>○</td> <td>L系</td> <td>○</td> <td>L系</td> <td>○</td> <td>L系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>M系</td> <td>○</td> <td>M系</td> <td>○</td> <td>M系</td> <td>○</td> <td>M系</td> <td>○</td> <td>M系</td> <td>○</td> <td>M系</td> <td>○</td> <td>M系</td> <td>○</td> <td>M系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>N系</td> <td>○</td> <td>N系</td> <td>○</td> <td>N系</td> <td>○</td> <td>N系</td> <td>○</td> <td>N系</td> <td>○</td> <td>N系</td> <td>○</td> <td>N系</td> <td>○</td> <td>N系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>O系</td> <td>○</td> <td>O系</td> <td>○</td> <td>O系</td> <td>○</td> <td>O系</td> <td>○</td> <td>O系</td> <td>○</td> <td>O系</td> <td>○</td> <td>O系</td> <td>○</td> <td>O系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P系</td> <td>○</td> <td>P系</td> <td>○</td> <td>P系</td> <td>○</td> <td>P系</td> <td>○</td> <td>P系</td> <td>○</td> <td>P系</td> <td>○</td> <td>P系</td> <td>○</td> <td>P系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Q系</td> <td>○</td> <td>Q系</td> <td>○</td> <td>Q系</td> <td>○</td> <td>Q系</td> <td>○</td> <td>Q系</td> <td>○</td> <td>Q系</td> <td>○</td> <td>Q系</td> <td>○</td> <td>Q系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R系</td> <td>○</td> <td>R系</td> <td>○</td> <td>R系</td> <td>○</td> <td>R系</td> <td>○</td> <td>R系</td> <td>○</td> <td>R系</td> <td>○</td> <td>R系</td> <td>○</td> <td>R系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>S系</td> <td>○</td> <td>S系</td> <td>○</td> <td>S系</td> <td>○</td> <td>S系</td> <td>○</td> <td>S系</td> <td>○</td> <td>S系</td> <td>○</td> <td>S系</td> <td>○</td> <td>S系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>T系</td> <td>○</td> <td>T系</td> <td>○</td> <td>T系</td> <td>○</td> <td>T系</td> <td>○</td> <td>T系</td> <td>○</td> <td>T系</td> <td>○</td> <td>T系</td> <td>○</td> <td>T系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>U系</td> <td>○</td> <td>U系</td> <td>○</td> <td>U系</td> <td>○</td> <td>U系</td> <td>○</td> <td>U系</td> <td>○</td> <td>U系</td> <td>○</td> <td>U系</td> <td>○</td> <td>U系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>V系</td> <td>○</td> <td>V系</td> <td>○</td> <td>V系</td> <td>○</td> <td>V系</td> <td>○</td> <td>V系</td> <td>○</td> <td>V系</td> <td>○</td> <td>V系</td> <td>○</td> <td>V系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>W系</td> <td>○</td> <td>W系</td> <td>○</td> <td>W系</td> <td>○</td> <td>W系</td> <td>○</td> <td>W系</td> <td>○</td> <td>W系</td> <td>○</td> <td>W系</td> <td>○</td> <td>W系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>X系</td> <td>○</td> <td>X系</td> <td>○</td> <td>X系</td> <td>○</td> <td>X系</td> <td>○</td> <td>X系</td> <td>○</td> <td>X系</td> <td>○</td> <td>X系</td> <td>○</td> <td>X系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Y系</td> <td>○</td> <td>Y系</td> <td>○</td> <td>Y系</td> <td>○</td> <td>Y系</td> <td>○</td> <td>Y系</td> <td>○</td> <td>Y系</td> <td>○</td> <td>Y系</td> <td>○</td> <td>Y系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Z系</td> <td>○</td> <td>Z系</td> <td>○</td> <td>Z系</td> <td>○</td> <td>Z系</td> <td>○</td> <td>Z系</td> <td>○</td> <td>Z系</td> <td>○</td> <td>Z系</td> <td>○</td> <td>Z系</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様		機器仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○	送電機	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○	水圧制御ユニット	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○	B系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○	C系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○	D系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○	E系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○	F系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○	G系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○	H系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○	I系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○	J系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○	K系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○	L系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○	M系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○	N系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○	O系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○	P系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○	Q系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○	R系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○	S系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○	T系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○	U系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○	V系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○	W系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○	X系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○	Y系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○	Z系	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>資料の取扱い 資料の取扱い： 別添1-7 資料の取扱い： 別添1-7</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">資料の取扱い</th> <th colspan="2">資料の取扱い</th> <th colspan="2">資料の取扱い</th> <th colspan="2">資料の取扱い</th> <th colspan="2">資料の取扱い</th> <th colspan="2">資料の取扱い</th> </tr> <tr> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> <th>資料の取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> </tr> <tr> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> <td>資料の取扱い</td> </tr> </tbody> </table>	資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い		資料の取扱い																																									
資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い																																								
資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い																																								
資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い	資料の取扱い																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">炉内機器 番号</th> <th colspan="2">山</th> <th colspan="2">庄</th> <th rowspan="2">圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">流量 (m³/min)</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th colspan="2">設備記号</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>型式</th> <th>品名</th> <th>型式</th> <th>機器名称</th> <th>機器小件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">R-3炉-2</td> <td rowspan="4">256</td> <td rowspan="4">72.9</td> <td rowspan="4">0.9</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">211-20013</td> <td colspan="2">R-3炉-2A圧力伝送器</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-2B圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-2C圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-2D圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-3炉-3</td> <td rowspan="4">265</td> <td rowspan="4">52.9</td> <td rowspan="4">1.1</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">211-20014</td> <td colspan="2">R-3炉-3A圧力伝送器</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-3B圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-3C圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-3D圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-3炉-4</td> <td rowspan="4">265</td> <td rowspan="4">41.1</td> <td rowspan="4">1.4</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">211-20011</td> <td colspan="2">R-3炉-4A圧力伝送器</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-4B圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-4C圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-4D圧力伝送器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-3炉-12</td> <td rowspan="2">255</td> <td rowspan="2">1312.3</td> <td rowspan="2">0.1</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">211-20020</td> <td colspan="2">R-3炉-12A圧力伝送器</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R-3炉-12B圧力伝送器</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：本表は設計図面に記載された機器の名称と本表に記載の機器の名称とを照合して記載したものである。 A：機器の型式と機器の名称とを照合して記載したものである。 B：機器の型式と機器の名称とを照合して記載したものである。 C：機器の型式と機器の名称とを照合して記載したものである。 D：機器の型式と機器の名称とを照合して記載したものである。</p>	炉内機器 番号	山		庄		圧力 (MPa)	流量 (m³/min)	機器番号	設備記号		備考	品名	型式	品名	型式	機器名称	機器小件	R-3炉-2	256	72.9	0.9	-	-	-	211-20013	R-3炉-2A圧力伝送器		-	R-3炉-2B圧力伝送器		R-3炉-2C圧力伝送器		R-3炉-2D圧力伝送器		R-3炉-3	265	52.9	1.1	-	-	-	211-20014	R-3炉-3A圧力伝送器		-	R-3炉-3B圧力伝送器		R-3炉-3C圧力伝送器		R-3炉-3D圧力伝送器		R-3炉-4	265	41.1	1.4	-	-	-	211-20011	R-3炉-4A圧力伝送器		-	R-3炉-4B圧力伝送器		R-3炉-4C圧力伝送器		R-3炉-4D圧力伝送器		R-3炉-12	255	1312.3	0.1	-	-	-	211-20020	R-3炉-12A圧力伝送器		-	R-3炉-12B圧力伝送器			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内機器 番号	山		庄		圧力 (MPa)	流量 (m³/min)				機器番号	設備記号		備考																																																																							
	品名	型式	品名	型式			機器名称	機器小件																																																																												
R-3炉-2	256	72.9	0.9	-	-	-	211-20013	R-3炉-2A圧力伝送器		-																																																																										
								R-3炉-2B圧力伝送器																																																																												
								R-3炉-2C圧力伝送器																																																																												
								R-3炉-2D圧力伝送器																																																																												
R-3炉-3	265	52.9	1.1	-	-	-	211-20014	R-3炉-3A圧力伝送器		-																																																																										
								R-3炉-3B圧力伝送器																																																																												
								R-3炉-3C圧力伝送器																																																																												
								R-3炉-3D圧力伝送器																																																																												
R-3炉-4	265	41.1	1.4	-	-	-	211-20011	R-3炉-4A圧力伝送器		-																																																																										
								R-3炉-4B圧力伝送器																																																																												
								R-3炉-4C圧力伝送器																																																																												
								R-3炉-4D圧力伝送器																																																																												
R-3炉-12	255	1312.3	0.1	-	-	-	211-20020	R-3炉-12A圧力伝送器		-																																																																										
								R-3炉-12B圧力伝送器																																																																												

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉建屋</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設置設備</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉冷却設備</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">原子炉制御設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能 （安全停止）</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉施設		原子炉建屋		原子炉設置設備		原子炉冷却設備		原子炉制御設備		緊急停止機能	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉施設		原子炉建屋		原子炉設置設備		原子炉冷却設備		原子炉制御設備																																																							
緊急停止機能	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○																																																						
緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○																																																						
緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○																																																						
緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○																																																						
緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○	緊急停止機能 （安全停止）	○																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">設備仕様</th> <th colspan="3">設備仕様</th> <th colspan="3">設備仕様</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内圧</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内温度</td> <td>287℃</td> <td></td> <td>炉内温度</td> <td>287℃</td> <td></td> <td>炉内温度</td> <td>287℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> <td>炉内圧力</td> <td>1.0 MPa</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 本表は、本発電所2号炉の炉内圧力及び炉内温度の相違を示す。 2. 本表は、本発電所2号炉の炉内圧力及び炉内温度の相違を示す。 3. 本表は、本発電所2号炉の炉内圧力及び炉内温度の相違を示す。 4. 本表は、本発電所2号炉の炉内圧力及び炉内温度の相違を示す。 5. 本表は、本発電所2号炉の炉内圧力及び炉内温度の相違を示す。</p>	設備仕様			設備仕様			設備仕様			設備名	仕様	単位	設備名	仕様	単位	設備名	仕様	単位	炉内圧	1.0 MPa		炉内圧	1.0 MPa		炉内圧	1.0 MPa		炉内温度	287℃		炉内温度	287℃		炉内温度	287℃		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa			<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備仕様			設備仕様			設備仕様																																																																																							
設備名	仕様	単位	設備名	仕様	単位	設備名	仕様	単位																																																																																					
炉内圧	1.0 MPa		炉内圧	1.0 MPa		炉内圧	1.0 MPa																																																																																						
炉内温度	287℃		炉内温度	287℃		炉内温度	287℃																																																																																						
炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa																																																																																						
炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa																																																																																						
炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa																																																																																						
炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa																																																																																						
炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa																																																																																						
炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa		炉内圧力	1.0 MPa																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">評価項目： 最大吐出量</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> <td colspan="2">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">備考発生装置： R-401-5</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">備考： 備考発生装置</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="1285 177 1865 1495"></td> <td data-bbox="1872 177 2130 1495"> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> </td> </tr> </table>	評価項目： 最大吐出量		○		○		○		○		○		備考発生装置： R-401-5												備考： 備考発生装置												<table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>												原子炉設備												蒸気発生設備			凝縮機設備			冷却水循環設備			圧縮機設備			蒸気発生機	凝縮機	冷却水ポンプ	凝縮機	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>												原子炉設備												蒸気発生設備			凝縮機設備			冷却水循環設備			圧縮機設備			蒸気発生機	凝縮機	冷却水ポンプ	凝縮機	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
評価項目： 最大吐出量		○		○		○		○		○																																																																																																																																																					
備考発生装置： R-401-5																																																																																																																																																															
備考： 備考発生装置																																																																																																																																																															
<table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>												原子炉設備												蒸気発生設備			凝縮機設備			冷却水循環設備			圧縮機設備			蒸気発生機	凝縮機	冷却水ポンプ	凝縮機	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>												原子炉設備												蒸気発生設備			凝縮機設備			冷却水循環設備			圧縮機設備			蒸気発生機	凝縮機	冷却水ポンプ	凝縮機	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>																																						
原子炉設備																																																																																																																																																															
蒸気発生設備			凝縮機設備			冷却水循環設備			圧縮機設備																																																																																																																																																						
蒸気発生機	凝縮機	冷却水ポンプ	凝縮機	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																				
<table border="1"> <tr> <th colspan="12">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">蒸気発生設備</th> <th colspan="3">凝縮機設備</th> <th colspan="3">冷却水循環設備</th> <th colspan="3">圧縮機設備</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生機</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>凝縮機</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> <td>冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>												原子炉設備												蒸気発生設備			凝縮機設備			冷却水循環設備			圧縮機設備			蒸気発生機	凝縮機	冷却水ポンプ	凝縮機	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
原子炉設備																																																																																																																																																															
蒸気発生設備			凝縮機設備			冷却水循環設備			圧縮機設備																																																																																																																																																						
蒸気発生機	凝縮機	冷却水ポンプ	凝縮機	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ																																																																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table> </td> <td colspan="2"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table> </td> <td colspan="2"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table> </td> <td colspan="2"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図																												
図面番号	図面名称																																						
01-1001	炉内設備図																																						
図面番号	図面名称																																						
01-1001	炉内設備図																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図																												
図面番号	図面名称																																						
01-1001	炉内設備図																																						
図面番号	図面名称																																						
01-1001	炉内設備図																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>図面番号</td> <td>図面名称</td> </tr> <tr> <td>01-1001</td> <td>炉内設備図</td> </tr> </table>		図面番号	図面名称	01-1001	炉内設備図																												
図面番号	図面名称																																						
01-1001	炉内設備図																																						
図面番号	図面名称																																						
01-1001	炉内設備図																																						

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">機器類</th> <th colspan="2">配管類</th> <th colspan="2">電気・電子機器</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>適合</th> <th>不適合</th> <th>適合</th> <th>不適合</th> <th>適合</th> <th>不適合</th> <th>適合</th> <th>不適合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">圧力容器</td> <td>圧力容器本体</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強材</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">配管</td> <td>配管本体</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補強材</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電気・電子機器</td> <td>制御盤等</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種計測器</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>機器類</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	設備種別		機器類		配管類		電気・電子機器		その他		適合	不適合	適合	不適合	適合	不適合	適合	不適合	圧力容器	圧力容器本体	○								補強材	○								配管	配管本体	○								補強材	○								電気・電子機器	制御盤等	○								各種計測器	○								その他	機器類	○								その他	○									<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別				機器類		配管類		電気・電子機器		その他																																																																																							
		適合	不適合	適合	不適合	適合	不適合	適合	不適合																																																																																								
圧力容器	圧力容器本体	○																																																																																															
	補強材	○																																																																																															
配管	配管本体	○																																																																																															
	補強材	○																																																																																															
電気・電子機器	制御盤等	○																																																																																															
	各種計測器	○																																																																																															
その他	機器類	○																																																																																															
	その他	○																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">防壁設置位置</td> <td colspan="2">機内防壁</td> <td colspan="2">機外防壁</td> </tr> <tr> <td>防壁位置</td> <td>防壁高さ</td> <td>防壁位置</td> <td>防壁高さ</td> <td>防壁位置</td> <td>防壁高さ</td> </tr> <tr> <td>(A)</td> <td>(B)</td> <td>(C)</td> <td>(D)</td> <td>(E)</td> <td>(F)</td> </tr> <tr> <td>(G)</td> <td>(H)</td> <td>(I)</td> <td>(J)</td> <td>(K)</td> <td>(L)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">防壁区画への溢水流入防止</p> </div>	防壁設置位置		機内防壁		機外防壁		防壁位置	防壁高さ	防壁位置	防壁高さ	防壁位置	防壁高さ	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
防壁設置位置		機内防壁		機外防壁																							
防壁位置	防壁高さ	防壁位置	防壁高さ	防壁位置	防壁高さ																						
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)																						
(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)																						

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																									
	<p>設備名称： 揚水ポンプ駆動機 図面番： H-0207-08 基本型： 設計内添付資料</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="3">設備適合項目</th> <th colspan="4">異常運転時</th> <th rowspan="3">異常運転時 (設備適合)</th> <th rowspan="3">異常運転時 (設備適合)</th> <th rowspan="3">異常運転時 (設備適合)</th> <th rowspan="3">異常運転時 (設備適合)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">異常運転時 (設備適合)</th> <th colspan="2">異常運転時 (設備適合)</th> </tr> <tr> <td>異常運転時 (設備適合)</td> <td>異常運転時 (設備適合)</td> <td>異常運転時 (設備適合)</td> <td>異常運転時 (設備適合)</td> </tr> <tr> <td>異常運転時</td> <td>異常運転時</td> <td>異常運転時</td> <td>異常運転時</td> <td>異常運転時</td> <td>異常運転時</td> <td>異常運転時</td> <td>異常運転時</td> </tr> </table>	設備適合項目	異常運転時				異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)		異常運転時 (設備適合)		異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違
設備適合項目	異常運転時				異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)					異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)																
	異常運転時 (設備適合)		異常運転時 (設備適合)																									
	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)	異常運転時 (設備適合)																								
異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時	異常運転時																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> </tr> <tr> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：本表は設備の概要を示すものであり、詳細な仕様や寸法については、各設備の仕様書や図面を参照してください。</p>	設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要																																																																											
設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称																																																																										
圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機																																																																										
ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ																																																																										
弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁																																																																										
配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管																																																																										
電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備																																																																										
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<p style="text-align: center;">原子炉施設</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">高圧発生機器 (JIS B 2131)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉駆動機 (JIS B 2131)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">中圧駆動機</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">低圧駆動機</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">保安設備</td> </tr> <tr> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">原子炉駆動機</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">高圧発生機器 (JIS B 2131)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉駆動機 (JIS B 2131)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">中圧駆動機</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">低圧駆動機</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">保安設備</td> </tr> <tr> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> <td>機器本体機能</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> <td>水圧調整</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	高圧発生機器 (JIS B 2131)		原子炉駆動機 (JIS B 2131)		中圧駆動機		低圧駆動機		保安設備		機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧発生機器 (JIS B 2131)		原子炉駆動機 (JIS B 2131)		中圧駆動機		低圧駆動機		保安設備		機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
高圧発生機器 (JIS B 2131)		原子炉駆動機 (JIS B 2131)		中圧駆動機		低圧駆動機		保安設備																																																																																																																																							
機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
高圧発生機器 (JIS B 2131)		原子炉駆動機 (JIS B 2131)		中圧駆動機		低圧駆動機		保安設備																																																																																																																																							
機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能	機器本体機能																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整	水圧調整																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">品名</th> <th colspan="2">仕様</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">適合性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>規格</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-401P-12</td> <td>54</td> <td>65.5</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-401P-14</td> <td>54</td> <td>276.3</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p> 注1. 適合性判定は「A」の項目に「○」の表示は適合、「△」の表示は適合の要あり、「×」の表示は適合なしと判断される。 注2. 「A」の項目に「○」の表示は適合、「△」の表示は適合の要あり、「×」の表示は適合なしと判断される。 注3. 「B」の項目に「○」の表示は適合、「△」の表示は適合の要あり、「×」の表示は適合なしと判断される。 注4. 「C」の項目に「○」の表示は適合、「△」の表示は適合の要あり、「×」の表示は適合なしと判断される。 注5. 「適合性」の項目に「○」の表示は適合、「△」の表示は適合の要あり、「×」の表示は適合なしと判断される。 </p>	設備種別		品名		仕様		規格		適合性		備考	設備種別	品名	仕様	規格	A	B	C		圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器								R-401P-12	54	65.5	0.6	0.0							R-401P-14	54	276.3	0.2	-								<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		品名		仕様		規格		適合性		備考																																													
設備種別	品名	仕様	規格	A	B	C																																																	
圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器																																																				
R-401P-12	54	65.5	0.6	0.0																																																			
R-401P-14	54	276.3	0.2	-																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉施設</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">水圧制御システム</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">水圧制御システム</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">水圧制御システム</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">水圧制御システム</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">水圧制御システム</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">水圧制御システム</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">A系(1系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A系(1系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A系(1系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A系(1系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A系(1系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A系(1系)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">B系(2系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B系(2系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B系(2系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B系(2系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B系(2系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B系(2系)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">C系(3系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C系(3系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C系(3系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C系(3系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C系(3系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C系(3系)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">D系(4系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D系(4系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D系(4系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D系(4系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D系(4系)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D系(4系)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> </div>	原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		○		○		○		○		○		○		水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム		○		○		○		○		○		○		A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)		○		○		○		○		○		○		B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)		○		○		○		○		○		○		C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)		○		○		○		○		○		○		D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)		○		○		○		○		○		○			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設																																																																																																																																																					
緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能		緊急停止機能																																																																																																																																																					
○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																					
水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム		水圧制御システム																																																																																																																																																					
○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																					
A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)		A系(1系)																																																																																																																																																					
○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																					
B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)		B系(2系)																																																																																																																																																					
○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																					
C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)		C系(3系)																																																																																																																																																					
○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																					
D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)		D系(4系)																																																																																																																																																					
○		○		○		○		○		○																																																																																																																																																					

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
	<table border="1"> <caption>図表3 設備仕様比較表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備区分</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="3">基本仕様</th> <th rowspan="2">設備番号</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">規格番号</th> <th rowspan="2">型式</th> <th colspan="3">適用</th> </tr> <tr> <th>容量</th> <th>寸法</th> <th>重量</th> <th>適用</th> <th>適用</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>64</td> <td>471.1</td> <td>0.2</td> <td>—</td> <td>炉内機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>64</td> <td>20.1</td> <td>0.2</td> <td>—</td> <td>炉内機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>64</td> <td>28.9</td> <td>0.2</td> <td>—</td> <td>炉内機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>64</td> <td>36.0</td> <td>0.3</td> <td>—</td> <td>炉内機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">炉外機器</td> <td>炉外機器</td> <td>64</td> <td>100.1</td> <td>0.4</td> <td>—</td> <td>炉外機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> <tr> <td>炉外機器</td> <td>64</td> <td>72.1</td> <td>0.3</td> <td>—</td> <td>炉外機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> <tr> <td>炉外機器</td> <td>64</td> <td>105.1</td> <td>0.4</td> <td>—</td> <td>炉外機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> <tr> <td>炉外機器</td> <td>64</td> <td>91.9</td> <td>0.4</td> <td>—</td> <td>炉外機器</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>適用</td> <td>適用</td> <td>適用</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1：基本仕様は図面に記載した通り、適用欄は基本仕様と異なる箇所を示す。適用欄は適用可能な機器の種類を示す。適用欄に「適用」とある場合は、適用可能な機器の種類を示す。適用欄に「適用」とある場合は、適用可能な機器の種類を示す。適用欄に「適用」とある場合は、適用可能な機器の種類を示す。</p>	設備区分	設備名称	基本仕様			設備番号	機器名称	規格番号	型式	適用			容量	寸法	重量	適用	適用	適用	炉内機器	炉内機器	64	471.1	0.2	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用	炉内機器	64	20.1	0.2	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用	炉内機器	64	28.9	0.2	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用	炉内機器	64	36.0	0.3	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用	炉外機器	炉外機器	64	100.1	0.4	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用	炉外機器	64	72.1	0.3	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用	炉外機器	64	105.1	0.4	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用	炉外機器	64	91.9	0.4	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備区分	設備名称			基本仕様							設備番号	機器名称	規格番号	型式	適用																																																																																																
		容量	寸法	重量	適用	適用	適用																																																																																																								
炉内機器	炉内機器	64	471.1	0.2	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				
	炉内機器	64	20.1	0.2	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				
	炉内機器	64	28.9	0.2	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				
	炉内機器	64	36.0	0.3	—	炉内機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				
炉外機器	炉外機器	64	100.1	0.4	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				
	炉外機器	64	72.1	0.3	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				
	炉外機器	64	105.1	0.4	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				
	炉外機器	64	91.9	0.4	—	炉外機器	—	—	適用	適用	適用																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
	<p>同機組目 沸騰水の取水 取水機主送機 弁一室弁 機本体 縦内流式機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> <th colspan="2">機組目</th> </tr> <tr> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> <th>機組目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目		機組目																																																																																					
機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目	機組目																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計者名： 清水本谷の資本 署名者名： 加藤一夫 署名： 藤内清太郎</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4">第1号炉機能</td> <td colspan="4">第2号炉機能</td> <td colspan="4">第3号炉機能</td> <td colspan="4">第4号炉機能</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> <td>緊急停止機能 (設計なし)</td> </tr> </table> </div>	第1号炉機能				第2号炉機能				第3号炉機能				第4号炉機能				緊急停止機能	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
第1号炉機能				第2号炉機能				第3号炉機能				第4号炉機能																																																							
緊急停止機能	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)																																																				
緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)																																																				
緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)	緊急停止機能 (設計なし)																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備概要</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> </tr> <tr> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> </tr> <tr> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> <td>電気機器</td> </tr> <tr> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> <td>制御装置</td> </tr> <tr> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> <td>安全装置</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：本表は、設備の仕様・構造・材質等に関する事項を記載する。設備の仕様・構造・材質等は、設計図書・仕様書・図面等に基づき記載する。</p> <p>注2：本表は、設備の仕様・構造・材質等に関する事項を記載する。設備の仕様・構造・材質等は、設計図書・仕様書・図面等に基づき記載する。</p> <p>注3：本表は、設備の仕様・構造・材質等に関する事項を記載する。設備の仕様・構造・材質等は、設計図書・仕様書・図面等に基づき記載する。</p> <p>注4：本表は、設備の仕様・構造・材質等に関する事項を記載する。設備の仕様・構造・材質等は、設計図書・仕様書・図面等に基づき記載する。</p> <p>注5：本表は、設備の仕様・構造・材質等に関する事項を記載する。設備の仕様・構造・材質等は、設計図書・仕様書・図面等に基づき記載する。</p>	設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要		設備概要																																																																																																																																			
設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称	設備種別	設備名称																																																																																																																																		
圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器																																																																																																																																		
配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管																																																																																																																																		
ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ																																																																																																																																		
弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁																																																																																																																																		
電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器	電気機器																																																																																																																																		
制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置	制御装置																																																																																																																																		
安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置	安全装置																																																																																																																																		
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他																																																																																																																																		

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																						
	<p style="text-align: center;">新子炉種別</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">機内停止機能</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">減圧制御ユニット</td> <td>減圧制御ユニット</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A駆込装置</td> <td>自動減圧装置</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A駆込装置</td> <td>手動減圧装置</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A駆込装置</td> <td>緊急減圧装置</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">新子炉種別</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">機内停止機能</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> <td>機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">減圧制御ユニット</td> <td>減圧制御ユニット</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> <td>減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A駆込装置</td> <td>自動減圧装置</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> <td>自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A駆込装置</td> <td>手動減圧装置</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> <td>手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A駆込装置</td> <td>緊急減圧装置</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> <td>緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	機内停止機能	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	○	○	○	○	○	○	○	減圧制御ユニット	減圧制御ユニット	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	○	○	○	○	○	○	○	A駆込装置	自動減圧装置	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	○	○	○	○	○	○	○	A駆込装置	手動減圧装置	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	○	○	○	○	○	○	○	A駆込装置	緊急減圧装置	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	○	○	○	○	○	○	○	機内停止機能	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	○	○	○	○	○	○	○	減圧制御ユニット	減圧制御ユニット	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	○	○	○	○	○	○	○	A駆込装置	自動減圧装置	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	○	○	○	○	○	○	○	A駆込装置	手動減圧装置	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	○	○	○	○	○	○	○	A駆込装置	緊急減圧装置	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機内停止機能	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]		機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]																																																																																																																																																	
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
減圧制御ユニット	減圧制御ユニット	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
A駆込装置	自動減圧装置	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
A駆込装置	手動減圧装置	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
A駆込装置	緊急減圧装置	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
機内停止機能	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]	機内停止機能 [MTR/SHUTDOWN]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
減圧制御ユニット	減圧制御ユニット	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]	減圧制御ユニット [REDUCING PRESSURE CONTROL]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
A駆込装置	自動減圧装置	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]	自動減圧装置 [AUTOMATIC REDUCING PRESSURE]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
A駆込装置	手動減圧装置	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]	手動減圧装置 [MANUAL REDUCING PRESSURE]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		
A駆込装置	緊急減圧装置	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]	緊急減圧装置 [EMERGENCY REDUCING PRESSURE]																																																																																																																																																		
	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																		

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 添付資料22)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目： 原子力の取次 原子力安全対策： 原子力安全 保安： 原子力安全 保安： 原子力安全</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原子力発電所</th> <th colspan="2">原子力発電所</th> <th colspan="2">原子力発電所</th> <th colspan="2">原子力発電所</th> <th colspan="2">原子力発電所</th> <th colspan="2">原子力発電所</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>適合性</th> <th>評価項目</th> <th>適合性</th> <th>評価項目</th> <th>適合性</th> <th>評価項目</th> <th>適合性</th> <th>評価項目</th> <th>適合性</th> <th>評価項目</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> <td>原子力発電所</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所		原子力発電所																																																																													
評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性	評価項目	適合性																																																																												
原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○																																																																												
原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○																																																																												
原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○																																																																												
原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○																																																																												
原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○	原子力発電所	○																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備区分</th> <th colspan="2">種別</th> <th colspan="2">品名</th> <th colspan="2">仕様</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備区分</th> <th>種別</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>設備区分</th> <th>種別</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>設備区分</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">炉内機器</td> <td rowspan="2">炉内機器</td> <td rowspan="2">炉内機器</td> <td rowspan="2">炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> </tr> <tr> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> <td>炉内機器</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分		種別		品名		仕様		備考		設備区分	種別	品名	仕様	設備区分	種別	品名	仕様	設備区分	種別	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備区分		種別		品名		仕様		備考																															
設備区分	種別	品名	仕様	設備区分	種別	品名	仕様	設備区分	種別																														
炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器																														
				炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器	炉内機器																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																														
	<p>計画機種： 沸騰水の発生</p> <p>加圧発生位置： 中・低圧ノゾ</p> <p>加圧機： 置内高小段</p> <table border="1" data-bbox="801 194 1003 1241"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設備形式機種</th> <th colspan="2">機器製造メーカー</th> <th colspan="2">機器製造国</th> <th colspan="2">機器製造年</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> </tr> <tr> <th colspan="2">HAIKUSU</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> </tr> <tr> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却システム</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>*</td> <td>設計方針</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> </tr> <tr> <td>加圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> </tr> <tr> <td>加圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> </tr> <tr> <td>加圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1070 252 1272 1241"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設備形式機種</th> <th colspan="2">機器製造メーカー</th> <th colspan="2">機器製造国</th> <th colspan="2">機器製造年</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> <th colspan="2">機器製造場所</th> </tr> <tr> <th colspan="2">HAIKUSU</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> </tr> <tr> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> <th colspan="2">O</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却システム</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>*</td> <td>設計方針</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> <td>沸騰水の発生</td> </tr> <tr> <td>加圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> </tr> <tr> <td>加圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> </tr> <tr> <td>加圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> <td>自働減圧機</td> <td>置内高小段</td> <td>A級</td> </tr> </tbody> </table>	設備形式機種	機器製造メーカー		機器製造国		機器製造年		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所		HAIKUSU		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		原子炉冷却システム	沸騰水の発生	*	設計方針	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	設備形式機種	機器製造メーカー		機器製造国		機器製造年		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所		HAIKUSU		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		O		原子炉冷却システム	沸騰水の発生	*	設計方針	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備形式機種	機器製造メーカー		機器製造国		機器製造年		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所																																																																																																																																																																																																				
	HAIKUSU		O		O		O		O		O		O																																																																																																																																																																																																				
	O		O		O		O		O		O		O																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却システム	沸騰水の発生	*	設計方針	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生																																																																																																																																																																																																			
加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級																																																																																																																																																																																																			
加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級																																																																																																																																																																																																			
加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級																																																																																																																																																																																																			
設備形式機種	機器製造メーカー		機器製造国		機器製造年		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所		機器製造場所																																																																																																																																																																																																				
	HAIKUSU		O		O		O		O		O		O																																																																																																																																																																																																				
	O		O		O		O		O		O		O																																																																																																																																																																																																				
原子炉冷却システム	沸騰水の発生	*	設計方針	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生	沸騰水の発生																																																																																																																																																																																																			
加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級																																																																																																																																																																																																			
加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級																																																																																																																																																																																																			
加圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級	自働減圧機	置内高小段	A級																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
	<p>評価項目： 沸騰水の取水 設計標準仕様： C-2F-4 設備名： 東西配水栓</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">異常停止機能</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注1)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注2)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注3)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注4)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注5)</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価結果</th> <th>評価項目</th> <th>評価結果</th> <th>評価項目</th> <th>評価結果</th> <th>評価項目</th> <th>評価結果</th> <th>評価項目</th> <th>評価結果</th> <th>評価項目</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沸騰水の取水</td> <td>○</td> <td>沸騰水の取水</td> <td>○</td> <td>沸騰水の取水</td> <td>○</td> <td>沸騰水の取水</td> <td>○</td> <td>沸騰水の取水</td> <td>○</td> <td>沸騰水の取水</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>異常停止機能</td> <td>○</td> <td>異常停止機能</td> <td>○</td> <td>異常停止機能</td> <td>○</td> <td>異常停止機能</td> <td>○</td> <td>異常停止機能</td> <td>○</td> <td>異常停止機能</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>異常停止機能 (注1)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注1)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注1)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注1)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注1)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注1)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>異常停止機能 (注2)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注2)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注2)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注2)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注2)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注2)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>異常停止機能 (注3)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注3)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注3)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注3)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注3)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注3)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>異常停止機能 (注4)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注4)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注4)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注4)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注4)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注4)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>異常停止機能 (注5)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注5)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注5)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注5)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注5)</td> <td>○</td> <td>異常停止機能 (注5)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	異常停止機能		異常停止機能 (注1)		異常停止機能 (注2)		異常停止機能 (注3)		異常停止機能 (注4)		異常停止機能 (注5)		評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
異常停止機能		異常停止機能 (注1)		異常停止機能 (注2)		異常停止機能 (注3)		異常停止機能 (注4)		異常停止機能 (注5)																																																																																																					
評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果	評価項目	評価結果																																																																																																				
沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○	沸騰水の取水	○																																																																																																				
異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○	異常停止機能	○																																																																																																				
異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○	異常停止機能 (注1)	○																																																																																																				
異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○	異常停止機能 (注2)	○																																																																																																				
異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○	異常停止機能 (注3)	○																																																																																																				
異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○	異常停止機能 (注4)	○																																																																																																				
異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○	異常停止機能 (注5)	○																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>貯留設備類 済大木の取水 溢水発生状態: ○-2号炉 設備名: 貯内取水槽</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">機器停止機能</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (EAST)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (EAST)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (EAST)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (EAST)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (EAST)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (EAST)</th> </tr> <tr> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> <th>機器停止機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御ユニット</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> <td>電力制御システム</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	機器停止機能		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧制御ユニット	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機器停止機能		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)		緊急停止機能 (EAST)																																																																																																							
機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能	機器停止機能																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																						
水圧制御ユニット	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム	電力制御システム																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備名称</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御用電源</td> <td>制御用電源</td> <td>14</td> <td>台</td> <td>制御用電源</td> <td>制御用電源</td> <td>14</td> <td>台</td> <td>制御用電源</td> <td>制御用電源</td> <td>14</td> <td>台</td> <td>制御用電源</td> <td>制御用電源</td> </tr> <tr> <td>保安電源</td> <td>保安電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>保安電源</td> <td>保安電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>保安電源</td> <td>保安電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>保安電源</td> <td>保安電源</td> </tr> <tr> <td>非常用電源</td> <td>非常用電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>非常用電源</td> <td>非常用電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>非常用電源</td> <td>非常用電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>非常用電源</td> <td>非常用電源</td> </tr> <tr> <td>緊急停止電源</td> <td>緊急停止電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>緊急停止電源</td> <td>緊急停止電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>緊急停止電源</td> <td>緊急停止電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>緊急停止電源</td> <td>緊急停止電源</td> </tr> <tr> <td>監視電源</td> <td>監視電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>監視電源</td> <td>監視電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>監視電源</td> <td>監視電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>監視電源</td> <td>監視電源</td> </tr> <tr> <td>照明電源</td> <td>照明電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>照明電源</td> <td>照明電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>照明電源</td> <td>照明電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>照明電源</td> <td>照明電源</td> </tr> <tr> <td>空調電源</td> <td>空調電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>空調電源</td> <td>空調電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>空調電源</td> <td>空調電源</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>空調電源</td> <td>空調電源</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>4</td> <td>台</td> <td>その他</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：本表は、設備仕様書に記載の仕様と、設備仕様書に記載の仕様とを比較した結果を示している。仕様書に記載の仕様と、設備仕様書に記載の仕様とを比較した結果を示している。</p>	設備概要		設備仕様		設備名称		設備仕様		設備名称		設備仕様		設備名称		設備種別	設備名称	仕様	単位	設備種別	設備名称	仕様	単位	設備種別	設備名称	仕様	単位	設備種別	設備名称	制御用電源	制御用電源	14	台	制御用電源	制御用電源	14	台	制御用電源	制御用電源	14	台	制御用電源	制御用電源	保安電源	保安電源	4	台	保安電源	保安電源	4	台	保安電源	保安電源	4	台	保安電源	保安電源	非常用電源	非常用電源	4	台	非常用電源	非常用電源	4	台	非常用電源	非常用電源	4	台	非常用電源	非常用電源	緊急停止電源	緊急停止電源	4	台	緊急停止電源	緊急停止電源	4	台	緊急停止電源	緊急停止電源	4	台	緊急停止電源	緊急停止電源	監視電源	監視電源	4	台	監視電源	監視電源	4	台	監視電源	監視電源	4	台	監視電源	監視電源	照明電源	照明電源	4	台	照明電源	照明電源	4	台	照明電源	照明電源	4	台	照明電源	照明電源	空調電源	空調電源	4	台	空調電源	空調電源	4	台	空調電源	空調電源	4	台	空調電源	空調電源	その他	その他	4	台	その他	その他	4	台	その他	その他	4	台	その他	その他		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備概要		設備仕様		設備名称		設備仕様		設備名称		設備仕様		設備名称																																																																																																																																			
設備種別	設備名称	仕様	単位	設備種別	設備名称	仕様	単位	設備種別	設備名称	仕様	単位	設備種別	設備名称																																																																																																																																		
制御用電源	制御用電源	14	台	制御用電源	制御用電源	14	台	制御用電源	制御用電源	14	台	制御用電源	制御用電源																																																																																																																																		
保安電源	保安電源	4	台	保安電源	保安電源	4	台	保安電源	保安電源	4	台	保安電源	保安電源																																																																																																																																		
非常用電源	非常用電源	4	台	非常用電源	非常用電源	4	台	非常用電源	非常用電源	4	台	非常用電源	非常用電源																																																																																																																																		
緊急停止電源	緊急停止電源	4	台	緊急停止電源	緊急停止電源	4	台	緊急停止電源	緊急停止電源	4	台	緊急停止電源	緊急停止電源																																																																																																																																		
監視電源	監視電源	4	台	監視電源	監視電源	4	台	監視電源	監視電源	4	台	監視電源	監視電源																																																																																																																																		
照明電源	照明電源	4	台	照明電源	照明電源	4	台	照明電源	照明電源	4	台	照明電源	照明電源																																																																																																																																		
空調電源	空調電源	4	台	空調電源	空調電源	4	台	空調電源	空調電源	4	台	空調電源	空調電源																																																																																																																																		
その他	その他	4	台	その他	その他	4	台	その他	その他	4	台	その他	その他																																																																																																																																		

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>新子炉設備 電力系統</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">設備形式</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> </tr> <tr> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> </tr> <tr> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> </tr> </table> <p>電力系統</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> <th colspan="2">電力系統</th> </tr> <tr> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> <th>電力系統</th> </tr> <tr> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> <td>電力系統</td> </tr> </table> </div>	設備形式	電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備形式	電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統																																																																				
	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統																																																																			
電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統																																																																			
電力系統	電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統		電力系統																																																																				
	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統																																																																			
電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統	電力系統																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
	<p>評価項目： 過大な放水 評価基準参照： C-7-2-4 備考欄： 置内放水機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止機能</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> <th colspan="2">異常事態発生時の対応</th> </tr> <tr> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> <th>設備名称</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> <td>水圧制御システム</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> <td>監視機能</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	緊急停止機能		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応		異常事態発生時の対応																																																																																							
設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能	設備名称	機能																																																																																						
緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○																																																																																				
水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○	水圧制御システム	○																																																																																		
監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○	監視機能	○																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> <th colspan="2">設計図書</th> </tr> <tr> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> <th>図面番号</th> <th>図面名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> <td>C-3P-1</td> <td>炉内圧力</td> </tr> <tr> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> <td>C-3P-2</td> <td>炉内温度</td> </tr> </tbody> </table> <p>凡例 ○：同等図書 ●：同等図書</p>	設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書		設計図書																																																																	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称																																																																
C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力	C-3P-1	炉内圧力																																																																
C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度	C-3P-2	炉内温度																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>計画種別 沸水式の熱水</p> <p>基本設計年度 C-27-5</p> <p>型名 沸水式炉</p> <hr/> <p>新炉種別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> <th colspan="2">新炉種別</th> </tr> <tr> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> <th>新炉種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別																																																																																																					
新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別		新炉種別																																																																																																					
新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別	新炉種別																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>図面番号 潤水水の取水 潤水ポンプ設置 C-1(F-4) 溢水防止 潤水ポンプ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">潤水ポンプ設置</th> <th colspan="2">潤水ポンプ設置</th> <th colspan="2">潤水ポンプ設置</th> <th colspan="2">潤水ポンプ設置</th> <th colspan="2">潤水ポンプ設置</th> <th colspan="2">潤水ポンプ設置</th> </tr> <tr> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潤水ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>潤水ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>潤水ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>潤水ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>潤水ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>潤水ポンプ</td> <td>ポンプ</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> </tr> </tbody> </table>	潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置		潤水ポンプ設置																																									
設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様																																								
潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ	潤水ポンプ	ポンプ																																								
ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>計画種別： 沸水型の軽水炉 炉水 発生装置： C-1F-1 炉本型： 閉回路式炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> <th colspan="2">炉本型</th> </tr> <tr> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> <th>炉本型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型		炉本型																																																																																															
炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型	炉本型																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																														

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">機内基本寸</th> </tr> <tr> <td>設備種別</td> <td>機内基本寸</td> <td colspan="2">C-1F-3</td> </tr> <tr> <td>設備名称</td> <td>機内基本寸</td> <td colspan="2"></td> </tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備位置 番号</th> <th rowspan="2">基本寸 (m)</th> <th rowspan="2">標準寸法 (m)</th> <th rowspan="2">基本寸位 置</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th colspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">C-2F-2</td> <td rowspan="8">14</td> <td rowspan="8">433.9</td> <td rowspan="8">0.1</td> <td rowspan="8">-</td> <td>025-0001</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>025-0002</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>025-0003</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>025-0004</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>025-0005</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>025-0006</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>025-0007</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>025-0008</td> <td>中央制御室監視カメラ(レンズ付)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：基本寸法は図面に示す寸法で、図面に示す寸法と異なる場合は、図面に示す寸法を優先して記載する。</p> <p>①：標準寸法は、図面に示す寸法を優先して記載する。</p> <p>②：標準寸法は、図面に示す寸法を優先して記載する。</p> <p>③：標準寸法は、図面に示す寸法を優先して記載する。</p>	設備概要		機内基本寸		設備種別	機内基本寸	C-1F-3		設備名称	機内基本寸			設備位置 番号	基本寸 (m)	標準寸法 (m)	基本寸位 置	機器番号	設備名称		備考	A	B	C	C-2F-2	14	433.9	0.1	-	025-0001	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0	025-0002	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0	025-0003	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0	025-0004	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0	025-0005	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0	025-0006	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0	025-0007	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0	025-0008	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備概要		機内基本寸																																																																					
設備種別	機内基本寸	C-1F-3																																																																					
設備名称	機内基本寸																																																																						
設備位置 番号	基本寸 (m)	標準寸法 (m)	基本寸位 置	機器番号	設備名称		備考																																																																
					A	B		C																																																															
C-2F-2	14	433.9	0.1	-	025-0001	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														
					025-0002	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														
					025-0003	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														
					025-0004	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														
					025-0005	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														
					025-0006	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														
					025-0007	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														
					025-0008	中央制御室監視カメラ(レンズ付)	0	0	0																																																														

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備名称</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>備考</th> <th>設備名称</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力容器</td> <td>PCV</td> <td>PCV-1000</td> <td>1000</td> <td>圧力容器</td> <td>PCV</td> <td>PCV-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>凝縮器</td> <td>COND</td> <td>COND-1000</td> <td>1000</td> <td>凝縮器</td> <td>COND</td> <td>COND-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>SG</td> <td>SG-1000</td> <td>1000</td> <td>蒸気発生器</td> <td>SG</td> <td>SG-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>減圧弁</td> <td>RV</td> <td>RV-1000</td> <td>1000</td> <td>減圧弁</td> <td>RV</td> <td>RV-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>安全弁</td> <td>SAF</td> <td>SAF-1000</td> <td>1000</td> <td>安全弁</td> <td>SAF</td> <td>SAF-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>圧力スイッチ</td> <td>PS</td> <td>PS-1000</td> <td>1000</td> <td>圧力スイッチ</td> <td>PS</td> <td>PS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>温度スイッチ</td> <td>TS</td> <td>TS-1000</td> <td>1000</td> <td>温度スイッチ</td> <td>TS</td> <td>TS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>流量スイッチ</td> <td>FS</td> <td>FS-1000</td> <td>1000</td> <td>流量スイッチ</td> <td>FS</td> <td>FS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>水位スイッチ</td> <td>LS</td> <td>LS-1000</td> <td>1000</td> <td>水位スイッチ</td> <td>LS</td> <td>LS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>差圧スイッチ</td> <td>DS</td> <td>DS-1000</td> <td>1000</td> <td>差圧スイッチ</td> <td>DS</td> <td>DS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>圧力トランスミッター</td> <td>PT</td> <td>PT-1000</td> <td>1000</td> <td>圧力トランスミッター</td> <td>PT</td> <td>PT-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>温度トランスミッター</td> <td>TT</td> <td>TT-1000</td> <td>1000</td> <td>温度トランスミッター</td> <td>TT</td> <td>TT-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>流量トランスミッター</td> <td>FT</td> <td>FT-1000</td> <td>1000</td> <td>流量トランスミッター</td> <td>FT</td> <td>FT-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>水位トランスミッター</td> <td>LT</td> <td>LT-1000</td> <td>1000</td> <td>水位トランスミッター</td> <td>LT</td> <td>LT-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>差圧トランスミッター</td> <td>DT</td> <td>DT-1000</td> <td>1000</td> <td>差圧トランスミッター</td> <td>DT</td> <td>DT-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>圧力センサー</td> <td>PS</td> <td>PS-1000</td> <td>1000</td> <td>圧力センサー</td> <td>PS</td> <td>PS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>温度センサー</td> <td>TS</td> <td>TS-1000</td> <td>1000</td> <td>温度センサー</td> <td>TS</td> <td>TS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>流量センサー</td> <td>FS</td> <td>FS-1000</td> <td>1000</td> <td>流量センサー</td> <td>FS</td> <td>FS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>水位センサー</td> <td>LS</td> <td>LS-1000</td> <td>1000</td> <td>水位センサー</td> <td>LS</td> <td>LS-1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>差圧センサー</td> <td>DS</td> <td>DS-1000</td> <td>1000</td> <td>差圧センサー</td> <td>DS</td> <td>DS-1000</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 備考：設備名称の相違は同一機器の異なる型式によるものであり、設計方針の相違によるものではない。 ①：設備名称が同一であるが、型式が異なる。これは、設計方針の相違によるものである。 ②：設備名称が異なるが、型式が同一である。これは、記載表現の相違によるものである。 ③：設備名称、型式、規格が同一である。これは、実質的な相違なしによるものである。 ④：設備名称、型式、規格が異なるが、実質的な相違なしによるものである。 </p> </div>	設備名称		型式		規格		備考		設備名称	型式	規格	備考	設備名称	型式	規格	備考	圧力容器	PCV	PCV-1000	1000	圧力容器	PCV	PCV-1000	1000	凝縮器	COND	COND-1000	1000	凝縮器	COND	COND-1000	1000	蒸気発生器	SG	SG-1000	1000	蒸気発生器	SG	SG-1000	1000	減圧弁	RV	RV-1000	1000	減圧弁	RV	RV-1000	1000	安全弁	SAF	SAF-1000	1000	安全弁	SAF	SAF-1000	1000	圧力スイッチ	PS	PS-1000	1000	圧力スイッチ	PS	PS-1000	1000	温度スイッチ	TS	TS-1000	1000	温度スイッチ	TS	TS-1000	1000	流量スイッチ	FS	FS-1000	1000	流量スイッチ	FS	FS-1000	1000	水位スイッチ	LS	LS-1000	1000	水位スイッチ	LS	LS-1000	1000	差圧スイッチ	DS	DS-1000	1000	差圧スイッチ	DS	DS-1000	1000	圧力トランスミッター	PT	PT-1000	1000	圧力トランスミッター	PT	PT-1000	1000	温度トランスミッター	TT	TT-1000	1000	温度トランスミッター	TT	TT-1000	1000	流量トランスミッター	FT	FT-1000	1000	流量トランスミッター	FT	FT-1000	1000	水位トランスミッター	LT	LT-1000	1000	水位トランスミッター	LT	LT-1000	1000	差圧トランスミッター	DT	DT-1000	1000	差圧トランスミッター	DT	DT-1000	1000	圧力センサー	PS	PS-1000	1000	圧力センサー	PS	PS-1000	1000	温度センサー	TS	TS-1000	1000	温度センサー	TS	TS-1000	1000	流量センサー	FS	FS-1000	1000	流量センサー	FS	FS-1000	1000	水位センサー	LS	LS-1000	1000	水位センサー	LS	LS-1000	1000	差圧センサー	DS	DS-1000	1000	差圧センサー	DS	DS-1000	1000		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備名称		型式		規格		備考																																																																																																																																																																													
設備名称	型式	規格	備考	設備名称	型式	規格	備考																																																																																																																																																																												
圧力容器	PCV	PCV-1000	1000	圧力容器	PCV	PCV-1000	1000																																																																																																																																																																												
凝縮器	COND	COND-1000	1000	凝縮器	COND	COND-1000	1000																																																																																																																																																																												
蒸気発生器	SG	SG-1000	1000	蒸気発生器	SG	SG-1000	1000																																																																																																																																																																												
減圧弁	RV	RV-1000	1000	減圧弁	RV	RV-1000	1000																																																																																																																																																																												
安全弁	SAF	SAF-1000	1000	安全弁	SAF	SAF-1000	1000																																																																																																																																																																												
圧力スイッチ	PS	PS-1000	1000	圧力スイッチ	PS	PS-1000	1000																																																																																																																																																																												
温度スイッチ	TS	TS-1000	1000	温度スイッチ	TS	TS-1000	1000																																																																																																																																																																												
流量スイッチ	FS	FS-1000	1000	流量スイッチ	FS	FS-1000	1000																																																																																																																																																																												
水位スイッチ	LS	LS-1000	1000	水位スイッチ	LS	LS-1000	1000																																																																																																																																																																												
差圧スイッチ	DS	DS-1000	1000	差圧スイッチ	DS	DS-1000	1000																																																																																																																																																																												
圧力トランスミッター	PT	PT-1000	1000	圧力トランスミッター	PT	PT-1000	1000																																																																																																																																																																												
温度トランスミッター	TT	TT-1000	1000	温度トランスミッター	TT	TT-1000	1000																																																																																																																																																																												
流量トランスミッター	FT	FT-1000	1000	流量トランスミッター	FT	FT-1000	1000																																																																																																																																																																												
水位トランスミッター	LT	LT-1000	1000	水位トランスミッター	LT	LT-1000	1000																																																																																																																																																																												
差圧トランスミッター	DT	DT-1000	1000	差圧トランスミッター	DT	DT-1000	1000																																																																																																																																																																												
圧力センサー	PS	PS-1000	1000	圧力センサー	PS	PS-1000	1000																																																																																																																																																																												
温度センサー	TS	TS-1000	1000	温度センサー	TS	TS-1000	1000																																																																																																																																																																												
流量センサー	FS	FS-1000	1000	流量センサー	FS	FS-1000	1000																																																																																																																																																																												
水位センサー	LS	LS-1000	1000	水位センサー	LS	LS-1000	1000																																																																																																																																																																												
差圧センサー	DS	DS-1000	1000	差圧センサー	DS	DS-1000	1000																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備位置</th> <th colspan="2">設備状態</th> <th colspan="2">設備番号</th> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備位置</th> <th colspan="2">設備状態</th> <th colspan="2">設備番号</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備仕様</th> <th>設備位置</th> <th>設備状態</th> <th>設備番号</th> <th>設備名称</th> <th>設備仕様</th> <th>設備位置</th> <th>設備状態</th> <th>設備番号</th> <th>設備名称</th> <th>設備仕様</th> <th>設備位置</th> <th>設備状態</th> <th>設備番号</th> <th>設備名称</th> <th>設備仕様</th> <th>設備位置</th> <th>設備状態</th> <th>設備番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> </tr> <tr> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> <td>圧入機</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：大阪発電所3号炉に設置されている機器は、女川原子力発電所2号炉に設置されている機器と同一である。ただし、機器の仕様や位置は、女川原子力発電所2号炉の仕様や位置と異なる場合があります。</p>	設備種別		設備名称		設備仕様		設備位置		設備状態		設備番号		設備名称		設備仕様		設備位置		設備状態		設備番号		設備種別	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		設備名称		設備仕様		設備位置		設備状態		設備番号		設備名称		設備仕様		設備位置		設備状態		設備番号																																																																						
設備種別	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号	設備名称	設備仕様	設備位置	設備状態	設備番号																																																																						
圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機																																																																					
圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機	圧入機																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB項目</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>DB項目</th> <th>項目</th> <th>DB項目</th> <th>項目</th> <th>DB項目</th> <th>項目</th> <th>DB項目</th> <th>項目</th> <th>DB項目</th> <th>項目</th> <th>DB項目</th> <th>項目</th> <th>DB項目</th> <th>項目</th> <th>DB項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> <td>設計方針</td> </tr> <tr> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> <td>記載箇所</td> </tr> <tr> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> <td>記載内容</td> </tr> <tr> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> <td>記載表現</td> </tr> <tr> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> <td>設備名称</td> </tr> <tr> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> <td>体制</td> </tr> <tr> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> <td>相違</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">備考：本表は、DB項目ごとに「○」で適合を示し、「△」で適合性が低い項目を示し、「×」で適合しない項目を示す。 A：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違） B：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし） C：運用又は体制の相違（設計方針の相違）</p>	DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目		DB項目																																																																																																																																																					
項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目	項目	DB項目																																																																																																																																																				
設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針	設計方針																																																																																																																																																				
記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所	記載箇所																																																																																																																																																				
記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容	記載内容																																																																																																																																																				
記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現	記載表現																																																																																																																																																				
設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称	設備名称																																																																																																																																																				
運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用																																																																																																																																																				
体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制	体制																																																																																																																																																				
相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違	相違																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>原子炉設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備停止機能</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注1)注2)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注3)注4)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注5)注6)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注7)注8)</th> <th colspan="2">異常停止機能 (注9)注10)</th> </tr> <tr> <th>ASDA and PWR/AsdPWR</th> <th>ASDA and PWR/AsdPWR (C)</th> <th>ASDA and PWR/AsdPWR</th> <th>ASDA and PWR/AsdPWR (C)</th> <th>異常停止機能 (注11)注12)</th> <th>異常停止機能 (注13)注14)</th> <th>異常停止機能 (注15)注16)</th> <th>異常停止機能 (注17)注18)</th> <th>異常停止機能 (注19)注20)</th> <th>異常停止機能 (注21)注22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> <td>注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)</td> </tr> </tbody> </table> </div>	設備停止機能	異常停止機能 (注1)注2)		異常停止機能 (注3)注4)		異常停止機能 (注5)注6)		異常停止機能 (注7)注8)		異常停止機能 (注9)注10)		ASDA and PWR/AsdPWR	ASDA and PWR/AsdPWR (C)	ASDA and PWR/AsdPWR	ASDA and PWR/AsdPWR (C)	異常停止機能 (注11)注12)	異常停止機能 (注13)注14)	異常停止機能 (注15)注16)	異常停止機能 (注17)注18)	異常停止機能 (注19)注20)	異常停止機能 (注21)注22)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備停止機能	異常停止機能 (注1)注2)		異常停止機能 (注3)注4)		異常停止機能 (注5)注6)		異常停止機能 (注7)注8)		異常停止機能 (注9)注10)																																						
	ASDA and PWR/AsdPWR	ASDA and PWR/AsdPWR (C)	ASDA and PWR/AsdPWR	ASDA and PWR/AsdPWR (C)	異常停止機能 (注11)注12)	異常停止機能 (注13)注14)	異常停止機能 (注15)注16)	異常停止機能 (注17)注18)	異常停止機能 (注19)注20)	異常停止機能 (注21)注22)																																					
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																					
注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)	注1)注2)注3)注4)注5)注6)注7)注8)注9)注10)注11)注12)注13)注14)注15)注16)注17)注18)注19)注20)注21)注22)																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
	<table border="1" data-bbox="705 183 1265 981"> <thead> <tr> <th colspan="3">機内寸法</th> <th colspan="3">機外寸法</th> <th colspan="3">重量</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機内長さ</td> <td>(mm)</td> <td>341</td> <td>機外長さ</td> <td>(mm)</td> <td>341</td> <td>機内重量</td> <td>(kg)</td> <td>8,273</td> </tr> <tr> <td>機内幅</td> <td>(mm)</td> <td>63.7</td> <td>機外幅</td> <td>(mm)</td> <td>63.7</td> <td>機外重量</td> <td>(kg)</td> <td>1,031</td> </tr> <tr> <td>機内高さ</td> <td>(mm)</td> <td>2.3</td> <td>機外高さ</td> <td>(mm)</td> <td>2.3</td> <td>機内重量</td> <td>(kg)</td> <td>1,041</td> </tr> <tr> <td>機外高さ</td> <td>(mm)</td> <td>-</td> <td>機外重量</td> <td>(kg)</td> <td>-</td> <td>機外重量</td> <td>(kg)</td> <td>1,041</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1198 590 1265 981"> 備考：機内寸法は機器の中心寸法であり、機外寸法は機器の外寸法である。 重量は、機器の重量であり、設置場所の重量は含まない。 機内重量は、機器の重量であり、設置場所の重量は含まない。 機外重量は、機器の重量であり、設置場所の重量は含まない。 機内重量と機外重量の差は、設置場所の重量である。 </p>	機内寸法			機外寸法			重量			項目	単位	値	項目	単位	値	項目	単位	値	機内長さ	(mm)	341	機外長さ	(mm)	341	機内重量	(kg)	8,273	機内幅	(mm)	63.7	機外幅	(mm)	63.7	機外重量	(kg)	1,031	機内高さ	(mm)	2.3	機外高さ	(mm)	2.3	機内重量	(kg)	1,041	機外高さ	(mm)	-	機外重量	(kg)	-	機外重量	(kg)	1,041		<p data-bbox="1877 183 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 231">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2116 295">プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機内寸法			機外寸法			重量																																																			
項目	単位	値	項目	単位	値	項目	単位	値																																																	
機内長さ	(mm)	341	機外長さ	(mm)	341	機内重量	(kg)	8,273																																																	
機内幅	(mm)	63.7	機外幅	(mm)	63.7	機外重量	(kg)	1,031																																																	
機内高さ	(mm)	2.3	機外高さ	(mm)	2.3	機内重量	(kg)	1,041																																																	
機外高さ	(mm)	-	機外重量	(kg)	-	機外重量	(kg)	1,041																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>新設機種： 沸水式の熱水 炉本体形式区分： B炉-1号炉 炉形式： 沸水式炉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">新設機種</th> <th colspan="2">炉本体形式区分</th> <th colspan="2">炉形式</th> <th colspan="2">新設機種</th> <th colspan="2">炉本体形式区分</th> <th colspan="2">炉形式</th> <th colspan="2">新設機種</th> <th colspan="2">炉本体形式区分</th> <th colspan="2">炉形式</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> <th>設備</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> </tr> <tr> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> <td>○</td> <td>炉内圧力調整</td> </tr> </tbody> </table> </div>	新設機種		炉本体形式区分		炉形式		新設機種		炉本体形式区分		炉形式		新設機種		炉本体形式区分		炉形式		設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
新設機種		炉本体形式区分		炉形式		新設機種		炉本体形式区分		炉形式		新設機種		炉本体形式区分		炉形式																																																													
設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様	設備	仕様																																																												
炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整																																																											
炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整	○	炉内圧力調整																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料22）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">防振区画への洪水流入防止</p> </div>	防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁																													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫																												
防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">緊急停止機能</th> <th colspan="2">異常検出機能</th> <th colspan="2">異常検出機能</th> <th colspan="2">異常検出機能</th> <th colspan="2">異常検出機能</th> </tr> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>緊急停止機能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>異常検出機能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> <td>異常検出機能</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>	緊急停止機能		異常検出機能		異常検出機能		異常検出機能		異常検出機能		緊急停止機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	緊急停止機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能		異常検出機能		異常検出機能		異常検出機能		異常検出機能																																																																	
緊急停止機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																
緊急停止機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																
異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能	異常検出機能																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>調査種別： 基本水の取水 調査実施箇所： 5号炉2号 調査種別： 管内漏水検査</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="3">調査項目</th> <th colspan="2">調査実施状況</th> <th colspan="2">調査実施結果</th> <th colspan="2">調査実施理由</th> <th colspan="2">調査実施結果</th> <th colspan="2">調査実施結果</th> </tr> <tr> <th colspan="2">調査実施状況</th> <th colspan="2">調査実施結果</th> <th colspan="2">調査実施理由</th> <th colspan="2">調査実施結果</th> <th colspan="2">調査実施結果</th> </tr> <tr> <th>調査実施状況</th> <th>調査実施結果</th> <th>調査実施理由</th> <th>調査実施結果</th> <th>調査実施理由</th> <th>調査実施結果</th> <th>調査実施理由</th> <th>調査実施結果</th> <th>調査実施理由</th> <th>調査実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査項目</td> <td>調査実施状況</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> </tr> <tr> <td>調査項目</td> <td>調査実施状況</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> <td>調査実施理由</td> <td>調査実施結果</td> </tr> </tbody> </table> </div>	調査項目		調査実施状況		調査実施結果		調査実施理由		調査実施結果		調査実施結果		調査実施状況		調査実施結果		調査実施理由		調査実施結果		調査実施結果		調査実施状況	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査項目	調査実施状況	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査項目	調査実施状況	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果		<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
調査項目				調査実施状況		調査実施結果		調査実施理由		調査実施結果		調査実施結果																																													
				調査実施状況		調査実施結果		調査実施理由		調査実施結果		調査実施結果																																													
		調査実施状況	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果																																														
調査項目	調査実施状況	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果																																															
調査項目	調査実施状況	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果	調査実施理由	調査実施結果																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">防濁区画</td> <td colspan="2">防濁区画</td> </tr> <tr> <td>防濁区画番号</td> <td>防濁区画名称</td> <td>防濁区画番号</td> <td>防濁区画名称</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">防濁区画への雨水流入無し</p> </div>	防濁区画		防濁区画		防濁区画番号	防濁区画名称	防濁区画番号	防濁区画名称						<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
防濁区画		防濁区画													
防濁区画番号	防濁区画名称	防濁区画番号	防濁区画名称												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内設備</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉心</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">燃料</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">燃料</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">燃料</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">燃料</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">燃料</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">冷却</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">冷却</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">冷却</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">冷却</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">冷却</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">圧力</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">圧力</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">圧力</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">圧力</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">制御</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">制御</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">制御</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">制御</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">制御</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">その他</td> </tr> </table> </div>	原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		炉内設備		炉内設備		炉内設備		炉内設備		炉内設備		炉心		炉心		炉心		炉心		炉心		燃料		燃料		燃料		燃料		燃料		冷却		冷却		冷却		冷却		冷却		圧力		圧力		圧力		圧力		圧力		制御		制御		制御		制御		制御		その他		その他		その他		その他		その他			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備																																																																											
炉内設備		炉内設備		炉内設備		炉内設備		炉内設備																																																																											
炉心		炉心		炉心		炉心		炉心																																																																											
燃料		燃料		燃料		燃料		燃料																																																																											
冷却		冷却		冷却		冷却		冷却																																																																											
圧力		圧力		圧力		圧力		圧力																																																																											
制御		制御		制御		制御		制御																																																																											
その他		その他		その他		その他		その他																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.4.3-1</p> <p>地震時の溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>原子炉周辺建屋、制御建屋における溢水源となりうる機器及び耐震クラスは以下のとおり。</p>	<p>添付資料 27</p> <p>地震に起因する溢水源リスト</p> <p>流体を内包する機器(配管、容器等)のうち、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されない機器(耐震重要度B、Cクラス機器)について、溢水を想定する。</p> <p>ただし、B、Cクラス機器であっても、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものについては、溢水を考慮しない。</p> <p>地震時の溢水を考慮する系統について、表1に示す。また、地震時に溢水を考慮する機器(容器等)について、表2~6に示す。</p>	<p>添付資料 23</p> <p>地震に起因する溢水源リスト</p> <p>流体を内包する機器（配管、容器等）のうち、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されない機器（耐震重要度B、Cクラス機器）について、溢水を想定する。</p> <p>ただし、B、Cクラス機器であっても、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものについては、溢水を考慮しない。</p> <p>地震時の溢水を考慮する系統について、表1に示す。また、地震時に溢水を考慮する機器（容器等）について、表2~5に示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料23）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
4号炉 原子炉 周辺 建屋	E.L.+42.0m	4号原子炉補機冷却水サージタンク 配管	耐震S クラスの機器	耐震B、C クラスの機器	表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(2/5)	軽油 タンク エリア	軽油 タンク エリア	表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(2/6)	軽油 ポンプ 建屋	軽油 ポンプ 建屋	【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の違いによる、系統名、建屋、評価結果の相違 ・泊では、運用により溢水を想定しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより溢水を想定しない機器がある。（伊方と同様。詳細は添付資料9を参照） 記載表現の相違 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映	【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計の違いによる、系統名、建屋、評価結果の相違 ・泊では、運用により溢水を想定しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより溢水を想定しない機器がある。（伊方と同様。詳細は添付資料9を参照） 記載表現の相違 【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映		
	E.L.+39.0m	4号樹脂タンク 配管				復水貯蔵 タンク エリア	復水貯蔵 タンク エリア		電気 建屋	電気 建屋				
	E.L.+33.6m	4号使用済燃料ピット 配管				海水 ポンプ室	海水 ポンプ室		出入管理建屋 管理	出入管理建屋 非管理				
	E.L.+26.0m	4号冷却材流床式脱塩塔					補助ボイ ラー建屋		補助ボイ ラー建屋	タービ ン建屋			タービ ン建屋	
		4号冷却材備イオン脱塩塔					タービン建屋 管理		タービン建屋 非管理	ディーゼ ル発電機 建屋			ディーゼ ル発電機 建屋	
		4号冷却材脱塩塔入口フィルタ					制御 建屋		制御 建屋	原子炉補助 建屋			原子炉補助 建屋	
		4号冷却材フィルタ					原子炉建屋 付属棟 管理		原子炉建屋 付属棟 非管理	原子炉建屋 管理			原子炉建屋 非管理	
		4号封水注入フィルタ					原子炉建屋 付属棟 管理		原子炉建屋 付属棟 非管理	原子炉建屋 管理			原子炉建屋 非管理	
	E.L.+18.5m	4号使用済燃料ピット脱塩器					*○：系統全体として耐震裕度が確保されていることから溢水を想定せず、*□：系統の一部範囲について耐震裕度を確保及び適用により溢水を想定せず、*△：耐震裕度が確保されていない一部の範囲における溢水を想定、*×：溢水を想定、*－：溢水を想定せず。		原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号使用済燃料ピットフィルタ							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号プローダウタンク							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号格納容器冷却ユニット							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号復水ピット 配管							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
	E.L.+17.1m	4号燃料取扱替用水ピット 配管							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号封水冷却器							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号体積制御タンク							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号1次系東置タンク							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号ほう酸補給タンク							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
	E.L.+10.0m	4号非再生冷却器							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
		4号燃料取扱替用水ポンプ							原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理			原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理
4号プローダウタンク					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
4号安全補機冷却ユニット					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
4号よう酸貯蔵タンク					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
4号燃料取扱替用水ポンプ					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
4号使用済燃料ピット冷却器					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
4号ほう酸タンク					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
4号格納容器スプレイ冷却器					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
4号熱除去冷却器					原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理		原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理					
E.L.+3.5m	4号ほう酸フィルタ				原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理						
	4号シリンドラ冷却水タンク				原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理						
	4号燃料冷却水タンク				原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理						
	4号燃料冷却水冷却器				原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理						
	4号清水加熱器				原子炉建屋 付属棟 管理	原子炉建屋 付属棟 非管理	原子炉建屋 管理	原子炉建屋 非管理						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(3/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">耐震クラス (代表)</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th rowspan="2">原子炉建屋 付属棟</th> <th rowspan="2">原子炉建屋 行廊棟 (廃棄物処理エリア)</th> <th rowspan="2">制御棟</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">補助ボイラー建屋</th> <th rowspan="2">海水ポンプ室</th> <th rowspan="2">海水貯蔵タンク</th> <th rowspan="2">軽油タンク</th> <th rowspan="2">軽油タンク エリア</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>タービン補助蒸気系</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>タービン発電機密封油系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>固定子巻線冷却水系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>蒸気系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>純水補給水系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>復水補給水系</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ろ過水系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>燃料プール補給水系</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>炉冷却水系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>換気空調補機常用冷却水系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>換気空調補機非常用冷却水系</td><td>S</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>原子炉建屋冷却水系</td><td>S, C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>タービン補機冷却水系</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系</td><td>S</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				系統	耐震クラス (代表)	原子炉建屋		原子炉建屋 付属棟	原子炉建屋 行廊棟 (廃棄物処理エリア)	制御棟	タービン建屋		補助ボイラー建屋	海水ポンプ室	海水貯蔵タンク	軽油タンク	軽油タンク エリア	管理	非管理	管理	非管理	タービン補助蒸気系	B													タービン発電機密封油系	C													固定子巻線冷却水系	C													蒸気系	C													純水補給水系	C													復水補給水系	B													ろ過水系	C													燃料プール補給水系	B													炉冷却水系	C													換気空調補機常用冷却水系	C													換気空調補機非常用冷却水系	S													原子炉建屋冷却水系	S, C													タービン補機冷却水系	C													原子炉補機冷却水系	S													<p>表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">耐震クラス (代表)</th> <th rowspan="2">原子炉建屋</th> <th rowspan="2">原子炉建屋 付属棟</th> <th rowspan="2">原子炉建屋 行廊棟 (廃棄物処理エリア)</th> <th rowspan="2">制御棟</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">補助ボイラー建屋</th> <th rowspan="2">海水ポンプ室</th> <th rowspan="2">海水貯蔵タンク</th> <th rowspan="2">軽油タンク</th> <th rowspan="2">軽油タンク エリア</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>非管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ドレン系統 (機器及び床ドレン)</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>原子炉補給水系統 (脱塩水)</td><td>S, C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>原子炉補給水系統 (純水)</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>補助蒸気系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>水消火系統</td><td>S, C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地下水排水系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>飲料水系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>海水溶解装置海水供給・注入系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				系統	耐震クラス (代表)	原子炉建屋	原子炉建屋 付属棟	原子炉建屋 行廊棟 (廃棄物処理エリア)	制御棟	タービン建屋		補助ボイラー建屋	海水ポンプ室	海水貯蔵タンク	軽油タンク	軽油タンク エリア	管理	非管理	ドレン系統 (機器及び床ドレン)	C													原子炉補給水系統 (脱塩水)	S, C													原子炉補給水系統 (純水)	C													補助蒸気系統	C													水消火系統	S, C													地下水排水系統	C													飲料水系統	C													海水溶解装置海水供給・注入系統	C													<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設計の違いによる、系統名、建屋、評価結果の相違 ・泊では、運用により溢水を想定しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより溢水を想定しない機器がある。(伊方と同様。詳細は添付資料9を参照) <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p>
系統	耐震クラス (代表)	原子炉建屋				原子炉建屋 付属棟	原子炉建屋 行廊棟 (廃棄物処理エリア)				制御棟	タービン建屋						補助ボイラー建屋	海水ポンプ室	海水貯蔵タンク	軽油タンク	軽油タンク エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		管理	非管理	管理	非管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
タービン補助蒸気系	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
タービン発電機密封油系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
固定子巻線冷却水系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
蒸気系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
純水補給水系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
復水補給水系	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ろ過水系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料プール補給水系	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
炉冷却水系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調補機常用冷却水系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調補機非常用冷却水系	S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
原子炉建屋冷却水系	S, C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
タービン補機冷却水系	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
原子炉補機冷却水系	S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
系統	耐震クラス (代表)	原子炉建屋	原子炉建屋 付属棟	原子炉建屋 行廊棟 (廃棄物処理エリア)	制御棟	タービン建屋		補助ボイラー建屋	海水ポンプ室	海水貯蔵タンク	軽油タンク	軽油タンク エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						管理	非管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ドレン系統 (機器及び床ドレン)	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
原子炉補給水系統 (脱塩水)	S, C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
原子炉補給水系統 (純水)	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
補助蒸気系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
水消火系統	S, C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
地下水排水系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
飲料水系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
海水溶解装置海水供給・注入系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>○ 基準地震動Ssによる地震力に対して、耐震性を確保するもの。</p> <p>● 溢水源（使用済燃料ピットはスロッシングによるもの。）</p> <p>※ 配管の対象となるB、Cクラスの系統は以下のとおり。 補助給水系、補助蒸気系、原子炉補機冷却系、化学体積制御系、冷水系、1次系浄水系、1次系放射性ドレン系（機器ドレン）、1次系放射性ドレン系（床ドレン）消火水系、主蒸気・主給水系、1次系補給水系、燃料取替用水系、燃料ピット冷却浄化系、蒸気発生器ブローダウン系、安全注入系、1次系試料採取系、液体廃棄物処理系</p>				<p>“○”：系統全体として耐震裕度が確保されていることから溢水を想定せず、“□”：系統の一部範囲について耐震裕度を確保及び運用により溢水を想定せず、“△”：耐震裕度が確保されていない一部の範囲における溢水を想定。“×”：溢水を想定。“-”：Sクラスの機器を想定せず。</p>				<p>“○”：系統全体として耐震裕度が確保されていることから溢水を想定せず、“□”：系統の一部範囲について耐震裕度を確保及び運用により溢水を想定せず、“△”：耐震裕度が確保されていない一部の範囲における溢水を想定。“×”：溢水を想定。“-”：Sクラスの機器を想定せず。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<p>表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(4/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="3">補助ボイラー建屋</th> <th rowspan="3">海水ポンプ室</th> <th rowspan="3">復旧時機タンクエリア</th> <th rowspan="3">駆動タンクエリア</th> </tr> <tr> <th>原子炉棟</th> <th>付属棟</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> </tr> <tr> <th>△</th> <th>△</th> <th>○</th> <th>○</th> <th>○</th> <th>○</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>タービン補機冷却海水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>補助ボイラー給水系統</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>補助ボイラー循環系統</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>補助ボイラー冷却系統</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>加熱蒸気及び復水戻り系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>所内温水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備冷却水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>“○”：系統全体として耐震裕度が確保されていることから溢水を想定せず，“△”：系統の一部範囲について耐震裕度を確保及び運用により溢水を想定せず，“△”：耐震裕度が確保されていない一部の範囲における溢水を想定，“×”：溢水を想定，“-”：Sクラスの溢水を想定せず</p>	系統	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）		タービン建屋		補助ボイラー建屋	海水ポンプ室	復旧時機タンクエリア	駆動タンクエリア	原子炉棟	付属棟	管理	非管理	管理	非管理	△	△	○	○	○	○	タービン補機冷却海水系											高圧炉心スプレイ補機冷却水系											高圧炉心スプレイ補機冷却海水系											補助ボイラー給水系統											補助ボイラー循環系統											補助ボイラー冷却系統											加熱蒸気及び復水戻り系											所内温水系											非常用ディーゼル発電設備											高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系											非常用ディーゼル発電設備冷却水系											高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系											高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系											<p>表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(4/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th rowspan="3">耐震クラス（代表）</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉補助建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="3">電気建屋</th> <th rowspan="3">新設水ポンプ建屋</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> </tr> <tr> <th>△</th> <th>△</th> <th>○</th> <th>○</th> <th>○</th> <th>○</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>空調用冷水系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>セメント固化装置系統</td><td>B, C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機冷却系統</td><td>S</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機潤滑油系統</td><td>S</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機燃料油系統</td><td>S</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>廃水系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>循環水系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>軸受冷却系統</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>“○”：系統全体として耐震裕度が確保されていることから溢水を想定せず，“△”：系統の一部範囲について耐震裕度を確保及び運用により溢水を想定せず，“△”：耐震裕度が確保されていない一部の範囲における溢水を想定，“×”：溢水を想定，“-”：Sクラスの溢水を想定せず</p>	系統	耐震クラス（代表）	原子炉建屋		原子炉補助建屋		タービン建屋		電気建屋	新設水ポンプ建屋	管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理	△	△	○	○	○	○	空調用冷水系統	C									セメント固化装置系統	B, C									ディーゼル発電機冷却系統	S									ディーゼル発電機潤滑油系統	S									ディーゼル発電機燃料油系統	S									廃水系統	C									循環水系統	C									軸受冷却系統	C									<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設計の違いによる、系統名、建屋、評価結果の相違 ・泊では、運用により溢水を想定しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより溢水を想定しない機器がある。（伊方と同様。詳細は添付資料9を参照） <p><u>記載表現の相違</u></p>
系統	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）		タービン建屋		補助ボイラー建屋	海水ポンプ室					復旧時機タンクエリア	駆動タンクエリア																																																																																																																																																																																																																																																																	
	原子炉棟		付属棟	管理	非管理	管理									非管理																																																																																																																																																																																																																																																																
	△	△	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																									
タービン補機冷却海水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
高圧炉心スプレイ補機冷却水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
高圧炉心スプレイ補機冷却海水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助ボイラー給水系統																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助ボイラー循環系統																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助ボイラー冷却系統																																																																																																																																																																																																																																																																															
加熱蒸気及び復水戻り系																																																																																																																																																																																																																																																																															
所内温水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
非常用ディーゼル発電設備																																																																																																																																																																																																																																																																															
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
非常用ディーゼル発電設備冷却水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却水系																																																																																																																																																																																																																																																																															
系統	耐震クラス（代表）	原子炉建屋		原子炉補助建屋		タービン建屋		電気建屋	新設水ポンプ建屋																																																																																																																																																																																																																																																																						
		管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理																																																																																																																																																																																																																																																																								
		△	△	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																								
空調用冷水系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																														
セメント固化装置系統	B, C																																																																																																																																																																																																																																																																														
ディーゼル発電機冷却系統	S																																																																																																																																																																																																																																																																														
ディーゼル発電機潤滑油系統	S																																																																																																																																																																																																																																																																														
ディーゼル発電機燃料油系統	S																																																																																																																																																																																																																																																																														
廃水系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																														
循環水系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																														
軸受冷却系統	C																																																																																																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																				
	<p>表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(5/5)</p> <table border="1" data-bbox="705 223 1041 1133"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">前階クラス (代表) ④</th> <th colspan="2">原子炉棟</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉補給 建屋</th> <th colspan="2">制御 建屋</th> <th colspan="2">機器/エリア</th> </tr> <tr> <th>付帯棟</th> <th>管理棟</th> <th>付帯棟</th> <th>管理棟</th> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> <th>タービン建屋</th> <th>タービン/非管理棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備</td> <td>S, C</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレッドライクアディーゼル発電設備</td> <td>S, C</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備</td> <td>S</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレッドライクアディーゼル発電設備</td> <td>S</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>S</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非放射性ドレン移送系</td> <td>C</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 溢水源として想定する系統は原子炉建屋の階層クラス ※2 炉心設備であり炉内用水なし ※3 前階クラスがS以外の箇所について溢水を想定 ※4 CRD自動交換機制御室ファンユニット及びP1及びP2 L/T室ファンユニットは、系統運用を停止し、隔離（水抜き）することによって溢水を想定せず。また、隔離（水抜き）以外の範囲は、前階クラスを確保することから溢水を想定せず。 ※5 脱衣エアリアファンユニット、下見エアリアファンユニット、女性更衣室エアリアファンユニット、女性更衣室ユニット及び女性相用更衣室ユニットは、系統運用を停止し、隔離（水抜き）することによって溢水を想定せず。また、隔離（水抜き）以外の範囲は、前階クラスを確保することから溢水を想定せず。 ※6 原子炉補給機冷却水系防食剤添加タンク(A)及び原子炉補給機冷却水系防食剤添加タンク(B)の溢水を想定 ※7 高圧炉心スプレッドライクアディーゼル発電設備の溢水を想定 ※8 炉内用水系防食剤添加タンクの溢水を想定</p>	系統	前階クラス (代表) ④	原子炉棟		原子炉建屋		原子炉補給 建屋		制御 建屋		機器/エリア		付帯棟	管理棟	付帯棟	管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	タービン建屋	タービン/非管理棟	非常用ディーゼル発電設備	S, C	-	○									高圧炉心スプレッドライクアディーゼル発電設備	S, C		○									非常用ディーゼル発電設備	S		-									高圧炉心スプレッドライクアディーゼル発電設備	S		-									可燃性ガス濃度制御系	S		-									非放射性ドレン移送系	C	○	○									炉内用水系	C											<p>表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(5/6)</p> <table border="1" data-bbox="1294 223 1854 1133"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">前階クラス (代表) ④</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉補給 建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th colspan="2">出入管理建屋</th> <th colspan="2">電気</th> <th colspan="2">新設水 ポンプ</th> </tr> <tr> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> <th>管理棟</th> <th>非管理棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東液注入装置系統</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内用水系統</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>海水ストレーナ排水系統</td> <td>S</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>海水浄化設備系統</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>脱液蒸気装置系統(洗浄液水装置含む)</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水処理設備系統</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン動主給水ポンプ抽系統</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スチームコンバータ系統</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 系統全体として前階クラスが確保されていることから溢水を想定せず。"○"：系統の一部範囲について前階クラスを確保することから溢水を想定せず。"△"：前階クラスが確保されていない一部範囲における溢水を想定。"×"：溢水を想定。"●"：溢水を想定。"□"：系統全体として前階クラスが確保されていることから溢水を想定せず。"○"：系統の一部範囲について前階クラスを確保することから溢水を想定せず。"△"：前階クラスが確保されていない一部範囲における溢水を想定。"×"：溢水を想定。"●"：溢水を想定。"□"：系統全体として前階クラスが確保されていることから溢水を想定せず。</p>	系統	前階クラス (代表) ④	原子炉建屋		原子炉補給 建屋		タービン建屋		出入管理建屋		電気		新設水 ポンプ		管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	東液注入装置系統	C													炉内用水系統	C													海水ストレーナ排水系統	S													海水浄化設備系統	C													脱液蒸気装置系統(洗浄液水装置含む)	C													排水処理設備系統	C													タービン動主給水ポンプ抽系統	C													スチームコンバータ系統	C													<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の違いによる、系統名、建屋、評価結果の相違 ・泊では、運用により溢水を想定しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより溢水を想定しない機器がある。(伊方と同様。詳細は添付資料9を参照) <u>記載表現の相違</u></p>
系統	前階クラス (代表) ④			原子炉棟		原子炉建屋		原子炉補給 建屋		制御 建屋		機器/エリア																																																																																																																																																																																																																																											
		付帯棟	管理棟	付帯棟	管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	タービン建屋	タービン/非管理棟																																																																																																																																																																																																																																												
非常用ディーゼル発電設備	S, C	-	○																																																																																																																																																																																																																																																				
高圧炉心スプレッドライクアディーゼル発電設備	S, C		○																																																																																																																																																																																																																																																				
非常用ディーゼル発電設備	S		-																																																																																																																																																																																																																																																				
高圧炉心スプレッドライクアディーゼル発電設備	S		-																																																																																																																																																																																																																																																				
可燃性ガス濃度制御系	S		-																																																																																																																																																																																																																																																				
非放射性ドレン移送系	C	○	○																																																																																																																																																																																																																																																				
炉内用水系	C																																																																																																																																																																																																																																																						
系統	前階クラス (代表) ④	原子炉建屋		原子炉補給 建屋		タービン建屋		出入管理建屋		電気		新設水 ポンプ																																																																																																																																																																																																																																											
		管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟	管理棟	非管理棟																																																																																																																																																																																																																																										
東液注入装置系統	C																																																																																																																																																																																																																																																						
炉内用水系統	C																																																																																																																																																																																																																																																						
海水ストレーナ排水系統	S																																																																																																																																																																																																																																																						
海水浄化設備系統	C																																																																																																																																																																																																																																																						
脱液蒸気装置系統(洗浄液水装置含む)	C																																																																																																																																																																																																																																																						
排水処理設備系統	C																																																																																																																																																																																																																																																						
タービン動主給水ポンプ抽系統	C																																																																																																																																																																																																																																																						
スチームコンバータ系統	C																																																																																																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p>表1 溢水源として想定する系統（地震起因による破損）(6/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">耐震クラス(代表)</th> <th colspan="4">原子力建屋</th> <th colspan="4">原子力補助建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th colspan="2">出入管理建屋</th> <th rowspan="2">電気建屋</th> <th rowspan="2">循環水ポンプ建屋</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> <th>管理</th> <th>非管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水・蒸気・油系</td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>高圧ドレンシステム</td> <td>C</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>X</td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>タービングラント蒸気系統</td> <td>C</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>X</td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>タービン発電機系統</td> <td>C</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>X</td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p>“○”：系統全体として耐震強度が確保されていることから溢水を想定せず。“□”：系統の一部範囲について耐震強度を確保及び一部範囲内設置による溢水を想定せず。“△”：耐震強度が確保されていない一部範囲における溢水を想定。“X”：溢水を想定。“-”：溢水を想定せず。</p> <p>※1 溢水源として想定する系統主配管部の耐震クラス</p>	系統	耐震クラス(代表)	原子力建屋				原子力補助建屋				タービン建屋		出入管理建屋		電気建屋	循環水ポンプ建屋	管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理	水・蒸気・油系																高圧ドレンシステム	C									X						タービングラント蒸気系統	C									X						タービン発電機系統	C									X						<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設計の違いによる、系統名、建屋、評価結果の相違 ・泊では、運用により溢水を想定しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより溢水を想定しない機器がある。(伊方と同様。詳細は添付資料9を参照) <p><u>記載表現の相違</u></p>
系統	耐震クラス(代表)	原子力建屋				原子力補助建屋				タービン建屋		出入管理建屋		電気建屋	循環水ポンプ建屋																																																																														
		管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理	管理	非管理																																																																																		
水・蒸気・油系																																																																																													
高圧ドレンシステム	C									X																																																																																			
タービングラント蒸気系統	C									X																																																																																			
タービン発電機系統	C									X																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<p>表2 原子炉建屋原子炉棟及び付属棟における地震時の溢水を考慮する機器</p> <table border="1" data-bbox="712 260 1256 699"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)^{※1}</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>CRD自動交換機制御室 ファンコイルユニット (V10-D122)</td> <td>R-1F-7</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>ISI及びPCV L/T室 ファンコイルユニット (V10-D121)</td> <td>R-1F-7</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>原子炉補機冷却水系 防食剤添加タンク(A) (P42-A002A)</td> <td>R-B3F-11</td> <td>○</td> <td>1 (0.2)</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 防食剤添加タンク(B) (P42-A002B)</td> <td>R-B3F-14</td> <td>○</td> <td>1 (0.2)</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機 冷却水系防食剤添加 タンク(P47-A002)</td> <td>R-B3F-13</td> <td>○</td> <td>1 (0.05)</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>所内温水系防食剤添加 タンク (P64-A002)</td> <td>R-1F-17</td> <td>-</td> <td>1 (0.05)</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ()内は設計上の機器の保有水量 ※2 プラント運転中及び停止中において系統運用を停止し、隔離(水抜き)するため溢水を考慮しない</p>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³) ^{※1}	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	原子炉建屋 原子炉棟	1F	CRD自動交換機制御室 ファンコイルユニット (V10-D122)	R-1F-7	-	0 ^{※2}	内	ISI及びPCV L/T室 ファンコイルユニット (V10-D121)	R-1F-7	-	0 ^{※2}	内	原子炉建屋 付属棟	B3F	原子炉補機冷却水系 防食剤添加タンク(A) (P42-A002A)	R-B3F-11	○	1 (0.2)	外	原子炉補機冷却水系 防食剤添加タンク(B) (P42-A002B)	R-B3F-14	○	1 (0.2)	外	高圧炉心スプレイ補機 冷却水系防食剤添加 タンク(P47-A002)	R-B3F-13	○	1 (0.05)	外	1F	所内温水系防食剤添加 タンク (P64-A002)	R-1F-17	-	1 (0.05)	外	<p>表2 原子炉建屋における地震時の溢水を考慮する機器</p> <table border="1" data-bbox="1294 260 1848 651"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)^{※1}</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護対象 区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉建屋</td> <td>T.P.2.3m</td> <td>濃液混合タンク (3CHT2)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>○</td> <td>0.1 (0.018)</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>A-ガス圧縮装置 (3WGE1A)</td> <td>3RB-H-4</td> <td>○</td> <td>0.1 (0.085)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>B-ガス圧縮装置 (3WGE1B)</td> <td>3RB-H-4</td> <td>○</td> <td>0.1 (0.085)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>廃ガス除沫装置 (3WGE17)</td> <td>3RB-H-4</td> <td>○</td> <td>0.3 (0.236)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.17.8m</td> <td>1次系純水タンク (3PMT1)</td> <td>3RB-F-6</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ()内は設計上の機器の保有水量 ※2 本密区画化された区画に設置されているため、区画外への溢水を考慮しない</p>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³) ^{※1}	管理 区域	区画番号	防護対象 区画	原子炉建屋	T.P.2.3m	濃液混合タンク (3CHT2)	3RB-K-N4	○	0.1 (0.018)	外	T.P.10.3m	A-ガス圧縮装置 (3WGE1A)	3RB-H-4	○	0.1 (0.085)	内	T.P.10.3m	B-ガス圧縮装置 (3WGE1B)	3RB-H-4	○	0.1 (0.085)	内	T.P.10.3m	廃ガス除沫装置 (3WGE17)	3RB-H-4	○	0.3 (0.236)	内	T.P.17.8m	1次系純水タンク (3PMT1)	3RB-F-6	-	0 ^{※2}	内	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の違いによる、建屋、溢水源、溢水量の相違 ・泊では、運用により溢水を考慮しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより区画外への溢水を考慮しない機器がある。 （伊方と同様。詳細は添付資料9を参照）</p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³) ^{※1}	管理 区域																																																																													
		区画番号	防護 対象区画																																																																																				
原子炉建屋 原子炉棟	1F	CRD自動交換機制御室 ファンコイルユニット (V10-D122)	R-1F-7	-	0 ^{※2}	内																																																																																	
		ISI及びPCV L/T室 ファンコイルユニット (V10-D121)	R-1F-7	-	0 ^{※2}	内																																																																																	
原子炉建屋 付属棟	B3F	原子炉補機冷却水系 防食剤添加タンク(A) (P42-A002A)	R-B3F-11	○	1 (0.2)	外																																																																																	
		原子炉補機冷却水系 防食剤添加タンク(B) (P42-A002B)	R-B3F-14	○	1 (0.2)	外																																																																																	
		高圧炉心スプレイ補機 冷却水系防食剤添加 タンク(P47-A002)	R-B3F-13	○	1 (0.05)	外																																																																																	
	1F	所内温水系防食剤添加 タンク (P64-A002)	R-1F-17	-	1 (0.05)	外																																																																																	
建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³) ^{※1}	管理 区域																																																																																	
			区画番号	防護対象 区画																																																																																			
原子炉建屋	T.P.2.3m	濃液混合タンク (3CHT2)	3RB-K-N4	○	0.1 (0.018)	外																																																																																	
	T.P.10.3m	A-ガス圧縮装置 (3WGE1A)	3RB-H-4	○	0.1 (0.085)	内																																																																																	
	T.P.10.3m	B-ガス圧縮装置 (3WGE1B)	3RB-H-4	○	0.1 (0.085)	内																																																																																	
	T.P.10.3m	廃ガス除沫装置 (3WGE17)	3RB-H-4	○	0.3 (0.236)	内																																																																																	
	T.P.17.8m	1次系純水タンク (3PMT1)	3RB-F-6	-	0 ^{※2}	内																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
	<p>表3 制御建屋における地震時の溢水を考慮する機器</p> <table border="1" data-bbox="712 213 1256 523"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">制御建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>観衣エアファンコイルユニット (V36-D101)</td> <td>C-1F-1</td> <td>-</td> <td>0^{※1}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>下足エアファンコイルユニット (V36-D102)</td> <td>C-1F-1</td> <td>-</td> <td>0^{※1}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2F</td> <td>女性用更衣室エアファンコイルユニット (V35-D102)</td> <td>C-2F-3</td> <td>-</td> <td>0^{※1}</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>女性用脱衣手洗いエアファンコイルユニット (V36-D103)</td> <td>C-2F-3</td> <td>-</td> <td>0^{※1}</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 プラント運転中及び停止中において系統運用を停止し、隔離(水抜き)するため溢水を考慮しない</p>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	制御建屋	1F	観衣エアファンコイルユニット (V36-D101)	C-1F-1	-	0 ^{※1}	内	下足エアファンコイルユニット (V36-D102)	C-1F-1	-	0 ^{※1}	内	2F	女性用更衣室エアファンコイルユニット (V35-D102)	C-2F-3	-	0 ^{※1}	外	女性用脱衣手洗いエアファンコイルユニット (V36-D103)	C-2F-3	-	0 ^{※1}	内	<p>表3 原子炉補助建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1294 245 1839 938"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護対象 区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">原子炉 補助建屋</td> <td>T.P.-1.5m</td> <td>酸液ドレンタンクか性状ソーダ計量タンク (MULT26)</td> <td>3A3-E-10</td> <td>-</td> <td>1.1^{※2} (1.0)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.-1.5m</td> <td>酸液ドレンタンク (MULT14)</td> <td>3A3-K-8</td> <td>-</td> <td>1.1^{※2} (0.02)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.-1.5m</td> <td>A-冷却剤貯留タンク (CST2A)</td> <td>3A3-E-21</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.-1.5m</td> <td>B-冷却剤貯留タンク (CST2B)</td> <td>3A3-E-22</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.-1.5m</td> <td>A-使用済冷却剤貯留タンク (CST1A)</td> <td>3A3-E-23</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.-1.5m</td> <td>B-使用済冷却剤貯留タンク (CST1B)</td> <td>3A3-E-24</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.-1.5m</td> <td>C-使用済冷却剤貯留タンク (CST1C)</td> <td>3A3-E-25</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.2.0m ~24.0m</td> <td>セメント固化装置 (-)</td> <td>3A3-D-2 3A3-P-25,26 3A3-H-15,17 3A3-X-23, 27,28,29, 30</td> <td>○</td> <td>18.4 (18.30)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.5m</td> <td>重鉛注入装置 (-)</td> <td>3A3-H-1</td> <td>○</td> <td>0.2 (0.15)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.17.5m</td> <td>1次薬液品タンク (CST3)</td> <td>3A3-P-1</td> <td>○</td> <td>0.1 (0.010)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.17.5m</td> <td>A-濃縮液貯留タンク (MULT10A)</td> <td>3A3-F-0</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P.17.5m</td> <td>B-濃縮液貯留タンク (MULT10B)</td> <td>3A3-F-0</td> <td>-</td> <td>0^{※2}</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ()内は設計上の機器の保有水量 ※2 酸液ドレンタンクか性状ソーダ計量タンク及び酸液ドレンタンクの合計 ※3 水密区画化された区画に設置されているため、区画外への溢水を考慮しない</p>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護対象 区画	原子炉 補助建屋	T.P.-1.5m	酸液ドレンタンクか性状ソーダ計量タンク (MULT26)	3A3-E-10	-	1.1 ^{※2} (1.0)	内	T.P.-1.5m	酸液ドレンタンク (MULT14)	3A3-K-8	-	1.1 ^{※2} (0.02)	内	T.P.-1.5m	A-冷却剤貯留タンク (CST2A)	3A3-E-21	-	0 ^{※2}	内	T.P.-1.5m	B-冷却剤貯留タンク (CST2B)	3A3-E-22	-	0 ^{※2}	内	T.P.-1.5m	A-使用済冷却剤貯留タンク (CST1A)	3A3-E-23	-	0 ^{※2}	内	T.P.-1.5m	B-使用済冷却剤貯留タンク (CST1B)	3A3-E-24	-	0 ^{※2}	内	T.P.-1.5m	C-使用済冷却剤貯留タンク (CST1C)	3A3-E-25	-	0 ^{※2}	内	T.P.2.0m ~24.0m	セメント固化装置 (-)	3A3-D-2 3A3-P-25,26 3A3-H-15,17 3A3-X-23, 27,28,29, 30	○	18.4 (18.30)	内	T.P.10.5m	重鉛注入装置 (-)	3A3-H-1	○	0.2 (0.15)	内	T.P.17.5m	1次薬液品タンク (CST3)	3A3-P-1	○	0.1 (0.010)	内	T.P.17.5m	A-濃縮液貯留タンク (MULT10A)	3A3-F-0	-	0 ^{※2}	内	T.P.17.5m	B-濃縮液貯留タンク (MULT10B)	3A3-F-0	-	0 ^{※2}	内	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計の違いによる、建屋、溢水源、溢水量の相違 ・泊では、運用により溢水を考慮しない機器は無いが、水密区画内に設置することにより区画外への溢水を考慮しない機器がある。 (伊方と同様、詳細は添付資料9を参照) <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																											
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																		
制御建屋	1F	観衣エアファンコイルユニット (V36-D101)	C-1F-1	-	0 ^{※1}	内																																																																																																															
		下足エアファンコイルユニット (V36-D102)	C-1F-1	-	0 ^{※1}	内																																																																																																															
	2F	女性用更衣室エアファンコイルユニット (V35-D102)	C-2F-3	-	0 ^{※1}	外																																																																																																															
女性用脱衣手洗いエアファンコイルユニット (V36-D103)		C-2F-3	-	0 ^{※1}	内																																																																																																																
建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																															
			区画番号	防護対象 区画																																																																																																																	
原子炉 補助建屋	T.P.-1.5m	酸液ドレンタンクか性状ソーダ計量タンク (MULT26)	3A3-E-10	-	1.1 ^{※2} (1.0)	内																																																																																																															
	T.P.-1.5m	酸液ドレンタンク (MULT14)	3A3-K-8	-	1.1 ^{※2} (0.02)	内																																																																																																															
	T.P.-1.5m	A-冷却剤貯留タンク (CST2A)	3A3-E-21	-	0 ^{※2}	内																																																																																																															
	T.P.-1.5m	B-冷却剤貯留タンク (CST2B)	3A3-E-22	-	0 ^{※2}	内																																																																																																															
	T.P.-1.5m	A-使用済冷却剤貯留タンク (CST1A)	3A3-E-23	-	0 ^{※2}	内																																																																																																															
	T.P.-1.5m	B-使用済冷却剤貯留タンク (CST1B)	3A3-E-24	-	0 ^{※2}	内																																																																																																															
	T.P.-1.5m	C-使用済冷却剤貯留タンク (CST1C)	3A3-E-25	-	0 ^{※2}	内																																																																																																															
	T.P.2.0m ~24.0m	セメント固化装置 (-)	3A3-D-2 3A3-P-25,26 3A3-H-15,17 3A3-X-23, 27,28,29, 30	○	18.4 (18.30)	内																																																																																																															
	T.P.10.5m	重鉛注入装置 (-)	3A3-H-1	○	0.2 (0.15)	内																																																																																																															
	T.P.17.5m	1次薬液品タンク (CST3)	3A3-P-1	○	0.1 (0.010)	内																																																																																																															
	T.P.17.5m	A-濃縮液貯留タンク (MULT10A)	3A3-F-0	-	0 ^{※2}	内																																																																																																															
	T.P.17.5m	B-濃縮液貯留タンク (MULT10B)	3A3-F-0	-	0 ^{※2}	内																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
		<p>表3 原子炉補助建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1283 248 1865 568"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">機名 （機器番号）</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">貯水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護対象 区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉 補助建屋</td> <td>T.P. 24.8m</td> <td>廃液貯蔵ピット 中性ソーダ計量タンク (3WLT25)</td> <td>3AB-D-2</td> <td>○</td> <td>0.3 (0.3)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P. 24.8m</td> <td>洗浄排水蒸発装置 リン酸ソーダ注入装置 (3WLE11)</td> <td>3AB-D-2</td> <td>○</td> <td>0.5 (0.5)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P. 33.1m</td> <td>樹脂タンク (3CST7)</td> <td>3AB-C-1</td> <td>—</td> <td>0.5 (0.5)</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>T.P. 33.1m</td> <td>1次系中性ソーダタンク (3WLT27)</td> <td>3AB-C-39</td> <td>—</td> <td>0^{※1}</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ()内は設計上の機器の保有水量 ※2 他区画への溢水経路がない区画に設置されているため、区画外への溢水を考慮しない</p>	建屋	フロア	機名 （機器番号）	設置区画		貯水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護対象 区画	原子炉 補助建屋	T.P. 24.8m	廃液貯蔵ピット 中性ソーダ計量タンク (3WLT25)	3AB-D-2	○	0.3 (0.3)	内	T.P. 24.8m	洗浄排水蒸発装置 リン酸ソーダ注入装置 (3WLE11)	3AB-D-2	○	0.5 (0.5)	内	T.P. 33.1m	樹脂タンク (3CST7)	3AB-C-1	—	0.5 (0.5)	内	T.P. 33.1m	1次系中性ソーダタンク (3WLT27)	3AB-C-39	—	0 ^{※1}	外	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設計の違いによる、建屋、溢水源、貯水量の相違 ・泊では、他区画への溢水経路がない区画に設置されているため、区画外への溢水を考慮しない機器がある。 <p>記載表現の相違</p>
建屋	フロア	機名 （機器番号）				設置区画				貯水量 (m ³)	管理 区域																										
			区画番号	防護対象 区画																																	
原子炉 補助建屋	T.P. 24.8m	廃液貯蔵ピット 中性ソーダ計量タンク (3WLT25)	3AB-D-2	○	0.3 (0.3)	内																															
	T.P. 24.8m	洗浄排水蒸発装置 リン酸ソーダ注入装置 (3WLE11)	3AB-D-2	○	0.5 (0.5)	内																															
	T.P. 33.1m	樹脂タンク (3CST7)	3AB-C-1	—	0.5 (0.5)	内																															
	T.P. 33.1m	1次系中性ソーダタンク (3WLT27)	3AB-C-39	—	0 ^{※1}	外																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
	<p style="text-align: center;">表4 原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア) における地震時の溢水を考慮する機器 (1/3)</p> <table border="1" data-bbox="712 256 1256 1002"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)</td> <td rowspan="7">B3F</td> <td>HCW 収集タンク (A) (K13-A001A)</td> <td>Rw-B3F-1</td> <td>-</td> <td>110</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW 収集タンク (B) (K13-A001B)</td> <td>Rw-B3F-1</td> <td>-</td> <td>110</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW 収集タンク (C) (K13-A001C)</td> <td>Rw-B3F-1</td> <td>-</td> <td>110</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク (A) (K22-A001A)</td> <td>Rw-B3F-1</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク (B) (K22-A001B)</td> <td>Rw-B3F-1</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク (C) (K22-A001C)</td> <td>Rw-B3F-1</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>CONW シール水タンク (K22-A201)</td> <td>Rw-B3F-1</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">MB3F</td> <td>HCW 調整タンク (K13-A002)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW サンプルタンク (A) (K13-A003A)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>90</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW サンプルタンク (B) (K13-A003B)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>90</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>SD 収集タンク (A) (K17-A001A)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>40</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>SD 収集タンク (B) (K17-A001B)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>40</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>復水回収装置コンデンサ (P62-B001)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>0.25</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>復水回収装置フラッシュ タンク (P62-A001)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>7.7</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	HCW 収集タンク (A) (K13-A001A)	Rw-B3F-1	-	110	内	HCW 収集タンク (B) (K13-A001B)	Rw-B3F-1	-	110	内	HCW 収集タンク (C) (K13-A001C)	Rw-B3F-1	-	110	内	濃縮廃液貯蔵タンク (A) (K22-A001A)	Rw-B3F-1	-	20	内	濃縮廃液貯蔵タンク (B) (K22-A001B)	Rw-B3F-1	-	20	内	濃縮廃液貯蔵タンク (C) (K22-A001C)	Rw-B3F-1	-	20	内	CONW シール水タンク (K22-A201)	Rw-B3F-1	-	5	内	MB3F	HCW 調整タンク (K13-A002)	Rw-MB3F-1	-	10	内	HCW サンプルタンク (A) (K13-A003A)	Rw-MB3F-1	-	90	内	HCW サンプルタンク (B) (K13-A003B)	Rw-MB3F-1	-	90	内	SD 収集タンク (A) (K17-A001A)	Rw-MB3F-1	-	40	内	SD 収集タンク (B) (K17-A001B)	Rw-MB3F-1	-	40	内			復水回収装置コンデンサ (P62-B001)	Rw-MB3F-1	-	0.25	内			復水回収装置フラッシュ タンク (P62-A001)	Rw-MB3F-1	-	7.7	内		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、建 屋、溢水源、溢水量の相違</p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																															
		区画番号	防護 対象区画																																																																																						
原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	HCW 収集タンク (A) (K13-A001A)	Rw-B3F-1	-	110	内																																																																																			
		HCW 収集タンク (B) (K13-A001B)	Rw-B3F-1	-	110	内																																																																																			
		HCW 収集タンク (C) (K13-A001C)	Rw-B3F-1	-	110	内																																																																																			
		濃縮廃液貯蔵タンク (A) (K22-A001A)	Rw-B3F-1	-	20	内																																																																																			
		濃縮廃液貯蔵タンク (B) (K22-A001B)	Rw-B3F-1	-	20	内																																																																																			
		濃縮廃液貯蔵タンク (C) (K22-A001C)	Rw-B3F-1	-	20	内																																																																																			
		CONW シール水タンク (K22-A201)	Rw-B3F-1	-	5	内																																																																																			
	MB3F	HCW 調整タンク (K13-A002)	Rw-MB3F-1	-	10	内																																																																																			
		HCW サンプルタンク (A) (K13-A003A)	Rw-MB3F-1	-	90	内																																																																																			
		HCW サンプルタンク (B) (K13-A003B)	Rw-MB3F-1	-	90	内																																																																																			
SD 収集タンク (A) (K17-A001A)		Rw-MB3F-1	-	40	内																																																																																				
SD 収集タンク (B) (K17-A001B)		Rw-MB3F-1	-	40	内																																																																																				
		復水回収装置コンデンサ (P62-B001)	Rw-MB3F-1	-	0.25	内																																																																																			
		復水回収装置フラッシュ タンク (P62-A001)	Rw-MB3F-1	-	7.7	内																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
	<p style="text-align: center;">表4 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）における地震時の溢水を考慮する機器(2/3)</p> <table border="1" data-bbox="698 252 1270 1074"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)</td> <td rowspan="8">MB3F</td> <td>LCW 収集槽(A) (K12-A001A)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>300</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>LCW 収集槽(B) (K12-A001B)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>300</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(A) (K21-A101A)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>200</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(B) (K21-A101B)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>200</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(A) (K21-A201A)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>240</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(B) (K21-A201B)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>240</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>LCW サンプル槽(A) (K12-A002A)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>250</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>LCW サンプル槽(B) (K12-A002B)</td> <td>Rw-MB3F-1</td> <td>-</td> <td>250</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B2F</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置加熱器 (A) (K13-B001A)</td> <td>Rw-B2F-1</td> <td>-</td> <td>4.35</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW 蒸発濃縮装置加熱器 (B) (K13-B001B)</td> <td>Rw-B2F-1</td> <td>-</td> <td>4.35</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">B1F</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶 (A) (K13-D001A)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>3.65</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶 (B) (K13-D001B)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>3.65</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW 蒸発濃縮装置ゲミス タ(A) (K13-D002A)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.06</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW 蒸発濃縮装置ゲミス タ(B) (K13-D002B)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.06</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW 蒸発濃縮装置復水器 (A) (K13-B002A)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.85</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	MB3F	LCW 収集槽(A) (K12-A001A)	Rw-MB3F-1	-	300	内	LCW 収集槽(B) (K12-A001B)	Rw-MB3F-1	-	300	内	浄化系沈降分離槽(A) (K21-A101A)	Rw-MB3F-1	-	200	内	浄化系沈降分離槽(B) (K21-A101B)	Rw-MB3F-1	-	200	内	使用済樹脂貯蔵槽(A) (K21-A201A)	Rw-MB3F-1	-	240	内	使用済樹脂貯蔵槽(B) (K21-A201B)	Rw-MB3F-1	-	240	内	LCW サンプル槽(A) (K12-A002A)	Rw-MB3F-1	-	250	内	LCW サンプル槽(B) (K12-A002B)	Rw-MB3F-1	-	250	内	B2F	HCW 蒸発濃縮装置加熱器 (A) (K13-B001A)	Rw-B2F-1	-	4.35	内	HCW 蒸発濃縮装置加熱器 (B) (K13-B001B)	Rw-B2F-1	-	4.35	内	B1F	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶 (A) (K13-D001A)	Rw-B1F-2	-	3.65	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶 (B) (K13-D001B)	Rw-B1F-2	-	3.65	内	HCW 蒸発濃縮装置ゲミス タ(A) (K13-D002A)	Rw-B1F-2	-	0.06	内	HCW 蒸発濃縮装置ゲミス タ(B) (K13-D002B)	Rw-B1F-2	-	0.06	内	HCW 蒸発濃縮装置復水器 (A) (K13-B002A)	Rw-B1F-2	-	0.85	内		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、建 屋、溢水源、溢水量の相違</p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																	
		区画番号	防護 対象区画																																																																																								
原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	MB3F	LCW 収集槽(A) (K12-A001A)	Rw-MB3F-1	-	300	内																																																																																					
		LCW 収集槽(B) (K12-A001B)	Rw-MB3F-1	-	300	内																																																																																					
		浄化系沈降分離槽(A) (K21-A101A)	Rw-MB3F-1	-	200	内																																																																																					
		浄化系沈降分離槽(B) (K21-A101B)	Rw-MB3F-1	-	200	内																																																																																					
		使用済樹脂貯蔵槽(A) (K21-A201A)	Rw-MB3F-1	-	240	内																																																																																					
		使用済樹脂貯蔵槽(B) (K21-A201B)	Rw-MB3F-1	-	240	内																																																																																					
		LCW サンプル槽(A) (K12-A002A)	Rw-MB3F-1	-	250	内																																																																																					
		LCW サンプル槽(B) (K12-A002B)	Rw-MB3F-1	-	250	内																																																																																					
	B2F	HCW 蒸発濃縮装置加熱器 (A) (K13-B001A)	Rw-B2F-1	-	4.35	内																																																																																					
		HCW 蒸発濃縮装置加熱器 (B) (K13-B001B)	Rw-B2F-1	-	4.35	内																																																																																					
	B1F	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶 (A) (K13-D001A)	Rw-B1F-2	-	3.65	内																																																																																					
		HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶 (B) (K13-D001B)	Rw-B1F-2	-	3.65	内																																																																																					
		HCW 蒸発濃縮装置ゲミス タ(A) (K13-D002A)	Rw-B1F-2	-	0.06	内																																																																																					
		HCW 蒸発濃縮装置ゲミス タ(B) (K13-D002B)	Rw-B1F-2	-	0.06	内																																																																																					
HCW 蒸発濃縮装置復水器 (A) (K13-B002A)		Rw-B1F-2	-	0.85	内																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
	<p style="text-align: center;">表4 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）における地震時の溢水を考慮する機器(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="705 256 1270 999"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)</td> <td rowspan="3">B1F</td> <td>HCW 蒸気濃縮装置復水器 (B) (K13-B002B)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.85</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>中和苛性タンク (K13-A131)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.12</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>中和硫酸タンク (K13-A132)</td> <td>Rw-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">1F</td> <td>RW 制御室給気冷却コイル (V15-3001)</td> <td>Rw-1F-2-4</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>混合槽室空調機 (V14-D101)</td> <td>Rw-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理系制御室 換気空調系冷水供給装置 膨脹タンク (P24-A003)</td> <td>Rw-1F-2-4</td> <td>-</td> <td>1.21</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>RW 制御室給気加熱コイル (V15-3002)</td> <td>Rw-1F-2-4</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>LCWろ選器(A) (K12-D001A)</td> <td>Rw-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>LCWろ選器(B) (K12-D001B)</td> <td>Rw-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>LCW脱塩器(A) (K12-D002A)</td> <td>Rw-1F-1</td> <td>-</td> <td>1.9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>LCW脱塩器(B) (K12-D002B)</td> <td>Rw-1F-1</td> <td>-</td> <td>1.9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>HCW脱塩器 (K13-D003)</td> <td>Rw-1F-1</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>排風機室空調機 (V14-D102)</td> <td>Rw-2F-1</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B1F	HCW 蒸気濃縮装置復水器 (B) (K13-B002B)	Rw-B1F-2	-	0.85	内	中和苛性タンク (K13-A131)	Rw-B1F-2	-	0.12	内	中和硫酸タンク (K13-A132)	Rw-B1F-2	-	0.1	内	1F	RW 制御室給気冷却コイル (V15-3001)	Rw-1F-2-4	-	0.1	外	混合槽室空調機 (V14-D101)	Rw-1F-1	-	0.5	内	廃棄物処理系制御室 換気空調系冷水供給装置 膨脹タンク (P24-A003)	Rw-1F-2-4	-	1.21	外	RW 制御室給気加熱コイル (V15-3002)	Rw-1F-2-4	-	0.05	外	LCWろ選器(A) (K12-D001A)	Rw-1F-1	-	0.5	内	LCWろ選器(B) (K12-D001B)	Rw-1F-1	-	0.5	内	LCW脱塩器(A) (K12-D002A)	Rw-1F-1	-	1.9	内	LCW脱塩器(B) (K12-D002B)	Rw-1F-1	-	1.9	内	HCW脱塩器 (K13-D003)	Rw-1F-1	-	1.3	内	2F	排風機室空調機 (V14-D102)	Rw-2F-1	-	0.05	内		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、建 屋、溢水源、溢水量の相違</p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																							
		区画番号	防護 対象区画																																																																														
原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B1F	HCW 蒸気濃縮装置復水器 (B) (K13-B002B)	Rw-B1F-2	-	0.85	内																																																																											
		中和苛性タンク (K13-A131)	Rw-B1F-2	-	0.12	内																																																																											
		中和硫酸タンク (K13-A132)	Rw-B1F-2	-	0.1	内																																																																											
	1F	RW 制御室給気冷却コイル (V15-3001)	Rw-1F-2-4	-	0.1	外																																																																											
		混合槽室空調機 (V14-D101)	Rw-1F-1	-	0.5	内																																																																											
		廃棄物処理系制御室 換気空調系冷水供給装置 膨脹タンク (P24-A003)	Rw-1F-2-4	-	1.21	外																																																																											
		RW 制御室給気加熱コイル (V15-3002)	Rw-1F-2-4	-	0.05	外																																																																											
		LCWろ選器(A) (K12-D001A)	Rw-1F-1	-	0.5	内																																																																											
		LCWろ選器(B) (K12-D001B)	Rw-1F-1	-	0.5	内																																																																											
		LCW脱塩器(A) (K12-D002A)	Rw-1F-1	-	1.9	内																																																																											
LCW脱塩器(B) (K12-D002B)		Rw-1F-1	-	1.9	内																																																																												
HCW脱塩器 (K13-D003)	Rw-1F-1	-	1.3	内																																																																													
2F	排風機室空調機 (V14-D102)	Rw-2F-1	-	0.05	内																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																													
	<p>表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(1/8)</p> <table border="1" data-bbox="703 252 1265 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">タービン建屋</td><td rowspan="15">B2F</td><td>CF 逆洗受タンク (K21-A001)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>40</td><td>内</td></tr> <tr><td>主復水器【ホットウェル】 (N61-B001A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>102</td><td>内</td></tr> <tr><td>主復水器【水室】 (A1) (N61-B001A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>209.5</td><td>内</td></tr> <tr><td>主復水器【水室】 (A2) (N61-B001A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>209.5</td><td>内</td></tr> <tr><td>主復水器【水室】 (B1) (N61-B001B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>209.5</td><td>内</td></tr> <tr><td>主復水器【水室】 (B2) (N61-B001B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>209.5</td><td>内</td></tr> <tr><td>低圧第1給水加熱器ドレン冷却器(A) (N21-B001A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>36</td><td>内</td></tr> <tr><td>低圧第1給水加熱器ドレン冷却器(B) (N21-B001B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>36</td><td>内</td></tr> <tr><td>高圧第1給水加熱器(A) (N21-B006A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>21</td><td>内</td></tr> <tr><td>高圧第1給水加熱器(B) (N21-B006B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>21</td><td>内</td></tr> <tr><td>起動用真空ポンプウォータセパレーター (N21-A003)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>1.56</td><td>内</td></tr> <tr><td>起動用真空ポンプシール水冷却器 (N21-B010)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.2</td><td>内</td></tr> <tr><td>復水回収タンク (N21-A001)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>4.7</td><td>内</td></tr> <tr><td>OG系排ガス循環水クーラー (N62-B005)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.1</td><td>内</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B2F	CF 逆洗受タンク (K21-A001)	T-B2F-1	-	40	内	主復水器【ホットウェル】 (N61-B001A)	T-B2F-1	-	102	内	主復水器【水室】 (A1) (N61-B001A)	T-B2F-1	-	209.5	内	主復水器【水室】 (A2) (N61-B001A)	T-B2F-1	-	209.5	内	主復水器【水室】 (B1) (N61-B001B)	T-B2F-1	-	209.5	内	主復水器【水室】 (B2) (N61-B001B)	T-B2F-1	-	209.5	内	低圧第1給水加熱器ドレン冷却器(A) (N21-B001A)	T-B2F-1	-	36	内	低圧第1給水加熱器ドレン冷却器(B) (N21-B001B)	T-B2F-1	-	36	内	高圧第1給水加熱器(A) (N21-B006A)	T-B2F-1	-	21	内	高圧第1給水加熱器(B) (N21-B006B)	T-B2F-1	-	21	内	起動用真空ポンプウォータセパレーター (N21-A003)	T-B2F-1	-	1.56	内	起動用真空ポンプシール水冷却器 (N21-B010)	T-B2F-1	-	0.2	内	復水回収タンク (N21-A001)	T-B2F-1	-	4.7	内	OG系排ガス循環水クーラー (N62-B005)	T-B2F-1	-	0.1	内	<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(1/15)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1854 983"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">タービン建屋</td><td rowspan="15">B2F</td><td>復水回収タンク (3WWT19)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.94</td><td>外</td></tr> <tr><td>復水器 (3CWF01A)</td><td>-</td><td>-</td><td>647.24</td><td>外</td></tr> <tr><td>復水器 (3CWF01B)</td><td>-</td><td>-</td><td>647.24</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-海水ブースタポンプ (3S#P11A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.60</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-海水ブースタポンプ (3S#P11B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.60</td><td>外</td></tr> <tr><td>C-海水ブースタポンプ (3S#P11C)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.60</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-復水ポンプ (3CWF01A)</td><td>-</td><td>-</td><td>6.20</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-復水ポンプ (3CWF01B)</td><td>-</td><td>-</td><td>6.20</td><td>外</td></tr> <tr><td>C-復水ポンプ (3CWF01C)</td><td>-</td><td>-</td><td>6.20</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001A)</td><td>-</td><td>-</td><td>3.35</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001B)</td><td>-</td><td>-</td><td>3.35</td><td>外</td></tr> <tr><td>C-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001C)</td><td>-</td><td>-</td><td>3.35</td><td>外</td></tr> <tr><td>タービンプロローダウンタック (3WWT18)</td><td>-</td><td>-</td><td>8.7</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B2F	復水回収タンク (3WWT19)	-	-	0.94	外	復水器 (3CWF01A)	-	-	647.24	外	復水器 (3CWF01B)	-	-	647.24	外	A-海水ブースタポンプ (3S#P11A)	-	-	0.60	外	B-海水ブースタポンプ (3S#P11B)	-	-	0.60	外	C-海水ブースタポンプ (3S#P11C)	-	-	0.60	外	A-復水ポンプ (3CWF01A)	-	-	6.20	外	B-復水ポンプ (3CWF01B)	-	-	6.20	外	C-復水ポンプ (3CWF01C)	-	-	6.20	外	A-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001A)	-	-	3.35	外	B-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001B)	-	-	3.35	外	C-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001C)	-	-	3.35	外	タービンプロローダウンタック (3WWT18)	-	-	8.7	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																						
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																													
タービン建屋	B2F	CF 逆洗受タンク (K21-A001)	T-B2F-1	-	40	内																																																																																																																																																										
		主復水器【ホットウェル】 (N61-B001A)	T-B2F-1	-	102	内																																																																																																																																																										
		主復水器【水室】 (A1) (N61-B001A)	T-B2F-1	-	209.5	内																																																																																																																																																										
		主復水器【水室】 (A2) (N61-B001A)	T-B2F-1	-	209.5	内																																																																																																																																																										
		主復水器【水室】 (B1) (N61-B001B)	T-B2F-1	-	209.5	内																																																																																																																																																										
		主復水器【水室】 (B2) (N61-B001B)	T-B2F-1	-	209.5	内																																																																																																																																																										
		低圧第1給水加熱器ドレン冷却器(A) (N21-B001A)	T-B2F-1	-	36	内																																																																																																																																																										
		低圧第1給水加熱器ドレン冷却器(B) (N21-B001B)	T-B2F-1	-	36	内																																																																																																																																																										
		高圧第1給水加熱器(A) (N21-B006A)	T-B2F-1	-	21	内																																																																																																																																																										
		高圧第1給水加熱器(B) (N21-B006B)	T-B2F-1	-	21	内																																																																																																																																																										
		起動用真空ポンプウォータセパレーター (N21-A003)	T-B2F-1	-	1.56	内																																																																																																																																																										
		起動用真空ポンプシール水冷却器 (N21-B010)	T-B2F-1	-	0.2	内																																																																																																																																																										
		復水回収タンク (N21-A001)	T-B2F-1	-	4.7	内																																																																																																																																																										
		OG系排ガス循環水クーラー (N62-B005)	T-B2F-1	-	0.1	内																																																																																																																																																										
		建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																								
区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																															
タービン建屋	B2F	復水回収タンク (3WWT19)	-	-	0.94	外																																																																																																																																																										
		復水器 (3CWF01A)	-	-	647.24	外																																																																																																																																																										
		復水器 (3CWF01B)	-	-	647.24	外																																																																																																																																																										
		A-海水ブースタポンプ (3S#P11A)	-	-	0.60	外																																																																																																																																																										
		B-海水ブースタポンプ (3S#P11B)	-	-	0.60	外																																																																																																																																																										
		C-海水ブースタポンプ (3S#P11C)	-	-	0.60	外																																																																																																																																																										
		A-復水ポンプ (3CWF01A)	-	-	6.20	外																																																																																																																																																										
		B-復水ポンプ (3CWF01B)	-	-	6.20	外																																																																																																																																																										
		C-復水ポンプ (3CWF01C)	-	-	6.20	外																																																																																																																																																										
		A-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001A)	-	-	3.35	外																																																																																																																																																										
		B-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001B)	-	-	3.35	外																																																																																																																																																										
		C-復水ポンプ入口ストレーナ (3S-CW-001C)	-	-	3.35	外																																																																																																																																																										
		タービンプロローダウンタック (3WWT18)	-	-	8.7	外																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																		
	<p>表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(2/8)</p> <table border="1" data-bbox="705 252 1265 1077"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水部 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18">タービン建屋</td><td rowspan="18">B2F</td><td>活性炭式希ガスホルド</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.05</td><td>内</td></tr> <tr><td>アップ塔室空調機(V20-D101)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.33</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T油冷却器(A)(N39-B001A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.33</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T油冷却器(B)(N39-B001B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.33</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T油冷却器(C)(N39-B001C)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.33</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T油冷却器(D)(N39-B001D)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.33</td><td>内</td></tr> <tr><td>高圧油冷却器(A)(N32-B001A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.04</td><td>内</td></tr> <tr><td>高圧油冷却器(B)(N32-B001B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.04</td><td>内</td></tr> <tr><td>油清浄機(N34-D001)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>14</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T油タンク(A)(N39-A001A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>6.79</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T油タンク(B)(N39-A001B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>6.79</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T補助油タンク(A)(N34-A003A)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.16</td><td>内</td></tr> <tr><td>RFP-T補助油タンク(B)(N34-A003B)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>0.16</td><td>内</td></tr> <tr><td>高圧油圧ユニット(N32-A001)</td><td>T-B2F-1</td><td>-</td><td>3.8</td><td>内</td></tr> <tr><td>TCW防食剤添加タンク(P43-A001)</td><td>T-B2F-2</td><td>-</td><td>0.145</td><td>外</td></tr> <tr><td>TCW熱交換器(A)(P43-B001A)</td><td>T-B2F-2</td><td>-</td><td>18</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水部 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B2F	活性炭式希ガスホルド	T-B2F-1	-	0.05	内	アップ塔室空調機(V20-D101)	T-B2F-1	-	0.33	内	RFP-T油冷却器(A)(N39-B001A)	T-B2F-1	-	0.33	内	RFP-T油冷却器(B)(N39-B001B)	T-B2F-1	-	0.33	内	RFP-T油冷却器(C)(N39-B001C)	T-B2F-1	-	0.33	内	RFP-T油冷却器(D)(N39-B001D)	T-B2F-1	-	0.33	内	高圧油冷却器(A)(N32-B001A)	T-B2F-1	-	0.04	内	高圧油冷却器(B)(N32-B001B)	T-B2F-1	-	0.04	内	油清浄機(N34-D001)	T-B2F-1	-	14	内	RFP-T油タンク(A)(N39-A001A)	T-B2F-1	-	6.79	内	RFP-T油タンク(B)(N39-A001B)	T-B2F-1	-	6.79	内	RFP-T補助油タンク(A)(N34-A003A)	T-B2F-1	-	0.16	内	RFP-T補助油タンク(B)(N34-A003B)	T-B2F-1	-	0.16	内	高圧油圧ユニット(N32-A001)	T-B2F-1	-	3.8	内	TCW防食剤添加タンク(P43-A001)	T-B2F-2	-	0.145	外	TCW熱交換器(A)(P43-B001A)	T-B2F-2	-	18	外	<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(2/15)</p> <table border="1" data-bbox="1288 252 1848 1013"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水部 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">タービン建屋</td><td rowspan="15">B2F</td><td>A-復水器細管洗浄装置 ボール回収器(3JFW04A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.35</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-復水器細管洗浄装置 ボール回収器(3JFW04B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.35</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-復水器細管洗浄装置 ボール循環ポンプ(3JFW06A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.122</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-復水器細管洗浄装置 ボール循環ポンプ(3JFW06B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.122</td><td>外</td></tr> <tr><td>暖房ドレンポンプ(3TAS0PA)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.10</td><td>外</td></tr> <tr><td>暖房回収タンク(3TAS0T)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.55</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-復水ブースタポンプ(3CWF02A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.30</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-復水ブースタポンプ(3CWF02B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.30</td><td>外</td></tr> <tr><td>C-復水ブースタポンプ(3CWF02C)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.30</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-タービン動主給水ポンプ(3FWP13A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-タービン動主給水ポンプ(3FWP13B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-タービン動主給水ポンプ油タンク(3FVT13A)</td><td>-</td><td>-</td><td>5.00</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水部 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B2F	A-復水器細管洗浄装置 ボール回収器(3JFW04A)	-	-	0.35	外	B-復水器細管洗浄装置 ボール回収器(3JFW04B)	-	-	0.35	外	A-復水器細管洗浄装置 ボール循環ポンプ(3JFW06A)	-	-	0.122	外	B-復水器細管洗浄装置 ボール循環ポンプ(3JFW06B)	-	-	0.122	外	暖房ドレンポンプ(3TAS0PA)	-	-	0.10	外	暖房回収タンク(3TAS0T)	-	-	0.55	外	A-復水ブースタポンプ(3CWF02A)	-	-	0.30	外	B-復水ブースタポンプ(3CWF02B)	-	-	0.30	外	C-復水ブースタポンプ(3CWF02C)	-	-	0.30	外	A-タービン動主給水ポンプ(3FWP13A)	-	-	0.50	外	B-タービン動主給水ポンプ(3FWP13B)	-	-	0.50	外	A-タービン動主給水ポンプ油タンク(3FVT13A)	-	-	5.00	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水部 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																											
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																																		
タービン建屋	B2F	活性炭式希ガスホルド	T-B2F-1	-	0.05	内																																																																																																																																																															
		アップ塔室空調機(V20-D101)	T-B2F-1	-	0.33	内																																																																																																																																																															
		RFP-T油冷却器(A)(N39-B001A)	T-B2F-1	-	0.33	内																																																																																																																																																															
		RFP-T油冷却器(B)(N39-B001B)	T-B2F-1	-	0.33	内																																																																																																																																																															
		RFP-T油冷却器(C)(N39-B001C)	T-B2F-1	-	0.33	内																																																																																																																																																															
		RFP-T油冷却器(D)(N39-B001D)	T-B2F-1	-	0.33	内																																																																																																																																																															
		高圧油冷却器(A)(N32-B001A)	T-B2F-1	-	0.04	内																																																																																																																																																															
		高圧油冷却器(B)(N32-B001B)	T-B2F-1	-	0.04	内																																																																																																																																																															
		油清浄機(N34-D001)	T-B2F-1	-	14	内																																																																																																																																																															
		RFP-T油タンク(A)(N39-A001A)	T-B2F-1	-	6.79	内																																																																																																																																																															
		RFP-T油タンク(B)(N39-A001B)	T-B2F-1	-	6.79	内																																																																																																																																																															
		RFP-T補助油タンク(A)(N34-A003A)	T-B2F-1	-	0.16	内																																																																																																																																																															
		RFP-T補助油タンク(B)(N34-A003B)	T-B2F-1	-	0.16	内																																																																																																																																																															
		高圧油圧ユニット(N32-A001)	T-B2F-1	-	3.8	内																																																																																																																																																															
		TCW防食剤添加タンク(P43-A001)	T-B2F-2	-	0.145	外																																																																																																																																																															
		TCW熱交換器(A)(P43-B001A)	T-B2F-2	-	18	外																																																																																																																																																															
		建屋	フロア	溢水部 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																													
					区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																															
タービン建屋	B2F	A-復水器細管洗浄装置 ボール回収器(3JFW04A)	-	-	0.35	外																																																																																																																																																															
		B-復水器細管洗浄装置 ボール回収器(3JFW04B)	-	-	0.35	外																																																																																																																																																															
		A-復水器細管洗浄装置 ボール循環ポンプ(3JFW06A)	-	-	0.122	外																																																																																																																																																															
		B-復水器細管洗浄装置 ボール循環ポンプ(3JFW06B)	-	-	0.122	外																																																																																																																																																															
		暖房ドレンポンプ(3TAS0PA)	-	-	0.10	外																																																																																																																																																															
		暖房回収タンク(3TAS0T)	-	-	0.55	外																																																																																																																																																															
		A-復水ブースタポンプ(3CWF02A)	-	-	0.30	外																																																																																																																																																															
		B-復水ブースタポンプ(3CWF02B)	-	-	0.30	外																																																																																																																																																															
		C-復水ブースタポンプ(3CWF02C)	-	-	0.30	外																																																																																																																																																															
		A-タービン動主給水ポンプ(3FWP13A)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																															
		B-タービン動主給水ポンプ(3FWP13B)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																															
		A-タービン動主給水ポンプ油タンク(3FVT13A)	-	-	5.00	外																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
	<p>表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(3/8)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">タービン建屋</td> <td rowspan="2">B2F</td> <td>TCF熱交換器(B) (P43-B001B)</td> <td>T-B2F-2</td> <td>-</td> <td>18</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>TCF熱交換器(C) (P43-B001C)</td> <td>T-B2F-2</td> <td>-</td> <td>18</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">B1F</td> <td>グランド蒸気復水器 (N33-B002)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>2.1</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>排ガス復水器 (N62-B002A)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.65</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>排ガス復水器 (N62-B002B)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.65</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>排ガス予熱器(A) (N62-B001A)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>2.6</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>排ガス予熱器(B) (N62-B001B)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>2.6</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>高圧第2給水加熱器 (A)(N21-B009A)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>高圧第2給水加熱器 (B)(N21-B009B)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>復水器過器(A) (N26-D001A)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>15.2</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>復水器過器(B) (N26-D001B)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>15.2</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>復水器過器(C) (N26-D001C)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>15.2</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>復水器過器(D) (N26-D001D)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>15.2</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>復水器過器(E) (N26-D001E)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>15.2</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>主タービン油冷却器(A) (N34-B001A)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B2F	TCF熱交換器(B) (P43-B001B)	T-B2F-2	-	18	外	TCF熱交換器(C) (P43-B001C)	T-B2F-2	-	18	外	B1F	グランド蒸気復水器 (N33-B002)	T-B1F-2	-	2.1	内	排ガス復水器 (N62-B002A)	T-B1F-2	-	0.65	内	排ガス復水器 (N62-B002B)	T-B1F-2	-	0.65	内	排ガス予熱器(A) (N62-B001A)	T-B1F-2	-	2.6	内	排ガス予熱器(B) (N62-B001B)	T-B1F-2	-	2.6	内	高圧第2給水加熱器 (A)(N21-B009A)	T-B1F-2	-	14	内	高圧第2給水加熱器 (B)(N21-B009B)	T-B1F-2	-	14	内	復水器過器(A) (N26-D001A)	T-B1F-2	-	15.2	内	復水器過器(B) (N26-D001B)	T-B1F-2	-	15.2	内	復水器過器(C) (N26-D001C)	T-B1F-2	-	15.2	内	復水器過器(D) (N26-D001D)	T-B1F-2	-	15.2	内	復水器過器(E) (N26-D001E)	T-B1F-2	-	15.2	内	主タービン油冷却器(A) (N34-B001A)	T-B1F-2	-	0.7	内	<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (3/15)</p> <table border="1" data-bbox="1285 256 1854 1007"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">タービン建屋</td> <td rowspan="14">B1F</td> <td>Bタービン動主給水ポンプ油タンク (3FPT13B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5.00</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>Aタービン動主給水ポンプ油冷却器 (3FPH13A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.39</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>Bタービン動主給水ポンプ油冷却器 (3FPH13B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.39</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>タービン動主給水ポンプ油清浄機 (3FWE12)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>タービン動主給水ポンプ油清浄機入口ポンプ (3FWP21)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.10</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>タービン動主給水ポンプ油清浄機出口ポンプ (3FWP22)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.10</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>電動主給水ポンプ (3FWD14)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.50</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>電動主給水ポンプ給油ユニット</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.00</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>Aタービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP11A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.50</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>Bタービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP11B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.50</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP12)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.50</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	Bタービン動主給水ポンプ油タンク (3FPT13B)	-	-	5.00	外	Aタービン動主給水ポンプ油冷却器 (3FPH13A)	-	-	0.39	外	Bタービン動主給水ポンプ油冷却器 (3FPH13B)	-	-	0.39	外	タービン動主給水ポンプ油清浄機 (3FWE12)	-	-	0.74	外	タービン動主給水ポンプ油清浄機入口ポンプ (3FWP21)	-	-	0.10	外	タービン動主給水ポンプ油清浄機出口ポンプ (3FWP22)	-	-	0.10	外	電動主給水ポンプ (3FWD14)	-	-	0.50	外	電動主給水ポンプ給油ユニット	-	-	2.00	外	Aタービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP11A)	-	-	0.50	外	Bタービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP11B)	-	-	0.50	外	電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP12)	-	-	0.50	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																		
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																									
タービン建屋	B2F	TCF熱交換器(B) (P43-B001B)	T-B2F-2	-	18	外																																																																																																																																																						
		TCF熱交換器(C) (P43-B001C)	T-B2F-2	-	18	外																																																																																																																																																						
	B1F	グランド蒸気復水器 (N33-B002)	T-B1F-2	-	2.1	内																																																																																																																																																						
		排ガス復水器 (N62-B002A)	T-B1F-2	-	0.65	内																																																																																																																																																						
		排ガス復水器 (N62-B002B)	T-B1F-2	-	0.65	内																																																																																																																																																						
		排ガス予熱器(A) (N62-B001A)	T-B1F-2	-	2.6	内																																																																																																																																																						
		排ガス予熱器(B) (N62-B001B)	T-B1F-2	-	2.6	内																																																																																																																																																						
		高圧第2給水加熱器 (A)(N21-B009A)	T-B1F-2	-	14	内																																																																																																																																																						
		高圧第2給水加熱器 (B)(N21-B009B)	T-B1F-2	-	14	内																																																																																																																																																						
		復水器過器(A) (N26-D001A)	T-B1F-2	-	15.2	内																																																																																																																																																						
		復水器過器(B) (N26-D001B)	T-B1F-2	-	15.2	内																																																																																																																																																						
		復水器過器(C) (N26-D001C)	T-B1F-2	-	15.2	内																																																																																																																																																						
		復水器過器(D) (N26-D001D)	T-B1F-2	-	15.2	内																																																																																																																																																						
		復水器過器(E) (N26-D001E)	T-B1F-2	-	15.2	内																																																																																																																																																						
		主タービン油冷却器(A) (N34-B001A)	T-B1F-2	-	0.7	内																																																																																																																																																						
		建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																				
区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																											
タービン建屋	B1F	Bタービン動主給水ポンプ油タンク (3FPT13B)	-	-	5.00	外																																																																																																																																																						
		Aタービン動主給水ポンプ油冷却器 (3FPH13A)	-	-	0.39	外																																																																																																																																																						
		Bタービン動主給水ポンプ油冷却器 (3FPH13B)	-	-	0.39	外																																																																																																																																																						
		タービン動主給水ポンプ油清浄機 (3FWE12)	-	-	0.74	外																																																																																																																																																						
		タービン動主給水ポンプ油清浄機入口ポンプ (3FWP21)	-	-	0.10	外																																																																																																																																																						
		タービン動主給水ポンプ油清浄機出口ポンプ (3FWP22)	-	-	0.10	外																																																																																																																																																						
		電動主給水ポンプ (3FWD14)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																						
		電動主給水ポンプ給油ユニット	-	-	2.00	外																																																																																																																																																						
		Aタービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP11A)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																						
		Bタービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP11B)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																						
		電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ (3FWP12)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																													
	<p>表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(4/8)</p> <table border="1" data-bbox="703 252 1267 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">タービン建屋</td><td rowspan="16">B1F</td><td>主タービン油冷却器(B) (N34-B001B)</td><td>T-B1F-2</td><td>-</td><td>0.7</td><td>内</td></tr> <tr><td>MO-RFP 油冷却器(A1) (N21-B011A1)</td><td>T-B1F-1</td><td>○</td><td>0.02</td><td>内</td></tr> <tr><td>MO-RFP 油冷却器(A2) (N21-B011A2)</td><td>T-B1F-1</td><td>○</td><td>0.02</td><td>内</td></tr> <tr><td>MO-RFP 油冷却器(B1) (N21-B011B1)</td><td>T-B1F-1</td><td>○</td><td>0.02</td><td>内</td></tr> <tr><td>MO-RFP 油冷却器(B2) (N21-B011B2)</td><td>T-B1F-1</td><td>○</td><td>0.02</td><td>内</td></tr> <tr><td>HPCP 油冷却器(A) (N21-B012A)</td><td>T-B1F-1</td><td>○</td><td>0.01</td><td>内</td></tr> <tr><td>HPCP 油冷却器(B) (N21-B012B)</td><td>T-B1F-1</td><td>○</td><td>0.01</td><td>内</td></tr> <tr><td>HPCP 油冷却器(C) (N21-B012C)</td><td>T-B1F-1</td><td>○</td><td>0.01</td><td>内</td></tr> <tr><td>主油タンク (N34-A001)</td><td>T-B1F-2</td><td>-</td><td>49.8</td><td>内</td></tr> <tr><td>油補給タンク(A) (N34-A002A)</td><td>T-B1F-2</td><td>-</td><td>50</td><td>内</td></tr> <tr><td>油補給タンク(B) (N34-A002B)</td><td>T-B1F-2</td><td>-</td><td>50</td><td>内</td></tr> <tr><td>HNCW 防食剤添加タンク (P24-A001)</td><td>T-B1F-3</td><td>-</td><td>0.05</td><td>外</td></tr> <tr><td>換気空調補機常用冷却水 系ターボ冷凍機(A) (P24-D002A)</td><td>T-B1F-3</td><td>-</td><td>1.5</td><td>外</td></tr> <tr><td>換気空調補機常用冷却水 系ターボ冷凍機(B) (P24-D002B)</td><td>T-B1F-3</td><td>-</td><td>1.5</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	主タービン油冷却器(B) (N34-B001B)	T-B1F-2	-	0.7	内	MO-RFP 油冷却器(A1) (N21-B011A1)	T-B1F-1	○	0.02	内	MO-RFP 油冷却器(A2) (N21-B011A2)	T-B1F-1	○	0.02	内	MO-RFP 油冷却器(B1) (N21-B011B1)	T-B1F-1	○	0.02	内	MO-RFP 油冷却器(B2) (N21-B011B2)	T-B1F-1	○	0.02	内	HPCP 油冷却器(A) (N21-B012A)	T-B1F-1	○	0.01	内	HPCP 油冷却器(B) (N21-B012B)	T-B1F-1	○	0.01	内	HPCP 油冷却器(C) (N21-B012C)	T-B1F-1	○	0.01	内	主油タンク (N34-A001)	T-B1F-2	-	49.8	内	油補給タンク(A) (N34-A002A)	T-B1F-2	-	50	内	油補給タンク(B) (N34-A002B)	T-B1F-2	-	50	内	HNCW 防食剤添加タンク (P24-A001)	T-B1F-3	-	0.05	外	換気空調補機常用冷却水 系ターボ冷凍機(A) (P24-D002A)	T-B1F-3	-	1.5	外	換気空調補機常用冷却水 系ターボ冷凍機(B) (P24-D002B)	T-B1F-3	-	1.5	外	<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (4/15)</p> <table border="1" data-bbox="1285 240 1854 1018"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">タービン建屋</td><td rowspan="15">B1F</td><td>主油タンク (SLOT03)</td><td>-</td><td>-</td><td>76.48</td><td>外</td></tr> <tr><td>油清浄機 (SLOW02)</td><td>-</td><td>-</td><td>7.20</td><td>外</td></tr> <tr><td>油清浄機ドレンタンク (SLOT06)</td><td>-</td><td>-</td><td>1.02</td><td>外</td></tr> <tr><td>油清浄機送油ポンプ (SLOP08)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.33</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-油冷却器 (SLOW02A)</td><td>-</td><td>-</td><td>10.78</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-油冷却器 (SLOW02B)</td><td>-</td><td>-</td><td>10.78</td><td>外</td></tr> <tr><td>主油タンク循環フィルタ (SLOF01)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.22</td><td>外</td></tr> <tr><td>タービン潤滑軸受フラ ッシングフィルタ (SLOF02)</td><td>-</td><td>-</td><td>1.88</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-スチームコンバータ 給水ポンプ (SSCP01A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.15</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-スチームコンバータ 給水ポンプ (SSCP01B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.15</td><td>外</td></tr> <tr><td>スチームコンバータ給水 タンク (SSCT02)</td><td>-</td><td>-</td><td>10.0</td><td>外</td></tr> <tr><td>スチームコンバータドレ ンク (SSCH02)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.49</td><td>外</td></tr> <tr><td>スチームコンバータドレ ンク (SSCT01)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.40</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	主油タンク (SLOT03)	-	-	76.48	外	油清浄機 (SLOW02)	-	-	7.20	外	油清浄機ドレンタンク (SLOT06)	-	-	1.02	外	油清浄機送油ポンプ (SLOP08)	-	-	0.33	外	A-油冷却器 (SLOW02A)	-	-	10.78	外	B-油冷却器 (SLOW02B)	-	-	10.78	外	主油タンク循環フィルタ (SLOF01)	-	-	0.22	外	タービン潤滑軸受フラ ッシングフィルタ (SLOF02)	-	-	1.88	外	A-スチームコンバータ 給水ポンプ (SSCP01A)	-	-	0.15	外	B-スチームコンバータ 給水ポンプ (SSCP01B)	-	-	0.15	外	スチームコンバータ給水 タンク (SSCT02)	-	-	10.0	外	スチームコンバータドレ ンク (SSCH02)	-	-	0.49	外	スチームコンバータドレ ンク (SSCT01)	-	-	0.40	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																						
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																													
タービン建屋	B1F	主タービン油冷却器(B) (N34-B001B)	T-B1F-2	-	0.7	内																																																																																																																																																										
		MO-RFP 油冷却器(A1) (N21-B011A1)	T-B1F-1	○	0.02	内																																																																																																																																																										
		MO-RFP 油冷却器(A2) (N21-B011A2)	T-B1F-1	○	0.02	内																																																																																																																																																										
		MO-RFP 油冷却器(B1) (N21-B011B1)	T-B1F-1	○	0.02	内																																																																																																																																																										
		MO-RFP 油冷却器(B2) (N21-B011B2)	T-B1F-1	○	0.02	内																																																																																																																																																										
		HPCP 油冷却器(A) (N21-B012A)	T-B1F-1	○	0.01	内																																																																																																																																																										
		HPCP 油冷却器(B) (N21-B012B)	T-B1F-1	○	0.01	内																																																																																																																																																										
		HPCP 油冷却器(C) (N21-B012C)	T-B1F-1	○	0.01	内																																																																																																																																																										
		主油タンク (N34-A001)	T-B1F-2	-	49.8	内																																																																																																																																																										
		油補給タンク(A) (N34-A002A)	T-B1F-2	-	50	内																																																																																																																																																										
		油補給タンク(B) (N34-A002B)	T-B1F-2	-	50	内																																																																																																																																																										
		HNCW 防食剤添加タンク (P24-A001)	T-B1F-3	-	0.05	外																																																																																																																																																										
		換気空調補機常用冷却水 系ターボ冷凍機(A) (P24-D002A)	T-B1F-3	-	1.5	外																																																																																																																																																										
		換気空調補機常用冷却水 系ターボ冷凍機(B) (P24-D002B)	T-B1F-3	-	1.5	外																																																																																																																																																										
		建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																																								
					区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																										
タービン建屋	B1F	主油タンク (SLOT03)	-	-	76.48	外																																																																																																																																																										
		油清浄機 (SLOW02)	-	-	7.20	外																																																																																																																																																										
		油清浄機ドレンタンク (SLOT06)	-	-	1.02	外																																																																																																																																																										
		油清浄機送油ポンプ (SLOP08)	-	-	0.33	外																																																																																																																																																										
		A-油冷却器 (SLOW02A)	-	-	10.78	外																																																																																																																																																										
		B-油冷却器 (SLOW02B)	-	-	10.78	外																																																																																																																																																										
		主油タンク循環フィルタ (SLOF01)	-	-	0.22	外																																																																																																																																																										
		タービン潤滑軸受フラ ッシングフィルタ (SLOF02)	-	-	1.88	外																																																																																																																																																										
		A-スチームコンバータ 給水ポンプ (SSCP01A)	-	-	0.15	外																																																																																																																																																										
		B-スチームコンバータ 給水ポンプ (SSCP01B)	-	-	0.15	外																																																																																																																																																										
		スチームコンバータ給水 タンク (SSCT02)	-	-	10.0	外																																																																																																																																																										
		スチームコンバータドレ ンク (SSCH02)	-	-	0.49	外																																																																																																																																																										
		スチームコンバータドレ ンク (SSCT01)	-	-	0.40	外																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																			
	<p>表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(5/8)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">タービン建屋</td> <td rowspan="8">B1F</td> <td>換気空調補機常用冷却水系冷凍機(A) (P24-D001A)</td> <td>T-B1F-3</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機常用冷却水系冷凍機(B) (P24-D001B)</td> <td>T-B1F-3</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>冷凍機室空調機 (V34-D101)</td> <td>T-B1F-3</td> <td>-</td> <td>0.04</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>水分分離ドレンタンク (A1)(N22-A002A1)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>水分分離ドレンタンク (A2)(N22-A002A2)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>水分分離ドレンタンク (B1)(N22-A002B1)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>水分分離ドレンタンク (B2)(N22-A002B2)</td> <td>T-B1F-2</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>IF</td> <td>蒸気式空気抽出器 (N21-B008)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第3給水加熱器 (A)(N21-B004A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第3給水加熱器 (B)(N21-B004B)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第4給水加熱器 (A)(N21-B005A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>19</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第4給水加熱器 (B)(N21-B005B)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>19</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第1給水加熱器ドレンタンク(A)(N22-A001A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>7</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第1給水加熱器ドレンタンク(B)(N22-A001B)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>7</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(A) (P24-D001A)	T-B1F-3	-	0.9	外	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(B) (P24-D001B)	T-B1F-3	-	0.9	外	冷凍機室空調機 (V34-D101)	T-B1F-3	-	0.04	外	水分分離ドレンタンク (A1)(N22-A002A1)	T-B1F-2	-	0.9	内	水分分離ドレンタンク (A2)(N22-A002A2)	T-B1F-2	-	0.9	内	水分分離ドレンタンク (B1)(N22-A002B1)	T-B1F-2	-	0.9	内	水分分離ドレンタンク (B2)(N22-A002B2)	T-B1F-2	-	0.9	内	IF	蒸気式空気抽出器 (N21-B008)	T-1F-2	-	5	内	低圧第3給水加熱器 (A)(N21-B004A)	T-1F-2	-	23	内	低圧第3給水加熱器 (B)(N21-B004B)	T-1F-2	-	23	内	低圧第4給水加熱器 (A)(N21-B005A)	T-1F-2	-	19	内	低圧第4給水加熱器 (B)(N21-B005B)	T-1F-2	-	19	内	低圧第1給水加熱器ドレンタンク(A)(N22-A001A)	T-1F-2	-	7	内	低圧第1給水加熱器ドレンタンク(B)(N22-A001B)	T-1F-2	-	7	内	<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(5/15)</p> <table border="1" data-bbox="1285 256 1854 1038"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">タービン建屋</td> <td rowspan="15">B1F</td> <td>スチームコンバータ (3SCH01)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>仮設ポンプ (-)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.20</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-所内用空気圧縮機 (3SAP01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.11</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-所内用空気圧縮機 (3SAP01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.11</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-所内用空気冷却器 (3SAB01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.10</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-所内用空気冷却器 (3SAB01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.10</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>第1段SGブロー復水冷却器 (3BDH11)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.65</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>第2段SGブロー復水冷却器 (3BDH12)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.65</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-水分分離器ドレンポンプ (3RSP01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.20</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-水分分離器ドレンポンプ (3RSP01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.20</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-復水器真空ポンプ (3CMP05A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.50</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-復水器真空ポンプ (3CMP05B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.50</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>グラント蒸気復水器 (3GSH01)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4.00</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>固定子冷却水供給装置 (3GEE11)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.43</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	スチームコンバータ (3SCH01)	-	-	8.0	外	仮設ポンプ (-)	-	-	0.20	外	A-所内用空気圧縮機 (3SAP01A)	-	-	0.11	外	B-所内用空気圧縮機 (3SAP01B)	-	-	0.11	外	A-所内用空気冷却器 (3SAB01A)	-	-	0.10	外	B-所内用空気冷却器 (3SAB01B)	-	-	0.10	外	第1段SGブロー復水冷却器 (3BDH11)	-	-	2.65	外	第2段SGブロー復水冷却器 (3BDH12)	-	-	2.65	外	A-水分分離器ドレンポンプ (3RSP01A)	-	-	0.20	外	B-水分分離器ドレンポンプ (3RSP01B)	-	-	0.20	外	A-復水器真空ポンプ (3CMP05A)	-	-	0.50	外	B-復水器真空ポンプ (3CMP05B)	-	-	0.50	外	グラント蒸気復水器 (3GSH01)	-	-	4.00	外	固定子冷却水供給装置 (3GEE11)	-	-	3.43	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m³)	管理 区域																																																																																																																																																												
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																																			
タービン建屋	B1F	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(A) (P24-D001A)	T-B1F-3	-	0.9	外																																																																																																																																																																
		換気空調補機常用冷却水系冷凍機(B) (P24-D001B)	T-B1F-3	-	0.9	外																																																																																																																																																																
		冷凍機室空調機 (V34-D101)	T-B1F-3	-	0.04	外																																																																																																																																																																
		水分分離ドレンタンク (A1)(N22-A002A1)	T-B1F-2	-	0.9	内																																																																																																																																																																
		水分分離ドレンタンク (A2)(N22-A002A2)	T-B1F-2	-	0.9	内																																																																																																																																																																
		水分分離ドレンタンク (B1)(N22-A002B1)	T-B1F-2	-	0.9	内																																																																																																																																																																
		水分分離ドレンタンク (B2)(N22-A002B2)	T-B1F-2	-	0.9	内																																																																																																																																																																
		IF	蒸気式空気抽出器 (N21-B008)	T-1F-2	-	5	内																																																																																																																																																															
	低圧第3給水加熱器 (A)(N21-B004A)	T-1F-2	-	23	内																																																																																																																																																																	
	低圧第3給水加熱器 (B)(N21-B004B)	T-1F-2	-	23	内																																																																																																																																																																	
	低圧第4給水加熱器 (A)(N21-B005A)	T-1F-2	-	19	内																																																																																																																																																																	
	低圧第4給水加熱器 (B)(N21-B005B)	T-1F-2	-	19	内																																																																																																																																																																	
	低圧第1給水加熱器ドレンタンク(A)(N22-A001A)	T-1F-2	-	7	内																																																																																																																																																																	
	低圧第1給水加熱器ドレンタンク(B)(N22-A001B)	T-1F-2	-	7	内																																																																																																																																																																	
建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m³)	管理 区域																																																																																																																																																																
			区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																																		
タービン建屋	B1F	スチームコンバータ (3SCH01)	-	-	8.0	外																																																																																																																																																																
		仮設ポンプ (-)	-	-	0.20	外																																																																																																																																																																
		A-所内用空気圧縮機 (3SAP01A)	-	-	0.11	外																																																																																																																																																																
		B-所内用空気圧縮機 (3SAP01B)	-	-	0.11	外																																																																																																																																																																
		A-所内用空気冷却器 (3SAB01A)	-	-	0.10	外																																																																																																																																																																
		B-所内用空気冷却器 (3SAB01B)	-	-	0.10	外																																																																																																																																																																
		第1段SGブロー復水冷却器 (3BDH11)	-	-	2.65	外																																																																																																																																																																
		第2段SGブロー復水冷却器 (3BDH12)	-	-	2.65	外																																																																																																																																																																
		A-水分分離器ドレンポンプ (3RSP01A)	-	-	0.20	外																																																																																																																																																																
		B-水分分離器ドレンポンプ (3RSP01B)	-	-	0.20	外																																																																																																																																																																
		A-復水器真空ポンプ (3CMP05A)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																																
		B-復水器真空ポンプ (3CMP05B)	-	-	0.50	外																																																																																																																																																																
		グラント蒸気復水器 (3GSH01)	-	-	4.00	外																																																																																																																																																																
		固定子冷却水供給装置 (3GEE11)	-	-	3.43	外																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																													
	表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(6/8)	表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(6/15)	【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる、溢水源、溢水量の相違 記載表現の相違																																																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">タービン建屋</td> <td rowspan="15">1F</td> <td>湿分離加熱器(A) (N25-B001A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器(B) (N25-B001B)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(A1) (N22-A003A1)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(A2) (N22-A003A2)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(B1) (N22-A003B1)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(B2) (N22-A003B2)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(A1) (N22-A004A1)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(A2) (N22-A004A2)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(B1) (N22-A004B1)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(B2) (N22-A004B2)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.74</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>復水脱塩塔(A) (N27-D001A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>27</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	1F	湿分離加熱器(A) (N25-B001A)	T-1F-2	-	10	内	湿分離加熱器(B) (N25-B001B)	T-1F-2	-	10	内	湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(A1) (N22-A003A1)	T-1F-2	-	0.74	内	湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(A2) (N22-A003A2)	T-1F-2	-	0.74	内	湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(B1) (N22-A003B1)	T-1F-2	-	0.74	内	湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(B2) (N22-A003B2)	T-1F-2	-	0.74	内	湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(A1) (N22-A004A1)	T-1F-2	-	0.74	内	湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(A2) (N22-A004A2)	T-1F-2	-	0.74	内	湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(B1) (N22-A004B1)	T-1F-2	-	0.74	内	湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(B2) (N22-A004B2)	T-1F-2	-	0.74	内	復水脱塩塔(A) (N27-D001A)	T-1F-2	-	27	内	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">タービン建屋</td> <td rowspan="15">B1F</td> <td>A-低圧給水加熱器ドレンポンプ (3CWP04A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.20</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-低圧給水加熱器ドレンポンプ (3CWP04B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.20</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-熱受冷却水冷却器 (3ACH01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>34.32</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-熱受冷却水冷却器 (3ACH01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>34.32</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-熱受冷却水ポンプ (3ACP01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.40</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-熱受冷却水ポンプ (3ACP01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.40</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>C-熱受冷却水ポンプ (3ACP01C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.40</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>アンモニア原液タンク (3CLT02)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10.50</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-アンモニア原液移送ポンプ (3CLP02A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.40</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-アンモニア原液移送ポンプ (3CLP02B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.40</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>ヒドラジン原液タンク (3CLT04)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>11.50</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>濃ヒドラジン注入ポンプ (3CLP05)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.10</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-ヒドラジン原液移送ポンプ (3CLP04A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.12</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	A-低圧給水加熱器ドレンポンプ (3CWP04A)	-	-	0.20	外	B-低圧給水加熱器ドレンポンプ (3CWP04B)	-	-	0.20	外	A-熱受冷却水冷却器 (3ACH01A)	-	-	34.32	外	B-熱受冷却水冷却器 (3ACH01B)	-	-	34.32	外	A-熱受冷却水ポンプ (3ACP01A)	-	-	0.40	外	B-熱受冷却水ポンプ (3ACP01B)	-	-	0.40	外	C-熱受冷却水ポンプ (3ACP01C)	-	-	0.40	外	アンモニア原液タンク (3CLT02)	-	-	10.50	外	A-アンモニア原液移送ポンプ (3CLP02A)	-	-	0.40	外	B-アンモニア原液移送ポンプ (3CLP02B)	-	-	0.40	外	ヒドラジン原液タンク (3CLT04)	-	-	11.50	外	濃ヒドラジン注入ポンプ (3CLP05)	-	-	0.10	外	A-ヒドラジン原液移送ポンプ (3CLP04A)	-	-	0.12	外
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m³)	管理 区域																																																																																																																																						
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																													
タービン建屋	1F	湿分離加熱器(A) (N25-B001A)	T-1F-2	-	10	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器(B) (N25-B001B)	T-1F-2	-	10	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(A1) (N22-A003A1)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(A2) (N22-A003A2)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(B1) (N22-A003B1)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(B2) (N22-A003B2)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(A1) (N22-A004A1)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(A2) (N22-A004A2)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(B1) (N22-A004B1)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		湿分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク(B2) (N22-A004B2)	T-1F-2	-	0.74	内																																																																																																																																										
		復水脱塩塔(A) (N27-D001A)	T-1F-2	-	27	内																																																																																																																																										
		建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m³)	管理 区域																																																																																																																																								
					区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																										
		タービン建屋	B1F	A-低圧給水加熱器ドレンポンプ (3CWP04A)	-	-	0.20	外																																																																																																																																								
				B-低圧給水加熱器ドレンポンプ (3CWP04B)	-	-	0.20	外																																																																																																																																								
A-熱受冷却水冷却器 (3ACH01A)	-			-	34.32	外																																																																																																																																										
B-熱受冷却水冷却器 (3ACH01B)	-			-	34.32	外																																																																																																																																										
A-熱受冷却水ポンプ (3ACP01A)	-			-	0.40	外																																																																																																																																										
B-熱受冷却水ポンプ (3ACP01B)	-			-	0.40	外																																																																																																																																										
C-熱受冷却水ポンプ (3ACP01C)	-			-	0.40	外																																																																																																																																										
アンモニア原液タンク (3CLT02)	-			-	10.50	外																																																																																																																																										
A-アンモニア原液移送ポンプ (3CLP02A)	-			-	0.40	外																																																																																																																																										
B-アンモニア原液移送ポンプ (3CLP02B)	-			-	0.40	外																																																																																																																																										
ヒドラジン原液タンク (3CLT04)	-			-	11.50	外																																																																																																																																										
濃ヒドラジン注入ポンプ (3CLP05)	-			-	0.10	外																																																																																																																																										
A-ヒドラジン原液移送ポンプ (3CLP04A)	-			-	0.12	外																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																			
	<p>表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(7/8)</p> <table border="1" data-bbox="705 252 1265 1034"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">タービン建屋</td><td rowspan="16">1F</td><td>復水脱塩塔(B) (N27-D01B)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>27</td><td>内</td></tr> <tr><td>復水脱塩塔(C) (N27-D01C)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>27</td><td>内</td></tr> <tr><td>復水脱塩塔(D) (N27-D01D)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>27</td><td>内</td></tr> <tr><td>復水脱塩塔(E) (N27-D01E)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>27</td><td>内</td></tr> <tr><td>復水脱塩塔(F) (N27-D01F)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>27</td><td>内</td></tr> <tr><td>樹脂ストレーナ(A) (N27-D02A)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>0.26</td><td>内</td></tr> <tr><td>樹脂ストレーナ(B) (N27-D02B)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>0.26</td><td>内</td></tr> <tr><td>樹脂ストレーナ(C) (N27-D02C)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>0.26</td><td>内</td></tr> <tr><td>樹脂ストレーナ(D) (N27-D02D)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>0.26</td><td>内</td></tr> <tr><td>樹脂ストレーナ(E) (N27-D02E)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>0.26</td><td>内</td></tr> <tr><td>樹脂ストレーナ(F) (N27-D02F)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>0.26</td><td>内</td></tr> <tr><td>固定子巻線冷却水装置貯水槽(N41-D001)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>2.9</td><td>内</td></tr> <tr><td>固定子巻線冷却水装置冷却器(N41-D001)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>2.4</td><td>内</td></tr> <tr><td>固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔(N44-D01)</td><td>T-1F-2</td><td>-</td><td>2.08</td><td>内</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	1F	復水脱塩塔(B) (N27-D01B)	T-1F-2	-	27	内	復水脱塩塔(C) (N27-D01C)	T-1F-2	-	27	内	復水脱塩塔(D) (N27-D01D)	T-1F-2	-	27	内	復水脱塩塔(E) (N27-D01E)	T-1F-2	-	27	内	復水脱塩塔(F) (N27-D01F)	T-1F-2	-	27	内	樹脂ストレーナ(A) (N27-D02A)	T-1F-2	-	0.26	内	樹脂ストレーナ(B) (N27-D02B)	T-1F-2	-	0.26	内	樹脂ストレーナ(C) (N27-D02C)	T-1F-2	-	0.26	内	樹脂ストレーナ(D) (N27-D02D)	T-1F-2	-	0.26	内	樹脂ストレーナ(E) (N27-D02E)	T-1F-2	-	0.26	内	樹脂ストレーナ(F) (N27-D02F)	T-1F-2	-	0.26	内	固定子巻線冷却水装置貯水槽(N41-D001)	T-1F-2	-	2.9	内	固定子巻線冷却水装置冷却器(N41-D001)	T-1F-2	-	2.4	内	固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔(N44-D01)	T-1F-2	-	2.08	内	<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(7/15)</p> <table border="1" data-bbox="1288 252 1848 1005"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">タービン建屋</td><td rowspan="14">B1F</td><td>B-ヒドラジン原液移送ポンプ (3CLP040)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.12</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-ヒドラジタンク (3CLT03A)</td><td>-</td><td>-</td><td>1.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-ヒドラジタンク (3CLT03B)</td><td>-</td><td>-</td><td>1.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-アンモニアタンク (3CLT01A)</td><td>-</td><td>-</td><td>1.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-アンモニアタンク (3CLT01B)</td><td>-</td><td>-</td><td>1.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-アンモニア注入ポンプ (3CLP01A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.12</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-アンモニア注入ポンプ (3CLP01B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.12</td><td>外</td></tr> <tr><td>C-アンモニア注入ポンプ (3CLP01C)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.12</td><td>外</td></tr> <tr><td>A-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.12</td><td>外</td></tr> <tr><td>B-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.12</td><td>外</td></tr> <tr><td>C-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03C)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.12</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	B-ヒドラジン原液移送ポンプ (3CLP040)	-	-	0.12	外	A-ヒドラジタンク (3CLT03A)	-	-	1.50	外	B-ヒドラジタンク (3CLT03B)	-	-	1.50	外	A-アンモニアタンク (3CLT01A)	-	-	1.50	外	B-アンモニアタンク (3CLT01B)	-	-	1.50	外	A-アンモニア注入ポンプ (3CLP01A)	-	-	0.12	外	B-アンモニア注入ポンプ (3CLP01B)	-	-	0.12	外	C-アンモニア注入ポンプ (3CLP01C)	-	-	0.12	外	A-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03A)	-	-	0.12	外	B-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03B)	-	-	0.12	外	C-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03C)	-	-	0.12	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																												
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																			
タービン建屋	1F	復水脱塩塔(B) (N27-D01B)	T-1F-2	-	27	内																																																																																																																																																
		復水脱塩塔(C) (N27-D01C)	T-1F-2	-	27	内																																																																																																																																																
		復水脱塩塔(D) (N27-D01D)	T-1F-2	-	27	内																																																																																																																																																
		復水脱塩塔(E) (N27-D01E)	T-1F-2	-	27	内																																																																																																																																																
		復水脱塩塔(F) (N27-D01F)	T-1F-2	-	27	内																																																																																																																																																
		樹脂ストレーナ(A) (N27-D02A)	T-1F-2	-	0.26	内																																																																																																																																																
		樹脂ストレーナ(B) (N27-D02B)	T-1F-2	-	0.26	内																																																																																																																																																
		樹脂ストレーナ(C) (N27-D02C)	T-1F-2	-	0.26	内																																																																																																																																																
		樹脂ストレーナ(D) (N27-D02D)	T-1F-2	-	0.26	内																																																																																																																																																
		樹脂ストレーナ(E) (N27-D02E)	T-1F-2	-	0.26	内																																																																																																																																																
		樹脂ストレーナ(F) (N27-D02F)	T-1F-2	-	0.26	内																																																																																																																																																
		固定子巻線冷却水装置貯水槽(N41-D001)	T-1F-2	-	2.9	内																																																																																																																																																
		固定子巻線冷却水装置冷却器(N41-D001)	T-1F-2	-	2.4	内																																																																																																																																																
		固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔(N44-D01)	T-1F-2	-	2.08	内																																																																																																																																																
		建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																														
					区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																																
タービン建屋	B1F	B-ヒドラジン原液移送ポンプ (3CLP040)	-	-	0.12	外																																																																																																																																																
		A-ヒドラジタンク (3CLT03A)	-	-	1.50	外																																																																																																																																																
		B-ヒドラジタンク (3CLT03B)	-	-	1.50	外																																																																																																																																																
		A-アンモニアタンク (3CLT01A)	-	-	1.50	外																																																																																																																																																
		B-アンモニアタンク (3CLT01B)	-	-	1.50	外																																																																																																																																																
		A-アンモニア注入ポンプ (3CLP01A)	-	-	0.12	外																																																																																																																																																
		B-アンモニア注入ポンプ (3CLP01B)	-	-	0.12	外																																																																																																																																																
		C-アンモニア注入ポンプ (3CLP01C)	-	-	0.12	外																																																																																																																																																
		A-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03A)	-	-	0.12	外																																																																																																																																																
		B-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03B)	-	-	0.12	外																																																																																																																																																
		C-希ヒドラジン注入ポンプ (3CLP03C)	-	-	0.12	外																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																															
	<p>表5 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器(8/8)</p> <table border="1" data-bbox="707 248 1263 903"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">タービン建屋</td> <td rowspan="13">1F</td> <td>復水器室空調機(B) (V20-D104B)</td> <td>T-1F-1</td> <td>○</td> <td>0.15</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>空気抽出器室空調機 (V20-D103)</td> <td>T-1F-1</td> <td>○</td> <td>0.05</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>SCR 復室空調機 (V20-D105)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.15</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>相分離母線冷却器 (R13-D001)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>2.79</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>発電機水素ガス冷却器 (M1-C001)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>3.42</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第1給水加熱器 (A)(N21-B002A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第1給水加熱器 (B)(N21-B002B)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第2給水加熱器 (A)(N21-B003A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>28</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>低圧第2給水加熱器 (B)(N21-B003B)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>28</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>復水器室空調機(A) (V20-D104A)</td> <td>T-1F-2</td> <td>-</td> <td>0.15</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>グラント蒸気発生器 (N33-B001)</td> <td>T-2F-1</td> <td>-</td> <td>64</td> <td>内</td> </tr> <tr> <td>TCW オージタンク (P43-A002)</td> <td>T-2F-1</td> <td>-</td> <td>2.7</td> <td>内</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	1F	復水器室空調機(B) (V20-D104B)	T-1F-1	○	0.15	内	空気抽出器室空調機 (V20-D103)	T-1F-1	○	0.05	内	SCR 復室空調機 (V20-D105)	T-1F-2	-	0.15	内	相分離母線冷却器 (R13-D001)	T-1F-2	-	2.79	内	発電機水素ガス冷却器 (M1-C001)	T-1F-2	-	3.42	内	低圧第1給水加熱器 (A)(N21-B002A)	T-1F-2	-	9	内	低圧第1給水加熱器 (B)(N21-B002B)	T-1F-2	-	9	内	低圧第2給水加熱器 (A)(N21-B003A)	T-1F-2	-	28	内	低圧第2給水加熱器 (B)(N21-B003B)	T-1F-2	-	28	内	復水器室空調機(A) (V20-D104A)	T-1F-2	-	0.15	内	2F	グラント蒸気発生器 (N33-B001)	T-2F-1	-	64	内	TCW オージタンク (P43-A002)	T-2F-1	-	2.7	内	<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (8/15)</p> <table border="1" data-bbox="1290 248 1850 1011"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">タービン建屋</td> <td rowspan="14">B1F</td> <td>薬液注入装置スクラバー (3CLW00)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-2次系補給水ポンプ (3BWP11A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-2次系補給水ポンプ (3BWP11B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>2次系補給水ポンプミニ マムフロー冷却器 (3BWD11)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.12</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.30</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.30</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.01</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.01</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>A-2次系補給水脱塩塔 循環ポンプ (3BWD12A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.058</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B-2次系補給水脱塩塔 循環ポンプ (3BWD12B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.058</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>カチオン再生塔 (3WTD02)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>31.9</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>混合樹脂受入槽 (3WTT01)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25.5</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン建屋	B1F	薬液注入装置スクラバー (3CLW00)	-	-	0.05	外	A-2次系補給水ポンプ (3BWP11A)	-	-	0.05	外	B-2次系補給水ポンプ (3BWP11B)	-	-	0.05	外	2次系補給水ポンプミニ マムフロー冷却器 (3BWD11)	-	-	0.12	外	A-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11A)	-	-	3.30	外	B-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11B)	-	-	3.30	外	A-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11A)	-	-	0.01	外	B-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11B)	-	-	0.01	外	A-2次系補給水脱塩塔 循環ポンプ (3BWD12A)	-	-	0.058	外	B-2次系補給水脱塩塔 循環ポンプ (3BWD12B)	-	-	0.058	外	カチオン再生塔 (3WTD02)	-	-	31.9	外	混合樹脂受入槽 (3WTT01)	-	-	25.5	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																								
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																																															
タービン建屋	1F	復水器室空調機(B) (V20-D104B)	T-1F-1	○	0.15	内																																																																																																																																												
		空気抽出器室空調機 (V20-D103)	T-1F-1	○	0.05	内																																																																																																																																												
		SCR 復室空調機 (V20-D105)	T-1F-2	-	0.15	内																																																																																																																																												
		相分離母線冷却器 (R13-D001)	T-1F-2	-	2.79	内																																																																																																																																												
		発電機水素ガス冷却器 (M1-C001)	T-1F-2	-	3.42	内																																																																																																																																												
		低圧第1給水加熱器 (A)(N21-B002A)	T-1F-2	-	9	内																																																																																																																																												
		低圧第1給水加熱器 (B)(N21-B002B)	T-1F-2	-	9	内																																																																																																																																												
		低圧第2給水加熱器 (A)(N21-B003A)	T-1F-2	-	28	内																																																																																																																																												
		低圧第2給水加熱器 (B)(N21-B003B)	T-1F-2	-	28	内																																																																																																																																												
		復水器室空調機(A) (V20-D104A)	T-1F-2	-	0.15	内																																																																																																																																												
		2F	グラント蒸気発生器 (N33-B001)	T-2F-1	-	64	内																																																																																																																																											
		TCW オージタンク (P43-A002)	T-2F-1	-	2.7	内																																																																																																																																												
		建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																																										
	区画番号				防護 対象区画																																																																																																																																													
タービン建屋	B1F	薬液注入装置スクラバー (3CLW00)	-	-	0.05	外																																																																																																																																												
		A-2次系補給水ポンプ (3BWP11A)	-	-	0.05	外																																																																																																																																												
		B-2次系補給水ポンプ (3BWP11B)	-	-	0.05	外																																																																																																																																												
		2次系補給水ポンプミニ マムフロー冷却器 (3BWD11)	-	-	0.12	外																																																																																																																																												
		A-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11A)	-	-	3.30	外																																																																																																																																												
		B-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11B)	-	-	3.30	外																																																																																																																																												
		A-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11A)	-	-	0.01	外																																																																																																																																												
		B-2次系補給水脱塩塔 (3BWD11B)	-	-	0.01	外																																																																																																																																												
		A-2次系補給水脱塩塔 循環ポンプ (3BWD12A)	-	-	0.058	外																																																																																																																																												
		B-2次系補給水脱塩塔 循環ポンプ (3BWD12B)	-	-	0.058	外																																																																																																																																												
		カチオン再生塔 (3WTD02)	-	-	31.9	外																																																																																																																																												
		混合樹脂受入槽 (3WTT01)	-	-	25.5	外																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
		<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (9/15)</p> <table border="1" data-bbox="1290 256 1859 1000"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">タービン 建屋</td> <td>B1F</td> <td>樹脂補給ホッパ (3WTM03)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.7</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>A-洗浄排液槽排水ポン プ (3WTP06A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.135</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B-洗浄排液槽排水ポン プ (3WTP06B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.135</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>A-洗浄循環ポンプ (3WTP03A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.20</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B-洗浄循環ポンプ (3WTP03B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.20</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>アニオン再生塔 (3WTD03)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8.30</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>A-中和排液槽排水ポン プ (3WTP05A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.28</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B-中和排液槽排水ポン プ (3WTP05B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.28</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>硫酸スクラバ (3WTM01)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-高圧第6給水加熱器 (3FWH01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10.79</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B-高圧第6給水加熱器 (3FWH01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10.79</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>高圧油供給装置 (31OE01)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.47</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン 建屋	B1F	樹脂補給ホッパ (3WTM03)	-	-	1.7	外	B1F	A-洗浄排液槽排水ポン プ (3WTP06A)	-	-	0.135	外	B1F	B-洗浄排液槽排水ポン プ (3WTP06B)	-	-	0.135	外	B1F	A-洗浄循環ポンプ (3WTP03A)	-	-	0.20	外	B1F	B-洗浄循環ポンプ (3WTP03B)	-	-	0.20	外	B1F	アニオン再生塔 (3WTD03)	-	-	8.30	外	B1F	A-中和排液槽排水ポン プ (3WTP05A)	-	-	0.28	外	B1F	B-中和排液槽排水ポン プ (3WTP05B)	-	-	0.28	外	B1F	硫酸スクラバ (3WTM01)	-	-	0.05	外	1F	A-高圧第6給水加熱器 (3FWH01A)	-	-	10.79	外	1F	B-高圧第6給水加熱器 (3FWH01B)	-	-	10.79	外	1F	高圧油供給装置 (31OE01)	-	-	1.47	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア	溢水源 (機器番号)				設置区画				溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																										
			区画番号	防護 対象区画																																																																																	
タービン 建屋	B1F	樹脂補給ホッパ (3WTM03)	-	-	1.7	外																																																																															
	B1F	A-洗浄排液槽排水ポン プ (3WTP06A)	-	-	0.135	外																																																																															
	B1F	B-洗浄排液槽排水ポン プ (3WTP06B)	-	-	0.135	外																																																																															
	B1F	A-洗浄循環ポンプ (3WTP03A)	-	-	0.20	外																																																																															
	B1F	B-洗浄循環ポンプ (3WTP03B)	-	-	0.20	外																																																																															
	B1F	アニオン再生塔 (3WTD03)	-	-	8.30	外																																																																															
	B1F	A-中和排液槽排水ポン プ (3WTP05A)	-	-	0.28	外																																																																															
	B1F	B-中和排液槽排水ポン プ (3WTP05B)	-	-	0.28	外																																																																															
	B1F	硫酸スクラバ (3WTM01)	-	-	0.05	外																																																																															
	1F	A-高圧第6給水加熱器 (3FWH01A)	-	-	10.79	外																																																																															
	1F	B-高圧第6給水加熱器 (3FWH01B)	-	-	10.79	外																																																																															
	1F	高圧油供給装置 (31OE01)	-	-	1.47	外																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (10/15)</p> <table border="1" data-bbox="1294 252 1854 976"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">タービン 建屋</td> <td>1F</td> <td>潤滑油設備仮設ボールフ ィルタ (-)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6.61</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>潤滑油設備仮設フィルタ (-)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.36</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>脱気器再循環ポンプ (3CWP03)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-低圧給水加熱器ドレ ンタンク (3CWT04A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.06</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B-低圧給水加熱器ドレ ンタンク (3CWT04B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.06</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>SGブロー熱回収フラッシ ュタンク (3BDT11)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.41</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A1-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST02A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.69</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A2-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST02B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.69</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B1-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST03A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.69</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B2-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST03B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.69</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン 建屋	1F	潤滑油設備仮設ボールフ ィルタ (-)	-	-	6.61	外	1F	潤滑油設備仮設フィルタ (-)	-	-	2.36	外	1F	脱気器再循環ポンプ (3CWP03)	-	-	0.05	外	1F	A-低圧給水加熱器ドレ ンタンク (3CWT04A)	-	-	2.06	外	1F	B-低圧給水加熱器ドレ ンタンク (3CWT04B)	-	-	2.06	外	1F	SGブロー熱回収フラッシ ュタンク (3BDT11)	-	-	1.41	外	1F	A1-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST02A)	-	-	0.69	外	1F	A2-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST02B)	-	-	0.69	外	1F	B1-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST03A)	-	-	0.69	外	1F	B2-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST03B)	-	-	0.69	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア	溢水源 (機器番号)				設置区画				溢水量 (m ³)	管理 区域																																																														
			区画番号	防護 対象区画																																																																					
タービン 建屋	1F	潤滑油設備仮設ボールフ ィルタ (-)	-	-	6.61	外																																																																			
	1F	潤滑油設備仮設フィルタ (-)	-	-	2.36	外																																																																			
	1F	脱気器再循環ポンプ (3CWP03)	-	-	0.05	外																																																																			
	1F	A-低圧給水加熱器ドレ ンタンク (3CWT04A)	-	-	2.06	外																																																																			
	1F	B-低圧給水加熱器ドレ ンタンク (3CWT04B)	-	-	2.06	外																																																																			
	1F	SGブロー熱回収フラッシ ュタンク (3BDT11)	-	-	1.41	外																																																																			
	1F	A1-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST02A)	-	-	0.69	外																																																																			
	1F	A2-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST02B)	-	-	0.69	外																																																																			
	1F	B1-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST03A)	-	-	0.69	外																																																																			
	1F	B2-第1段蒸分分離加 熱器ドレンタンク (3RST03B)	-	-	0.69	外																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
		<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (11/15)</p> <table border="1" data-bbox="1290 244 1859 1018"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">設備名 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m^3)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="11">タービン 建屋</td> <td>1F</td> <td>A1-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST04A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.39</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A2-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST04B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.39</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B1-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST05A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.39</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B2-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST05B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.39</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-凝分分離器ドレンタ ンク (3RST01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.54</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B-凝分分離器ドレンタ ンク (3RST01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.54</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-低圧第1給水加熱器 (3CH02A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6.87</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B-低圧第1給水加熱器 (3CH02B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6.87</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-低圧第2給水加熱器 (3CH03A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.97</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B-低圧第2給水加熱器 (3CH03B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.97</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-復水器真空ポンプ真 空脱気塔真空ポンプ (3CF05A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.09</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	設備名 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m^3)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン 建屋	1F	A1-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST04A)	-	-	0.39	外	1F	A2-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST04B)	-	-	0.39	外	1F	B1-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST05A)	-	-	0.39	外	1F	B2-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST05B)	-	-	0.39	外	1F	A-凝分分離器ドレンタ ンク (3RST01A)	-	-	2.54	外	1F	B-凝分分離器ドレンタ ンク (3RST01B)	-	-	2.54	外	1F	A-低圧第1給水加熱器 (3CH02A)	-	-	6.87	外	1F	B-低圧第1給水加熱器 (3CH02B)	-	-	6.87	外	1F	A-低圧第2給水加熱器 (3CH03A)	-	-	3.97	外	1F	B-低圧第2給水加熱器 (3CH03B)	-	-	3.97	外	1F	A-復水器真空ポンプ真 空脱気塔真空ポンプ (3CF05A)	-	-	0.09	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア	設備名 (機器番号)				設置区画				溢水量 (m^3)	管理 区域																																																																				
			区画番号	防護 対象区画																																																																											
タービン 建屋	1F	A1-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST04A)	-	-	0.39	外																																																																									
	1F	A2-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST04B)	-	-	0.39	外																																																																									
	1F	B1-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST05A)	-	-	0.39	外																																																																									
	1F	B2-第2段凝分分離加 熱器ドレンタンク (3RST05B)	-	-	0.39	外																																																																									
	1F	A-凝分分離器ドレンタ ンク (3RST01A)	-	-	2.54	外																																																																									
	1F	B-凝分分離器ドレンタ ンク (3RST01B)	-	-	2.54	外																																																																									
	1F	A-低圧第1給水加熱器 (3CH02A)	-	-	6.87	外																																																																									
	1F	B-低圧第1給水加熱器 (3CH02B)	-	-	6.87	外																																																																									
	1F	A-低圧第2給水加熱器 (3CH03A)	-	-	3.97	外																																																																									
	1F	B-低圧第2給水加熱器 (3CH03B)	-	-	3.97	外																																																																									
	1F	A-復水器真空ポンプ真 空脱気塔真空ポンプ (3CF05A)	-	-	0.09	外																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
		<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (12/15)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">タービン 建屋</td> <td>1F</td> <td>B-復水器真空ポンプ真空脱気塔真空ポンプ (3CRF06B)</td> <td></td> <td></td> <td>0.09</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-復水器真空ポンプセパレータタンク (3CWT01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.04</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B-復水器真空ポンプセパレータタンク (3CWT01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.04</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>真空脱気器 (3UW02)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.14</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>純水加熱器 (3UW03)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.34</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>復水器水室空気抜きポンプ (3JAP02)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.02</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-脱塩塔 (3WTD01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>B-脱塩塔 (3WTD01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>C-脱塩塔 (3WTD01C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>D-脱塩塔 (3WTD01D)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>E-脱塩塔 (3WTD01E)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>A-脱塩塔循環ポンプ (3WTF01A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.05</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン 建屋	1F	B-復水器真空ポンプ真空脱気塔真空ポンプ (3CRF06B)			0.09	外	1F	A-復水器真空ポンプセパレータタンク (3CWT01A)	-	-	0.04	外	1F	B-復水器真空ポンプセパレータタンク (3CWT01B)	-	-	0.04	外	1F	真空脱気器 (3UW02)	-	-	3.14	外	1F	純水加熱器 (3UW03)	-	-	0.34	外	1F	復水器水室空気抜きポンプ (3JAP02)	-	-	0.02	外	1F	A-脱塩塔 (3WTD01A)	-	-	30.0	外	1F	B-脱塩塔 (3WTD01B)	-	-	30.0	外	1F	C-脱塩塔 (3WTD01C)	-	-	30.0	外	1F	D-脱塩塔 (3WTD01D)	-	-	30.0	外	1F	E-脱塩塔 (3WTD01E)	-	-	30.0	外	1F	A-脱塩塔循環ポンプ (3WTF01A)	-	-	0.05	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア	溢水源 (機器番号)				設置区画				溢水量 (m³)	管理 区域																																																																										
			区画番号	防護 対象区画																																																																																	
タービン 建屋	1F	B-復水器真空ポンプ真空脱気塔真空ポンプ (3CRF06B)			0.09	外																																																																															
	1F	A-復水器真空ポンプセパレータタンク (3CWT01A)	-	-	0.04	外																																																																															
	1F	B-復水器真空ポンプセパレータタンク (3CWT01B)	-	-	0.04	外																																																																															
	1F	真空脱気器 (3UW02)	-	-	3.14	外																																																																															
	1F	純水加熱器 (3UW03)	-	-	0.34	外																																																																															
	1F	復水器水室空気抜きポンプ (3JAP02)	-	-	0.02	外																																																																															
	1F	A-脱塩塔 (3WTD01A)	-	-	30.0	外																																																																															
	1F	B-脱塩塔 (3WTD01B)	-	-	30.0	外																																																																															
	1F	C-脱塩塔 (3WTD01C)	-	-	30.0	外																																																																															
	1F	D-脱塩塔 (3WTD01D)	-	-	30.0	外																																																																															
	1F	E-脱塩塔 (3WTD01E)	-	-	30.0	外																																																																															
	1F	A-脱塩塔循環ポンプ (3WTF01A)	-	-	0.05	外																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
		<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (13/15)</p> <table border="1" data-bbox="1288 256 1854 1002"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">設備名 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">タービン 建屋</td><td>1F</td><td>B-脱塩塔循環ポンプ (3WTF01B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.05</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>A-復水器過器 (3WTF01A)</td><td>-</td><td>-</td><td>6.0</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>B-復水器過器 (3WTF01B)</td><td>-</td><td>-</td><td>6.0</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>レジキヤッチャ (3WTF04)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.20</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>A-レジントラップ (3WTF02A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>B-レジントラップ (3WTF02B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>C-レジントラップ (3WTF02C)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>D-レジントラップ (3WTF02D)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>E-レジントラップ (3WTF02E)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.50</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>A-SGブロー脱塩用循環 ポンプ (3WTF02A)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.065</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>B-SGブロー脱塩用循環 ポンプ (3WTF02B)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.065</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>塩酸貯槽 (3WTF02)</td><td>-</td><td>-</td><td>35.0</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>A-塩酸計量槽 (3WTF04A)</td><td>-</td><td>-</td><td>4.40</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	設備名 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン 建屋	1F	B-脱塩塔循環ポンプ (3WTF01B)	-	-	0.05	外	1F	A-復水器過器 (3WTF01A)	-	-	6.0	外	1F	B-復水器過器 (3WTF01B)	-	-	6.0	外	1F	レジキヤッチャ (3WTF04)	-	-	0.20	外	1F	A-レジントラップ (3WTF02A)	-	-	0.50	外	1F	B-レジントラップ (3WTF02B)	-	-	0.50	外	1F	C-レジントラップ (3WTF02C)	-	-	0.50	外	1F	D-レジントラップ (3WTF02D)	-	-	0.50	外	1F	E-レジントラップ (3WTF02E)	-	-	0.50	外	1F	A-SGブロー脱塩用循環 ポンプ (3WTF02A)	-	-	0.065	外	1F	B-SGブロー脱塩用循環 ポンプ (3WTF02B)	-	-	0.065	外	1F	塩酸貯槽 (3WTF02)	-	-	35.0	外	1F	A-塩酸計量槽 (3WTF04A)	-	-	4.40	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア	設備名 (機器番号)				設置区画				溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																
			区画番号	防護 対象区画																																																																																							
タービン 建屋	1F	B-脱塩塔循環ポンプ (3WTF01B)	-	-	0.05	外																																																																																					
	1F	A-復水器過器 (3WTF01A)	-	-	6.0	外																																																																																					
	1F	B-復水器過器 (3WTF01B)	-	-	6.0	外																																																																																					
	1F	レジキヤッチャ (3WTF04)	-	-	0.20	外																																																																																					
	1F	A-レジントラップ (3WTF02A)	-	-	0.50	外																																																																																					
	1F	B-レジントラップ (3WTF02B)	-	-	0.50	外																																																																																					
	1F	C-レジントラップ (3WTF02C)	-	-	0.50	外																																																																																					
	1F	D-レジントラップ (3WTF02D)	-	-	0.50	外																																																																																					
	1F	E-レジントラップ (3WTF02E)	-	-	0.50	外																																																																																					
	1F	A-SGブロー脱塩用循環 ポンプ (3WTF02A)	-	-	0.065	外																																																																																					
	1F	B-SGブロー脱塩用循環 ポンプ (3WTF02B)	-	-	0.065	外																																																																																					
	1F	塩酸貯槽 (3WTF02)	-	-	35.0	外																																																																																					
	1F	A-塩酸計量槽 (3WTF04A)	-	-	4.40	外																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
		<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (14/15)</p> <table border="1" data-bbox="1290 245 1859 981"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">設水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">設水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">タービン 建屋</td><td>1F</td><td>B-塩酸計量槽 (3WT04B)</td><td>-</td><td>-</td><td>4.40</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>塩酸スクラバ (3WT04)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.20</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>A-苛性ソーダ計量槽 (3WT05A)</td><td>-</td><td>-</td><td>3.70</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>B-苛性ソーダ計量槽 (3WT05B)</td><td>-</td><td>-</td><td>3.70</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>苛性ソーダ貯槽 (3WT03)</td><td>-</td><td>-</td><td>50.0</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>サンプリングシンク (-)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.38</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>密封油処理装置 (3GEE9)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.58</td><td>外</td></tr> <tr><td>1F</td><td>軸受ジャッキング油ポン プユニット (3J00U)</td><td>-</td><td>-</td><td>0.05</td><td>外</td></tr> <tr><td>2F</td><td>A-低圧第3給水加熱器 (3C0004A)</td><td>-</td><td>-</td><td>4.91</td><td>外</td></tr> <tr><td>2F</td><td>B-低圧第3給水加熱器 (3C0004B)</td><td>-</td><td>-</td><td>4.91</td><td>外</td></tr> <tr><td>2F</td><td>A-低圧第4給水加熱器 (3C0005A)</td><td>-</td><td>-</td><td>5.89</td><td>外</td></tr> <tr><td>2F</td><td>B-低圧第4給水加熱器 (3C0005B)</td><td>-</td><td>-</td><td>5.89</td><td>外</td></tr> <tr><td>2F</td><td>A-限分分離加熱器 (3S0011A)</td><td>-</td><td>-</td><td>40.0</td><td>外</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	設水源 (機器番号)	設置区画		設水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン 建屋	1F	B-塩酸計量槽 (3WT04B)	-	-	4.40	外	1F	塩酸スクラバ (3WT04)	-	-	0.20	外	1F	A-苛性ソーダ計量槽 (3WT05A)	-	-	3.70	外	1F	B-苛性ソーダ計量槽 (3WT05B)	-	-	3.70	外	1F	苛性ソーダ貯槽 (3WT03)	-	-	50.0	外	1F	サンプリングシンク (-)	-	-	0.38	外	1F	密封油処理装置 (3GEE9)	-	-	0.58	外	1F	軸受ジャッキング油ポン プユニット (3J00U)	-	-	0.05	外	2F	A-低圧第3給水加熱器 (3C0004A)	-	-	4.91	外	2F	B-低圧第3給水加熱器 (3C0004B)	-	-	4.91	外	2F	A-低圧第4給水加熱器 (3C0005A)	-	-	5.89	外	2F	B-低圧第4給水加熱器 (3C0005B)	-	-	5.89	外	2F	A-限分分離加熱器 (3S0011A)	-	-	40.0	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア	設水源 (機器番号)				設置区画				設水量 (m ³)	管理 区域																																																																																
			区画番号	防護 対象区画																																																																																							
タービン 建屋	1F	B-塩酸計量槽 (3WT04B)	-	-	4.40	外																																																																																					
	1F	塩酸スクラバ (3WT04)	-	-	0.20	外																																																																																					
	1F	A-苛性ソーダ計量槽 (3WT05A)	-	-	3.70	外																																																																																					
	1F	B-苛性ソーダ計量槽 (3WT05B)	-	-	3.70	外																																																																																					
	1F	苛性ソーダ貯槽 (3WT03)	-	-	50.0	外																																																																																					
	1F	サンプリングシンク (-)	-	-	0.38	外																																																																																					
	1F	密封油処理装置 (3GEE9)	-	-	0.58	外																																																																																					
	1F	軸受ジャッキング油ポン プユニット (3J00U)	-	-	0.05	外																																																																																					
	2F	A-低圧第3給水加熱器 (3C0004A)	-	-	4.91	外																																																																																					
	2F	B-低圧第3給水加熱器 (3C0004B)	-	-	4.91	外																																																																																					
	2F	A-低圧第4給水加熱器 (3C0005A)	-	-	5.89	外																																																																																					
	2F	B-低圧第4給水加熱器 (3C0005B)	-	-	5.89	外																																																																																					
	2F	A-限分分離加熱器 (3S0011A)	-	-	40.0	外																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
		<p>表4 タービン建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (15/15)</p> <table border="1" data-bbox="1290 244 1854 751"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">設備名 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">タービン 建屋</td> <td>2F</td> <td>B-渠分凝加熱器 (BRSB01B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>40.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>3F</td> <td>軸受冷却水 スタンドパイプ (SACM1)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>3F</td> <td>定検用軸受冷却水 スタンドパイプ (SACM1)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.0</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>3F</td> <td>脱気器 (CCH06A)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="2">411.89</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>3F</td> <td>脱気器 (CCH06B)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>配管 (循環水管伸縮継 手)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>28370^{※1}</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>配管 (循環水管伸縮継手 を除く)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>482.76</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>屋外タンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9600</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 基準地震動によって破損するため系統隔離による溢水の停止を前提とした機器であり、設水評価で想定する溢水量</p>	建屋	フロア	設備名 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	タービン 建屋	2F	B-渠分凝加熱器 (BRSB01B)	-	-	40.0	外	3F	軸受冷却水 スタンドパイプ (SACM1)	-	-	2.0	外	3F	定検用軸受冷却水 スタンドパイプ (SACM1)	-	-	2.0	外	3F	脱気器 (CCH06A)	-	-	411.89	外	3F	脱気器 (CCH06B)	-	-	外	-	配管 (循環水管伸縮継 手)	-	-	28370 ^{※1}	外	-	配管 (循環水管伸縮継手 を除く)	-	-	482.76	外	-	屋外タンク	-	-	9600	外	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の違いによる、溢水 源、溢水量の相違 ・泊では、基準地震動によって破 損するため系統隔離による溢水の 停止を前提とした機器がある。 （伊方と同様） <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア	設備名 (機器番号)				設置区画				溢水量 (m ³)	管理 区域																																																	
			区画番号	防護 対象区画																																																								
タービン 建屋	2F	B-渠分凝加熱器 (BRSB01B)	-	-	40.0	外																																																						
	3F	軸受冷却水 スタンドパイプ (SACM1)	-	-	2.0	外																																																						
	3F	定検用軸受冷却水 スタンドパイプ (SACM1)	-	-	2.0	外																																																						
	3F	脱気器 (CCH06A)	-	-	411.89	外																																																						
	3F	脱気器 (CCH06B)	-	-		外																																																						
	-	配管 (循環水管伸縮継 手)	-	-	28370 ^{※1}	外																																																						
	-	配管 (循環水管伸縮継手 を除く)	-	-	482.76	外																																																						
	-	屋外タンク	-	-	9600	外																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																									
	<p>表6 補助ボイラー建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 256 1263 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">補助ボイラー 建屋</td> <td rowspan="5">B1F</td> <td>加圧用貯水槽兼呼水槽</td> <td>A-B1F-1</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>消火水槽</td> <td>A-B1F-1</td> <td>-</td> <td>110</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>呼水槽(A)</td> <td>A-B1F-1</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>呼水槽(B)</td> <td>A-B1F-1</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>排水ピット</td> <td>A-B1F-1</td> <td>-</td> <td>1.25</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1F</td> <td>補助ボイラードレン冷却器(A) (P61-B004A)</td> <td>A-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.17</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラードレン冷却器(B) (P61-B004B)</td> <td>A-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.17</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー蒸気発生器(A) (P61-B002A)</td> <td>A-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.6</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー蒸気発生器(B) (P61-B002B)</td> <td>A-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.6</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラーブロー水冷却器(A) (P61-B003A)</td> <td>A-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.14</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラーブロー水冷却器(B) (P61-B003B)</td> <td>A-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.14</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー給水サンプリングクーラー (P61-B001)</td> <td>A-1F-1</td> <td>-</td> <td>0.06</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>グランド蒸気発生器ドレンクーラー(N33-B003)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>0.6</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー蒸気ため(A) (P61-D003A)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>0.48</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー蒸気ため(B) (P61-D003B)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>0.42</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー給水ドレンタンク(A) (P61-A001A)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>8.2</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー給水ドレンタンク(B) (P61-A001B)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>8.2</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	補助ボイラー 建屋	B1F	加圧用貯水槽兼呼水槽	A-B1F-1	-	0.2	外	消火水槽	A-B1F-1	-	110	外	呼水槽(A)	A-B1F-1	-	0.1	外	呼水槽(B)	A-B1F-1	-	0.1	外	排水ピット	A-B1F-1	-	1.25	外	1F	補助ボイラードレン冷却器(A) (P61-B004A)	A-1F-1	-	0.17	外	補助ボイラードレン冷却器(B) (P61-B004B)	A-1F-1	-	0.17	外	補助ボイラー蒸気発生器(A) (P61-B002A)	A-1F-1	-	0.6	外	補助ボイラー蒸気発生器(B) (P61-B002B)	A-1F-1	-	0.6	外	補助ボイラーブロー水冷却器(A) (P61-B003A)	A-1F-1	-	0.14	外	補助ボイラーブロー水冷却器(B) (P61-B003B)	A-1F-1	-	0.14	外	補助ボイラー給水サンプリングクーラー (P61-B001)	A-1F-1	-	0.06	外	2F	グランド蒸気発生器ドレンクーラー(N33-B003)	A-2F-1	-	0.6	外	補助ボイラー蒸気ため(A) (P61-D003A)	A-2F-1	-	0.48	外	補助ボイラー蒸気ため(B) (P61-D003B)	A-2F-1	-	0.42	外	補助ボイラー給水ドレンタンク(A) (P61-A001A)	A-2F-1	-	8.2	外	補助ボイラー給水ドレンタンク(B) (P61-A001B)	A-2F-1	-	8.2	外	<p>表5 出入管理建屋、電気建屋における地震時の溢水を考慮する機器</p> <table border="1" data-bbox="1285 240 1852 616"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)^{※1}</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出入管理建屋</td> <td>-</td> <td>配管（水消火系統、原子炉補給水系統（脱塩水）、飲料水系統）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1065.0^{※1}</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>電気建屋</td> <td>-</td> <td>配管（水消火系統、原子炉補給水系統（脱塩水）、飲料水系統）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>729.3^{※1}</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 基準地震動によって破損するため系統隔離による溢水の停止を前提とした機器であり、浸水評価で想定する溢水量</p>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³) ^{※1}	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	出入管理建屋	-	配管（水消火系統、原子炉補給水系統（脱塩水）、飲料水系統）	-	-	1065.0 ^{※1}	外	電気建屋	-	配管（水消火系統、原子炉補給水系統（脱塩水）、飲料水系統）	-	-	729.3 ^{※1}	外	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設計の違いによる、建屋、溢水源、溢水量の相違 ・泊では、基準地震動によって破損するため系統隔離による溢水の停止を前提とした機器がある。（伊方と同様） <p>記載表現の相違</p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																																																																																																		
		区画番号	防護 対象区画																																																																																																																									
補助ボイラー 建屋	B1F	加圧用貯水槽兼呼水槽	A-B1F-1	-	0.2	外																																																																																																																						
		消火水槽	A-B1F-1	-	110	外																																																																																																																						
		呼水槽(A)	A-B1F-1	-	0.1	外																																																																																																																						
		呼水槽(B)	A-B1F-1	-	0.1	外																																																																																																																						
		排水ピット	A-B1F-1	-	1.25	外																																																																																																																						
1F	補助ボイラードレン冷却器(A) (P61-B004A)	A-1F-1	-	0.17	外																																																																																																																							
	補助ボイラードレン冷却器(B) (P61-B004B)	A-1F-1	-	0.17	外																																																																																																																							
	補助ボイラー蒸気発生器(A) (P61-B002A)	A-1F-1	-	0.6	外																																																																																																																							
	補助ボイラー蒸気発生器(B) (P61-B002B)	A-1F-1	-	0.6	外																																																																																																																							
	補助ボイラーブロー水冷却器(A) (P61-B003A)	A-1F-1	-	0.14	外																																																																																																																							
	補助ボイラーブロー水冷却器(B) (P61-B003B)	A-1F-1	-	0.14	外																																																																																																																							
	補助ボイラー給水サンプリングクーラー (P61-B001)	A-1F-1	-	0.06	外																																																																																																																							
	2F	グランド蒸気発生器ドレンクーラー(N33-B003)	A-2F-1	-	0.6	外																																																																																																																						
		補助ボイラー蒸気ため(A) (P61-D003A)	A-2F-1	-	0.48	外																																																																																																																						
		補助ボイラー蒸気ため(B) (P61-D003B)	A-2F-1	-	0.42	外																																																																																																																						
補助ボイラー給水ドレンタンク(A) (P61-A001A)		A-2F-1	-	8.2	外																																																																																																																							
補助ボイラー給水ドレンタンク(B) (P61-A001B)	A-2F-1	-	8.2	外																																																																																																																								
建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³) ^{※1}	管理 区域																																																																																																																						
			区画番号	防護 対象区画																																																																																																																								
出入管理建屋	-	配管（水消火系統、原子炉補給水系統（脱塩水）、飲料水系統）	-	-	1065.0 ^{※1}	外																																																																																																																						
電気建屋	-	配管（水消火系統、原子炉補給水系統（脱塩水）、飲料水系統）	-	-	729.3 ^{※1}	外																																																																																																																						


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																									
	<p>表6 補助ボイラー建屋における地震時の溢水を考慮する機器 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="712 252 1267 571"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">フロア</th> <th rowspan="2">溢水源 (機器番号)</th> <th colspan="2">設置区画</th> <th rowspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">管理 区域</th> </tr> <tr> <th>区画番号</th> <th>防護 対象区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">補助ボイラー建屋</td> <td rowspan="6">2F</td> <td>補助ボイラー脱気器(A) (P61-D001A)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>1.5</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー脱気器(B) (P61-D001B)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>1.5</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー蒸気ドラム (A) (P61-D002A)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>7.8</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー蒸気ドラム (B) (P61-D002B)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>7.8</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー建屋給気加 熱コイル(A) (V80-B001A)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>0.04</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー建屋給気加 熱コイル(B) (V80-B001B)</td> <td>A-2F-1</td> <td>-</td> <td>0.04</td> <td>外</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源 (機器番号)	設置区画		溢水量 (m ³)	管理 区域	区画番号	防護 対象区画	補助ボイラー建屋	2F	補助ボイラー脱気器(A) (P61-D001A)	A-2F-1	-	1.5	外	補助ボイラー脱気器(B) (P61-D001B)	A-2F-1	-	1.5	外	補助ボイラー蒸気ドラム (A) (P61-D002A)	A-2F-1	-	7.8	外	補助ボイラー蒸気ドラム (B) (P61-D002B)	A-2F-1	-	7.8	外	補助ボイラー建屋給気加 熱コイル(A) (V80-B001A)	A-2F-1	-	0.04	外	補助ボイラー建屋給気加 熱コイル(B) (V80-B001B)	A-2F-1	-	0.04	外		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計による、建屋、溢水源、溢水量の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
建屋	フロア				溢水源 (機器番号)	設置区画			溢水量 (m ³)	管理 区域																																		
		区画番号	防護 対象区画																																									
補助ボイラー建屋	2F	補助ボイラー脱気器(A) (P61-D001A)	A-2F-1	-	1.5	外																																						
		補助ボイラー脱気器(B) (P61-D001B)	A-2F-1	-	1.5	外																																						
		補助ボイラー蒸気ドラム (A) (P61-D002A)	A-2F-1	-	7.8	外																																						
		補助ボイラー蒸気ドラム (B) (P61-D002B)	A-2F-1	-	7.8	外																																						
		補助ボイラー建屋給気加 熱コイル(A) (V80-B001A)	A-2F-1	-	0.04	外																																						
		補助ボイラー建屋給気加 熱コイル(B) (V80-B001B)	A-2F-1	-	0.04	外																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目： 地震 基本評価項目： 炉心冷却系 評価基準： 3000D/10000</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">機器停止機能</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (炉心冷却系停止)</th> <th colspan="2">炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)</th> <th colspan="2">炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)</th> <th colspan="2">炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)</th> <th colspan="2">炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)</th> </tr> <tr> <th>機器停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> <th>緊急停止機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御システム</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> <td>炉心冷却系停止機能</td> </tr> <tr> <td>A/E(1)系</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> <td>A/E</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	機器停止機能		緊急停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)		機器停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧制御システム	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	A/E(1)系	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。 泊の地震起因による浸水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。(大阪と同様)
機器停止機能		緊急停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)		炉心冷却系停止機能 (炉心冷却系停止)																																																																	
機器停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能	緊急停止機能																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																
水圧制御システム	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能	炉心冷却系停止機能																																																																
A/E(1)系	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E	A/E																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>表1 没水影響評価結果整理表（地震起因）(2/2)</p> 	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は地震時の溢水源が少なく、隣や下の区画に伝播しないため、評価区画が少ない。 ・泊は地震時の溢水が他区画へ伝播し、複数溢水源が合流して隣接区画に流入させる評価としている。また、溢水源が複数フロアにあるので、評価で使う溢水量が複数区分あることから、※書きで番号振りして別紙にてその内訳を整理している。（大阪と同様） ・泊では、開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。（地震起因による没水影響評価結果では該当なし） <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

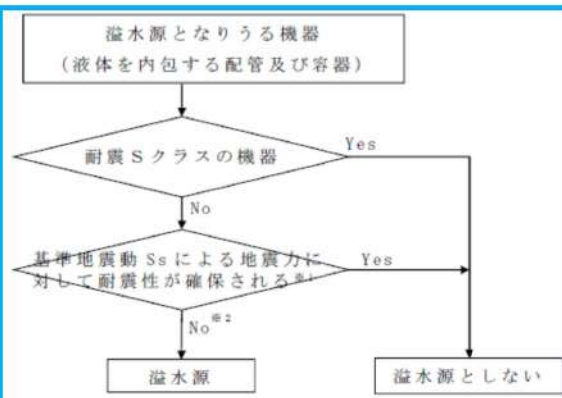
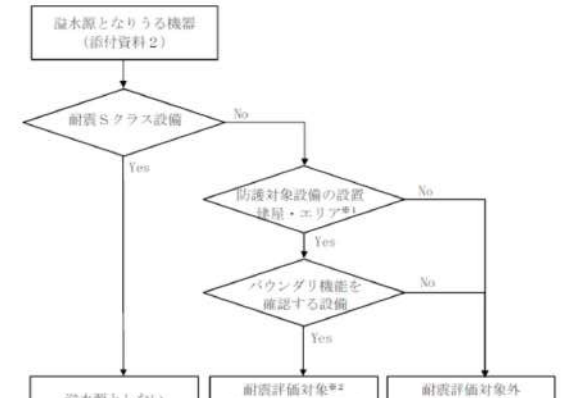

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料24）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																			
<p>別紙1 大阪3号炉及び4号炉原子炉周辺建屋における地震時の溢水源として想定する機器リスト</p> <p>【地震に起因する溢水】</p> <p>○ 流体を内包する機器（配管、容器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じるとされる機器（耐震重要度分類B、Cクラスの機器）について、破損を想定する。ただし、耐震B、Cクラスの機器であっても、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものについては、漏水を考慮しない。</p> <p>○ 溢水量は、系統の全保有水量が漏えいするものとする。ただし、自動又は手動操作によって、漏えいを停止させることができる場合は、この機能を考慮した。</p>		<p>別紙1 泊発電所3号炉原子炉建屋及び原子炉補助建屋における地震時の溢水源として想定する機器リスト</p> <p>【地震に起因する溢水】</p> <p>○ 流体を内包する機器（配管、容器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じるとされる機器（耐震重要度分類B、Cクラスの機器）について、破損を想定する。ただし、耐震B、Cクラスの機器であっても、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものについては、漏水を考慮しない。</p> <p>○ 溢水量は、系統の全保有水量が漏えいするものとする。ただし、自動又は手動操作によって、漏えいを停止させることができる場合は、この機能を考慮した。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は地震時の溢水源が少なく、隣り下の区画に伝播しないため、評価区画が少ない。 ・泊は地震時の溢水が他区画へ伝播し、複数溢水源が合流して隣接区画に流入させる評価としている。また、溢水源が複数フロアにあるので、評価で使う溢水量が複数区分あることから、※書きで番号振りして別紙1にてその内訳を整理している。（大阪と同様） ・以降は大阪との記載比較とする。 																																																																																																																			
<p>表1 原子炉周辺建屋における地震時の溢水源として想定する機器リスト</p>		<p>表1 原子炉建屋及び原子炉補助建屋における地震時の溢水源として想定する機器リスト</p>																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>溢水源</th> <th>溢水量[m³]</th> <th>備考※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">3号炉 原子炉 周辺 建屋</td> <td>E.L.+39.0m</td> <td>樹脂タンク</td> <td>0.23</td> <td>(1)</td> </tr> <tr> <td>E.L.+33.6m</td> <td>使用済燃料ピットスロッシング</td> <td>41.12</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">E.L.+26.0m</td> <td>冷却材温床式脱塩塔</td> <td rowspan="3">48.07※1</td> <td rowspan="3">(3)</td> </tr> <tr> <td>冷却材陽イオン脱塩塔</td> </tr> <tr> <td>冷却材脱塩塔入口フィルタ</td> </tr> <tr> <td>E.L.+17.0m</td> <td>冷却材フィルタ</td> <td>0.02</td> <td>(4)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">3号炉溢水量</td> <td>89.44</td> <td></td> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>溢水源</th> <th>溢水量[m³]</th> <th>備考※1</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">4号炉 原子炉 周辺 建屋</td> <td>E.L.+39.0m</td> <td>樹脂タンク</td> <td>0.23</td> <td>(1)</td> </tr> <tr> <td>E.L.+33.6m</td> <td>使用済燃料ピットスロッシング</td> <td>41.12</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">E.L.+26.0m</td> <td>冷却材温床式脱塩塔</td> <td rowspan="3">48.07※1</td> <td rowspan="3">(3)</td> </tr> <tr> <td>冷却材陽イオン脱塩塔</td> </tr> <tr> <td>冷却材脱塩塔入口フィルタ</td> </tr> <tr> <td>E.L.+17.0m</td> <td>冷却材フィルタ</td> <td>0.02</td> <td>(4)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">4号炉溢水量</td> <td>89.44</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源	溢水量[m ³]	備考※1	3号炉 原子炉 周辺 建屋	E.L.+39.0m	樹脂タンク	0.23	(1)	E.L.+33.6m	使用済燃料ピットスロッシング	41.12	(2)	E.L.+26.0m	冷却材温床式脱塩塔	48.07※1	(3)	冷却材陽イオン脱塩塔	冷却材脱塩塔入口フィルタ	E.L.+17.0m	冷却材フィルタ	0.02	(4)	3号炉溢水量			89.44		建屋	フロア	溢水源	溢水量[m ³]	備考※1	4号炉 原子炉 周辺 建屋	E.L.+39.0m	樹脂タンク	0.23	(1)	E.L.+33.6m	使用済燃料ピットスロッシング	41.12	(2)	E.L.+26.0m	冷却材温床式脱塩塔	48.07※1	(3)	冷却材陽イオン脱塩塔	冷却材脱塩塔入口フィルタ	E.L.+17.0m	冷却材フィルタ	0.02	(4)	4号炉溢水量			89.44			<table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>溢水源</th> <th>溢水量 [m³]</th> <th>備考※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉 建屋</td> <td>T.P.33.1m</td> <td>使用済燃料ピットスロッシング</td> <td>35.0</td> <td>(1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.10.3m</td> <td>ガス圧縮装置</td> <td>0.2</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <td>高ガス除湿装置</td> <td>0.3</td> <td>(3)</td> </tr> <tr> <td>T.P.2.3m</td> <td>薬液混合タンク</td> <td>0.1</td> <td>(4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">原子炉 補助建屋</td> <td>T.P.38.5m</td> <td>樹脂タンク</td> <td>0.5</td> <td>(5)</td> </tr> <tr> <td>T.P.24.8m</td> <td>廃液貯蔵ピットか性ソーダ計量タンク</td> <td>0.3</td> <td>(6)</td> </tr> <tr> <td>T.P.24.8m</td> <td>洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置</td> <td>0.5</td> <td>(7)</td> </tr> <tr> <td>T.P.24.8m ～T.P.2.8m</td> <td>セメント固化装置</td> <td>18.4※1</td> <td>(8)</td> </tr> <tr> <td>T.P.17.8m</td> <td>1次系薬品タンク</td> <td>0.1</td> <td>(9)</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>亜鉛注入装置</td> <td>0.2</td> <td>(10)</td> </tr> <tr> <td>T.P.5.8m</td> <td>酸液ドレンタンクか性ソーダ計量タンク</td> <td rowspan="2">1.1</td> <td rowspan="2">(11)</td> </tr> <tr> <td>T.P.2.8m</td> <td>酸液ドレンタンク</td> </tr> <tr> <td colspan="3">3号炉溢水量</td> <td>56.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	溢水源	溢水量 [m ³]	備考※1	原子炉 建屋	T.P.33.1m	使用済燃料ピットスロッシング	35.0	(1)	T.P.10.3m	ガス圧縮装置	0.2	(2)	高ガス除湿装置	0.3	(3)	T.P.2.3m	薬液混合タンク	0.1	(4)	原子炉 補助建屋	T.P.38.5m	樹脂タンク	0.5	(5)	T.P.24.8m	廃液貯蔵ピットか性ソーダ計量タンク	0.3	(6)	T.P.24.8m	洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	0.5	(7)	T.P.24.8m ～T.P.2.8m	セメント固化装置	18.4※1	(8)	T.P.17.8m	1次系薬品タンク	0.1	(9)	T.P.10.3m	亜鉛注入装置	0.2	(10)	T.P.5.8m	酸液ドレンタンクか性ソーダ計量タンク	1.1	(11)	T.P.2.8m	酸液ドレンタンク	3号炉溢水量			56.7		<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる建屋、溢水源及び溢水量の相違</p>
建屋	フロア	溢水源	溢水量[m ³]	備考※1																																																																																																																		
3号炉 原子炉 周辺 建屋	E.L.+39.0m	樹脂タンク	0.23	(1)																																																																																																																		
	E.L.+33.6m	使用済燃料ピットスロッシング	41.12	(2)																																																																																																																		
	E.L.+26.0m	冷却材温床式脱塩塔	48.07※1	(3)																																																																																																																		
		冷却材陽イオン脱塩塔																																																																																																																				
		冷却材脱塩塔入口フィルタ																																																																																																																				
E.L.+17.0m	冷却材フィルタ	0.02	(4)																																																																																																																			
3号炉溢水量			89.44																																																																																																																			
建屋	フロア	溢水源	溢水量[m ³]	備考※1																																																																																																																		
4号炉 原子炉 周辺 建屋	E.L.+39.0m	樹脂タンク	0.23	(1)																																																																																																																		
	E.L.+33.6m	使用済燃料ピットスロッシング	41.12	(2)																																																																																																																		
	E.L.+26.0m	冷却材温床式脱塩塔	48.07※1	(3)																																																																																																																		
		冷却材陽イオン脱塩塔																																																																																																																				
		冷却材脱塩塔入口フィルタ																																																																																																																				
E.L.+17.0m	冷却材フィルタ	0.02	(4)																																																																																																																			
4号炉溢水量			89.44																																																																																																																			
建屋	フロア	溢水源	溢水量 [m ³]	備考※1																																																																																																																		
原子炉 建屋	T.P.33.1m	使用済燃料ピットスロッシング	35.0	(1)																																																																																																																		
	T.P.10.3m	ガス圧縮装置	0.2	(2)																																																																																																																		
		高ガス除湿装置	0.3	(3)																																																																																																																		
	T.P.2.3m	薬液混合タンク	0.1	(4)																																																																																																																		
原子炉 補助建屋	T.P.38.5m	樹脂タンク	0.5	(5)																																																																																																																		
	T.P.24.8m	廃液貯蔵ピットか性ソーダ計量タンク	0.3	(6)																																																																																																																		
	T.P.24.8m	洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	0.5	(7)																																																																																																																		
	T.P.24.8m ～T.P.2.8m	セメント固化装置	18.4※1	(8)																																																																																																																		
	T.P.17.8m	1次系薬品タンク	0.1	(9)																																																																																																																		
	T.P.10.3m	亜鉛注入装置	0.2	(10)																																																																																																																		
	T.P.5.8m	酸液ドレンタンクか性ソーダ計量タンク	1.1	(11)																																																																																																																		
T.P.2.8m	酸液ドレンタンク																																																																																																																					
3号炉溢水量			56.7																																																																																																																			
<p>※1 系統の全保有水量が漏えいするものとした。 ※2 地震に起因する溢水影響評価結果に対応。</p>		<p>※1 系統の全保有水量が漏えいするものとした。 ※2 地震に起因する溢水影響評価結果に対応。</p>																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.3-2</p> <p>耐震B、Cクラスの機器の耐震強度評価方法及び評価結果</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する耐震B、Cクラスの機器（配管、容器）のうち、基準地震動S_sによる地震力により破損が生じる機器を溢水源として想定する。</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動S_sによる地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。</p> <p>また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動S_sによる地震力に対して耐震強度評価により耐震性が確保されるもの、又は耐震補強工事により、耐震性を確保するものについては、溢水源として想定しない。</p> <p>そこで、地震時に溢水源となりうる耐震B、Cクラスの機器が、基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性が確保されることについて、その評価方法を示す。</p> <p>（1）評価方針</p> <p>基準地震動S_sによって溢水源となりうる耐震B、Cクラスの機器が基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性が確保されることを確認する。</p> <p>なお、耐震Sクラスの機器については基準地震動S_sによる地震力に対して安全機能が保持されるとともに、弾性設計用地震動S_d又は静的地震動のいずれか大きい方の地震力に対して、おおむね弾性状態に留まることが要求されている。</p> <p>内部溢水影響評価における耐震B、Cクラスの機器の耐震強度評価では、機器の破損による溢水防止の観点から、基準地震動S_sによる地震力に対して機器の耐震強度評価を実施し、バウンダリ機能及びバウンダリ支持機能が確保されることを確認する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 29</p> <p>耐震B、Cクラス機器の耐震評価</p> <p>流体を内包する耐震B、Cクラス機器（配管、容器等）が地震時に破損することで溢水源となるが、基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性が確保されるものについては漏水が発生しない。</p> <p>そこで、添付資料2にて抽出した溢水源となりうる機器の基準地震動S_sによる地震力に対する耐震評価について示す。</p> <p>1. 評価方針</p> <p>添付資料2にて抽出した溢水源となりうる機器が基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性が確保されることを確認する。</p> <p>耐震B、Cクラス機器の耐震評価については、機器の破損による溢水防止の観点から、基準地震動S_sによる地震力に対して機器の構造強度評価を実施し、バウンダリ機能が確保されることを確認する。</p> <p>なお、耐震Sクラス機器については、基準地震動S_sによる地震力に対して安全機能が保持されるとともに、弾性設計用地震動S_d又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対して、おおむね弾性状態に留まることが要求されており、バウンダリ機能が確保される。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 25</p> <p>耐震B、Cクラス機器の耐震評価</p> <p>流体を内包する耐震B、Cクラス機器（配管、容器等）が地震時に破損することで溢水源となるが、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものについては漏水が発生しない。</p> <p>そこで、添付資料2にて抽出した溢水源となりうる機器の基準地震動による地震力に対する耐震評価について示す。</p> <p>1. 評価方針</p> <p>添付資料2にて抽出した溢水源となりうる機器が基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されることを確認する。</p> <p>耐震B、Cクラス機器の耐震評価については、機器の破損による溢水防止の観点から、基準地震動による地震力に対して機器の構造強度評価を実施し、バウンダリ機能が確保されることを確認する。</p> <p>なお、耐震Sクラス機器については、基準地震動による地震力に対して安全機能が保持されるとともに、弾性設計用地震動又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対して、おおむね弾性状態に留まることが要求されており、バウンダリ機能が確保される。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

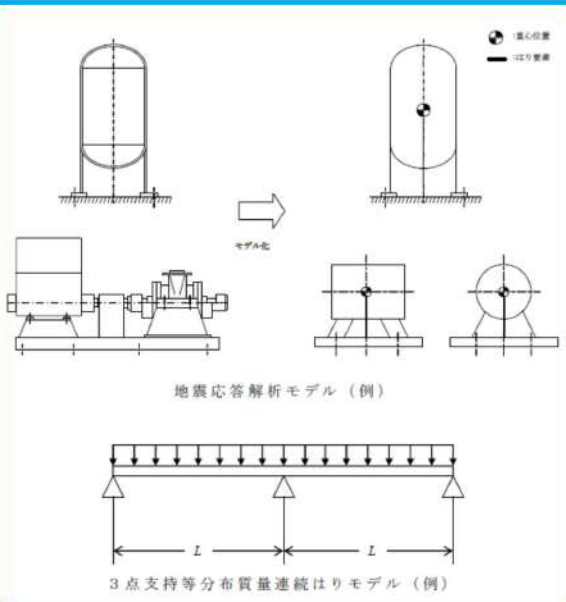
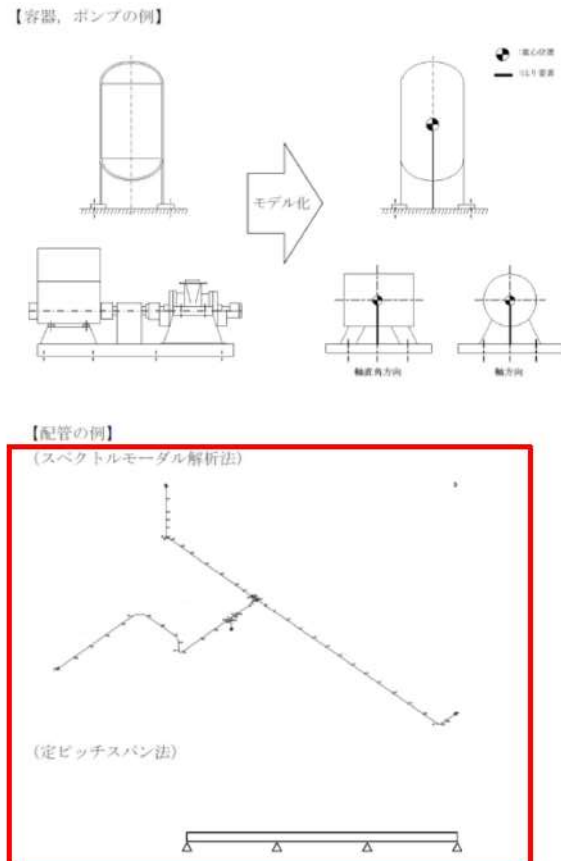
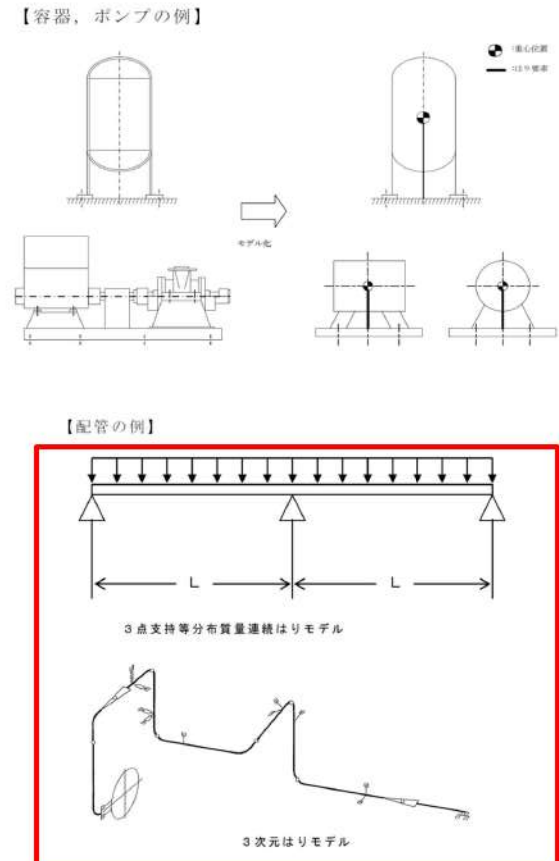
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 耐震強度評価の考え方</p> <p>原子炉周辺建屋、制御建屋及び廃棄物処理建屋に設置され、基準地震動 S_s によって溢水源となる機器に対し、以下の考え方に基づき耐震強度評価を実施する。なお、耐震強度評価を実施しない機器は破損するものとし、溢水源とする。評価フローを図1に示す。</p>  <p>※1 耐震対策工事により耐震性を確保するものを含む。 ※2 耐震強度評価を実施しないものは溢水源として扱う。</p> <p>図1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p>	<p>2. 耐震評価対象の考え方</p> <p>添付資料2で抽出された溢水源となりうる機器について、溢水影響の観点から、以下の考え方に基づき耐震評価対象を抽出する。なお、耐震評価対象の抽出フローを図1に示す。</p>  <p>※1 原子炉建屋原子炉棟、原子炉補助建屋、原子炉建屋付高棟（廃棄物処理エリア（非管理区域）、制御建屋、復水貯蔵タンク（CST）エリア、軽油タンク（LOT）エリア及び海水ポンプ室</p> <p>※2 耐震評価の結果、発生値が評価基準値を上回る場合は、補強工事を行い、基準地震動 S_s による地震力に対してバウンダリ機能を確保する。</p> <p>※3 地震に起因する溢水源リスト</p> <p>図1 耐震評価対象の抽出フロー</p>	<p>2. 耐震評価対象の考え方</p> <p>添付資料2で抽出された溢水源となりうる機器について、溢水影響の観点から、以下の考え方に基づき耐震評価対象を抽出する。なお、耐震評価対象の抽出フローを図1に示す。</p>  <p>※1 原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、及び循環水ポンプ建屋</p> <p>※2 耐震評価の結果、発生値が評価基準値を上回る場合は、補強工事を行い、基準地震動による地震力に対してバウンダリ機能を確保する</p> <p>※3 地震に起因する溢水源リスト</p> <p>図1 耐震評価対象の抽出フロー</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 建屋の違いによる</p>
<p>(3) 機器の耐震強度評価</p> <p>a. 評価の考え方</p> <p>通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び事故時に生じるそれぞれの荷重と基準地震動 S_s による地震力を組合せた荷重条件に対して、耐震強度評価を実施し、日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）の許容応力状態IVASにおける許容応力（以下、評価基準値（IVAS））を満足することを確認する。</p>	<p>3. 機器の耐震評価</p> <p>(1) 評価の考え方</p> <p>耐震B、Cクラス機器の破損による溢水防止の観点から、基準地震動 S_s による地震力に対して、耐震評価対象となる耐震B、Cクラス機器の構造強度評価を実施し、バウンダリ機能が確保されていることを確認する。</p>	<p>3. 機器の耐震評価</p> <p>(1) 評価の考え方</p> <p>耐震B、Cクラス機器の破損による溢水防止の観点から、基準地震動による地震力に対して、耐震評価対象となる耐震B、Cクラス機器の構造強度評価を実施し、バウンダリ機能が確保されていることを確認する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 評価手法</p> <p>耐震強度評価は基準地震動 S_s を用いた動的解析によることとし、図2に示すような各機器の振動特性に応じたモデル化を行い、設計用床応答スペクトル等を用いた地震応答解析（スペクトルモーダル解析法等）を行う。その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。なお、水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せについても影響評価を行う。</p> <p>評価手法は、一般的な耐震Sクラス機器（補機類）と同様の手法とし、以下に示す規格基準又は試験等で妥当性が確認されたものを基本として、鉛直方向の動的解析等の評価上必要な事項を考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987 原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991 追補版 <p>応力評価は、基準地震動 S_s に対する応力発生値と評価基準値を比較することにより行い、評価基準値は「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601・補-1984」（以下、「JEAG」という。）、「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME S NC1-2005/2007」等の規格基準で規定されている値、又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</p>	<p>(2) 評価手法</p> <p>構造強度評価は、図2に示すような各機器の振動特性に応じたモデル化を行い、当該据付床の床応答スペクトル等を用いた地震応答解析（スペクトルモーダル解析等）や定式化された評価式により各部の応力を算定する。</p> <p>応力算定手法としては、「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME SNC1-2005/2007」（以下、JSME という）及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987, JEAG 4601・補-1984, JEAG 4601-1991 追補版」（以下、JEAG という）等の規格基準又は試験等で妥当性が確認されたものを用いる。</p> <p>水平方向、鉛直方向の荷重等は、絶対値和又は、SRSS 法により組み合わせる。</p> <p>評価基準値は、JSME, JEAG 等の規格基準で規定されている値、又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</p> <p>評価部位については、JEAG 等の評価対象部位を基に構造上適切な評価部位を選定する。</p>	<p>(2) 評価手法</p> <p>構造強度評価は、図2に示すような各機器の振動特性に応じたモデル化を行い、当該据付床の床応答スペクトル等を用いた地震応答解析（スペクトルモーダル解析等）や定式化された評価式により各部の応力を算定する。</p> <p>応力算定手法としては、「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME SNC1-2005/2007」（以下「JSME」という）及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987, JEAG 4601・補-1984, JEAG 4601-1991 追補版」（以下「JEAG」という）等の規格基準又は試験等で妥当性が確認されたものを用いる。</p> <p>水平方向、鉛直方向の荷重等は、絶対値和又は、SRSS 法により組み合わせる。</p> <p>評価基準値は、JSME, JEAG 等の規格基準で規定されている値、又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</p> <p>評価部位については、JEAG 等の評価対象部位を基に構造上適切な評価部位を選定する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>地震応答解析モデル（例）</p> <p>3点支持等分布質量連続はりモデル（例）</p>	<p>【容器、ポンプの例】</p>  <p>【配管の例】 (定ピッチスパン法)</p>	<p>【容器、ポンプの例】</p>  <p>【配管の例】 3次元はりモデル</p>	<p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 配管の耐震評価において、スペクトルモーダル解析法及び定ピッチスパン法による地震応答解析を行う女川に対して、泊と大阪は標準支持間隔法及び3次元梁モデル解析による地震応答解析を行う。</p>
<p>図2 機器の地震応答解析モデル（例）</p>	<p>図2 地震応答解析モデル（例）</p>	<p>図2 地震応答解析モデル（例）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																						
<p>c. 容器の耐震強度評価</p> <p>評価対象となる耐震B、Cクラスの容器（タンク、ポンプ等）の主な解析条件を表1に示す。</p> <p>表2に示す耐震B、Cクラスの評価対象機器については、発生応力が評価基準値以内であることを評価し、基準地震動 S_s に対し耐震性を有していることを確認する。なお、評価にあたっては、規格基準と異なる評価手法及び条件を適用する場合は、その妥当性を確認した上で適用する。</p> <p>応答解析を実施せず鉛直方向を剛構造として取扱う場合は、その妥当性を確認した上で評価に反映する。</p> <p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1添付7-10</p> <p>3. 耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の基準地震動 S_s に対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>(3) 容器等の耐震評価</p> <p>耐震B、Cクラスの機器のうち耐震評価対象となる容器、ポンプ等（以下、容器等という。）の解析条件を表1に示す。</p> <p>また、評価対象とした容器等の耐震評価手法・条件及び結果整理表を表2-1、表2-2に示す。なお、比較のため耐震Sクラス容器等の評価手法・条件の例も併せて示す。また、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>評価対象とした容器等の耐震評価の結果、発生値が評価基準値を上回る容器等については、補強工事を行い、基準地震動 S_s による地震力に対してバウンダリ機能を確保する。</p>	<p>(3) 容器等の耐震評価</p> <p>耐震B、Cクラスの機器のうち耐震評価対象となる容器、ポンプ等（以下「容器等」という）の解析条件を表1に示す。</p> <p>また、評価対象とした容器等の耐震評価手法・条件及び結果整理表を表2-1、表2-2に示す。なお、比較のため耐震Sクラス容器等の評価手法・条件の例も併せて示す。また、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p> <p>評価対象とした容器等の耐震評価の結果、発生値が評価基準値を上回る容器等については、補強工事を行い、基準地震動による地震力に対してバウンダリ機能を確保する。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川・大阪】 記載方針の相違 泊の耐震評価結果は基本設計段階における暫定条件による評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊と大阪では、たて置円筒形容器については座屈評価を含んでいる。</p>																																																																																																						
<p>表1 容器等の解析条件</p>	<p>表1 容器等の解析条件</p>	<p>表1 容器等の解析条件</p>																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">耐震B、Cクラスの容器 (漏水影響評価)</th> <th colspan="2">【参考】</th> </tr> <tr> <th>耐震Sクラスの容器 (設計評価)</th> <th>建設時工事計画 耐震Bクラスの容器^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手法</td> <td>JEAGに基づく構造強度評価</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>基準地震動 S_s</td> <td>基準地震動 S_s 弾性設計用地震動 S_d 静的地震力</td> <td>静的地震力 1.5C1 (Cクラス: 1.0C1)</td> </tr> <tr> <td>床応答曲線 (FRS)</td> <td>±10%拡幅</td> <td>同左</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水平と鉛直地震力による荷重の組合せ</td> <td>絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)</td> <td>同左</td> <td>— (鉛直地震力なし)</td> </tr> <tr> <td>減衰定数</td> <td>水平: 1.0%^{※2} 鉛直: 1.0%^{※2}</td> <td>同左</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>許容応力状態</td> <td>IV_S</td> <td>S_d, 静的: III_S S_s: IV_S</td> <td>III_S</td> </tr> <tr> <td>評価項目</td> <td>JEAGに基づくSクラスの容器等の評価項目 (例) 胴本体^{※3} 支持部^{※3} 基礎ボルト</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>		耐震B、Cクラスの容器 (漏水影響評価)	【参考】		耐震Sクラスの容器 (設計評価)	建設時工事計画 耐震Bクラスの容器 ^{※1}	手法	JEAGに基づく構造強度評価	同左	同左	評価用地震動	基準地震動 S_s	基準地震動 S_s 弾性設計用地震動 S_d 静的地震力	静的地震力 1.5C1 (Cクラス: 1.0C1)	床応答曲線 (FRS)	±10%拡幅	同左	—	水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (鉛直地震力なし)	減衰定数	水平: 1.0% ^{※2} 鉛直: 1.0% ^{※2}	同左	—	許容応力状態	IV _S	S _d , 静的: III _S S _s : IV _S	III _S	評価項目	JEAGに基づくSクラスの容器等の評価項目 (例) 胴本体 ^{※3} 支持部 ^{※3} 基礎ボルト	同左	同左	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">B、Cクラス (漏水影響評価)</th> <th colspan="2">【参考】</th> </tr> <tr> <th>Sクラス</th> <th>建設時工事計画 Bクラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手法</td> <td>JEAG等に基づく構造強度評価</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>地震波</td> <td>基準地震動 S_s</td> <td>基準地震動 S_s、 弾性設計用地震動 S_d 又は静的地震力</td> <td>静的地震力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>床応答</td> <td>床応答スペクトル (±10%拡幅) 又は 最大加速度</td> <td>同左</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水平と鉛直地震力による荷重の組合せ</td> <td>絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)</td> <td>同左</td> <td>— (水平地震力のみ)</td> </tr> <tr> <td>減衰定数</td> <td>水平: 1.0%^{※2} 鉛直: 1.0%^{※2}</td> <td>同左</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>評価基準</td> <td>IV_S</td> <td>S_s: IV_S S_d, 静的: III_S</td> <td>B_S</td> </tr> <tr> <td>評価項目</td> <td>JEAGに基づく評価項目 ・胴本体^{※3} ・支持部^{※3} ・基礎ボルト等</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>		B、Cクラス (漏水影響評価)	【参考】		Sクラス	建設時工事計画 Bクラス	手法	JEAG等に基づく構造強度評価	同左	同左	地震波	基準地震動 S_s	基準地震動 S_s 、 弾性設計用地震動 S_d 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}	床応答	床応答スペクトル (±10%拡幅) 又は 最大加速度	同左	—	水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)	減衰定数	水平: 1.0% ^{※2} 鉛直: 1.0% ^{※2}	同左	—	評価基準	IV _S	S _s : IV _S S _d , 静的: III _S	B _S	評価項目	JEAGに基づく評価項目 ・胴本体 ^{※3} ・支持部 ^{※3} ・基礎ボルト等	同左	同左	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">B、Cクラス評価 (漏水影響評価)</th> <th colspan="2">【参考】</th> </tr> <tr> <th>Sクラス</th> <th>建設時工事計画 Bクラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手法</td> <td>JEAG等に基づく構造強度評価</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>地震波</td> <td>基準地震動</td> <td>基準地震動、 弾性設計用地震動 又は静的地震力</td> <td>静的地震力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>床応答</td> <td>床応答スペクトル (±10%拡幅) 又は 最大加速度</td> <td>同左</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水平と鉛直地震力による荷重の組合せ</td> <td>絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)</td> <td>同左</td> <td>— (水平地震力のみ)</td> </tr> <tr> <td>減衰定数</td> <td>水平: 1.0%^{※2} 鉛直: 1.0%^{※2}</td> <td>同左</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>評価基準</td> <td>IV_S</td> <td>S_s: IV_S S_d, 静的: III_S</td> <td>B_S</td> </tr> <tr> <td>評価項目</td> <td>JEAGに基づく評価項目 ・胴本体^{※3} ・支持部^{※3} ・基礎ボルト等</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>		B、Cクラス評価 (漏水影響評価)	【参考】		Sクラス	建設時工事計画 Bクラス	手法	JEAG等に基づく構造強度評価	同左	同左	地震波	基準地震動	基準地震動、 弾性設計用地震動 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}	床応答	床応答スペクトル (±10%拡幅) 又は 最大加速度	同左	—	水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)	減衰定数	水平: 1.0% ^{※2} 鉛直: 1.0% ^{※2}	同左	—	評価基準	IV _S	S _s : IV _S S _d , 静的: III _S	B _S	評価項目	JEAGに基づく評価項目 ・胴本体 ^{※3} ・支持部 ^{※3} ・基礎ボルト等	同左	同左	
			耐震B、Cクラスの容器 (漏水影響評価)	【参考】																																																																																																					
	耐震Sクラスの容器 (設計評価)	建設時工事計画 耐震Bクラスの容器 ^{※1}																																																																																																							
手法	JEAGに基づく構造強度評価	同左	同左																																																																																																						
評価用地震動	基準地震動 S_s	基準地震動 S_s 弾性設計用地震動 S_d 静的地震力	静的地震力 1.5C1 (Cクラス: 1.0C1)																																																																																																						
床応答曲線 (FRS)	±10%拡幅	同左	—																																																																																																						
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (鉛直地震力なし)																																																																																																						
減衰定数	水平: 1.0% ^{※2} 鉛直: 1.0% ^{※2}	同左	—																																																																																																						
許容応力状態	IV _S	S _d , 静的: III _S S _s : IV _S	III _S																																																																																																						
評価項目	JEAGに基づくSクラスの容器等の評価項目 (例) 胴本体 ^{※3} 支持部 ^{※3} 基礎ボルト	同左	同左																																																																																																						
	B、Cクラス (漏水影響評価)	【参考】																																																																																																							
		Sクラス	建設時工事計画 Bクラス																																																																																																						
手法	JEAG等に基づく構造強度評価	同左	同左																																																																																																						
地震波	基準地震動 S_s	基準地震動 S_s 、 弾性設計用地震動 S_d 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}																																																																																																						
床応答	床応答スペクトル (±10%拡幅) 又は 最大加速度	同左	—																																																																																																						
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)																																																																																																						
減衰定数	水平: 1.0% ^{※2} 鉛直: 1.0% ^{※2}	同左	—																																																																																																						
評価基準	IV _S	S _s : IV _S S _d , 静的: III _S	B _S																																																																																																						
評価項目	JEAGに基づく評価項目 ・胴本体 ^{※3} ・支持部 ^{※3} ・基礎ボルト等	同左	同左																																																																																																						
	B、Cクラス評価 (漏水影響評価)	【参考】																																																																																																							
		Sクラス	建設時工事計画 Bクラス																																																																																																						
手法	JEAG等に基づく構造強度評価	同左	同左																																																																																																						
地震波	基準地震動	基準地震動、 弾性設計用地震動 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}																																																																																																						
床応答	床応答スペクトル (±10%拡幅) 又は 最大加速度	同左	—																																																																																																						
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	絶対値和 又は 二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)																																																																																																						
減衰定数	水平: 1.0% ^{※2} 鉛直: 1.0% ^{※2}	同左	—																																																																																																						
評価基準	IV _S	S _s : IV _S S _d , 静的: III _S	B _S																																																																																																						
評価項目	JEAGに基づく評価項目 ・胴本体 ^{※3} ・支持部 ^{※3} ・基礎ボルト等	同左	同左																																																																																																						
<p>※1 建設時工事計画においては、耐震Cクラスの容器は評価対象外としている。</p> <p>※2 JEAG4601-1991及び試験等で妥当性が確認された値。</p> <p>※3 たて置円筒形容器については座屈評価を含む。</p>	<p>※1 共振のおそれのあるものについては、1/2 S_s による地震力を考慮する。</p> <p>※2 JEAG及び試験等で妥当性が確認された値を用いる。</p>	<p>※1 共振のおそれのあるものについては、1/2 S_s による地震力を考慮する。</p> <p>※2 JEAG及び試験等で妥当性が確認された値を用いる。</p> <p>※3 たて置円筒形容器については座屈評価を含む。</p>																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

表2 耐震強度評価対象機器 (3/3)

区分	設備名称	耐震強度 クラス	評価 結果	対応 措置	評価手法			耐震対策 工事 有無*	耐震対策 工事 要否	耐震対策 工事 要否	工務記載 事項
					上段：応答解析 下段：応力解析	応答解析	応力解析				
ボンプ	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	○	

※1 耐震対策工事を実施するものを「○」、実施しないものを「-」とする。
 (注) 表中の「JEA64601」とは、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEA64601-1987 (社)日本電気協会」をいう。

女川原子力発電所2号炉

表2-1 容器等の耐震評価手法・条件及び結果整理表 (その1)

(3/4)

区分	設備名称	評価 結果	対応 措置	評価手法			耐震対策 工事 有無*	耐震対策 工事 要否	耐震対策 工事 要否	工務記載 事項
				応答解析	応力解析	応力解析				
ボンプ	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	

※1 耐震対策工事を実施するものを「○」、実施しないものを「-」とする。
 (注) 表中の「JEA64601」とは、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEA64601-1987 (社)日本電気協会」をいう。

泊発電所3号炉

表2-1 容器等の耐震評価手法・条件及び結果整理表 (その1)

(3/3)

区分	設備名称	評価 結果	対応 措置	評価手法			耐震対策 工事 有無*	耐震対策 工事 要否	耐震対策 工事 要否	工務記載 事項
				応答解析	応力解析	応力解析				
ボンプ	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	
	蒸気発生機	C	設備の固有値に基づく応答加速度による評価 公式等による評価 (JEA64601: 標準ボンプ)	○	○	○	○	○	○	

※1 耐震対策工事を実施するものを「○」、実施しないものを「-」とする。
 (注) 表中の「JEA64601」とは、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEA64601-1987 (社)日本電気協会」をいう。

相違理由

【大阪】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

【女川】
 設計方針の相違
 対象機器及び評価手法・評価結果
 の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
	<p>表2-1 容器等の耐震評価手法・条件及び結果整理表（その1） (4/4)</p> <table border="1" data-bbox="739 236 1227 1460"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">評価部位</th> <th rowspan="2">応力分類</th> <th colspan="2">発生値</th> <th rowspan="2">評価基準値</th> <th colspan="2">解析手法(公式等)による評価、スペクトルモデル(解析例)</th> <th colspan="2">解析モデル</th> <th colspan="2">減衰定数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>Mts or- %</th> <th>Mts or+ %</th> <th>応力 ● 真応力</th> <th>内容</th> <th>応力 ● 真応力</th> <th>内容</th> <th>応力 ● 真応力</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">容器</td> <td>LA-SA 蒸気発生器(AXD)</td> <td>容器</td> <td>一次二次</td> <td>294</td> <td>376</td> <td>376</td> <td>○</td> <td>(応答解析)スペクトルモデル解析法 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)3次元モデル (応力解析)モデルなし</td> <td>○</td> <td>(水平)2-N (鉛直)2-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>フレーム 蒸気ボイラ</td> <td>一次-駆動機</td> <td>71</td> <td>230</td> <td>230</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>引張</td> <td>85</td> <td>406</td> <td>406</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>一次二次</td> <td>303</td> <td>392</td> <td>392</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)多質点モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>組合せ</td> <td>31</td> <td>278</td> <td>278</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>引張</td> <td>31</td> <td>307</td> <td>307</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>一次-駆動機</td> <td>10</td> <td>228</td> <td>228</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>引張</td> <td>71</td> <td>307</td> <td>307</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>引張</td> <td>16</td> <td>307</td> <td>307</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内蒸気発生器(AXD)</td> <td>鋼板 蒸気ボイラ</td> <td>引張</td> <td>16</td> <td>307</td> <td>307</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル</td> <td>○</td> <td>(水平)1-N (鉛直)1-N</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 同形式のうち、地盤応答加速度が大きい設備を選定 ※2 設備の構造・型式等により分類した上で、地震応答加速度及び設備重量の大きさを考慮して代表設備を選定</p>	区分	設備名称	評価部位	応力分類	発生値		評価基準値	解析手法(公式等)による評価、スペクトルモデル(解析例)		解析モデル		減衰定数		備考	Mts or- %	Mts or+ %	応力 ● 真応力	内容	応力 ● 真応力	内容	応力 ● 真応力	内容	容器	LA-SA 蒸気発生器(AXD)	容器	一次二次	294	376	376	○	(応答解析)スペクトルモデル解析法 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)3次元モデル (応力解析)モデルなし	○	(水平)2-N (鉛直)2-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	フレーム 蒸気ボイラ	一次-駆動機	71	230	230	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	85	406	406	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	一次二次	303	392	392	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)多質点モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	組合せ	31	278	278	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	31	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	一次-駆動機	10	228	228	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	71	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	16	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	16	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 対象機器及び評価手法・評価結果の相違</p>
区分	設備名称					評価部位	応力分類		発生値		評価基準値	解析手法(公式等)による評価、スペクトルモデル(解析例)		解析モデル		減衰定数		備考																																																																																																																																										
		Mts or- %	Mts or+ %	応力 ● 真応力	内容			応力 ● 真応力	内容	応力 ● 真応力		内容																																																																																																																																																
容器	LA-SA 蒸気発生器(AXD)	容器	一次二次	294	376	376	○	(応答解析)スペクトルモデル解析法 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)3次元モデル (応力解析)モデルなし	○	(水平)2-N (鉛直)2-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	フレーム 蒸気ボイラ	一次-駆動機	71	230	230	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	85	406	406	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	一次二次	303	392	392	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)多質点モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	組合せ	31	278	278	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	31	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	一次-駆動機	10	228	228	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	71	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	16	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															
	所内蒸気発生器(AXD)	鋼板 蒸気ボイラ	引張	16	307	307	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく 応答加速度的による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1次元モデル	○	(水平)1-N (鉛直)1-N	-																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
	<p>表2-2 容器等の耐震評価手法・条件及び結果整理表 (その2) (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="757 240 1196 1469"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">評価部位</th> <th rowspan="2">応力分類</th> <th rowspan="2">発生値 MPa or -</th> <th rowspan="2">評価 基準値 MPa or -</th> <th colspan="2">解析手法(公式等)による評価 解析地</th> <th colspan="2">JISG等の規格基準の代数的な評価手法・条件との相違</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>解析地</th> <th>内容</th> <th>適用 基準</th> <th>内容</th> <th>適用 基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">炉心</td> <td>所内温水系ポンプ(A) (B)</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>18</td> <td>207</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル</td> <td>○</td> <td>(水圧)-A (振動)-A</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>DC 燃料油ドレンポンプ(A) (B)</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>16</td> <td>207</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル</td> <td>○</td> <td>(水圧)-A (振動)-A</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>HPS100 潤滑油補給ポンプ</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>7</td> <td>207</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル</td> <td>○</td> <td>(水圧)-A (振動)-A</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>HPS100 燃料油ドレンポンプ</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>16</td> <td>207</td> <td>○</td> <td>(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価</td> <td>○</td> <td>(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル</td> <td>○</td> <td>(水圧)-A (振動)-A</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 円形式のうち、地震応答加速度が大きい設備を選定</p>	区分	設備名称	評価部位	応力分類	発生値 MPa or -	評価 基準値 MPa or -	解析手法(公式等)による評価 解析地		JISG等の規格基準の代数的な評価手法・条件との相違		備考	解析地	内容	適用 基準	内容	適用 基準	炉心	所内温水系ポンプ(A) (B)	基礎ボルト	引張	18	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-	DC 燃料油ドレンポンプ(A) (B)	基礎ボルト	引張	16	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-	HPS100 潤滑油補給ポンプ	基礎ボルト	引張	7	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-	HPS100 燃料油ドレンポンプ	基礎ボルト	引張	16	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-															<p>【女川】 設計方針の相違 対象機器及び評価手法・評価結果の相違</p>
区分	設備名称							評価部位	応力分類	発生値 MPa or -	評価 基準値 MPa or -		解析手法(公式等)による評価 解析地		JISG等の規格基準の代数的な評価手法・条件との相違		備考																																																																
		解析地	内容	適用 基準	内容	適用 基準																																																																											
炉心	所内温水系ポンプ(A) (B)	基礎ボルト	引張	18	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-																																																																					
	DC 燃料油ドレンポンプ(A) (B)	基礎ボルト	引張	16	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-																																																																					
	HPS100 潤滑油補給ポンプ	基礎ボルト	引張	7	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-																																																																					
	HPS100 燃料油ドレンポンプ	基礎ボルト	引張	16	207	○	(応答解析)各設備の固有周期に基づく応答加速値による評価 (応力解析)公式等による評価	○	(応答解析)モデルなし (応力解析)1質点モデル	○	(水圧)-A (振動)-A	-																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 配管の耐震強度評価</p> <p>イ. 一次応力評価</p> <p>評価対象となる耐震B、Cクラスの配管については、建設時に標準支持間隔法を用いて設計している。本評価では基準地震動 S_s の地震力に対して、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析にて耐震性を評価し、地震時に溢水源とならないことを確認する。解析条件を表3に示す。</p> <p>今回の標準支持間隔法に基づく評価については、ある階高に敷設された評価対象範囲の配管について評価を行うため、該当する床面は多くの場合一つであるが、その場合でも配管が敷設されている床面に応じて、上階層と下階層の支持間隔を比較し、短い方の支持間隔を適用して評価を行うことにより保守性を確保する。</p> <p>また、複数階層を跨る配管を評価する場合は、配管が跨る上階層と下階層の境界となるサポートまでを考慮し、その境界となるサポートで挟まれた範囲の支持間隔のうち短いものを適用して評価を行う。この場合、境界となるサポート近傍の配管については建屋床面のピークを避けて剛構造となるように設計している。図3に複数階層を跨る配管に適用する支持間隔の例を示す。</p> <div data-bbox="114 1161 683 1305" style="border: 1px solid black; height: 90px; width: 254px;"></div> <div data-bbox="114 1321 683 1353" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p>(4) 配管の耐震評価</p> <p>耐震B、Cクラス機器のうち耐震評価対象となる配管については、建設時に3次元梁モデルによるスペクトルモーダル解析法又は定ピッチスパン法により応答解析を行っている。</p> <p>今回の基準地震動 S_s に対する応答解析では、3次元梁モデルによるスペクトルモーダル解析法を基本とする。ただし、建設時の応答解析が定ピッチスパン法であり、低温配管（120℃以下）かつ建屋間相対変位の影響がない場合については、定ピッチスパン法を用いる。</p> <p>また、地震起因による配管からの溢水の発生様式としては、配管にき裂若しくはそれ以上の損傷が生じる状態であり、そのようなき裂は既往の試験や研究より低サイクルラッチェット疲労により発生するとの知見が得られている。したがって、今回の耐震評価においては、溢水防止（バウンダリ機能維持）の観点から、配管の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用する。</p>	<p>(4) 配管の耐震評価</p> <p>評価対象となる耐震B、Cクラスの配管については、建設時に標準支持間隔法を用いて設計している。本評価では基準地震動の地震力に対して、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析にて耐震性を評価し、地震時に溢水源とならないことを確認する。解析条件を表3に示す。</p> <p>今回の標準支持間隔法に基づく評価については、ある階高に敷設された評価対象範囲の配管について評価を行うため、該当する床面は多くの場合一つであるが、その場合でも配管が敷設されている床面に応じて、上階層と下階層の支持間隔を比較し、短い方の支持間隔を適用して評価を行うことにより保守性を確保する。</p> <p>また、複数階層を跨る配管を評価する場合は、配管が跨る上階層と下階層の境界となるサポートまでを考慮し、その境界となるサポートで挟まれた範囲の支持間隔のうち短いものを適用して評価を行う。この場合、境界となるサポート近傍の配管については建屋床面のピークを避けて剛構造となるように設計している。図3に複数階層を跨る配管に適用する支持間隔の例を示す。</p> <div data-bbox="1288 1161 1856 1305" style="border: 1px solid black; height: 90px; width: 254px;"></div> <div data-bbox="1288 1321 1856 1353" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川では応答解析を行う解析法の名称が異なる。また、3次元梁モデルによるスペクトルモーダル解析法を基本とし、配管の疲労に着目した評価手法及び評価基準値を適用する。 泊、大阪では標準支持間隔法を基本とし、耐震Sクラスと同様、「JEAQ等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用する。（解析条件として表3に記載） <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 181 683 798" style="border: 2px solid black; height: 386px; width: 254px;"></div> <div data-bbox="114 810 683 837" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <p>評価手順は、評価フローを図3に示す。また、標準支持間隔法における標準支持間隔の算出については、別紙3に示す。</p> <p>評価の結果、標準支持間隔法（別途、建屋相対変位も評価）及び3次元はりモデル解析により発生応力が評価基準値以下になることを確認する。表4に評価対象配管を示す。</p> <p>このうち、減衰定数について、区分Ⅲ（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）を適用する場合は、評価対象配管が、解析ブロック端※から解析ブロック端までの間に、水平配管の自重を架構で受けるUボルト支持具を4個以上有することを確認する。また、配管の曲がり部等で直管と同等以上の耐震性を有するように3次元はりモデル解析では応力係数を考慮しているが、標準支持間隔法では低減係数を適用し、応力係数を上回るように設計上の配慮を行う。</p>	<p>評価フローを図3に示す。</p> <p>耐震B、Cクラス機器のうち耐震評価対象となる配管の解析条件を表3、系統毎の評価手法・条件に対する整理表を表4に示す。</p> <p>評価対象とした配管の耐震評価の結果、発生値が評価基準値を上回る配管については、補強工事を行い、基準地震動S_sによる地震力に対してバウンダリ機能を確保する。</p>	<div data-bbox="1308 181 1845 758" style="border: 2px solid black; height: 361px; width: 240px;"></div> <div data-bbox="1308 762 1845 790" style="text-align: center;"> <p>図3 複数階層を跨る配管に適用する支持間隔の例</p> </div> <div data-bbox="1285 821 1868 849" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div> <p>評価フローを図4に示す。</p> <p>評価の結果、標準支持間隔法（別途、建屋相対変位も評価）及び3次元はりモデル解析により発生応力が評価基準値以下になることを確認する。表4に評価対象配管を示す。</p> <p>評価対象とした配管の耐震評価の結果、発生値が評価基準値を上回る配管については、補強工事を行い、基準地震動による地震力に対してバウンダリ機能を確保する。</p> <p>このうち、減衰定数について、区分Ⅲ（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）を適用する場合は、評価対象配管が、解析ブロック端※から解析ブロック端までの間に、水平配管の自重を架構で受けるUボルト支持具を4個以上有することを確認する。また、配管の曲がり部等で直管と同等以上の耐震性を有するように3次元はりモデル解析では応力係数を考慮しているが、標準支持間隔法では低減係数を適用し、応力係数を上回るように設計上の配慮を行う。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違 大阪審査実績の反映</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大阪別紙3記載の標準支持間隔法における標準支持間隔の算出については、泊では、補足説明資料30「標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価」において記載する。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違 大阪審査実績の反映 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料25）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>	<p>【女川】 記載方針の相違 大阪審査実績の反映</p>
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	
	<p>※1 スペクトルモーダル解析法による応答解析を選択することもできる。 ※2 スペクトルモーダル解析法による応答解析を行わずに補強工事を実施する場合もある。</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 配管の評価フローが異なり、泊、大阪では標準支持間隔法を基本とし、発生応力が評価基準値以内とならない配管部については、3次元はりモデル解析による発生応力算出を行い評価基準値以内であることを確認する。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>
<p>図3 配管の応力評価フロー</p>	<p>図3 配管の評価フロー</p>	<p>図4 配管の評価フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																														
<p>表3 配管の解析条件（標準支持間隔法）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">耐震B、Cクラスの配管^{※1} (溢水影響評価)</th> <th>【参考】 耐震Sクラスの配管^{※2} (設計評価)</th> <th>【参考】 耐震Bクラスの配管^{※2} (建設時工事計画)</th> </tr> <tr> <th>基準地震動 S₀ 弾性設計用地震動 S_d 静的地震力</th> <th>基準地震動 S₀の1/2 静的地震力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>基準地震動 S₀</td> <td>基準地震動 S₀</td> <td>基準地震動 S₀の1/2</td> </tr> <tr> <td>床応答曲線 (FRS)</td> <td>±10%振幅</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>水平と鉛直地震力による荷重の組合せ</td> <td>二乗和平方根 (SRSS)</td> <td>同左</td> <td>— (鉛直地震力なし)</td> </tr> <tr> <td>減衰定数</td> <td>0.5%、1.5%、2.0%^{※3}、3.0%^{※3}</td> <td>同左</td> <td>0.5%、1.0%</td> </tr> <tr> <td>許容応力状態</td> <td>IV_sS</td> <td>S_d静的: III_sS S_s: IV_sS</td> <td>B_sS</td> </tr> <tr> <td>評価項目</td> <td>配管本体 (応力)</td> <td>配管本体 (応力^{※4})</td> <td>配管本体 (応力)</td> </tr> <tr> <td>地震時の相対変位の考慮^{※5}</td> <td>要</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 最高使用温度が150℃を超え、かつ口径4B以上の配管は3次元はりモデル解析を適用。 ※2 建設時工事計画においては、耐震Cクラスの配管は評価対象外としている。 ※3 区分Ⅲの減衰定数（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）は、水平配管の自重を架構で受けるリポルト支持具を4個以上有する配管系に適用。 ※4 振動数制限あり。 ※5 熱応力については建設時の条件を確認。 （熱応力は、建設時に評価済みであり、建設時の条件から変更はないため今回は評価を実施しない。）</p>		耐震B、Cクラスの配管 ^{※1} (溢水影響評価)	【参考】 耐震Sクラスの配管 ^{※2} (設計評価)	【参考】 耐震Bクラスの配管 ^{※2} (建設時工事計画)	基準地震動 S ₀ 弾性設計用地震動 S _d 静的地震力	基準地震動 S ₀ の1/2 静的地震力	評価用地震動	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀ の1/2	床応答曲線 (FRS)	±10%振幅	同左	同左	水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (鉛直地震力なし)	減衰定数	0.5%、1.5%、2.0% ^{※3} 、3.0% ^{※3}	同左	0.5%、1.0%	許容応力状態	IV _s S	S _d 静的: III _s S S _s : IV _s S	B _s S	評価項目	配管本体 (応力)	配管本体 (応力 ^{※4})	配管本体 (応力)	地震時の相対変位の考慮 ^{※5}	要	同左	同左	<p>表3 配管の解析条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">B、Cクラス評価 (溢水影響評価)</th> <th colspan="2">【参考】</th> </tr> <tr> <th>Sクラス配管</th> <th>建設時工認 Bクラス配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手法</td> <td>スペクトルモーダル解析法又は定ピッチスパン法</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>地震波</td> <td>基準地震動 S₀</td> <td>基準地震動 S₀、 弾性設計用地震動 S_d 又は静的地震力</td> <td>静的地震力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>床応答</td> <td>床応答曲線 (±10%振幅) 又は最大加速度</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>水平と鉛直地震力による荷重の組合せ</td> <td>二乗和平方根 (SRSS)</td> <td>同左</td> <td>— (水平地震力のみ)</td> </tr> <tr> <td>減衰定数</td> <td>0.5%、1.0%、1.5%、2.0%、3.0%^{※2}</td> <td>同左</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>評価基準</td> <td>IV_sS</td> <td>S_s: IV_sS S_d静的: III_sS</td> <td>B_sS</td> </tr> <tr> <td>評価項目</td> <td>配管本体^{※3}</td> <td>配管本体</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>地震時の相対変位の考慮</td> <td>要</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 共振のおそれのあるものについては、1/2 S₀による地震力を考慮する。 ※2 JEAG 及び試験等で妥当性が確認された値。 ※3 既往知見により、被劣に着目した評価手法及び評価基準値を適用。</p>		B、Cクラス評価 (溢水影響評価)	【参考】		Sクラス配管	建設時工認 Bクラス配管	手法	スペクトルモーダル解析法又は定ピッチスパン法	同左	同左	地震波	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀ 、 弾性設計用地震動 S _d 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}	床応答	床応答曲線 (±10%振幅) 又は最大加速度	同左	同左	水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)	減衰定数	0.5%、1.0%、1.5%、2.0%、3.0% ^{※2}	同左	—	評価基準	IV _s S	S _s : IV _s S S _d 静的: III _s S	B _s S	評価項目	配管本体 ^{※3}	配管本体	同左	地震時の相対変位の考慮	要	同左	同左	<p>表3 配管の解析条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">B、Cクラス評価^{※4} (溢水影響評価)</th> <th colspan="2">【参考】</th> </tr> <tr> <th>Sクラス配管^{※4}</th> <th>建設時工認 Bクラス配管^{※4}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手法</td> <td>3次元はりモデル解析又は標準支持間隔法</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>地震波</td> <td>基準地震動</td> <td>基準地震動、 弾性設計用地震動 又は静的地震力</td> <td>静的地震力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>床応答</td> <td>床応答曲線 (<±10%振幅) 又は最大加速度</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>水平と鉛直地震力による荷重の組合せ</td> <td>二乗和平方根 (SRSS)</td> <td>同左</td> <td>— (水平地震力のみ)</td> </tr> <tr> <td>減衰定数</td> <td>0.5%、1.0%、1.5%、2.0%^{※5}、3.0%^{※5※6}</td> <td>同左</td> <td>0.5%、1.0%</td> </tr> <tr> <td>評価基準</td> <td>IV_sS</td> <td>S_s: IV_sS S_d静的: III_sS</td> <td>B_sS</td> </tr> <tr> <td>評価項目</td> <td>配管本体^{※7}</td> <td>配管本体^{※1}</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>地震時の相対変位の考慮^{※8}</td> <td>要</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 共振のおそれのあるものについては、1/2 S₀による地震力を考慮する。 ※2 JEAG 及び試験等で妥当性が確認された値。 ※3 耐震Sクラス評価と同様、「JEAG等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用。 ※4 最高使用温度が150℃を超え、かつ口径4B以上の配管は3次元はりモデル解析を適用。 ※5 建設時工事計画においては、耐震Cクラスの配管は評価対象外としている。 ※6 区分Ⅲの減衰定数（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）は、水平配管の自重を架構で受けるリポルト支持具を4個以上有する配管系に適用。 ※7 振動数制限あり（標準支持間隔法） ※8 熱応力については建設時の条件を確認。 （熱応力は、建設時に評価済みであり、建設時の条件から変更はないため今回は評価を実施しない。）</p>		B、Cクラス評価 ^{※4} (溢水影響評価)	【参考】		Sクラス配管 ^{※4}	建設時工認 Bクラス配管 ^{※4}	手法	3次元はりモデル解析又は標準支持間隔法	同左	同左	地震波	基準地震動	基準地震動、 弾性設計用地震動 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}	床応答	床応答曲線 (<±10%振幅) 又は最大加速度	同左	同左	水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)	減衰定数	0.5%、1.0%、1.5%、2.0% ^{※5} 、3.0% ^{※5※6}	同左	0.5%、1.0%	評価基準	IV _s S	S _s : IV _s S S _d 静的: III _s S	B _s S	評価項目	配管本体 ^{※7}	配管本体 ^{※1}	同左	地震時の相対変位の考慮 ^{※8}	要	同左	同左	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大阪では標準支持間隔法と3次元はりモデル解析それぞれの表構成としている。 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 解析法の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊、大阪では耐震Sクラスと同様、「JEAG等」に基づく評価手法及び評価基準値を適用する。</p>
			耐震B、Cクラスの配管 ^{※1} (溢水影響評価)	【参考】 耐震Sクラスの配管 ^{※2} (設計評価)	【参考】 耐震Bクラスの配管 ^{※2} (建設時工事計画)																																																																																																												
	基準地震動 S ₀ 弾性設計用地震動 S _d 静的地震力	基準地震動 S ₀ の1/2 静的地震力																																																																																																															
評価用地震動	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀ の1/2																																																																																																														
床応答曲線 (FRS)	±10%振幅	同左	同左																																																																																																														
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (鉛直地震力なし)																																																																																																														
減衰定数	0.5%、1.5%、2.0% ^{※3} 、3.0% ^{※3}	同左	0.5%、1.0%																																																																																																														
許容応力状態	IV _s S	S _d 静的: III _s S S _s : IV _s S	B _s S																																																																																																														
評価項目	配管本体 (応力)	配管本体 (応力 ^{※4})	配管本体 (応力)																																																																																																														
地震時の相対変位の考慮 ^{※5}	要	同左	同左																																																																																																														
	B、Cクラス評価 (溢水影響評価)	【参考】																																																																																																															
		Sクラス配管	建設時工認 Bクラス配管																																																																																																														
手法	スペクトルモーダル解析法又は定ピッチスパン法	同左	同左																																																																																																														
地震波	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀ 、 弾性設計用地震動 S _d 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}																																																																																																														
床応答	床応答曲線 (±10%振幅) 又は最大加速度	同左	同左																																																																																																														
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)																																																																																																														
減衰定数	0.5%、1.0%、1.5%、2.0%、3.0% ^{※2}	同左	—																																																																																																														
評価基準	IV _s S	S _s : IV _s S S _d 静的: III _s S	B _s S																																																																																																														
評価項目	配管本体 ^{※3}	配管本体	同左																																																																																																														
地震時の相対変位の考慮	要	同左	同左																																																																																																														
	B、Cクラス評価 ^{※4} (溢水影響評価)	【参考】																																																																																																															
		Sクラス配管 ^{※4}	建設時工認 Bクラス配管 ^{※4}																																																																																																														
手法	3次元はりモデル解析又は標準支持間隔法	同左	同左																																																																																																														
地震波	基準地震動	基準地震動、 弾性設計用地震動 又は静的地震力	静的地震力 ^{※1}																																																																																																														
床応答	床応答曲線 (<±10%振幅) 又は最大加速度	同左	同左																																																																																																														
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同左	— (水平地震力のみ)																																																																																																														
減衰定数	0.5%、1.0%、1.5%、2.0% ^{※5} 、3.0% ^{※5※6}	同左	0.5%、1.0%																																																																																																														
評価基準	IV _s S	S _s : IV _s S S _d 静的: III _s S	B _s S																																																																																																														
評価項目	配管本体 ^{※7}	配管本体 ^{※1}	同左																																																																																																														
地震時の相対変位の考慮 ^{※8}	要	同左	同左																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料25）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
<p>表3 配管の解析条件（3次元はりモデル解析）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>耐震B、Cクラスの配管 (溢水影響評価)</th> <th>【参考】 耐震Sクラスの配管 (設計評価)</th> <th>【参考】 耐震Bクラスの配管*1 (建設時工事計画)</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地震波</td> <td>基準地震動 S₀</td> <td>基準地震動 S₀ 弾性設計用地震動 S_d 静的地震力</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床応答曲線 (FRS)</td> <td>±10%振幅</td> <td>同 左</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水平と鉛直地震力による荷重の組合せ</td> <td>二乗和平方根 (SRSS)</td> <td>同 左</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>減衰定数</td> <td>0.5%、1.5%、2.0%*2、3.0%*2</td> <td>同 左</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>許容応力状態</td> <td>IV_sS</td> <td>S_d静的：III_sS S₀：IV_sS</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価項目</td> <td>配管本体 (応力)</td> <td>配管本体 (応力)</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地震時の相対変位の考慮*3</td> <td>要</td> <td>同 左</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 建設時工事計画においては、耐震Bクラスの配管は標準支持間隔法で評価を行い、耐震Cクラスの配管は評価対象外としている。</p> <p>*2 区分Ⅲの減衰定数（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）は、水平配管の自重を架構で受けるリポルト支持具が4個以上有する配管系に適用。</p> <p>*3 熱応力については建設時の条件を確認。 （熱応力は、建設時に評価済みであり、建設時の条件から変更はないため今回は評価を実施しない。）</p>								耐震B、Cクラスの配管 (溢水影響評価)	【参考】 耐震Sクラスの配管 (設計評価)	【参考】 耐震Bクラスの配管*1 (建設時工事計画)				地震波	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀ 弾性設計用地震動 S _d 静的地震力	—				床応答曲線 (FRS)	±10%振幅	同 左	—				水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同 左	—				減衰定数	0.5%、1.5%、2.0%*2、3.0%*2	同 左	—				許容応力状態	IV _s S	S _d 静的：III _s S S ₀ ：IV _s S	—				評価項目	配管本体 (応力)	配管本体 (応力)	—				地震時の相対変位の考慮*3	要	同 左	—			
	耐震B、Cクラスの配管 (溢水影響評価)	【参考】 耐震Sクラスの配管 (設計評価)	【参考】 耐震Bクラスの配管*1 (建設時工事計画)																																																											
地震波	基準地震動 S ₀	基準地震動 S ₀ 弾性設計用地震動 S _d 静的地震力	—																																																											
床応答曲線 (FRS)	±10%振幅	同 左	—																																																											
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	二乗和平方根 (SRSS)	同 左	—																																																											
減衰定数	0.5%、1.5%、2.0%*2、3.0%*2	同 左	—																																																											
許容応力状態	IV _s S	S _d 静的：III _s S S ₀ ：IV _s S	—																																																											
評価項目	配管本体 (応力)	配管本体 (応力)	—																																																											
地震時の相対変位の考慮*3	要	同 左	—																																																											
						<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大阪では標準支持間隔法と3次元はりモデル解析それぞれの表構成としている。</p>																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉				相違理由
表4 評価対象配管				表4 評価対象配管の評価手法・条件の整理表							表4 評価対象配管				【女川】 設計方針の相違 評価フローの違いにより、表4における評価対象配管の整理結果が異なる。 【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる系統名称、材質、配管の条件の相違
系統名	材質	配管の条件		系統名	サブモデル コード 解析法	建設時設計手法		今回評価手法		系統名	材質	配管の条件			
		温度150℃超 口径4B以上	建屋相対変位			定ピッチスパン法	定ピッチスパン法	温度150℃超 口径4B以上	建屋相対変位						
補助給水系	SUS	-	-	原子炉給水系	○	/	/	○	/	補助蒸気系統	CS, SUS	○ ^{※1}	○ ^{※2}		
補助蒸気系	CS, SUS	○ ^{※1}	○ ^{※2}	原子炉再循環系	○	/	/	○	/	原子炉補機冷却水系統	CS, SUS	/	○ ^{※2}		
原子炉補機冷却系	CS, SUS	-	○ ^{※2}	PL給ポンプシールバージ系	○	○	○	-	-	原子炉格納容器スプレイ系統	SUS	/	-		
化学体積制御系	SUS	-	○ ^{※2}	加圧制御配水圧系	○	/	/	○	/	化学体積制御系統	SUS	/	○ ^{※2}		
冷水系	CS	-	○ ^{※2}	蒸留熱除去系	○	/	/	○	/	空調用冷水系統	CS, SUS	/	○ ^{※2}		
1次系洗淨水系	SUS	-	○ ^{※2}	高圧炉心スプレイ系	○	/	/	○	/	地下水排水系統	CS	/	○ ^{※2}		
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	SUS	-	-	原子炉隔離時冷却系	○	/	/	○	/	飲料水系統	CS, SUS	/	○ ^{※2}		
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	SUS	-	-	原子炉冷却材浄化系	○	/	/	-	-	原子炉補給水系統	SUS	/	○ ^{※2}		
原水消火水系	CS	-	○ ^{※2}	燃料プール冷却浄化系	○	/	/	○	/	1次系建屋 水消火系統	CS	/	○ ^{※2}		
主蒸気・主給水系	CS	○ ^{※1}	-	放射性廃棄物処理設備	○	/	/	○	/	主蒸気および給水系統	CS, SUS	○ ^{※1}	-		
1次系補給水系	SUS	-	○ ^{※2}	純水補給水系	○	/	/	○	/	1次冷却系統	SUS	/	-		
燃料取替用水系	SUS	-	○ ^{※2}	復水補給水系	○	/	/	○	/	余熱除去系統	SUS	/	-		
燃料ピット冷却浄化系	SUS	-	-	ろ過水系	/	○	○	-	○	燃料取替用水系統	SUS	/	-		
蒸気発生器ブローダウン系	CS, SUS	-	○ ^{※2}	熱気空調機用冷却水系	○	○	○	-	-	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	SUS	/	○ ^{※2}		
安全注入系	SUS	-	○ ^{※2}	原子炉補機冷却水系	○	/	/	○	/	蒸気発生器ブローダウン系統	CS, SUS	/	-		
1次系試料採取系	SUS	-	○ ^{※2}	高圧炉心スプレイ補機冷却水系	○	/	/	○	/	安全注入系統	SUS	/	○ ^{※2}		
液体廃棄物処理系	SUS	-	○ ^{※2}	タービン補機冷却水系	○	/	/	○	/	試料採取系統	SUS	/	○ ^{※2}		
				加熱蒸気及び復水戻り系	○	/	/	○	/	所内用空気系統	CS	/	-		
				所内蒸水系	/	○	○	-	-	原子炉補機冷却海水系統	CS, SUS	/	-		
				非常用ディーゼル発電設備	○	○	○	-	-	廃棄物処理系統	CS, SUS	/	○ ^{※2}		
				HPCS系ディーゼル発電設備	○	○	○	-	-	ドレン系統	CS, SUS	/	○ ^{※2}		
				消火系	/	○	○	-	-	海水電解装置海水供給・注入系統	CS	/	-		
				放射線性リン移送系	/	○	○	-	-						
				衛生配管	/	○	○	-	-						

※1 建設時、熱の影響が大きい配管は、標準支持間隔法にて耐震設計を行い、3次元はモデル解析にて熱影響評価を実施する。
 ※2 建屋相対変位の影響評価を実施する。

ロ. 一次+二次応力評価

建屋間にわたり敷設される配管については、地震による建屋相対変位の影響により二次応力が発生するため、一次+二次応力について評価を行う。

評価手順は、評価フローを図4に示す。なお、JEAG4601により一次+二次応力評価については、地震動のみによる評価を行うことが規定されていることから、地震に起因する建屋相対変位の影響について評価を実施する。また、建屋間相対変位による影響評価については別紙4に示す。

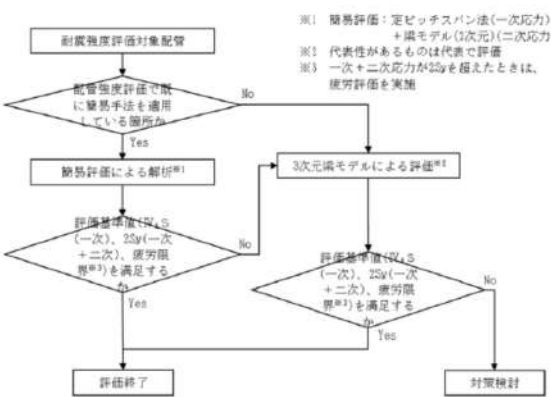
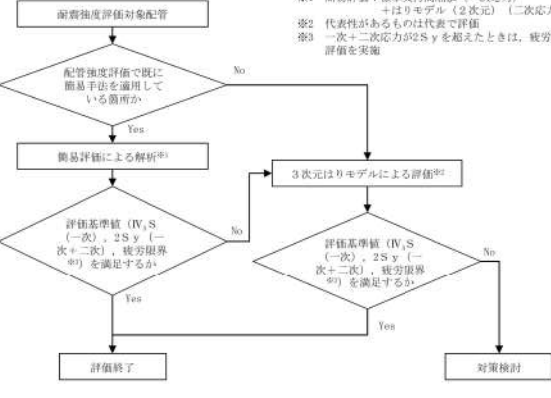
※1 建設時、熱の影響が大きい配管は、標準支持間隔法にて耐震設計を行い、3次元はモデル解析にて熱影響評価を実施する。
 ※2 建屋相対変位の影響評価を実施する。

建屋間にわたり敷設される配管については、地震による建屋相対変位の影響により二次応力が発生するため、一次+二次応力について評価を行う。

評価手順は、評価フローを図5に示す。なお、JEAG4601により一次+二次応力評価については、地震動のみによる評価を行うことが規定されていることから、地震に起因する建屋相対変位の影響について評価を実施する。また、建屋間相対変位による影響評価については別紙1に示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料25）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>※1 簡易評価：定セツスパン法（一次応力） + 線モデル（二次応力） ※2 代表性があるものは代表で評価 ※3 一次+二次応力が2Syを超えたときは、疲労評価を実施</p>		 <p>※1 簡易評価：標準支持間隔法（一次応力） + はりモデル（二次応力） ※2 代表性があるものは代表で評価 ※3 一次+二次応力が2Syを超えたときは、疲労評価を実施</p>	
<p>図4 配管の一次+二次応力評価フロー 各作業ステップについて以下に示す。</p>		<p>図5 配管の一次+二次応力評価フロー 各作業ステップについて以下に示す。</p>	
<p>① 溢水対象配管の建屋わたり配管を抽出する。原子炉格納容器と原子炉周辺建屋間、制御建屋と廃棄物処理建屋間、原子炉周辺建屋と廃棄物処理建屋間、制御建屋と原子炉周辺建屋間である。</p> <p>② 対象となる配管について、実スパンに基づく標準支持間隔法で算出した応力と建屋間相対変位による応力を足し合わせ、発生応力が評価基準値以下であることを確認する。シェークダウン限界以内であることを確認する。評価結果に応じ、3次元はりモデル解析により確認を行う。</p> <p>③ 前項②で発生値がシェークダウン限界を超過したブロックについて、累積係数が許容値以下であることを確認する。</p> <p>溢水評価対象の建屋わたり配管の地震に起因する建屋相対変位の影響を考慮した一次+二次応力評価を行い、発生応力が評価基準値以下もしくは累積係数が許容値以下になることを確認する。</p> <p>以上のとおり、評価対象となる耐震B、Cクラスの配管が基準地震動 S_s に対し、耐震性を有していることを確認する。</p>		<p>① 溢水対象配管の建屋わたり配管を抽出する。原子炉格納容器と周辺補機棟間、原子炉補助建屋と電気建屋間、ディーゼル発電機建屋と周辺補機棟間である。</p> <p>② 対象となる配管について、実スパンに基づく標準支持間隔法で算出した応力と建屋間相対変位による応力を足し合わせ、発生応力が評価基準値以下であることを確認する。シェークダウン限界以内であることを確認する。評価結果に応じ、3次元はりモデル解析により確認を行う。</p> <p>③ 前項②で発生値がシェークダウン限界を超過したブロックについて、累積係数が許容値以下であることを確認する。</p> <p>溢水評価対象の建屋わたり配管の地震に起因する建屋相対変位の影響を考慮した一次+二次応力評価を行い、発生応力が評価基準値以下若しくは累積係数が許容値以下になることを確認する。</p> <p>以上のとおり、評価対象となる耐震B、Cクラスの配管が基準地震動に対し、耐震性を有していることを確認する。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 建屋構成の違いによる</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料25）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙3</p> <p style="text-align: center;">標準支持間隔法による配管評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>溢水影響評価において溢水源の対象配管は耐震B、Cクラスであるが、基準地震動S_sによる地震力が作用した場合でも耐震性を有することを、標準支持間隔法等を用いて確認する。標準支持間隔法は、標準支持間隔以下で配管サポートを敷設すれば、標準支持間隔で算出した一次応力以下に抑えることができるものである。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の規準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」(JEAG4601-1987) ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編」(JEAG4601・補-1984) ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」(JEAG4601-1991 追補版) ・日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」(JSME S NCI-2005/2007) <p>評価に用いる基準地震動S_sに基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1 概要</p> <p>標準支持間隔は、各床区分における配管系の内圧、質量部及び地震応力に基づき、一次応力評価基準値内となる最大の支持間隔を算出する。</p> <p>なお、地震応力の算出に当たっては、耐震設計で用いる基準地震動S_sによる床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2 支持間隔</p> <p>2.2.1 解析モデル</p> <p>各種配管を図1のように支持間隔Lで3点支持した等分布質量の連続はりにモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊では、補足説明資料30「標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価」において、標準支持間隔法による配管評価について記載する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="120 177 663 373" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="241 384 555 405" data-label="Caption"> <p>図1 標準支持間隔法の解析モデル</p> </div> <p data-bbox="105 453 371 474">2.2.2 解析条件及び解析方法</p> <p data-bbox="105 485 685 576">① 各種配管について、設計用地震力による応力を算定するとともに、内圧及び自重の影響を考慮して一次応力の最大支持間隔を求める。</p> <p data-bbox="105 587 685 678">② 配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。</p> <p data-bbox="105 689 259 710">3. 設計用地震力</p> <p data-bbox="105 721 685 951">解析に使用する設計用地震力の種類及び設計用減衰定数は表1のとおりである。また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰定数については、「5. 参考文献」に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認され、高浜3号機の工事計画において標準支持間隔法での適用について認可実績（平成27年8月4日付 原規規発第1508041号）のある区分Ⅲの値（保温材無：2.0%、保温材有：3.0%）を適用する。</p> <p data-bbox="105 962 685 1086">なお、区分Ⅲの減衰定数の適用にあたっては、評価対象配管が、解析ブロック端※から解析ブロック端までの間に、水平配管の自重を架構で受けるリボルト支持具を4個以上有することを確認する。</p> <p data-bbox="105 1098 685 1189">※6軸拘束のアンカ（機器管台との接続、建屋貫通部、アンカサポート等）またはx,y,zの各方向をそれぞれ2回ずつ拘束するサポート群（アンカ点とみなす）をいう。</p> <p data-bbox="105 1200 651 1220">また、減衰定数の設定において、保温材の効果は考慮する。</p>			<p data-bbox="1870 180 1928 201">【大阪】</p> <p data-bbox="1870 212 1989 233">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="1870 244 2114 405" style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊では、補足説明資料30「標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価」において、標準支持間隔法による配管評価について記載する。

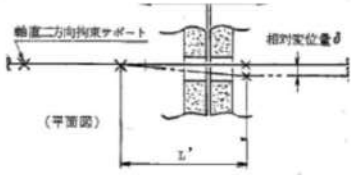
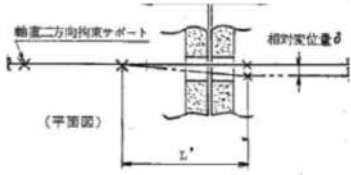
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

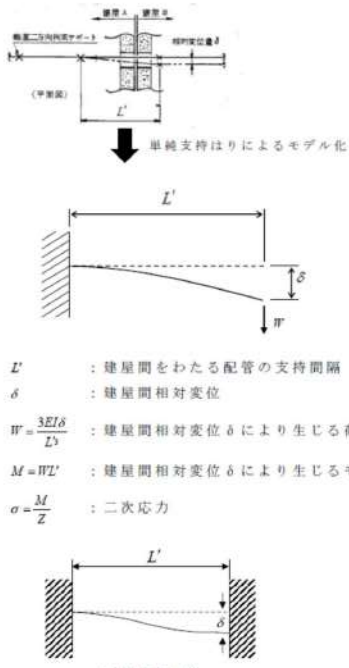
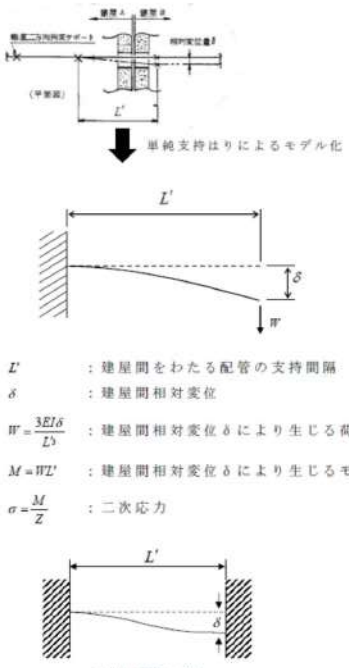
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料25）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>表1 設計用地震力の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ例 E.L. + (m)</th> <th>減衰定数(%) (参考文献参照)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉周辺建屋 (E/B)</td> <td>17.1、26.0、 33.6、42.4、 42.6、47.3、55.8</td> <td>0.5、1.5、 2.0、3.0</td> </tr> <tr> <td>制御建屋 (C/B)</td> <td>11.5、15.8、 21.3、26.1、33.6</td> <td>0.5、1.5、 2.0、3.0</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理建屋 (W/B)</td> <td>17.5、26.0、 33.6、42.6、47.0</td> <td>0.5、1.5、 2.0、3.0</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	床応答曲線高さ例 E.L. + (m)	減衰定数(%) (参考文献参照)	原子炉周辺建屋 (E/B)	17.1、26.0、 33.6、42.4、 42.6、47.3、55.8	0.5、1.5、 2.0、3.0	制御建屋 (C/B)	11.5、15.8、 21.3、26.1、33.6	0.5、1.5、 2.0、3.0	廃棄物処理建屋 (W/B)	17.5、26.0、 33.6、42.6、47.0	0.5、1.5、 2.0、3.0			<p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> ・女川審査実績の反映 ・泊では、補足説明資料30「標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価」において、標準支持間隔法による配管評価について記載する。</p>
建屋	床応答曲線高さ例 E.L. + (m)	減衰定数(%) (参考文献参照)													
原子炉周辺建屋 (E/B)	17.1、26.0、 33.6、42.4、 42.6、47.3、55.8	0.5、1.5、 2.0、3.0													
制御建屋 (C/B)	11.5、15.8、 21.3、26.1、33.6	0.5、1.5、 2.0、3.0													
廃棄物処理建屋 (W/B)	17.5、26.0、 33.6、42.6、47.0	0.5、1.5、 2.0、3.0													
<p>4. 具体的な評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を図2に示す。</p> <p>図2 標準支持間隔法を用いた評価手順の例</p>															

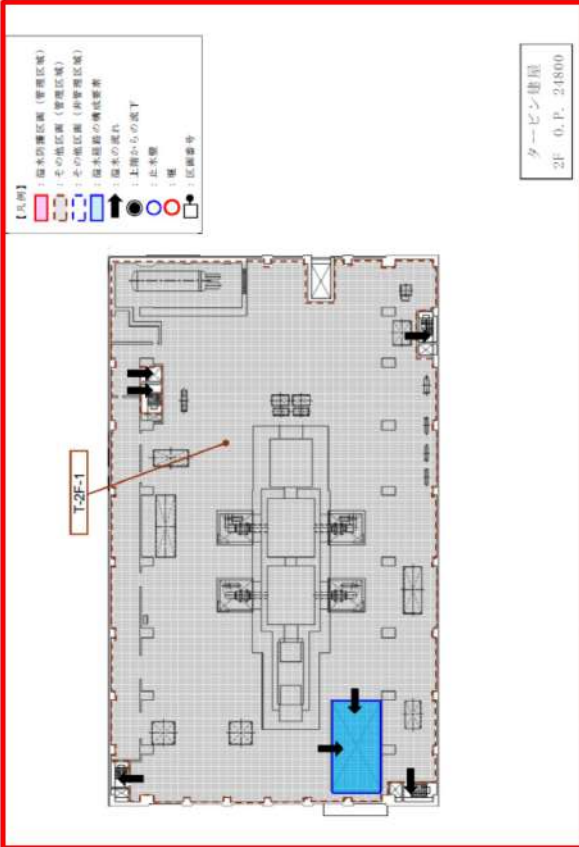
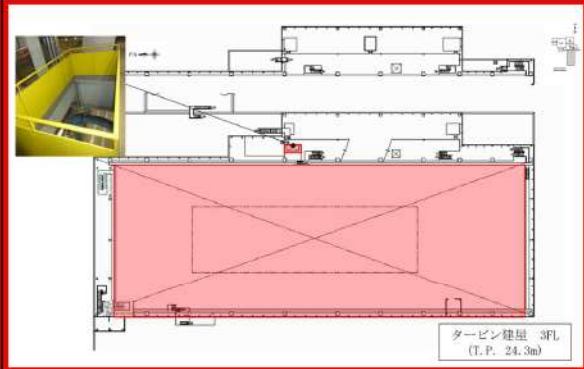
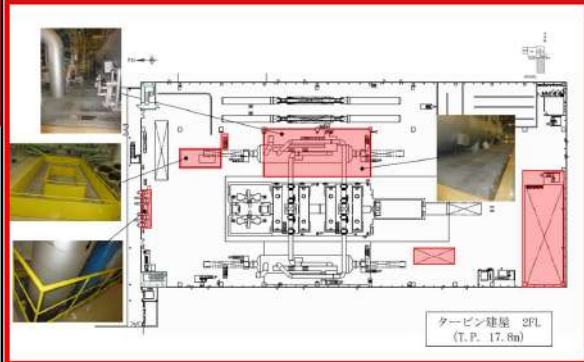
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料25）

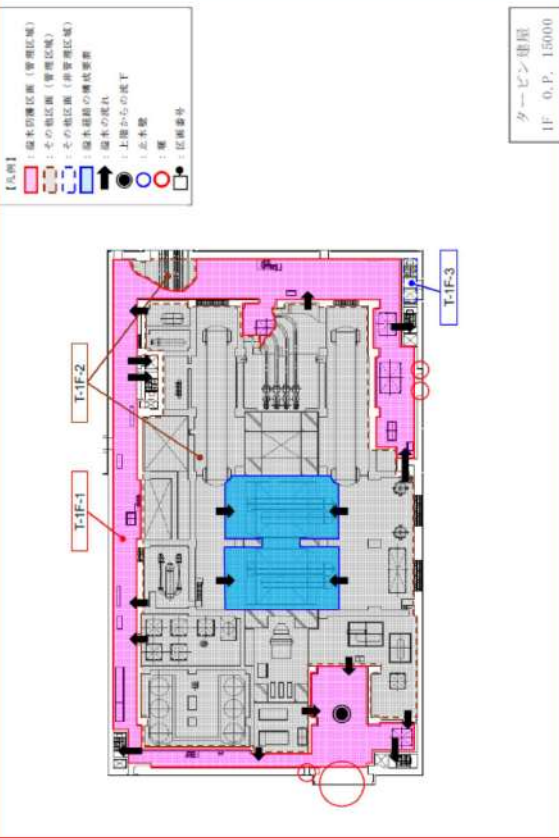
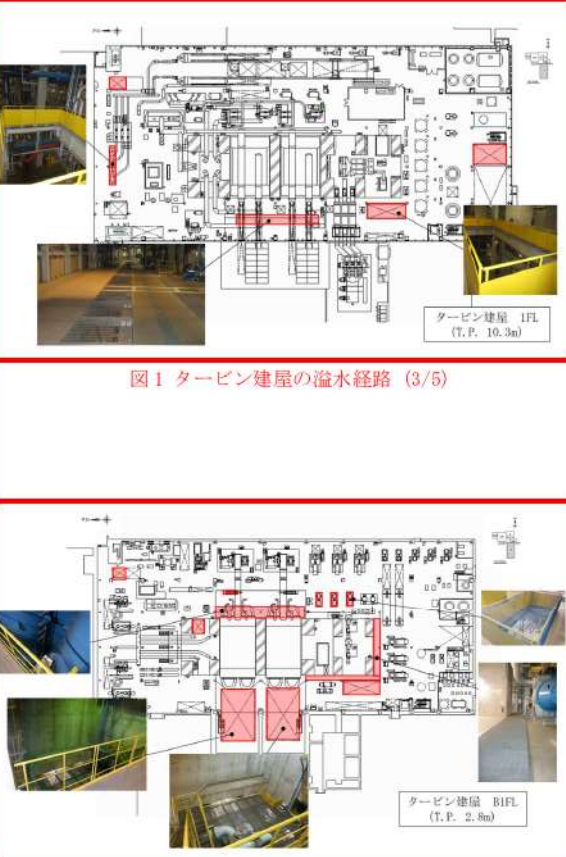
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5. 参考文献</p> <p>原子力規制委員会ホームページ「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について」 http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/shingikai/800/6/002/4.pdf</p> <p style="text-align: right;">別紙4</p> <p style="text-align: center;">建屋間相対変位による影響評価</p> <p>1. 概要</p> <p>配管が異なる建物、構築物間にわたって施工される部分については、建物、構築物間の相対変位を考慮する設計を行っている。この建屋間相対変位の影響評価は、以下に示す方法にて建屋間相対変位により発生する二次応力を算出し、一次応力と組み合わせることで、問題ないことを確認する。</p> <p>2. 相対変位の影響評価方法</p> <p>(1) 相対変位による発生応力</p> <p>配管が異なる建屋間にわたって施工される部分については、建物、構築物間の相対変位（δ）による発生応力を算出する。（図1）</p>  <p style="text-align: center;">図1 建屋間の相対変位 δ</p>		<p style="text-align: center;">建屋間相対変位による影響評価</p> <p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>1. 概要</p> <p>配管が異なる建物、構築物間にわたって施工される部分については、建物、構築物間の相対変位を考慮する設計を行っている。この建屋間相対変位の影響評価は、以下に示す方法にて建屋間相対変位により発生する二次応力を算出し、一次応力と組み合わせることで、問題ないことを確認する。</p> <p>2. 相対変位の影響評価方法</p> <p>(1) 相対変位による発生応力</p> <p>配管が異なる建屋間にわたって施工される部分については、建物、構築物間の相対変位（δ）による発生応力を算出する。（図1）</p>  <p style="text-align: center;">図1 建屋間の相対変位 δ</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊では、補足説明資料30「標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価」において、標準支持間隔法による配管評価について記載する。 <p>【大阪】 記載表現の相違</p>

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 発生応力の算出 発生応力は以下の単純支持はりのモデルにて算出する。</p>  <p>単純支持はりによるモデル化</p> <p>L' : 建屋間をわたる配管の支持間隔 δ : 建屋間相対変位 $W = \frac{3EI\delta}{L^3}$: 建屋間相対変位 δ により生じる荷重 $M = WL'$: 建屋間相対変位 δ により生じるモーメント $\sigma = \frac{M}{Z}$: 二次応力</p> <p>両端固定の例</p> <p>図2 単純支持はりのモデルによる発生応力の算出</p> <p>(3) 評価基準値との比較 相対変位による発生応力と地震による発生応力を足し合わせたものについて、評価基準値との比較を行い、評価基準値を超えるものは疲労評価を行う。</p> <p>【一次+二次応力評価、疲労評価】 (JEAGにおける要求) 一次+二次応力がシェークダウン限界（クラス1設備以外は、2Sy）を超えないこと。 シェークダウン限界を超える場合は簡易弾塑性解析を行い、その結果に基づき、疲労評価を行う。 なお、必要に応じて、3次元はりモデル解析による詳細評価を行う。</p>		<p>(2) 発生応力の算出 発生応力は以下の単純支持はりのモデルにて算出する。</p>  <p>単純支持はりによるモデル化</p> <p>L' : 建屋間をわたる配管の支持間隔 δ : 建屋間相対変位 $W = \frac{3EI\delta}{L^3}$: 建屋間相対変位 δ により生じる荷重 $M = WL'$: 建屋間相対変位 δ により生じるモーメント $\sigma = \frac{M}{Z}$: 二次応力</p> <p>両端固定の例</p> <p>図2 単純支持はりのモデルによる発生応力の算出</p> <p>(3) 評価基準値との比較 相対変位による発生応力と地震による発生応力を足し合わせたものについて、評価基準値との比較を行い、評価基準値を超えるものは疲労評価を行う。</p> <p>【一次+二次応力評価、疲労評価】 (JEAGにおける要求) 一次+二次応力がシェークダウン限界（クラス1設備以外は、2Sy）を超えないこと。 シェークダウン限界を超える場合は簡易弾塑性解析を行い、その結果に基づき、疲労評価を行う。 なお、必要に応じて、3次元はりモデル解析による詳細評価を行う。</p>	

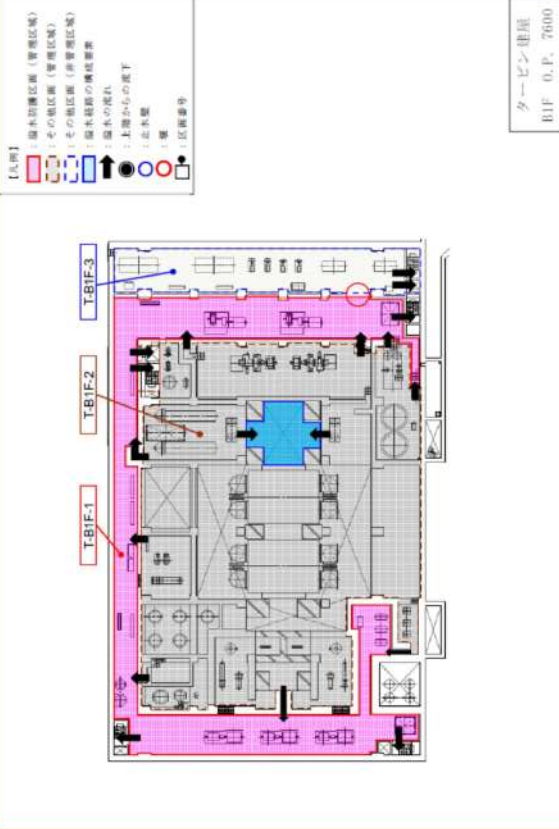
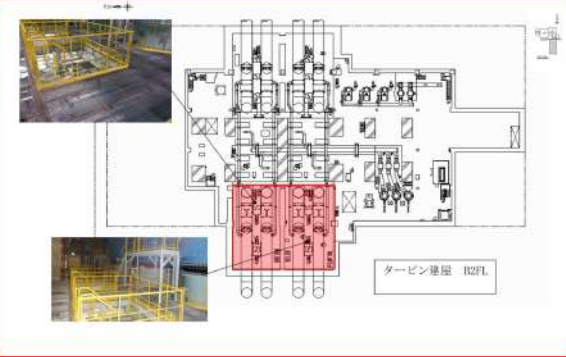
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【伊方3号炉】まとめ資料 p9条-別添1-添付2-8 別紙1 スプリンクラについてより抜粋</p> <p>また、スプリンクラへの消火水供給配管は、溢水防護区画内は通っておらず、万一タービン建屋にて損傷漏えいが発生した場合においても、タービン建屋は床面がグレーチング構造となっている箇所が多いため、漏えいした水はタービン建屋の下層階へと伝播する。</p>	<p>添付資料 30</p> <p>タービン建屋における溢水経路図</p>  <p>タービン建屋 2F 0.P. 24.800</p>	<p>添付資料 26</p> <p>タービン建屋における溢水経路について</p> <p>タービン建屋は床面がグレーチング構造となっている箇所が多いため、漏えいした水はタービン建屋の下層階へと伝播する。</p>  <p>タービン建屋 3FL (T.P. 24.3m)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【伊方】 記載方針の相違 資料構成の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊のタービン建屋には溢水が流出する開口が多数存在し、溢水経路上に堰等は設置されていないことから、溢水は開口部から下層階に速やかに伝播する構造となっている。(先行PWRと同様。記載は伊方を反映) ・上記を踏まえ、泊ではタービン建屋内に存在する開口を図1に示している。 ・図1内の差異については、プラント設計（配置）の相違による。
		<p>図1 タービン建屋の溢水経路 (1/5)</p>  <p>タービン建屋 2FL (T.P. 17.8m)</p>	
		<p>図1 タービン建屋の溢水経路 (2/5)</p>	

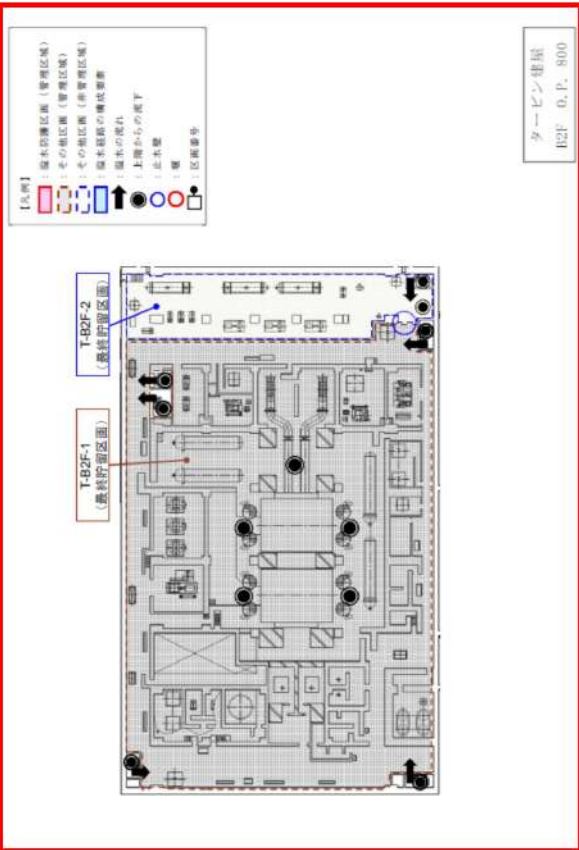
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 図1内の差異については、プラン ト設計（配置）の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

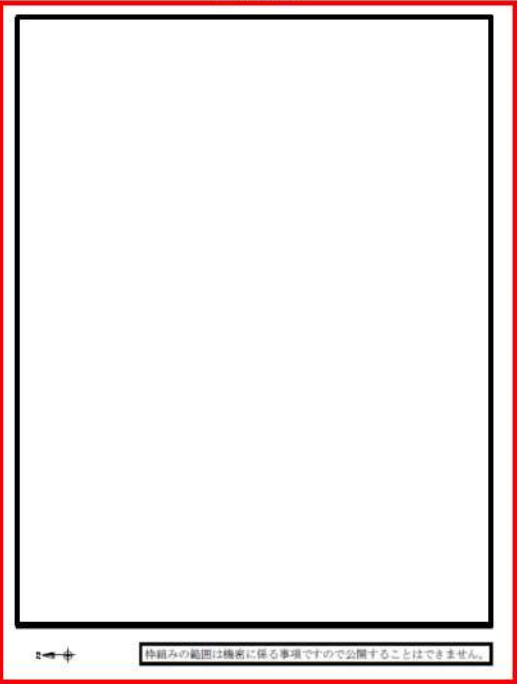
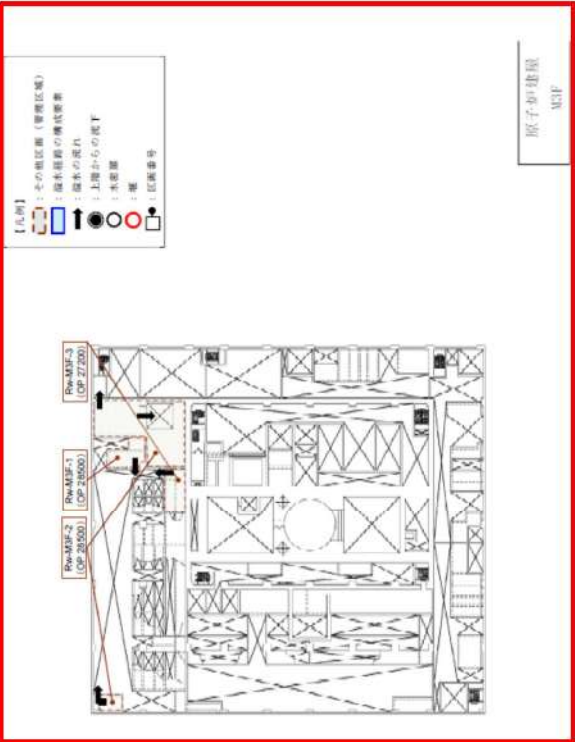
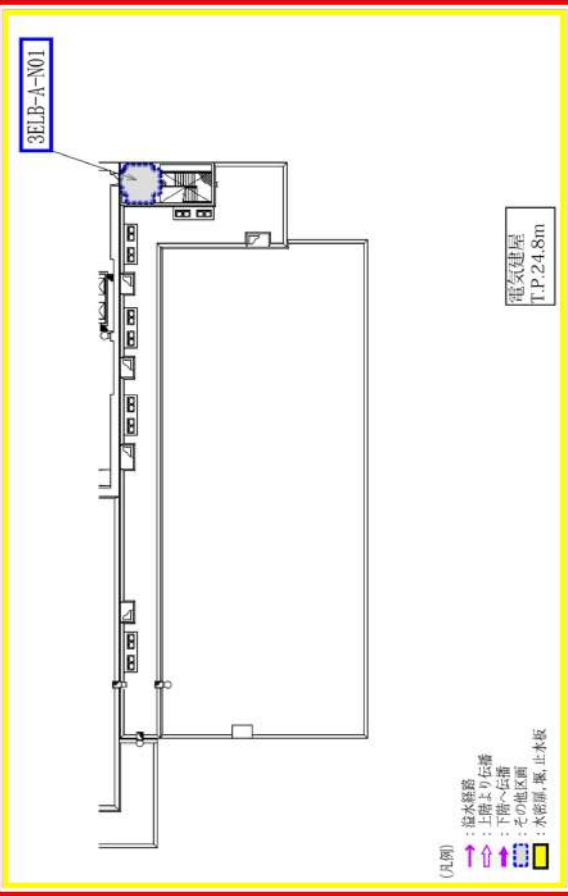
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1415 587 1738 609">図1 タービン建屋の溢水経路 (5/5)</p>	<p data-bbox="1872 185 1935 207">【女川】</p> <p data-bbox="1872 217 1998 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2123 306">図1内の差異については、プラント設計（配置）の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

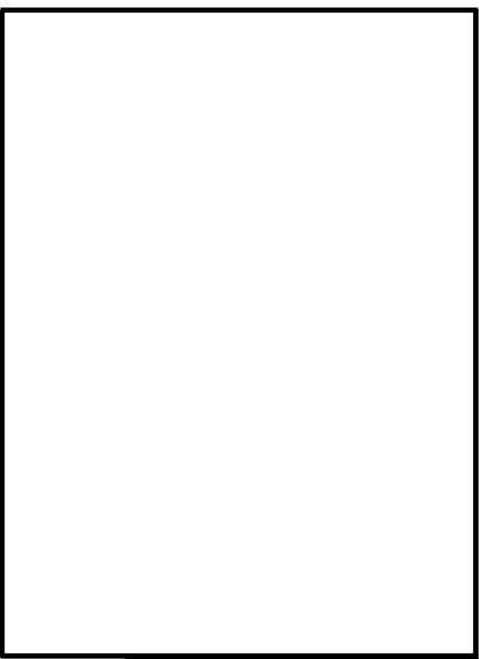
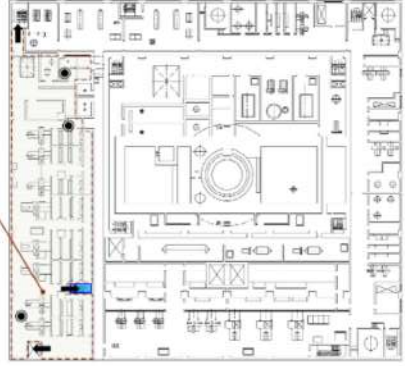
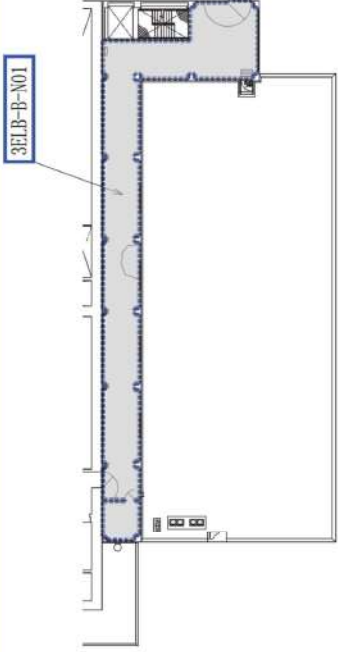
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本設備区画 (管理区画) その他区画 (管理区画) その他区画 (非管理区画) 基本設備の構成要素 基本の壁 上層からの落下 止水壁 扉 区画番号 <p>タービン建屋 REF. O.P. 800</p>		<p>【女川】 設計方針の相違 図1内の差異については、プラン ト設計 (配置) の相違による。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

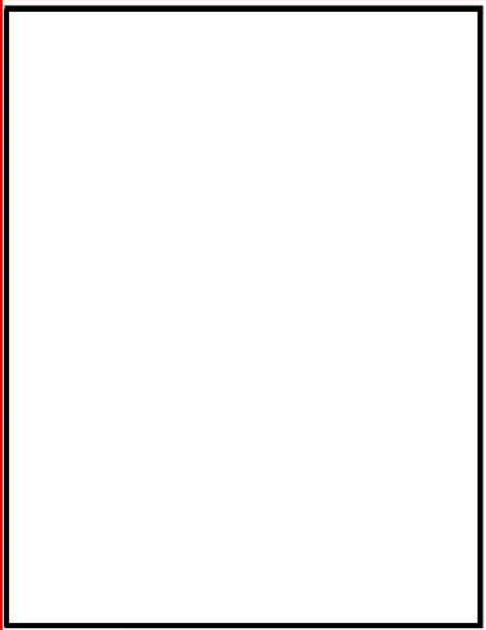
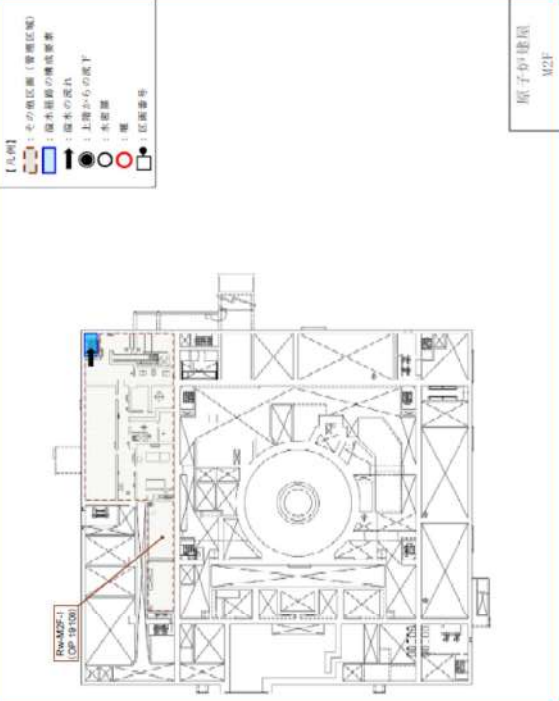
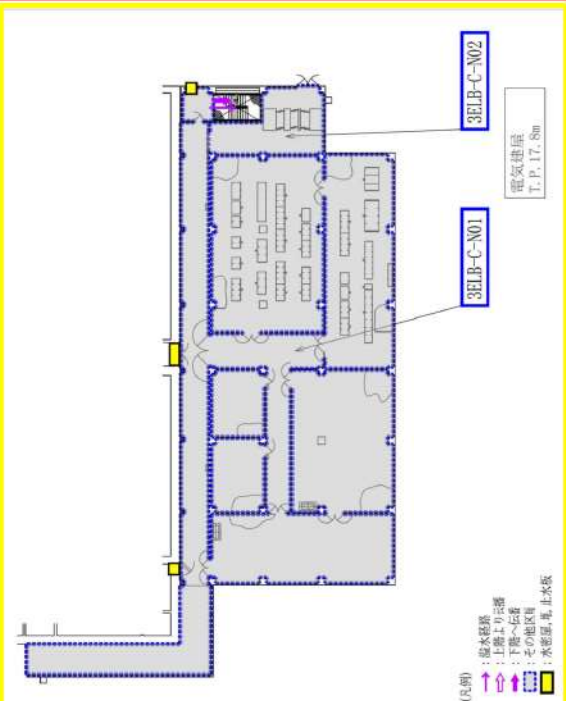
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料27）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料3</p> <p>溢水経路図</p>  <p>特許の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>添付資料31</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路図</p>  <p>原子炉建屋 MFP</p>	<p>添付資料27</p> <p>電気建屋における溢水経路図</p>  <p>3ELB-A-N01</p> <p>電気建屋 T.P.24.8m</p> <p>(凡例) 溢水経路 上階より伝播 下階へ伝播 その他伝播 水密部、扉、止水板</p>	<p>【女川】 記載表現の相違 【女川・大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

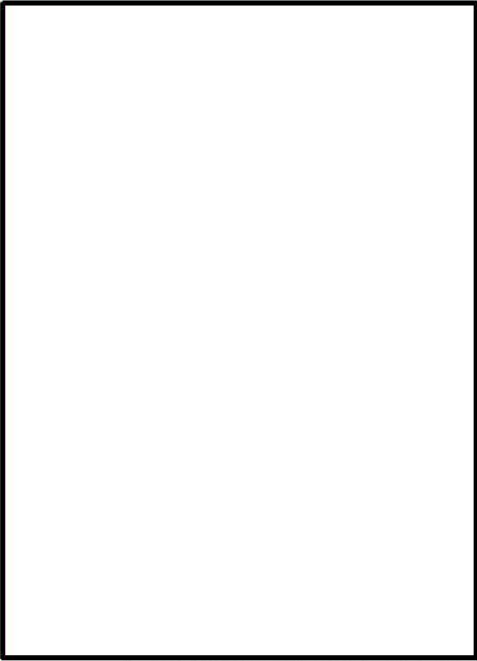
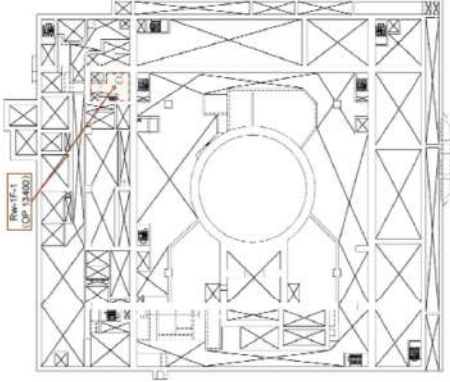
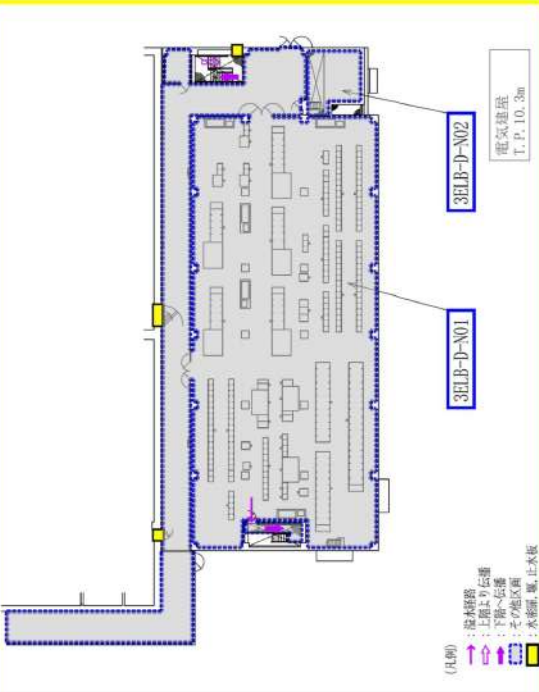
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="246 853 593 869">特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 199 862 375"> 【凡例】 ■：その他区画（管理区画） ■：機本経路の構成要素 ■：機本の覆れ ■：上層からの覆下 ■：水密区画 ■：壁 ■：区画番号 </p> <p data-bbox="1209 183 1265 319">原子炉建屋 2F 0.F. 22500</p>	 <p data-bbox="1310 359 1344 422">SELB-P-N01</p> <p data-bbox="1758 263 1814 391">電文建屋 T.P. 21.7m</p> <p data-bbox="1713 837 1825 957"> (凡例) ■：溢水経路 ■：上層より伝播 ■：下層へ伝播 ■：その他区画 ■：水密区画、止水板 </p>	<p data-bbox="1870 183 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1870 215 1993 231">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 375">プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

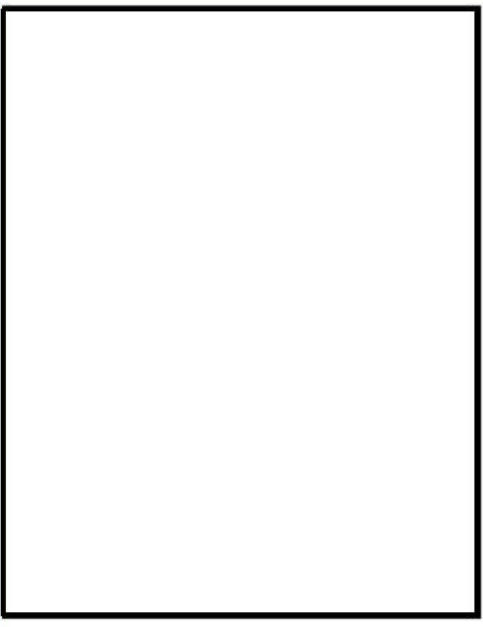
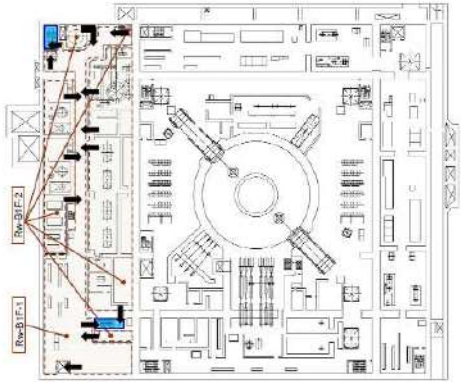
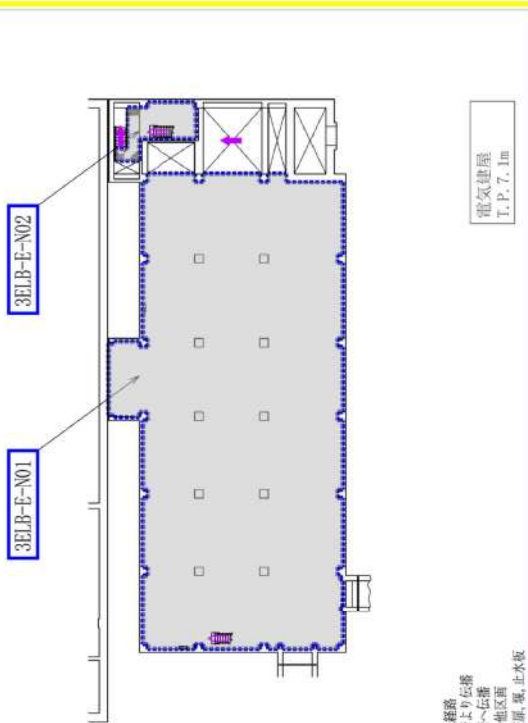
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="241 817 600 837">詳細な範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 180 860 367">【凡例】 □：その地区画（管理区域） □：屋外設備の構造要素 ○：屋水の流出 ○：上層からの落下 ○：本装置 ○：建 ○：区域番号</p> <p data-bbox="1214 199 1263 287">原子力が建屋 M2F</p>	 <p data-bbox="1742 207 1854 375">BELB-C-N02 BELB-C-N01 電気機房 T.P.17.5m</p> <p data-bbox="1742 750 1854 884">【凡例】 □：溢水経路 ↑：上層より伝播 ↓：下層へ伝播 □：その地区画 □：水溢阻止止水板</p>	<p data-bbox="1872 180 1989 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 1993 234">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 375">プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

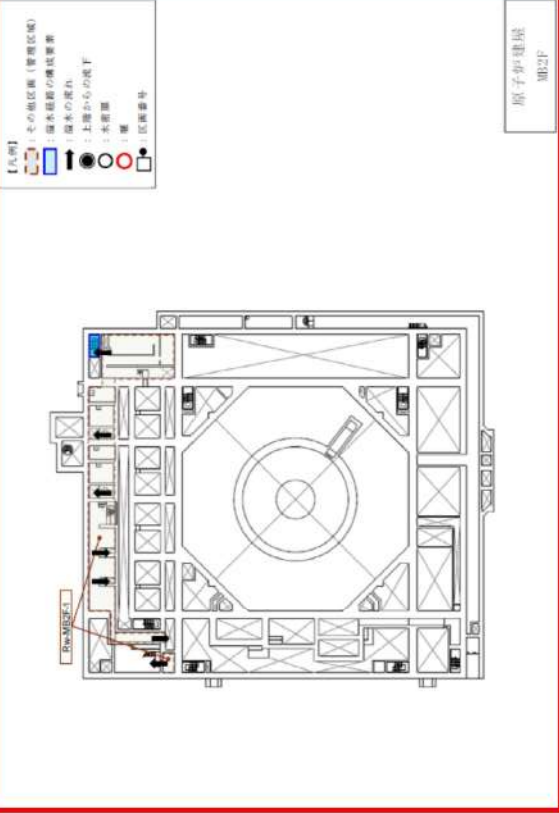
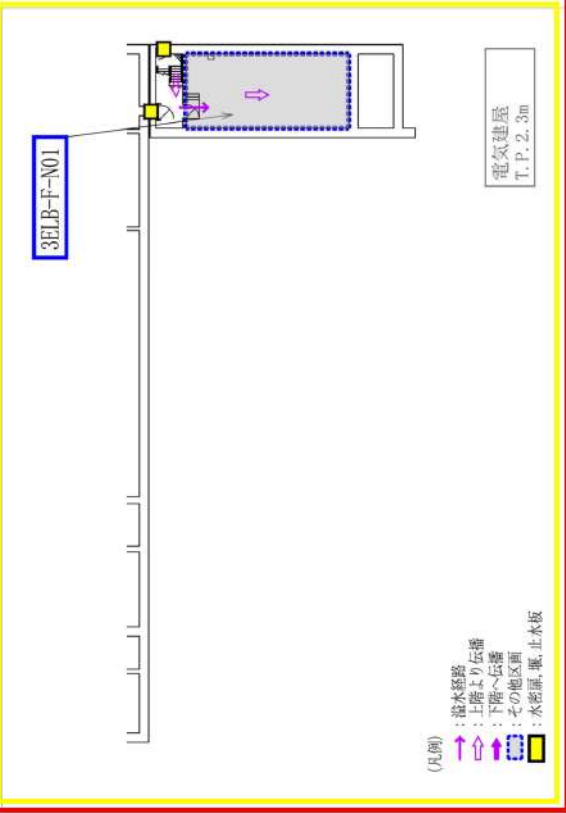
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="241 855 591 874">特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 194 860 370">【凡例】 □：その地区画（管理区域） ■：機舎屋頂の構造要素 ○：屋本の表れ ●：上層からの配下 ○：水密部 ○：壁 ○：区画番号</p> <p data-bbox="1214 194 1263 306">原子炉建屋 地下1F</p>	 <p data-bbox="1756 236 1818 402">配気建屋 T.P. 10.5m</p> <p data-bbox="1756 300 1787 593">3ELB-D-N02 3ELB-D-N01</p> <p data-bbox="1756 737 1845 865">【凡例】 溢水経路 上層より伝播 下層へ伝播 その他地区画 水密部、壁、止水板</p>	<p data-bbox="1872 178 1989 201">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 217 1998 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 376">プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）。</p>

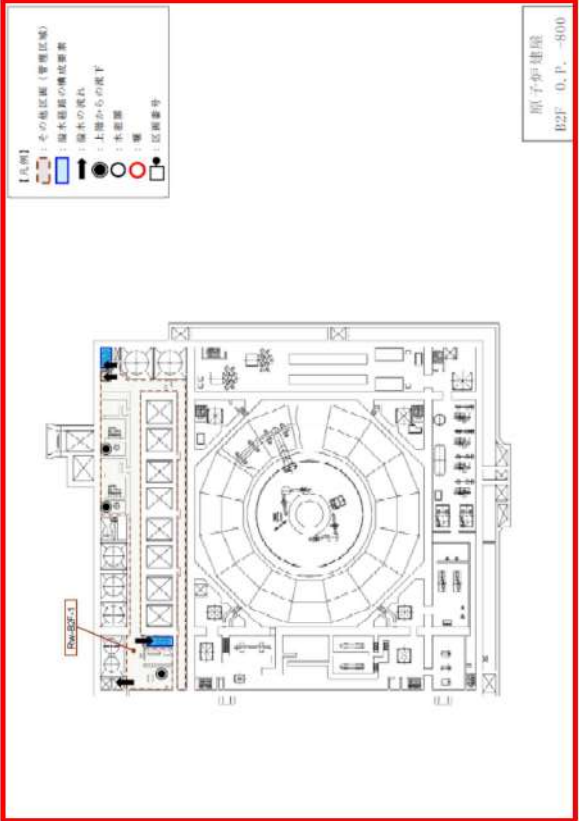
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="246 821 593 837">詳細な図面は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 191 862 367">【注】 その他記号（管理記号） 溢水経路の単位番号 溢水の発生 上層からの落下 水貯留 溝 区画番号</p> <p data-bbox="1220 183 1265 319">原子力建屋 B1F 0.P. 8000</p>	 <p data-bbox="1780 327 1825 406">電気建屋 T.P. 7.1m</p> <p data-bbox="1724 853 1836 981">(凡例) 溢水経路 上層より伝播 上層へ伝播 その他区画 水貯留、現、止水板</p>	<p data-bbox="1870 175 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1870 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 375">プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

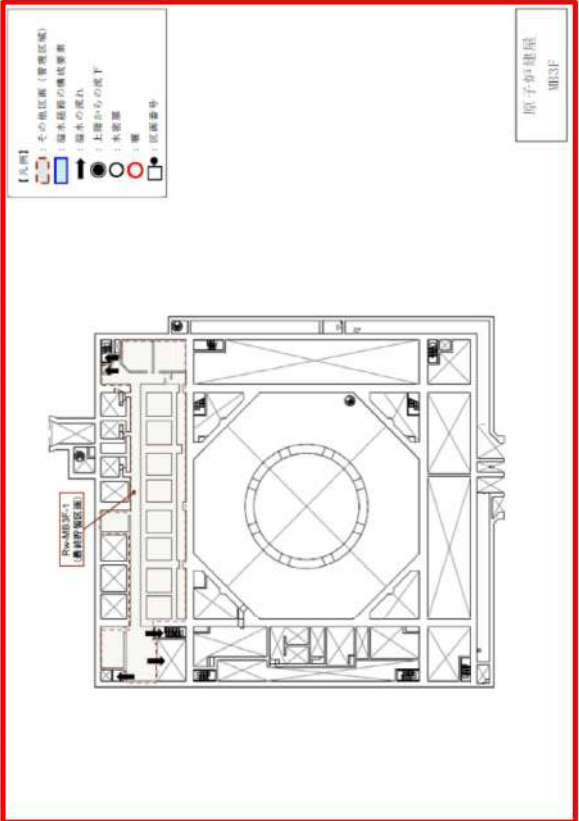
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】 ：その他の区域（管理区域） ：図本建屋の棟根要素 ：図本の床面 ：上層からの配下 ：本階層 ：壁 ：区画番号</p> <p>原子炉建屋 3階2F</p>	 <p>3ELB-F-N01</p> <p>電気建屋 T.F.: 2.5m</p> <p>（凡例） ↑：溢水経路 ↑：上層より伝播 ↓：下層へ伝播 ：その他の区域 ：水密扉、堰、止水板</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

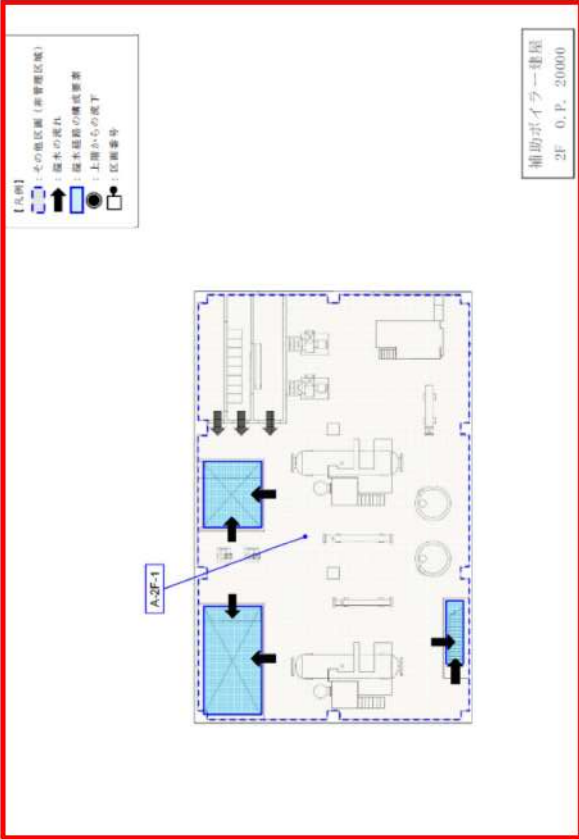
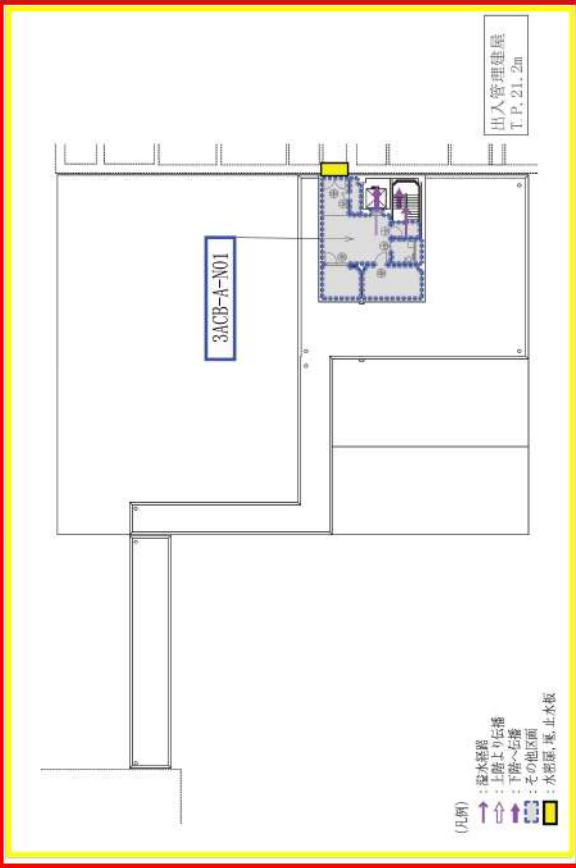
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料 32</p> <p style="text-align: center;">補助ボイラー建屋における溢水経路図</p> 	<p style="text-align: right;">添付資料 28</p> <p style="text-align: center;">出入管理建屋における溢水経路図</p> 	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪・女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違 (防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪・女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違（防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に係る溢水経路図であることは同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

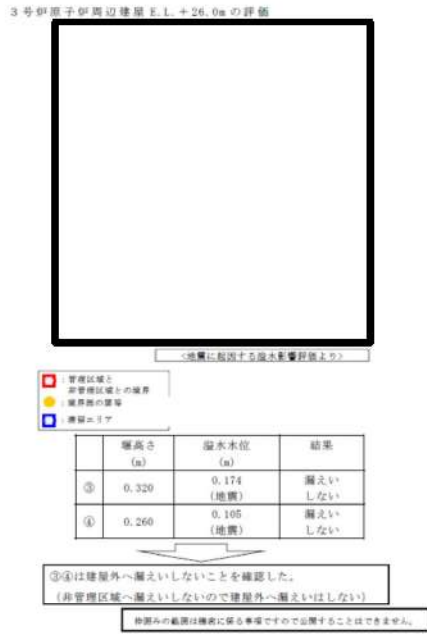
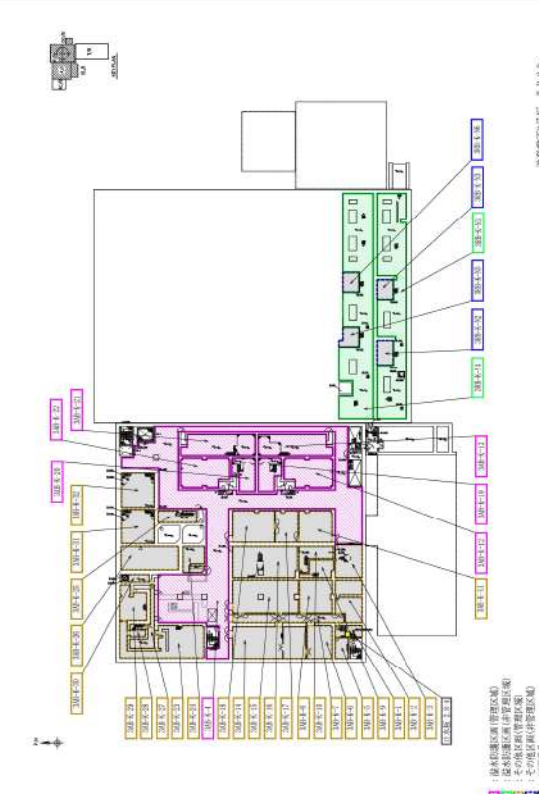
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>補足資料</p> <p>1.6 放射性物質が建屋外へ漏えいしないことについて</p> <p>3号炉原子炉周辺建屋 E.L. +39.0mの詳細</p> <p>（機室に設置する放水影響評価より）</p> <p>管理区域と 管理区域上の境界 機室の壁等 保留エリア</p> <p>保留エリアには管理区域との境界に壁が無く、 非管理区域へ漏えいしない。</p> <p>建屋外へ漏えいしないことを確認した。</p> <p>機室の範囲は機室に係る事項ですので公開できません。</p>	<p>添付資料33</p> <p>放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所</p> <p>原子炉建屋 1F 0.P. 15000</p> <p>【注】：基本防護区域（管理区域） ：基本防護区域上の境界 ：他の地区別管理区域 ：その他区域（非管理区域） ：機室 ：区域番号</p> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	<p>添付資料29</p> <p>放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所</p> <p>泊発電所3号炉 T.P.33.1R</p> <p>：基本防護区域（管理区域） ：基本防護区域上の境界 ：他の地区別管理区域 ：その他区域（非管理区域） ：機室 ：区域番号 ：本館内、禁止区域</p> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大阪】 設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>3号炉原子炉周辺地盤上L+33.6mの評価</p> <table border="1" data-bbox="241 630 528 735"> <thead> <tr> <th></th> <th>掘削高さ (m)</th> <th>溜水水位 (m)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>0.160</td> <td>0.045 (地質)</td> <td>漏えい しない</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>0.400</td> <td>0.034 (地質)</td> <td>漏えい しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>①②は壁体外へ漏えいしないことを確認した。</p> <p>詳細の範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p>		掘削高さ (m)	溜水水位 (m)	結果	①	0.160	0.045 (地質)	漏えい しない	②	0.400	0.034 (地質)	漏えい しない	<p>制御建屋 1F 0.F. 15000</p> <p>枠囲みの内容は防衛上の観点から公開できません。</p>	<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません</p>	<p>【女川・大阪】 <u>設計方針の相違</u> プラント構成及び機器配置の相 違</p>
	掘削高さ (m)	溜水水位 (m)	結果												
①	0.160	0.045 (地質)	漏えい しない												
②	0.400	0.034 (地質)	漏えい しない												

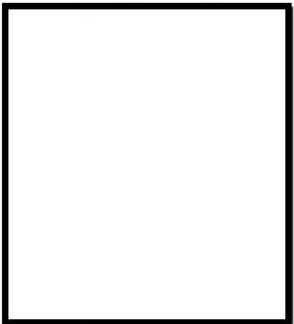
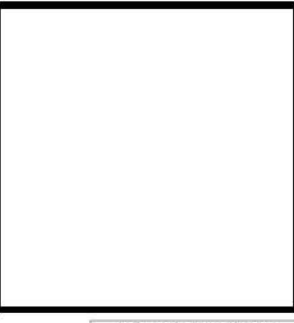
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料29）



大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3号伊原子伊原辺様屋E.L.+26.0mの評価</p>  <p>③④は建屋外へ漏えいしないことを確認した。 (非管理区域へ漏えいしないので建屋外へ漏えいほしない)</p> <p>※図中の範囲は補綴に基く事項ですので公開することはできません。</p>		 <p>※図中の範囲は補綴に基く事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料29）

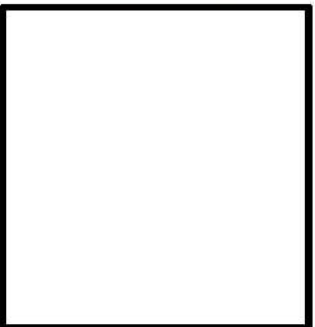
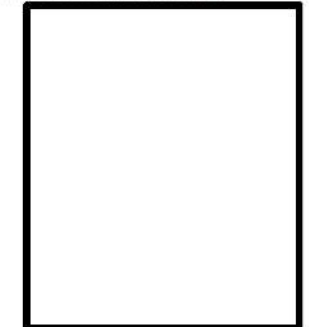
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3号伊原子伊周辺建屋E.L.+17.1mの評価</p>  <p>（地盤に起因する浸水影響評価より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 管理区域と非管理区域との境界 ● 境界線の壁等 □ 滞留エリア <p>滞留エリアには管理区域との境界に壁が無く、非管理区域へ漏えいしない。</p> <p>↓</p> <p>建屋外に漏えいしないことを確認した。</p> <p>※貯水の範囲は機室に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>3号伊原子伊周辺建屋E.L.+16.0mの評価</p>  <p>（地盤に起因する浸水影響評価より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 管理区域と非管理区域との境界 ● 境界線の壁等 □ 滞留エリア <p>滞留エリアには管理区域との境界に壁が無く、非管理区域へ漏えいしない。</p> <p>↓</p> <p>建屋外に漏えいしないことを確認した。</p> <p>※貯水の範囲は機室に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3号炉原子炉周辺建屋E.L.+3.5mの評価</p>  <p>4号炉原子炉周辺建屋E.L.+39.0mの評価</p> 			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料29）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>4号伊原子伊原辺建屋E.L.+33.6mの評価</p>  <p>④ 管理区域と 非常停止域との境界 ⑤ 境界部の壁等 ⑥ 境界エリア</p> <table border="1" data-bbox="235 598 526 702"> <thead> <tr> <th></th> <th>壁高さ (m)</th> <th>漏水水位 (m)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㉔</td> <td>0.160</td> <td>0.054 (地震)</td> <td>漏えい しない</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>0.160</td> <td>0.040 (地震)</td> <td>漏えい しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>㉔㉕は壁屋外へ漏えいしないことを確認した。</p> <p>評価みの範囲は確認に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>4号伊原子伊原辺建屋E.L.+26.0mの評価</p>  <p>⑦ 管理区域と 非常停止域との境界 ⑧ 境界部の壁等 ⑨ 境界エリア</p> <table border="1" data-bbox="235 1268 526 1372"> <thead> <tr> <th></th> <th>壁高さ (m)</th> <th>漏水水位 (m)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㉖</td> <td>0.320</td> <td>0.173 (地震)</td> <td>漏えい しない</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>0.260</td> <td>0.124 (地震)</td> <td>漏えい しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>㉖㉗は壁屋外へ漏えいしないことを確認した。 (非管理区域へ漏えいしないので壁屋外へ漏えいしない)</p> <p>評価みの範囲は確認に係る事項ですので公開することはできません。</p>		壁高さ (m)	漏水水位 (m)	結果	㉔	0.160	0.054 (地震)	漏えい しない	㉕	0.160	0.040 (地震)	漏えい しない		壁高さ (m)	漏水水位 (m)	結果	㉖	0.320	0.173 (地震)	漏えい しない	㉗	0.260	0.124 (地震)	漏えい しない			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>
	壁高さ (m)	漏水水位 (m)	結果																								
㉔	0.160	0.054 (地震)	漏えい しない																								
㉕	0.160	0.040 (地震)	漏えい しない																								
	壁高さ (m)	漏水水位 (m)	結果																								
㉖	0.320	0.173 (地震)	漏えい しない																								
㉗	0.260	0.124 (地震)	漏えい しない																								



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料29）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>4号炉原子炉周辺建屋 E.L. +17.1m の評価</p>  <p>④ ⑤ ⑥</p> <table border="1" data-bbox="235 1268 526 1380"> <thead> <tr> <th></th> <th>床高さ (m)</th> <th>溢水水位 (m)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>0.320</td> <td>0.170 (地盤)</td> <td>漏えいしない</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0.320</td> <td>0.170 (地盤)</td> <td>漏えいしない</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>0.320</td> <td>0.170 (地盤)</td> <td>漏えいしない</td> </tr> </tbody> </table> <p>④⑤⑥は建屋外へ漏えいしないことを確認した。 (非管理区域へ漏えいしないので建屋外へ漏えいしない)</p> <p>④⑤⑥は建屋外へ漏えいしないことを確認した。 (非管理区域へ漏えいしないので建屋外へ漏えいしない)</p>		床高さ (m)	溢水水位 (m)	結果	④	0.320	0.170 (地盤)	漏えいしない	⑤	0.320	0.170 (地盤)	漏えいしない	⑥	0.320	0.170 (地盤)	漏えいしない			<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> プラント構成及び機器配置の相違</p>
	床高さ (m)	溢水水位 (m)	結果																
④	0.320	0.170 (地盤)	漏えいしない																
⑤	0.320	0.170 (地盤)	漏えいしない																
⑥	0.320	0.170 (地盤)	漏えいしない																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料29）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4号伊原子伊原建屋 E.L.+3.5mの評価</p>  <p>（地盤に起因する溢水影響評価より）</p> <p>管理区域と 非管理区域との境界 境界線の番号 滞留エリア</p> <p>滞留エリアには管理区域との境界に線が無く、 非管理区域へ漏えいはいししない。</p> <p>↓</p> <p>建屋外に漏えいしないことを確認した。</p> <p>※図中の範囲は機密に基き事業ですので公開することはありません。</p> <p>3号伊及び4号伊副建屋 E.L.+7.0mの評価</p>  <p>（地盤に起因する溢水影響評価より）</p> <p>管理区域と 非管理区域との境界 境界線の番号 滞留エリア</p> <p>滞留エリアには管理区域との境界に線が無く、 非管理区域へ漏えいはいししない。</p> <p>↓</p> <p>建屋外に漏えいしないことを確認した。</p> <p>※図中の範囲は機密に基き事業ですので公開することはありません。</p>			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 総則</p> <p>原子力発電所における安全上重要な設備は、多重性、多様性を確保するとともに、適切な裕度をもって設計され、適切に維持管理されるなど損傷防止上の配慮がなされている。</p> <p>また、安全上重要な設備は、一般的に床から比較的高い位置に設置されていること、万一漏えいが発生した場合でも建屋最下層に設置されたサンプに集められ、ポンプにより排水するなど、溢水事象に対する配慮がなされた設計としている。</p> <p>本評価ガイドは、原子力発電所内で発生する溢水に対し、原子炉施設の安全性を損なうことのないことを評価するものである。</p> <p>ここで、考慮する溢水源は、原子炉格納容器内、及び原子炉格納容器外での溢水（施設内の配管、機器の破断、火災時の消火散水等）と建屋外での溢水（屋外タンク、貯水池）を対象とする。</p> <p>1.1. 一般</p> <p>原子力規制委員会が定める「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」第12条において、発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止として、設計基準対象施設が、発電用原子炉施設内における溢水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならないとしている。本評価ガイドは、当該規定に定める内部溢水防護に関連して、原子力発電所（以下、「発電所」という。）に設置される原子炉施設が、内部溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統の安全機能、並びに使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）の冷却、給水機能が喪失することのないよう、適切な防護措置が施されているか評価するため</p>	<p>参考</p> <p>大阪3号炉及び4号炉での評価結果</p> <p>1. 総則</p> <p>大阪3号炉及び4号炉については、溢水影響を考慮した設計を実施している。具体的には系統の独立した区画への分散配置、区画の入口堰、機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプへの集積及び排水が可能な設計としている。</p> <p>今回、本ガイドにしたがい、原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む）、火災時の消火水の放水、使用済燃料ピットのスロッシングにより発生する溢水により設計基準対象施設が安全性を損なうことのないよう、防護措置その他適切な措置が講じられていることを確認している。</p> <p>1.1 一般</p> <p>(1)重要度の特に高い安全機能を有する系統（原子炉の停止、高温停止及び低温停止（停止状態の維持含む。）に必要な系統設備原子炉の停止、高温停止及び低温停止に必要な系統設備として、以下の系統設備を抽出した。</p> <p>①原子炉停止：原子炉停止系</p> <p>②ほう酸添加：原子炉停止系（化学体積制御系のほう酸注入機能等）</p> <p>③崩壊熱除去：補助給水系、主蒸気系、余熱除去系</p> <p>④1次系減圧：1次冷却系の減圧機能</p> <p>⑤上記系統の関連系：原子炉補機冷却系、制御用空気系、換気空調系、非常用電源系、冷水系、電気盤</p> <p>⑥その他</p>	<p>添付資料34</p> <p>女川原子力発電所2号炉での評価結果</p> <p>1. 総則</p> <p>女川2号炉は溢水影響を考慮した設計を実施しており、安全上重要な機器については、区画化による分散配置や堰の設置、基礎高さへの考慮等を実施するとともに、建屋最下層に設置されたサンプに溢水を集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>今回、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「ガイド」という。）に従い、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の想定破損、火災時の消火水の放水、地震による機器の破損（使用済燃料プールのスロッシング含む）により発生する溢水により設計基準対象施設が安全性を損なうことのないよう防護措置その他適切な措置が講じられていることを確認した。</p> <p>1. 1 一般</p> <p>溢水の影響評価に当たっては、発電所内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を損なわないことを確認することとしており、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「設置許可基準規則」という。）では「安全機能を損なわないもの」とは、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料プールにおいてはプール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」とされていることから、以下の設備を溢水</p>	<p>添付資料30</p> <p>泊発電所3号炉での評価結果</p> <p>1. 総則</p> <p>泊発電所3号炉は溢水影響を考慮した設計を実施しており、安全上重要な機器については、区画化による分散配置や堰の設置、基礎高さへの考慮等を実施するとともに、建屋最下層に設置されたサンプに溢水を集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>今回、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「ガイド」という。）に従い、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の想定破損、火災時の消火水の放水、地震による機器の破損（使用済燃料ピットのスロッシング含む）により発生する溢水により設計基準対象施設が安全性を損なうことのないよう防護措置その他適切な措置が講じられていることを確認した。</p> <p>1. 1 一般</p> <p>溢水の影響評価に当たっては、発電所内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を損なわないことを確認することとしており、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「設置許可基準規則」という。）では「安全機能を損なわないもの」とは、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」とされていることから、以下の設備を溢水</p>	<p>【資料構成について】</p> <p>本資料は溢水影響評価ガイドへの適合状況を確認するための資料であることから、ガイド記載事項との比較を行うため、左列にガイドの記載を貼り付け4連表の構成とした。</p> <p>【女川・大阪】 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>の手順の一例を示すものである。また、本評価ガイドは、内部溢水影響評価の妥当性を審査官が判断する際に、参考とするものである。</p> <p>本評価ガイドで対象とする溢水源は、発電所内に設置される機器の破損及び消火系統等の作用により発生するものとする。</p> <p>ここでいう「発電所内に設置される機器」とは、発電所内に設置される発電設備及びその関連設備のことをいい、この中には、建屋内に収納される原子炉・タービン及びその附属設備、並びに建屋外に設置される屋外タンク・海水ポンプ及びその周辺設備がある。</p> <p>また、妨害破壊行為等の想定できない意図的な活動による放水や漏水による溢水については評価の対象外とする。</p> <p>1. 2. 適用範囲 本評価ガイドは、実用発電用軽水型原子炉施設に適用する。</p> <p>1. 3. 関連法規 略</p> <p>1. 4. 用語の定義 略</p>	<p>原子炉外乱に対処するために必要な系統設備</p> <p>(2) 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統 使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を適切に維持するために必要な防護対象設備を抽出した。</p> <p>(3) 建屋外からの溢水 防護対象設備が設置されている建屋の外から建屋内への溢水影響として、防護対象設備が設置されている建屋に隣接する廃棄物処理建屋及びタービン建屋からの溢水並びに屋外タンク及び地下水からの溢水を抽出している。さらに、自然現象による屋外タンクからの溢水影響については、地震、竜巻、地滑り及び降水による溢水を抽出している。</p>	<p>の防護対象設備として選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する設備（発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（以下「重要度分類審査指針」という。）及び「設置許可基準規則」第十二条を参照し、該当する設備を抽出） ・使用済燃料プールの冷却及び給水機能を有する設備 なお、原子炉格納容器内に設置される重要度の特に高い安全機能を有する設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）を考慮した耐環境仕様としているため、防護対象設備から除外した。 <p>防護対象設備が設置されている建屋・エリアにおける溢水源としては、想定破損により生じる溢水、消火水の放水による溢水、地震起因の機器の破損により生じる溢水（使用済燃料プールのスロッシング含む）を対象とした。</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響として、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水、タービン建屋からの溢水、補助ボイラー建屋からの溢水、1号炉制御建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水を対象として抽出した。</p>	<p>の防護対象設備として選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要度の特に高い安全機能を有する設備（発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（以下「重要度分類審査指針」という。）及び「設置許可基準規則」第十二条を参照し、該当する設備を抽出） ・使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を有する設備。なお、原子炉格納容器内に設置される重要度の特に高い安全機能を有する設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）を考慮した耐環境仕様としているため、防護対象設備から除外した。 <p>防護対象設備が設置されている建屋・エリアにおける溢水源としては、想定破損により生じる溢水、消火水の放水による溢水、地震起因の機器の破損により生じる溢水（使用済燃料ピットのスロッシング含む）を対象とした。</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響として、出入管理建屋からの溢水、電気建屋からの溢水、タービン建屋からの溢水及び屋外タンクからの溢水を対象として抽出した。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川・大阪】 設計方針の相違 考慮すべき設備（建屋）はプラントごとに異なる</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 原子炉施設の溢水評価</p> <p>2.1. 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定する。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>ここで、上記（1）、（2）の溢水源の想定にあたっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定する。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定する。</p> <p>ユニット間で共用する建屋及び一体構造の建屋に設置される機器にあっては、共用、非共用機器に係わらずその建屋内で単一の溢水源を想定し、建屋全体の溢水経路を考慮する。</p> <p>なお、上記（3）の地震に起因する溢水量の想定において、基準津波によって、取水路、排水路等の経路から安全機能を有する設備周辺への浸水が生じる場合、又は地震時の排水ポンプの停止によって原子炉施設内への地下水の浸入が生じる場合には、その浸水量を加味すること。</p>	<p>2. 原子炉施設の溢水評価</p> <p>2.1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、ガイドにしたがい、(1)～(3)の発生要因別に分類した溢水を想定している。</p> <p>(1)、(2)の溢水源の想定については、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定している。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定している。</p> <p>ユニット間で共用する建屋についても建屋内で単一の溢水源を想定し、建屋全体の溢水経路を考慮している。</p> <p>(3)の地震に起因する溢水量の想定においては、耐震B、Cクラスのうち基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されない機器や配管からの溢水を評価し、防護対象設備の機能が喪失しないことを確認する。</p> <p>なお、津波については、基準津波による津波高さにより海水ポンプを設置している海水ポンプエリアへ津波の浸入がないことを確認している。</p>	<p>2. 原子炉施設の溢水評価</p> <p>2. 1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、ガイドに従い（1）～（3）の溢水を想定して評価を実施した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(1)の溢水源の想定については、一系統における単一の機器の破損とし、(2)の溢水源の想定については、単一箇所での放水を想定し、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。</p> <p>(3)の地震に起因する溢水量の想定においては、耐震B、Cクラスのうち基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性が確保されない配管や容器からの溢水を評価し、防護対象設備の機能が喪失しないことを確認した。</p> <p>なお、津波については、基準津波による津波高さが防潮堤前面で0.P.+2.9m[*]であるが、防潮堤の天端高さが0.P.+29m[*]であること、また、取水・放水路等からの津波の流入に対して、防潮壁等を設置することから、海水ポンプを設置しているエリアへ津波の流入がないことを確認した。</p> <p>※ 0.P.（女川原子力発電所工事用基準面）＝T.P.（東京湾平均海面）-0.74mなお、津波防護設計においては、2011年東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、一様に約1mの沈降が発生したことを考慮した値を用いることとしている。</p>	<p>2. 原子炉施設の溢水評価</p> <p>2. 1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、ガイドに従い（1）～（3）の溢水を想定して評価を実施した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(1)の溢水源の想定については、一系統における単一の機器の破損とし、(2)の溢水源の想定については、単一箇所での放水を想定し、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。</p> <p>また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。</p> <p>(3)の地震に起因する溢水量の想定においては、耐震B、Cクラスのうち基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されない配管や容器からの溢水を評価し、防護対象設備の機能が喪失しないことを確認した。</p> <p>なお、津波については、基準津波による津波高さが防潮堤前面でT.P. [] mであるが、防潮堤の天端高さがT.P. [] mであること、また、取水・放水路等からの津波の流入に対して、防水壁等を設置することから、海水ポンプを設置しているエリアへ津波の流入がないことを確認した。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ガイドの記載に倣い、当該記載を記載している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 泊にはユニット間で共用する建屋が無いことから、共用建屋の溢水経路については記載していない。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違 記載方針の相違 女川が記載している0.P.に対する注記については、泊ではT.P.（東京湾平均海面）を用いていることから、注釈を記載しない</p>

追而【地震津波側審査の反映】
 (破線部分は、基準津波確定に反映する)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 1. 1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水破損を想定する機器は、配管（容器の一部であって、配管形状のものを含む。）とする。配管の破損は、内包する流体のエネルギーに応じて①高エネルギー配管及び②低エネルギー配管の2種類に分類し、破損を想定する。分類にあたっては、付録Aによること。（解説－2. 1. 1－1）</p> <p>破損を想定する位置は、安全機能への影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとする。ただし、配管の高さや引き回し等の関係から保有水量の流出範囲が明確に示せる場合は、その範囲の保有水量を放出するものとして溢水量を算出できる。（流体を内包する配管の破損による溢水の詳細評価については附属書Aを参照のこと。）</p> <p>溢水量は、以下を考慮して破損を想定する系統が漏えいするものとして求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高エネルギー配管については、完全全周破断 ・低エネルギー配管については、配管内径の1/2の長さと同径の配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック（以下、「貫通クラック」という。）（解説－2. 1. 1－2） <p>なお、循環水管の破損は、過去の事例等を考慮して伸縮継手部に設定すること。（解説－2. 1. 1－3）</p>	<p>また、タービン建屋への津波の流入を考量しても防護対象設備が設置されている建屋へ溢水が流入しないことを確認している。</p> <p>地下水の浸入に対しても、耐震性を有する湧水サンブポンプによる排水が可能であることを確認している。</p> <p>2.1.1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>破損を想定する機器は、配管とし、配管の破損は内包する流体のエネルギーに応じて高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類して破損を想定している。</p> <p>高エネルギー配管のターミナルエンド部については、完全全周破断を想定した溢水影響評価を実施する。環境への影響が大きいと考えられる蒸気漏えいに関して以下の対策を実施することとしており、また、必要に応じて各対策を組み合わせて対策の最適化を図ったうえで、蒸気の影響評価を実施する。</p> <p>(1) 蒸気漏えい自動検知、遠隔隔離（自動又は手動）</p> <p>(2) 防護カバーの設置</p> <p>ターミナルエンド部以外については、ガイドにしたがい応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施する。</p> <p>低エネルギー配管については、網羅的に発生応力評価を行い配管の健全性を確認する。</p> <p>防護対象設備は漏えい蒸気による環境影響評価を実施し、機能を喪失しないことを確認している。</p>	<p>地下水の浸入については、地下水流入を防止するよう設計において考慮しており、また、建屋外壁の評価より、原子炉施設内へ地下水が流入しないことを確認した。</p> <p>2. 1. 1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>破損を想定する機器はガイド付録Aに従い、高エネルギー配管及び低エネルギー配管の2種類に分類し破損を想定した。また破損を想定する位置は、安全機能への影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとした。</p> <p>高エネルギー配管の破損形状については、完全全周破断、低エネルギー配管の破損形状については、貫通クラックを想定した。</p>	<p>また、タービン建屋への津波の流入を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ溢水が流入しないことを確認している。</p> <p>地下水の浸入については、地下水流入を防止するよう設計において考慮しており、また、建屋外壁の評価より、原子炉施設内へ地下水が流入しないことを確認した。</p> <p>2. 1. 1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>破損を想定する機器はガイド付録Aに従い、高エネルギー配管及び低エネルギー配管の2種類に分類し破損を想定した。また、破損を想定する位置は、安全機能への影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとした。</p> <p>高エネルギー配管の破損形状については、完全全周破断、低エネルギー配管の破損形状については、貫通クラックを想定した。</p> <p>一部の高エネルギー配管（補助蒸気系統配管）については、ガイドに従い応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施する。</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊はタービン建屋への津波流入を考慮した評価を実施していることを記載している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 対象とする設備の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では一部の高エネルギー配管に対して応力評価を実施することで、破損形状の想定を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定している。（大飯のターミナルエンド部以外の記載を参照）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ただし、漏えいを検出する機能が設置され、自動又は手動操作によって、漏えいを停止させることができる場合は、この機能を考慮することができる。</p> <p>また、漏えい停止機能を期待する場合は、停止までの適切な時間を考慮して溢水量を求めることができる。（付録B参照）</p> <p>漏えい停止を運転員等の手動操作に期待する場合にあたっては、保安規定又はその下位規定にその手順が明確にされていること。</p> <p>解説－2. 1. 1－1 流体を内包する容器の破損による漏水について</p> <p>容器の破損による溢水については、接続される配管の破損による溢水の評価に代表する。</p> <p>解説－2. 1. 1－2 低エネルギー配管に想定する貫通クラック</p> <p>本評価ガイドでは、低エネルギー配管について貫通クラックを想定することを原則としている。これは、低エネルギー配管については、配管に破損が生じたとしても、低温低圧で使用されるため配管応力は小さく、また、負荷変動の少ない運転形態のため応力の変動も少なく疲労によるき裂の進展は小さいことから、(1/2)D×(1/2)tクラ</p>	<p>低エネルギー配管に分類される循環水管の破損は、循環水系の弁が急閉止しないように設計上考慮されていることから、伸縮継手部の破損形状は低エネルギー配管と同様貫通クラックとするが、評価は全円周状破損を想定する地震による溢水影響評価により確認する。</p> <p>低エネルギー配管に分類される循環水管の破損は伸縮継手部の貫通クラックを考慮した。</p> <p>循環水管の破損評価は全円周状破損を想定する地震による溢水評価が支配的となることから、地震起因による溢水評価で代表した。</p> <p>なお、高エネルギー配管の一部（原子炉建屋原子炉棟内及び制御建屋内の加熱蒸気及び復水戻り系配管）及び低エネルギー配管の一部（原子炉建屋原子炉棟内の換気空調補機常用冷却水系配管、残留熱除去系配管、低圧炉心スプレイ系配管、高圧炉心スプレイ系配管、原子炉隔離時冷却系配管）に附属書Aの想定破損除外を適用した。</p> <p>また、溢水量は、溢水の検知による隔離（自動隔離及び手動隔離）を考慮し、漏えい停止までの時間を考慮して算定した。</p> <p>なお、運転員の手動操作による漏えい停止（溢水発生箇所の隔離）については、保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領書（仮称）」に、運転員の隔離操作について明記する。</p>	<p>低エネルギー配管に分類される循環水管の破損は伸縮継手部の貫通クラックを考慮した。</p> <p>なお、高エネルギー配管の一部（蒸気発生器ブローダウン系統（主蒸気管室外）配管及び主蒸気系統（主蒸気管室外）配管）及び低エネルギー配管の一部（防護対象設備が設置される原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋（海水ポンプ室及び海水ストレーナ室に設置される低エネルギー配管）に附属書Aの想定破損除外を適用した。</p> <p>また、溢水量は、溢水の検知による隔離（自動隔離及び手動隔離）を考慮し、漏えい停止までの時間を考慮して算定した。</p> <p>なお、運転員の手動操作による漏えい停止（溢水発生箇所の隔離）については、保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領（仮称）」に、運転員の隔離操作について明記する。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊では循環水ポンプ建屋内の循環水管は耐震性を確保していることから、地震による溢水評価では溢水源にはならない。</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 附属書Aの想定破損除外を適用する設備はプラントごとに異なる。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ックを想定すれば保守的な評価となるという考え方に基づいている。この考え方は、米国NRCのBTP 3-4を参考としている。</p> <p>また、低エネルギー配管に想定する貫通クラックの計算に用いる配管径は、内径としている。</p> <p>これは、技術基準第40条（廃棄物貯蔵設備等）の解釈4において廃棄物貯蔵設備に設置する堰の高さを求める計算において内径寸法を基準としていること、また、米国の配管破損の想定においても内径を使用して貫通クラックの計算を行っていることから、これらとの整合を図ったものである。</p> <p>解説－2. 1. 1－3 「過去の事例等」</p> <p>米国においては、循環水系の弁急閉によるウォーターハンマー事象により伸縮継手部から大漏えいが発生した事例があるが、国内において大漏えいは発生していない。</p> <p>このため、循環水管の伸縮継手部の破損想定にあたっては、循環水系パタフライ弁急閉防止対策等の適切な対策が採られていれば、破損形状は低エネルギー配管と同様貫通クラックを想定することができる。</p> <p>2. 1. 2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される設備からの放水による溢水</p> <p>（1）火災時に考慮する消火水系からの放水による溢水</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p> <p>溢水防護区画に自動作動するスプリンクラーが設置される場合は、その作動（誤作動を含む）による放水を想定する。</p> <p>また、溢水防護区画にスプリンクラーが設置されていない場合であっても、溢水防護区画外のスプリンクラーの作動によって、溢水防護区画に消火水が流入する可能性がある場合は、そ</p>	<p>2.1.2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置されている設備からの放水による溢水</p> <p>(1)火災時に考慮する消火水系からの放水による溢水</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p> <p>防護対象設備に設置されている建屋に自動起動及び手動起動するスプリンクラーを設置していることから、その起動による放水を想定して評価する。</p> <p>また、溢水防護区画外のスプリンクラーが起動し、溢水防護区画に消火水が流入する可能性も考慮しても、防護対象設備の機能に影響を与えるものでないことを確認する。溢水量は、火</p>	<p>2. 1. 2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される設備からの放水による溢水</p> <p>（1）火災時に考慮する消火水系からの放水による溢水</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p> <p>女川2号炉においては、防護対象設備が設置されている建屋に自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、これによる放水は想定していない。</p>	<p>2. 1. 2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置されている設備からの放水による溢水</p> <p>（1）火災時に考慮する消火水系からの放水による溢水</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p> <p>泊発電所3号炉においては、防護対象設備が設置されている建屋に自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、これによる放水は想定していない。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 大阪にはスプリンクラーが設置されているのに対し、泊及び女川には自動作動するスプリンクラーは設置されていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大坂発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>の作動による溢水を考慮する。溢水量は、スプリンクラーの作動時間を考慮して算出する。</p> <p>なお、スプリンクラーの作動による溢水は、複数区画での同時放水が想定される場合には、そのすべての区画での放水を想定する。</p> <p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>溢水防護区画での火災発生時に、消火栓による消火活動が想定される場合については、消火活動にともなう放水を想定する。</p> <p>また、溢水防護区画で消火活動が想定されていない場合であっても、溢水防護区画外の消火活動によって影響を受ける場合は、その放水による溢水を考慮する。</p> <p>溢水量は、消火栓による消火活動が連続して実施されることを見込み算定する。（解説－2. 1. 2－1）</p> <p>ただし、火災源が小さい場合は、火災荷重に基づく等価時間により算定することができる。（解説－2. 1. 2－1）</p> <p>なお、当該区画にスプリンクラーが設置され、スプリンクラー装置の作動による溢水があ</p>	<p>災防護において設計上考慮する放水流量、放水時間及びスプリンクラー設置個数を考慮して算出している。</p> <p>なお、以下の設計により、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水は想定しない。</p> <p>○地震時に火災源になるおそれがあるB、Cクラス機器（油内包機器及び電気盤）について、火災の発生防止対策を講じる設計としている。具体的には、油内包機器について、基準地震動Ssによる地震力に対して、当該機器が損壊し内包している油が外部へ漏えいしないことを確認し、その結果、損壊する機器に対しては、損壊しないような改良、もしくはガス式消火装置を設置する設計としている。電気盤については、火災の発生に備えて、ハロンガス消火装置、もしくは盤内にエアロゾル消火装置を設置し、早期に自動消火できる設計としている。</p> <p>○高エネルギー配管破損時の誤動作を防止するため、スプリンクラーヘッドの開放温度は、高エネルギー配管破損時の室内温度の評価値を上回る設計としている。</p> <p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>建屋内での消火栓による消火活動を想定し、消火活動が連続して実施される時間を見込んで溢水量を算出している。</p> <p>具体的には原則として3時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さいエリアについては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を考慮し算出している。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>火災発生時に消火栓による消火活動が想定される区画における放水を想定し、放水箇所を起点とした溢水の伝播についても考慮した評価を実施した。</p> <p>溢水量は、建屋内での消火栓による消火活動を想定し、消火活動が連続して実施される時間(3時間)を見込んで算定した。</p> <p>なお、放水量は、実放水試験の結果に保守性を加味して放水量を設定した。</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>火災発生時に消火栓による消火活動が想定される区画における放水を想定し、放水箇所を起点とした溢水の伝播についても考慮した評価を実施した。</p> <p>溢水量は、建屋内での消火栓による消火活動を想定し、消火活動が連続して実施される時間を見込んで算定した。</p> <p>具体的には原則として3時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さいエリアについては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を考慮し算出した。</p> <p>なお、放水量は、実放水試験の結果に保守性を加味して放水量を設定した。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 女川は消火栓からの放水量は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊はガイドの規定に則り、火災源が小さいエリアについては火災荷重及び「等価時間」を考慮して放水量を算出している。（大坂と同様）</p> <p>【大坂】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>る場合は、スプリンクラーからの放水量を溢水量とする。それ以外の場所においては、消火栓からの放水量を溢水量とする。</p> <p>解説－2. 1. 2-1 「消火栓からの溢水量」算出の例</p> <p>消火栓からの溢水量の算出にあたっては、原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）の解説－4-9「耐火壁」には2時間の耐火性能と記載されているが、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護規定に係る審査基準」に規定する3時間の耐火性能を基本とすることとし、消火装置が作動する時間を保守的に3時間と想定して溢水量を算定する。火災源が小さい場合は、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説－4-9(1)の規定による「火災荷重」及び「等価時間」で算出することができる。また、水を使用しない消火手段を組み合わせている場合には、それを考慮して消火栓からの溢水量を算定して良い。</p> <p>(2) 高エネルギー配管破損とスプリンクラーからの放水が同時に発生する溢水</p> <p>溢水防護区画に自動作動するスプリンクラーと高エネルギー配管が存在する場合については、火災を検知して作動するスプリンクラーからの放水と高エネルギー配管破損による溢水を合わせて想定する。なお、火災の検知システム及びスプリンクラーの作動方式から、高エネルギー配管の破損によってもスプリンクラーが作動しないことの根拠と妥当性が示される場合は、高エネルギー配管破損とスプリンクラーからの放水による溢水を合わせて想定しないとしても良い。</p> <p>スプリンクラーの作動による溢水量は、項目(1)に従い算出する。また、高エネルギー配管からの溢水量は、項目2. 1. 1に従い算出する。</p>	<p>なお、消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮して評価している。</p> <p>(2)高エネルギー配管破損とスプリンクラーからの放水が同時に発生する溢水</p> <p>溢水防護区画に自動起動するスプリンクラーと高エネルギー配管が存在するが、高エネルギー配管破断時の環境温度よりも高い作動温度のスプリンクラーヘッドを適用することで高エネルギー配管の破損によってもスプリンクラーが誤って動作しないため、高エネルギー配管破断とスプリンクラーからの放水による溢水を合わせて想定していない。</p>	<p>(2) 高エネルギー配管破損とスプリンクラーからの放水が同時に発生する溢水</p> <p>女川2号炉においては、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていないことから、高エネルギー配管の破損による溢水とスプリンクラーからの放水の同時発生は想定していない。</p>	<p>また、消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮して評価した。</p> <p>(2) 高エネルギー配管破損とスプリンクラーからの放水が同時に発生する溢水</p> <p>泊発電所3号炉においては、防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていないことから、高エネルギー配管の破損による溢水とスプリンクラーからの放水の同時発生は想定していない。</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 大飯審査実績の反映</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 大飯にはスプリンクラーが設置されているのに対し、泊及び女川には自動作動するスプリンクラーは設置されていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器スプレシステムからの放水による溢水</p> <p>原子炉格納容器スプレシステムが機器の動作等（誤動作も含む）により放出されるスプレ水を想定する。</p> <p>溢水量は、全ての原子炉格納容器スプレポンプが作動し定格のスプレ流量が放出され、運転員がポンプ停止操作を完了するまでの時間に放出される量とする。</p> <p>ただし、誤動作に対しては、原子炉格納容器スプレシステムにおいて誤動作が発生しないようにインターロック等の対策が講じられていれば、スプレ水による溢水を考慮しないことができる。</p> <p>2. 1. 3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>流体を内包する機器（配管、容器）のうち、基準地震動による地震力によって、破損が生じるとされる機器について、破損を想定する。</p> <p>基準地震動によって破損し漏水が生じる機器とは、基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイドにおいて、耐震設計上の重要度分類B、Cクラスに分類される機器（以下、「B、Cクラス機器」という。）とする。</p> <p>ただし、B、Cクラス機器であっても、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものについては、漏水を考慮しないことができる。（解説－2. 1. 3－1）</p> <p>漏水が生じるとした機器のうち、防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとする。</p>	<p>(3) 原子炉格納容器スプレシステムからの放水による溢水</p> <p>格納容器スプレ系は単一故障による誤動作が発生しないよう設計上考慮されている。また、原子炉格納容器内の防護対象設備は耐環境性仕様となっていることから、溢水による影響を受けることはない。</p> <p>具体的には原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御盤上のスイッチ2個を同時に操作することによる手動作動とする設計とする。</p> <p>2.1.3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損が生じないことから溢水源として想定しない。</p> <p>また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動S_sによる地震力に対して耐震強度評価により耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）、又は耐震対策工事により耐震性を確保するものは溢水源としない。</p> <p>耐震B、Cクラスの機器が、耐震性を確保する耐震B、Cクラスの機器に対して、波及的影響を及ぼさないことを確認する方針とする。</p>	<p>(3) 原子炉格納容器スプレシステムからの放水による溢水</p> <p>原子炉格納容器スプレ系は手動起動のため、自動起動信号による誤動作は想定不要である。</p> <p>また、原子炉格納容器に設置されている重要度の特に高い安全機能を有する機器は、格納容器スプレ系の作動が要求される事故時の環境を考慮した設計がなされていることから、原子炉格納容器スプレシステムからの放水による溢水の影響はないため、これによる溢水は想定しない。</p> <p>2. 1. 3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損が生じないことから、溢水源として想定しない。</p> <p>また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動S_sによる地震力に対して構造強度評価により耐震性が確保されるもの、又は耐震対策工事により耐震性を確保するものは溢水源としない。</p> <p>基準地震動S_sによって破損し漏水が生じるとした機器については、防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとした。</p>	<p>(3) 原子炉格納容器スプレシステムからの放水による溢水</p> <p>原子炉格納容器スプレシステムは単一故障による誤動作が発生しないよう設計上考慮されているため、誤動作は想定不要である。具体的には原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御盤上のスイッチ2個を同時に操作することによる手動作動とする設計としている。</p> <p>また、原子炉格納容器に設置されている重要度の特に高い安全機能を有する機器は、原子炉格納容器スプレシステムの作動が要求される事故時の環境を考慮した設計がなされていることから、原子炉格納容器スプレシステムからの放水による溢水の影響はないため、これによる溢水は想定しない。</p> <p>2. 1. 3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損が生じないことから、溢水源として想定しない。</p> <p>また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動による地震力に対して構造強度評価により耐震性が確保されるもの、又は耐震対策工事により耐震性を確保するものは溢水源としない。</p> <p>基準地震動によって破損し漏水が生じるとした機器については、防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとした。</p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>原子炉格納容器スプレシステムについて、女川は手動起動であるのに対し、泊は原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御盤上のスイッチ2個を同時に操作することによる手動作動とする設計としている。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料30）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>溢水量は、以下を考慮して求める。</p> <p>①配管の場合は、完全全周破断とし、系統の全保有水量が漏えいするものとする。なお、配管の高さや引き回し等の関係から保有水量の流出範囲が明確に示せる場合は、その範囲の保有水量を放出するものとして溢水量を算出できる。ただし、循環水管に破損を想定する場合は、循環水管の構造強度を考慮して、伸縮継手部が全円周状に破損するとして溢水量を求めることができる。</p> <p>②容器の場合は、容器内保有水の全量流出を想定する。</p> <p>③漏えいを検出する機能が設置され、自動又は手動操作によって、漏えいを停止させることができる場合は、この機能を考慮することができる。</p> <p>漏えい停止機能に期待する場合は、停止までの適切な時間を考慮して溢水量を求めることができる（付録B参照）。ただし、地震時において漏えいを自動で停止させる場合には、自動で作動する機器、信号などが地震時においても機能喪失しないことが示されていない。</p> <p>また、手動で停止させる場合には、停止までの操作時間が地震時においても妥当であることが示されていない。</p> <p>漏えい停止を運転員等の手動操作に期待する場合に当たっては、保安規定又はその下部規定にその手順が明確にされていない。</p> <p>解説-2. 1. 3-1 「B, Cクラス機器であっても、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるもの」について</p> <p>基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるものとは、製作上の裕度等を考慮することにより、基準地震動による地震力に対して耐震性を有すると評価できるものをいう。</p>	<p>溢水量は、以下を考慮して求める。</p> <p>①配管の場合は、原則、配管の高さ、引き回し等を考慮せず、完全全周破断とし、系統の全保有水量が漏えいするものとする。また、循環水管の破損を想定する場合は、耐震強度を考慮して伸縮継手部が全円周状に破損するとして溢水量を求める。</p> <p>②容器の場合は、容器内保有水の全量流出を想定する。</p> <p>③漏えいを検出する機能が設置され、手動操作によって、漏えいを停止させることができる循環水管、廃液蒸発装置等については、地震発生から停止までの操作時間を考慮して溢水量を評価する。また、運転操作手順については保安規定の下位規定にその手順を明確にする。</p>	<p>溢水量の算出に当たっては、以下を考慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管の場合は、完全全周破断とし、系統の全保有水量が漏えいするものとした。 ・循環水系配管については、伸縮継手部が全円周状に破損するものとした。 <p>・漏えい検知による自動隔離機能を有する場合を除き、隔離による漏えいの停止は期待しない。</p>	<p>溢水量の算出に当たっては、以下を考慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管の場合は、完全全周破断とし、系統の全保有水量が漏えいするものとした。 ・循環水系配管については、伸縮継手部が全円周状に破損するものとした。 <p>・容器の場合は、容器内保有水の全量が流出するものとした。</p> <p>・漏えいを検出する機能が設置され、手動操作によって、漏えいを停止させることができる機器については、地震発生から停止までの操作時間を考慮して溢水量を評価する。また、運転操作手順については保安規定の下位規定にその手順を明確にする。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違 泊は地震時の溢水源としている容器についても記載している。（大飯と同様）</p> <p>設計方針の相違 女川は地震起因による溢水の漏えい停止において、自動隔離機能にのみ期待しているのに対し、泊は手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定し、溢水量を算出している。（大飯と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 使用済燃料貯蔵プールのスロッシングによる溢水</p> <p>使用済燃料貯蔵プール水が基準地震動による地震力によって生じるスロッシングによってプール外へ漏水する可能性がある場合は、溢水源として想定する。</p> <p>2. 2 溢水影響評価</p> <p>2. 2. 1 安全設備に対する溢水影響評価</p> <p>溢水に対する原子炉施設の安全確保の考え方は、以下のとおりとする。</p> <p>溢水の影響評価にあたっては、発電所内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（多重性または多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認する。</p> <p>溢水により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その影響（溢水）を考慮し、安全評価指針に基づき安全解析を行う必要がある。</p> <p>また、中央制御室及び現場操作が必要な設備については、溢水の影響により接近の可能性が失われないことも評価対象とする。</p> <p>2. 2. 2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>2. 1項の溢水源及び溢水量の想定にあたっては発生要因別に分類したが、溢水から防護すべき対象設備は、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とする。</p>	<p>(2) 使用済燃料貯蔵プールのスロッシングによる溢水</p> <p>基準地震動による使用済燃料ピットのスロッシング評価を行い、使用済燃料ピットからの溢水量を評価している。なお、使用済燃料ピットの、初期水位をピット水位高警報設定値(H.W.L)として保守的となる条件で評価する。</p> <p>2.2 溢水影響評価</p> <p>2.2.1 安全設備に対する溢水影響評価</p> <p>溢水の影響評価にあたっては、算出した溢水量により重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認している。</p> <p>溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認している。</p> <p>2.2.2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備を抽出し防護対象設備とする。</p>	<p>(2) 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水</p> <p>基準地震動 S_s による使用済燃料プールのスロッシング評価を行い、使用済燃料プールからの溢水量を評価した。</p> <p>2. 2 溢水影響評価</p> <p>2. 2. 1 安全設備に対する溢水影響評価</p> <p>溢水の影響評価にあたっては、発電所内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（多重化又は多様化された系統が同時にその機能を失わないこと）を確認した。</p> <p>原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合は、当該事象への対処系統についても、その安全機能を失わないことを確認した。</p> <p>溢水評価において、中央制御室は溢水防護区画として溢水の影響がないことを確認しており、現場操作が必要な設備に対しては、環境の温度及び放射線量並びに薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>2. 2. 2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全機能を有する構築物、系統及び機器の中から、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するために必要となる、「重要度分類審査指針」における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上</p>	<p>(2) 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水</p> <p>基準地震動による使用済燃料ピットのスロッシング評価を行い、使用済燃料ピットからの溢水量を評価した。</p> <p>2. 2 溢水影響評価</p> <p>2. 2. 1 安全設備に対する溢水影響評価</p> <p>溢水の影響評価にあたっては、発電所内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認した。</p> <p>原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合は、当該事象への対処系統についても、その安全機能を失わないことを確認した。</p> <p>溢水評価において、中央制御室は溢水防護区画として溢水の影響がないことを確認しており、現場操作が必要な設備に対しては、環境の温度及び放射線量並びに薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>2. 2. 2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全機能を有する構築物、系統及び機器の中から、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するために必要となる、「重要度分類審査指針」における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上</p>	<p>【女川・大阪】 設備名称の相違 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.2.3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画は、2.2.2項に該当する溢水防護対象設備が設置されている全ての区画、中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定すること。</p> <p>全ての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、2.2.2項に該当する防護対象設備の系統図及び配置図とを照合しなければならない。また、アクセス通路については、図面等により図示されていることを確認する。</p> <p>なお、同じ部屋であっても、溢水による影響を考慮した堰等で区切られている場合には、区切られた区画を溢水防護区画として取り扱うことができる。</p> <p>2.2.4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、評価対象区画で想定される溢水事象に対し、その防護対象設備が没水、被水又は蒸気の影響を受けずその機能が確保されるか否かを評価する（図-1）。</p> <p>評価対象区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在する全ての溢水防護区画を対象とする。</p>	<p>2.2.3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する溢水防護区画を設定し、防護対象設備の系統図及び配置図の照合により、すべての防護対象設備が対象となっていることを確認している。</p> <p>また、溢水影響評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認している。</p> <p>2.2.4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、防護対象設備が没水、被水又は蒸気の影響に対しその機能が確保されていることを確認している。</p> <p>溢水防護区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在するすべての溢水防護区画を対象としている。</p>	<p>その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出した。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、「重要度分類審査指針」及び「設置許可基準規則」第十二条を参照の上、該当する系統を抽出し、その安全機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象として選定した。</p> <p>2.2.3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画は、2.2.2項に該当する溢水防護対象設備が設置されているすべての区画、中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定している。</p> <p>2.2.4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、評価対象設備が没水、被水又は蒸気の影響に対し、その機能が確保されていることを確認した。</p> <p>評価対象区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在するすべての防護対象区画を対象とした。</p>	<p>その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出した。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、「重要度分類審査指針」及び「設置許可基準規則」第十二条を参照の上、該当する系統を抽出し、その安全機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象として選定した。</p> <p>2.2.3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画は、2.2.2項に該当する溢水防護対象設備が設置されているすべての区画、中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定している。</p> <p>2.2.4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、防護対象設備が没水、被水又は蒸気の影響に対し、その機能が確保されていることを確認した。</p> <p>評価対象区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在するすべての溢水防護区画を対象とした。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>流水経路の設定にあたっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいでの2通りの溢水経路を想定する。</p> <p>a. 溢水防護区画内漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象機器の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定する。</p> <p>評価を行う場合の各構成要素の溢水に対する考え方を以下に示す。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>評価対象区画に床ドレン配管が設置され他の区画とつながっている場合であっても、目皿が1つの場合は、他の区画への流出は想定しないものとする。</p> <p>ただし、同一区画に目皿が複数ある場合は、流出量の最も大きい床ドレン配管1本からの流出は期待できないものとする。この場合には、床ドレン配管における単位時間あたりの流出量を算出し、溢水水位を評価すること。</p> <p>(b) 床面開口部及び床貫通部</p> <p>評価対象区画床面に床開口部又は貫通部が設置されている場合であっても、床面開口部又は床貫通部から他の区画への流出は、考慮しないものとする。ただし、以下に掲げる場合は、評価対象区画から他の区画への流出を期待することができる。</p> <p>流出を期待する場合は、床開口部及び床貫通部における単位時間あたりの流出量を算出し、溢水水位を評価すること。</p>	<p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいでの2通りの溢水経路を想定している。</p> <p>なお、廃棄物処理建屋から防護対象設備が設置されている建屋への流入経路については、水密扉等を設置していることから想定する必要はないことを確認している。</p> <p>a. 溢水防護区画内漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象機器の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定している。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>溢水防護区画に床ドレン配管が設置され他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定していない。</p> <p>(b) 床面開口部及び床貫通部</p> <p>溢水防護区画床面に床開口部又は床貫通部が設置されている場合であっても、床面開口部又は床貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は溢水防護区画から他の区画への流出を考慮する。</p>	<p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいでの2通りの溢水経路を想定した。</p> <p>なお、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、タービン建屋、補助ボイラー建屋及び1号炉制御建屋から防護対象設備が設置されている建屋への流入経路については、水密扉等を設置することから、想定する必要はないことを確認した。</p> <p>a. 溢水防護区画内漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象機器の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように、当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>評価対象区画に床ドレン配管が設置され、他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しないものとした。</p> <p>ただし、同一区画に目皿が複数ある場合は、一部、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮し、溢水水位を評価した。</p> <p>(b) 床面開口部及び床貫通部</p> <p>評価対象区画床面に床開口部又は、床貫通部が設置されている場合であっても、他の区画への流出は、定量的に流出が評価できる機器搬入用のハッチ等以外は考慮しないものとした。</p>	<p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいでの2通りの溢水経路を想定した。</p> <p>なお、出入管理建屋、電気建屋及びタービン建屋から防護対象設備が設置されている建屋への流入経路については、水密扉等を設置することから、想定する必要はないことを確認した。</p> <p>a. 溢水防護区画内漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象機器の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように、当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>評価対象区画に床ドレン配管が設置され、他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しないものとした。</p> <p>(b) 床面開口部及び床貫通部</p> <p>評価対象区画床面に床開口部又は床貫通部が設置されている場合であっても、床面開口部又は床貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は溢水防護区画から他の区画への流出を考慮した。</p>	<p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川・大飯】 設計方針の相違 考慮すべき建屋はプラントごとに異なる。</p> <p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 女川は、溢水評価において床ドレンラインに期待しているのに対し、泊は同一区画内に床ドレンラインが複数ある場合でも、評価の保守性を大きくとる観点から目皿による溢水の流出は考慮していない。（大飯と同様）</p> <p>記載方針の相違 女川は機器ハッチの他にも床ドレン等からの定量的な溢水流出を考慮しているのに対し、泊は床開口部以外には期待していない。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料30）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>①評価対象区画の床貫通部にあっては、貫通する配管、ダクト、ケーブルトレイ又は電線管と貫通部との間に隙間があって、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合</p> <p>②評価対象区画の床面開口部にあっては、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合</p> <p>(c) 壁貫通部 評価対象区画の境界壁に貫通部が設置され、隣との区画の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しないものとする。 ただし、当該壁貫通部を貫通する配管、ダクト、ケーブルトレイ又は電線管と貫通部との間に隙間があって、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は、他の区画への流出を考慮することができる。 流出を期待する場合は、壁貫通部における単位時間あたりの流出量を算出し、溢水水位を評価すること</p> <p>(d) 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しないものとする。</p> <p>(e) 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しないものとする。ただし、溢水防止対策として排水設備を設置することが設計上考慮されており、工事計画の認可を受ける等明らかに排水が期待できることを定量的に確認できる場合には、当該区画からの排水を考慮することができる。</p>	<p>(c) 壁貫通部 溢水防護区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>(d) 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>(e) 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p>	<p>(c) 壁貫通部 評価対象区画の境界壁に貫通部が設置され、貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しないものとした。</p> <p>(d) 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合であっても、他の区画への流出は、定量的に流出が評価できる常時開放扉等以外は考慮しないものとした。</p> <p>(e) 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しないものとした。</p>	<p>(c) 壁貫通部 評価対象区画の境界壁に貫通部が設置され、貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しないものとした。</p> <p>(d) 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>(e) 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しないものとした。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 女川は常時開放扉等、定量的に流出が評価できる扉は溢水評価で考慮しているが、泊は扉からの流出は期待していない。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料30）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象機器の存在する溢水防護区画の水位が最も高く（当該溢水区画に流出する水量は多く、排出する流量は少なくなるように設定）なるように溢水経路を設定する。</p> <p>評価を行う場合の各構成要素の溢水に対する考え方を以下に示す。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>評価対象区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合であって、他の区画の溢水水位が評価対象区画より高い場合は、水位差によって発生する流入量を考慮する。</p> <p>ただし、評価対象区画内に設置されている床ドレン配管に逆流防止弁が設置されている場合は、その効果を考慮することができる。</p> <p>(b) 天井面開口部及び貫通部</p> <p>評価対象区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとする。</p> <p>ただし、天井面開口部が鋼製又はコンクリート製の蓋で覆われたハッチに防水処理が施されている場合又は天井面貫通部に密封処理等の流出防止対策が施されている場合は、評価対象区画への流入は考慮しないことができる。</p> <p>なお、評価対象区画上部にある他の区画に蓄積された溢水が、当該区画に残留すると評価できる場合は、その残留水の流出は考慮しなくてもよい。</p> <p>(c) 壁貫通部</p> <p>評価対象区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮する。</p> <p>ただし、評価対象区画の境界壁に貫通部に密封処理等の流出防止対策が施されている場合</p>	<p>b. 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定している。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>溢水防護区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合は、水位差による流入量を考慮している。</p> <p>ただし、溢水防護区画内に設置されているドレン配管に逆止弁が設置されている場合は、その効果を考慮している。</p> <p>(b) 天井面開口部及び貫通部</p> <p>溢水防護区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとしている。</p> <p>ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策が施されている場合は、溢水防護区画への流入は考慮していない。</p> <p>(c) 壁貫通部</p> <p>溢水防護区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮している。</p>	<p>b. 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象機器の存在する溢水防護区画の水位が最も高く（当該溢水区画に流出する水量は多く、排出する流量は少なくなるように設定）なるように溢水経路を設定した。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>最下階の評価対象区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合であって、他の区画の溢水水位が評価対象区画より高い場合は、水位差によって発生する流入量を考慮した。</p> <p>ただし、評価対象区画内に設置されている床ドレン配管に逆流防止弁が設置されている場合は、その効果を考慮した。</p> <p>(b) 天井面開口部及び貫通部</p> <p>評価対象区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとした。</p> <p>ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策が施されている場合は、評価対象区画への流入は考慮していない。</p> <p>(c) 壁貫通部</p> <p>評価対象区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮した。</p> <p>ただし、評価対象区画の境界壁に貫通部に密封処理等の流出防止対策が施されている場合</p>	<p>b. 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路</p> <p>溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高く（当該溢水区画に流出する水量は多く、排出する流量は少なくなるように設定）なるように溢水経路を設定した。</p> <p>(a) 床ドレン</p> <p>評価対象区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合であって、他の区画の溢水水位が評価対象区画より高い場合は、水位差による流入量を考慮した。</p> <p>ただし、評価対象区画内に設置されている床ドレン配管に逆止弁が設置されている場合は、その効果を考慮した。</p> <p>(b) 天井面開口部及び貫通部</p> <p>評価対象区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとした。</p> <p>ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策が施されている場合は、評価対象区画への流入は考慮していない。</p> <p>(c) 壁貫通部</p> <p>評価対象区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮した。</p> <p>ただし、評価対象区画の境界壁に貫通部に密封処理等の流出防止対策が施されている場合</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は最下階に限らず同様の方針としていることから、最下階とは記載していない。（大飯と同様） 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料30）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>は、評価対象区画への流入は考慮しないことができる。</p> <p>(d) 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮する。当該扉が水密扉である場合は、流入を考慮しないことができる。ただし、水密扉は、溢水時に想定される水位により発生する水圧に対し水密性が確保でき、その水圧に耐えられる強度を有している場合に限る。</p> <p>(e) 堰 溢水が発生している区画に堰が設置されている場合であって、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとする。</p> <p>(f) 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しないものとする。ただし、溢水防止対策として排水設備を設置することが設計上考慮されており、工事計画の認可を受けている等明らかに排水が期待できることを定量的に確認できる場合には、当該区画からの排水を考慮することができる。</p> <p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算定 溢水防護区画の評価で没水、被水評価の対象区画の分類例を図-2に示す。また、溢水防護区画の評価で蒸気評価の対象区画の分類例を図-3に示す。各項目の算定方法を以下に示す。</p>	<p>(d) 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮している。 ただし、水密扉については、水圧による水密性の確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しており、流入を考慮していない。</p> <p>(e) 堰 溢水が発生している区画に堰が設置され、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとしている。</p> <p>(f) 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>c. 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p> <p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算定</p>	<p>は、評価対象区画への流入は考慮していない。</p> <p>(d) 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮した。 当該扉が水密扉である場合は、流入を考慮していない。 なお、水密扉は、溢水時に想定される水位により発生する水圧に対し水密性が確保でき、その水圧に耐えられる強度を有することを確認した。</p> <p>(e) 堰 溢水が発生している区画に堰が設置されている場合であって、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとした。</p> <p>(f) 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しないものとした。</p> <p>(g) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p> <p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算出</p>	<p>は、評価対象区画への流入は考慮していない。</p> <p>(d) 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮した。 当該扉が水密扉である場合は、流入を考慮していない。 なお、水密扉は、溢水時に想定される水位により発生する水圧に対し水密性が確保でき、その水圧に耐えられる強度を有することを確認した。</p> <p>(e) 堰 溢水が発生している区画に堰が設置されている場合であって、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとした。</p> <p>(f) 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しないものとした。</p> <p>(g) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p> <p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算定</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 泊は評価ガイドと同様の記載としている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>a. 没水評価に用いる水位の算出方法 影響評価に用いる水位の算出は、漏えい発生階とその経路上の評価対象区画の全てに対して行う。 水位：Hは、下式に基づいて算出する。 $H = Q / A$ ただし、各項目は以下とする。 Q：流入量(m³) 「2. 1 溢水源及び溢水量の想定」で想定した溢水量に基づき、「2. 2. 4 (1) 溢水経路の設定」の溢水経路の評価に基づき評価対象区画への流入量を算出する。 A：滞留面積 (m²) 評価対象区画内と溢水経路に存在する区画の総面積を滞留面積として評価する。 なお、滞留面積は、壁及び床の盛り上がり（コンクリート基礎等）範囲を除く有効面積を滞留面積とする。</p> <p>b. 被水評価に用いる飛散距離の算出方法 被水評価に用いる飛散距離の算出は、防護対象設備が存在する区画を対象に行う。 飛散距離：Xは次式を用いて算出する。（図-4） $X = \frac{\tan \phi + \sqrt{\tan^2 \phi + (2gH) / (V^2 \cos^2 \phi)}}{g / (V^2 \cos^2 \phi)}$ $V = \sqrt{2gP / \gamma}$ （トリチュリの定理） ただし、各項目は以下とする。 V＝噴出速度 (m/s) φ＝噴出角度（破損位置や天井への衝突等も考慮し、飛散距離Xが最大となるφを採用する） H＝破損位置の床上高さ (m) g＝重力加速度(m/s²) P＝管内圧力 (Pa) γ＝水の比重量(kg/m³) なお、上記の式は空気抵抗を考慮していない安全側の評価式であるため、必要に応じて空気抵抗を考慮することができる。この場合、考慮</p>	<p>a. 没水評価に用いる水位の算出方法 影響評価に用いる水位の算出は、漏えい発生階とその経路上の溢水防護区画のすべてに対して行っている。 水位：Hは、下式に基づいて算出する。 $H = Q / A$ Q：流入量(m³) A：滞留面積(m²) 滞留面積は、コンクリート基礎等の範囲を除く有効面積を滞留面積として評価している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大阪3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-別 1-105 より抜粋 滞留面積は、コンクリート基礎等の範囲を除く有効面積を滞留面積として評価する。</p> </div> <p>b. 被水評価に用いる飛散距離の算出方法 防護対象設備から溢水源となる配管が直視できる場合には、防護対象設備が多重性又は多様性を有し、各々が別区画に設置されていることを確認する。 被水に対して対策が必要な機器については、必要により保護カバー等による被水防護対策を実施する。</p>	<p>a. 没水評価に用いる水位の算出方法 影響評価に用いる水位の算出は、漏えい発生階とその経路上の評価対象区画のすべてに対して行った。 水位：Hは、下式に基づいて算出した。 $H = Q / A$ Q：流入量(m³) A：滞留面積(m²) 滞留面積Aは、以下の方針で算出した。 ①躯体図等を使用し対象区画の面積を算出した結果に、0.7倍した値を使用した。(0.7の係数には、床カーブ、機器基礎、床勾配、機器サポート類が含まれると仮定) ②復水器室等、機器の占有面積が明らかに大きいエリアについては、躯体図等により、詳細に評価した値を使用した。</p> <p>b. 被水評価に用いる飛散距離の算出方法 防護対象設備が設置されている評価対象区画内に溢水源となり得る配管が存在する場合は、その飛散距離によらず被水評価の対象とした。 被水に対して対策が必要な機器については、必要により保護カバー等による被水防護対策を実施する。</p>	<p>a. 没水評価に用いる水位の算出方法 影響評価に用いる水位の算出は、漏えい発生階とその経路上の評価対象区画のすべてに対して行った。 水位：Hは、下式に基づいて算出した。 $H = Q / A$ Q：流入量 (m³) A：滞留面積 (m²) 滞留面積Aは、以下の方針で算出した。 躯体図等を使用し対象区画の面積を算出した結果からコンクリート基礎や機器等の欠損面積を差し引くことにより算出した。</p> <p>b. 被水評価に用いる飛散距離の算出方法 防護対象設備が設置されている評価対象区画内に溢水源となりうる配管が存在する場合は、その飛散距離によらず被水評価の対象とした。 被水に対して対策が必要な機器については、必要により保護カバー等による被水防護対策を実施する。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・女川は躯体図等から滞留面積を算出しているのに対し、泊では、滞留面積は区画の全面積から常設機器等の欠損面積を差し引くことで算出している。(考え方は大阪と同じ)</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>した空気抵抗の値については、使用した値の妥当性を示すこと。</p> <p>c. 蒸気評価に用いる拡散範囲の算出方法 蒸気評価に用いる拡散範囲は、適切な評価方法を用いて妥当な評価範囲を設定する。 評価手法を用いて拡散範囲の算出を行わない場合は、保守側に連通した複数の区画全体に蒸気が拡散するものとする。 ただし、評価方法として、汎用3次元流体ソフトウェア等を用いて拡散範囲を算出する場合には、使用した解析コードの蒸気拡散計算への適用性と評価条件を示すこと。</p> <p>(3) 影響評価 原子力発電所内で発生する溢水に対して、防護すべき対象機器が、以下に示す没水、被水及び蒸気の要求を満足しているか確認する。</p> <p>a. 没水による影響評価 想定される溢水源に基づいて評価した評価対象区画における最高水位が、2.2.2項で選定された防護対象設備の設置位置を超えないことを確認する。</p> <p>また、中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路にあつては、歩行に影響のない水位（階段堰高さ）であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量を考慮しても接近の可能性が失われないことを確認する。 上記、設置位置及びアクセス通路の水位が判断基準を超える場合又は環境の温度、放射線に</p>	<p>c. 蒸気評価に用いる拡散範囲の算出方法 高エネルギー配管のターミナルエンド部については、完全全周破断を想定した溢水影響評価を実施する。環境への影響が大きいと考えられる蒸気漏えいに関して以下の対策を実施することとしており、また、必要に応じて各対策を組み合わせて対策の最適化を図ったうえで、蒸気の拡散範囲を算出する。</p> <p>(1) 蒸気漏えい自動検知、遠隔隔離（自動又は手動） (2) 防護カバーの設置 ターミナルエンド部以外については、ガイドにしたがい応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施する。</p> <p>(3) 影響評価 原子力発電所内で発生する溢水に対して、防護すべき対象機器が没水、被水及び蒸気の要求を満足していることを確認している。</p> <p>a. 没水による影響評価 溢水源に基づいて評価した溢水防護区画における最高水位が、防護対象設備の設置位置(機能喪失高さ)を超えないことを確認している。</p> <p>また、溢水影響評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認している。</p>	<p>c. 蒸気評価に用いる拡散範囲の算出方法 蒸気評価の拡散範囲については、保守的に、連通した複数の区画全体に蒸気が拡散するものとした。</p> <p>(1) 蒸気漏えい自動検知、遠隔隔離（自動又は手動） ターミナルエンド部以外の一部配管（補助蒸気系統配管）については、ガイドに従い応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施した。</p> <p>(3) 影響評価 原子力発電所内で発生する溢水に対して、防護すべき対象機器が没水、被水及び蒸気の要求を満足していることを確認した。</p> <p>a. 没水による影響評価 溢水源に基づいて評価した評価対象区画における最高水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較することにより、当該設備の機能維持の可否を評価している。 なお、溢水防護対象設備自身を溢水源として想定する場合は、当該設備は機能喪失するものとした。 また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、環境の温度及び放射線量並びに薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p>	<p>c. 蒸気評価に用いる拡散範囲の算出方法 高エネルギー配管のターミナルエンド部については、完全全周破断を想定した溢水影響評価を実施する。環境への影響が大きいと考えられる蒸気漏えいに関しては、以下の対策を実施することとしており、対策の最適化を図ったうえで、蒸気の拡散範囲を算出した。</p> <p>(1) 蒸気漏えい自動検知、遠隔隔離（自動又は手動） ターミナルエンド部以外の一部配管（補助蒸気系統配管）については、ガイドに従い応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施した。</p> <p>(3) 影響評価 原子力発電所内で発生する溢水に対して、防護すべき対象機器が没水、被水及び蒸気の要求を満足していることを確認した。</p> <p>a. 没水による影響評価 溢水源に基づいて評価した評価対象区画における最高水位と防護対象設備の機能喪失高さを比較することにより、当該設備の機能維持の可否を評価している。 なお、溢水防護対象設備自身を溢水源として想定する場合は、当該設備は機能喪失するものとした。 また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、環境の温度及び放射線量並びに薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊では熱流体解析コード（GOTHICコード）を用いて実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 設計方針の相違 実施する対策の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>より現場操作が必要な設備へ接近できないと判断される場合は、防護対象設備の機能は期待できないものとする。</p> <p>b. 被水による影響評価</p> <p>評価対象区画に設置されている防護対象設備の被水による影響については、以下の項目について確認する。</p> <p>防護対象設備から溢水源となる配管が直視できる場合には、図-5に示す被水の影響評価の考え方に従い確認する。また、溢水源となる配管については、配管径に関係なく、被水による影響評価を実施する。（解説2. 2. 4-2）</p> <p>① 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認する。</p> <p>② 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないことを確認する。</p> <p>③ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていることを確認する。</p> <p>④ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認する。</p> <p>⑤ ①～④を満足しない場合は、防護対象設備が、防滴仕様であることを確認する。</p> <p>⑥ 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路にあっては、必要に応じて環境の温度、放射線量を考慮しても接近の可能性</p>	<p>b. 被水による影響評価</p> <p>溢水源となる配管に対して、防護対象設備が多重性又は多様性を有し、各々が別区画に設置されているか、被水防護措置がなされているか等の観点から対策が必要な設備を抽出し、必要により被水防護対策を実施する。</p> <p>b. 被水による影響評価</p> <p>防護対象設備が設置された評価対象区画内に溢水源となる配管が存在する場合は、ガイドに示す被水の影響評価の考え方に従い、防護対象設備が隔壁等で分離配置されているか、被水に対する保護構造を有したか、などの観点から確認した。また、溢水源となる配管については、配管径に関係なく、被水による影響評価を実施した。耐環境仕様でもなく、かつ、防護措置がとられていない機器は、被水防護措置（コーキング処理、カバー等）による水密性の向上対策等を実施する。</p> <p>①評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>②評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないことを確認した。</p> <p>③評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていることを確認した。</p> <p>④評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>⑤①～④を満足しない場合は、防護対象設備が、防滴仕様であることを確認した。</p> <p>⑥中央制御室については、運転員が常駐し運転操作が可能である。また、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放</p>	<p>b. 被水による影響評価</p> <p>防護対象設備が設置された評価対象区画内に溢水源となる配管が存在する場合は、ガイドに示す被水の影響評価の考え方に従い、防護対象設備が隔壁等で分離配置されているか、被水に対する保護構造を有したか等の観点から確認した。また、溢水源となる配管については、配管径に関係なく、被水による影響評価を実施した。耐環境仕様でもなく、かつ、防護措置がとられていない機器は、被水防護措置（コーキング処理、カバー等）による水密性の向上対策等を実施する。</p> <p>①評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>②評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないことを確認した。</p> <p>③評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていることを確認した。</p> <p>④評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>⑤①～④を満足しない場合は、防護対象設備が、防滴仕様であることを確認した。</p> <p>⑥中央制御室については、運転員が常駐し運転操作が可能である。また、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放</p>	<p>b. 被水による影響評価</p> <p>防護対象設備が設置された評価対象区画内に溢水源となる配管が存在する場合は、ガイドに示す被水の影響評価の考え方に従い、防護対象設備が隔壁等で分離配置されているか、被水に対する保護構造を有したか等の観点から確認した。また、溢水源となる配管については、配管径に関係なく、被水による影響評価を実施した。耐環境仕様でもなく、かつ、防護措置がとられていない機器は、被水防護措置（コーキング処理、カバー等）による水密性の向上対策等を実施する。</p> <p>①評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>②評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないことを確認した。</p> <p>③評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていることを確認した。</p> <p>④評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>⑤①～④を満足しない場合は、防護対象設備が、防滴仕様であることを確認した。</p> <p>⑥中央制御室については、運転員が常駐し運転操作が可能である。また、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>が失われなことを確認する。</p> <p>上記、①～⑥を満足しない場合には、防護対象設備の機能は期待できないものとする。</p> <p>①項の「被水防護措置」とは、障壁による分離、距離による分離及び防水板等による被水防護等をいい、被水防護措置がなされている場合の例を図-6に示す。</p> <p>解説-2. 2. 4-2「被水による影響評価」</p> <p>被水による影響評価の対象となる溢水源の考え方は、没水による影響評価における溢水源と同じである。</p> <p>「溢水源となる配管については、配管径に関係なく被水による影響評価を実施する。」としたのは、25A以下の配管においても、破断時の溢水量は、それを超える口径の配管破断時より少ないが、溢水の飛散による防護対象設備への影響を考慮する必要があるからである。</p> <p>c. 蒸気による影響評価</p> <p>評価対象区画に設置されている防護対象設備の蒸気による影響については、以下の項目について確認する。</p> <p>防護対象設備から溢水源となる同じ区画にある場合には、図-7に示す蒸気の影響評価の考え方に従い確認する。</p> <p>また、溢水源となる高エネルギー配管については、配管径に関係なく、蒸気による影響評価を実施する。(解説2. 2. 4-3)</p> <p>① 評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し蒸気防護措置がなされていることを確認する。</p> <p>② 評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないことを確認する。</p> <p>③ 評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されて</p> <p>おらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていることを</p>	<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>c. 蒸気による影響評価</p> <p>高エネルギー配管のターミナルエンド部については、完全全周破断を想定した溢水影響評価を実施する。環境への影響が大きいと考えられる蒸気漏えいに関して以下の対策を実施することとしており、また、必要に応じて各対策を組み合わせて対策の最適化を図ったうえで、蒸気の拡散範囲を算出する。</p> <p>(1) 蒸気漏えい自動検知、遠隔隔離（自動又は手動）</p> <p>(2) 防護カバーの設置</p> <p>ターミナルエンド部以外については、ガイドにしたがい応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施する。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>射線量並びに薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>c. 蒸気による影響評価</p> <p>評価対象区画に設置されている防護対象設備の蒸気による影響については、以下の項目について確認した。</p> <p>また、溢水源となる高エネルギー配管については、配管径に関係なく、蒸気による影響評価を実施した。</p> <p>①評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し蒸気防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>②評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないことを確認した。</p> <p>③評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていることを確認した。</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>射線量並びに薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>c. 蒸気による影響評価</p> <p>高エネルギー配管のターミナルエンド部については、完全全周破断を想定した溢水影響評価を実施する。環境への影響が大きいと考えられる蒸気漏えいに関して以下の対策を実施することとしており、対策の最適化を図ったうえで、蒸気の拡散範囲を算出した。</p> <p>(1) 蒸気漏えい自動検知、遠隔隔離（自動又は手動）</p> <p>ターミナルエンド部以外の一部配管（補助蒸気系統配管）については、ガイドに従い応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施した。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では熱流体解析コード（GOTHICコード）を用いて実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・実施する対策の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>確認する。</p> <p>④ 評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し蒸気防護措置がなされていることを確認する。</p> <p>⑤ ①～④を満足しない場合は、防護対象設備が、耐蒸気仕様（想定される温度等を考慮した仕様）であることを確認する。</p> <p>⑥ 中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路にあっては、必要に応じて環境の温度、放射線量を考慮しても接近の可能性が失われないことを確認する。</p> <p>上記、①～⑥を満足しない場合は、防護対象設備の機能は期待できないものとする。</p> <p>④の「蒸気防護措置」とは、気流による分離、ケーブル端子箱の密封処理による分離等による蒸気防護処置等をいう。</p> <p>解説－2. 2. 4－3「蒸気による影響評価」 蒸気による影響評価の対象となる溢水源の考え方は、没水による影響評価における溢水源と同じである。「溢水源となる高エネルギー配管については、配管径に関係なく、蒸気による影響評価を実施する。」としたのは、25A以下の配管においても、破断時の溢水量は、それを超える口径の配管破断時より少ないが、蒸気の拡散による防護対象設備への影響を考慮する必要があるからである。</p>		<p>④評価対象区画に蒸気を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し蒸気防護措置がなされていることを確認した。</p> <p>⑤①～④を満足しない場合は、防護対象設備が、耐蒸気仕様（想定される温度等を考慮した仕様）であることを確認した。</p> <p>⑥中央制御室については、運転員が常駐し運転操作が可能である。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) 溢水による影響評価の判定</p> <p>(3) の影響評価の結果から内部溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（信頼性要求に基づき独立性が確保され、多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）。</p> <p>内部溢水により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その影響（溢水）を考慮し、安全評価指針に基づき安全解析を行う必要がある。</p>	<p>(4) 溢水による影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、防護対象設備が、その安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認している。</p> <p>また、原子炉外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を収束できる必要に応じて対策を実施する。</p>	<p>(4) 溢水による影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、防護対象設備がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認した。また、溢水により発生する放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないことを確認した。</p> <p>内部溢水により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合を想定し、溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき安全解析を実施し、問題ないことを確認した。</p>	<p>(4) 溢水による影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、防護対象設備がその安全機能を失わないこと（多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）を確認した。また、溢水により発生する放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないことを確認した。</p> <p>内部溢水により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合を想定し、溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき安全解析を実施し、問題ないことを確認した。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
<p>3. 使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）の溢水評価</p> <p>3.1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、2.1項の原子炉施設の溢水源及び溢水量の想定と同じ溢水源と溢水量を想定する。</p>	<p>3. 使用済燃料ピットの溢水評価</p> <p>3.1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、2.1項の原子炉施設の溢水源及び溢水量の想定と同じ溢水源と溢水量を想定している。</p>	<p>3. 使用済燃料プールの溢水評価</p> <p>3.1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、2.1項の原子炉施設の溢水源及び溢水量の想定と同じ溢水源と溢水量を想定した。</p>	<p>3. 使用済燃料ピットの溢水評価</p> <p>3.1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源としては、2.1項の原子炉施設の溢水源及び溢水量の想定と同じ溢水源と溢水量を想定した。</p>	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違</p>
<p>3.1.1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>配管の破損は、2.1.1項の原子炉施設と同じように内包する流体のエネルギーに応じて①高エネルギー配管及び②低エネルギー配管の2種類に分類し、破損を想定する。</p> <p>・高エネルギー配管については、完全全周破断 ・低エネルギー配管については、配管内径の1/2の長さと同配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック（以下、「貫通クラック」という。）</p>	<p>3.1.1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>破損を想定する機器は、配管とし、配管の破損は内包する流体のエネルギーに応じて、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類して破損を想定している。</p> <p>高エネルギー配管のターミナルエンド部については、完全全周破断を想定した溢水影響評価を実施する。環境への影響が大きいと考えられる蒸気漏えいに関して以下の対策を実施することとしており、また、必要に応じて各対策を組み合わせて対策の最適化を図ったうえで、蒸気の影響評価を実施する。</p> <p>(1) 蒸気漏えい自動検知、遠隔隔離（自動又は手動） (2) 防護カバーの設置</p>	<p>3.1.1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>破損を想定する機器はガイド付録Aに従い、高エネルギー配管及び低エネルギー配管の2種類に分類し破損を想定した。高エネルギー配管の破損形状については、完全全周破断、低エネルギー配管の破損形状については、貫通クラックを想定した。</p>	<p>3.1.1 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>破損を想定する機器はガイド付録Aに従い、高エネルギー配管及び低エネルギー配管の2種類に分類し破損を想定した。高エネルギー配管の破損形状については、完全全周破断、低エネルギー配管の破損形状については、貫通クラックを想定した。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 泊では評価ガイドに従い、高エネルギー配管である補助蒸気系統の応力評価を実施し、応力評価の結果により破損形態を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 1. 2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置されている設備からの放水による溢水</p> <p>（1）火災時に考慮する消火水系統からの放水による溢水</p> <p>火災時に考慮する消火水系統からの放水による溢水は、2. 1. 2項の原子炉施設と同じように以下の2項目を想定する。</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p>	<p>ターミナルエンド部以外については、ガイドにしたがい応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施する。</p> <p>低エネルギー配管については、網羅的に発生応力評価を行い配管の健全性を確認する。</p> <p>防護対象設備は漏えい蒸気による環境影響評価を実施し、機能を喪失しないことを確認している。</p> <p>3.1.2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置されている設備からの放水による溢水</p> <p>（1）火災時に考慮する消火水系からの放水による溢水</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p> <p>防護対象設備に設置されている建屋に自動起動及び手動起動するスプリンクラーを設置していることから、その起動による放水を想定して評価する。</p> <p>また、溢水防護区画外のスプリンクラーが起動し、溢水防護区画に消火水が流入する可能性も考慮しても、防護対象設備の機能に影響を与えるものでないことを確認する。溢水量は、火災防護において設計上考慮する放水流量、放水時間及びスプリンクラー設置個数を考慮して算出している。</p> <p>なお、以下の設計により、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水は想定しない。</p> <p>○地震時に火災源になるおそれがあるB、Cクラス機器（油内包機器及び電気盤）について、火災の発生防止対策を講じる設計としている。具体的には、油内包機器について、基準地震動Ssによる地震力に対して、当該機器が損壊し</p>	<p>3. 1. 2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される設備からの放水による溢水</p> <p>（1）火災時に考慮する消火水系統からの放水による溢水</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p> <p>女川2号炉においては、防護対象設備が設置されている建屋に自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、これによる放水は想定していない。</p>	<p>一部の高エネルギー配管（補助蒸気系統配管）については、ガイドに従い応力評価を実施し、評価結果に基づき貫通クラックを想定する等の影響評価を実施する。</p> <p>3. 1. 2 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置されている設備からの放水による溢水</p> <p>（1）火災時に考慮する消火水系統からの放水による溢水</p> <p>a. 火災検知により自動作動するスプリンクラーからの放水</p> <p>泊発電所3号炉においては、防護対象設備が設置されている建屋に自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、これによる放水は想定していない。</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊では一部の高エネルギー配管に対して応力評価を実施することで、破損形状の想定を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定している。（大飯のターミナルエンド部以外の記載を参照）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 大飯にはスプリンクラーが設置されているのに対し、泊及び女川には自動作動するスプリンクラーは設置されていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>3. 1. 3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 (1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水 流体を内包する機器（配管、容器）のうち、基準地震動による地震力によって、破損が生じるとされる機器について、2. 1. 3 (1) 項の原子炉施設と同じように破損による溢水を想定する。</p>	<p>内包している油が外部へ漏えいしないことを確認し、その結果、損壊する機器に対しては、損壊しないような改良、もしくはガス式消火装置を設置する設計としている。電気盤については、火災の発生に備えて、ハロンガス消火装置、もしくは盤内にエアロゾル消火装置を設置し、早期に自動消火できる設計としている。 ○高エネルギー配管破損時の誤動作を防止するため、スプリンクラーヘッドの開放温度は、高エネルギー配管破損時の室内温度の評価値を上回る設計としている。</p> <p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>建屋内での消火栓による消火活動を想定し、消火活動が連続して実施される時間を見込んで溢水量を算出している。具体的には原則として3時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さいエリアについては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を考慮し算出している。なお、消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮して評価している。</p> <p>3. 1. 3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 (1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水 流体を内包する機器（配管、機器）のうち、基準地震動による地震力によって、破損が生じる機器について、2. 1. 3(1)項の原子炉施設と同様に、基準地震動に対する地震力に対して評価を実施し、耐震性が確保されているものは溢水源から除外する。</p>	<p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>火災発生時に消火栓による消火活動が想定される区画における放水を想定し、放水箇所を起点とした溢水の伝播についても考慮した評価を実施した。 溢水量は、建屋内での消火栓による消火活動を想定し、消火活動が連続して実施される時間(3時間)を見込んで算定した。</p> <p>3. 1. 3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 (1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水 耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損が生じないことから、溢水源として想定しない。 また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動S_sによる地震力に対して構造強度評価により耐震性が確保</p>	<p>b. 建屋内の消火活動のために設置される消火栓からの放水</p> <p>火災発生時に消火栓による消火活動が想定される区画における放水を想定し、放水箇所を起点とした溢水の伝播についても考慮した評価を実施した。 溢水量は、建屋内での消火栓による消火活動を想定し、消火活動が連続して実施される時間を見込んで算定した。 具体的には原則として3時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さいエリアについては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を考慮し算出した。</p> <p>3. 1. 3 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 (1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水 耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損が生じないことから、溢水源として想定しない。 また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動による地震力に対して構造強度評価により耐震性が確保さ</p>	<p>【大阪】 設計方針の相違 女川審査実績の反映 記載方針の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 女川は消火栓からの放水量は一律3時間の放水を想定しているのに対し、油はガイドの規定に則り、火災源が小さいエリアについては火災荷重及び「等価時間」を考慮して放水量を算出している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 使用済燃料貯蔵プールのスロッシングによる溢水</p> <p>使用済燃料貯蔵プール水が、地震に伴うスロッシングによってプール外へ漏水する可能性のある場合は、2.1.3(2)項の原子炉施設と同じように溢水源として想定する。</p>	<p>(2) 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水</p> <p>基準地震動による使用済燃料ピットのスロッシング評価を行い、ピットからの溢水量を評価している。なお、使用済燃料ピットの初期水位は、保守的となる条件で評価する。</p>	<p>されるもの、又は耐震対策工事により耐震性を確保するものは溢水源としない。</p> <p>(2) 使用済燃料プールからのスロッシングによる溢水</p> <p>基準地震動 S_s による使用済燃料プールのスロッシング評価を行い、使用済燃料プールからの溢水量を評価した。</p>	<p>れるもの、又は耐震対策工事により耐震性を確保するものは溢水源としない。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットからのスロッシングによる溢水</p> <p>基準地震動による使用済燃料ピットからのスロッシング評価を行い、使用済燃料ピットからの溢水量を評価した。</p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 女川審査実績の反映</p>
<p>3.2 溢水影響評価</p> <p>3.2.1 使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）に対する溢水影響評価</p> <p>溢水に対する使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）の安全確保の考え方は、以下のとおりとする。</p> <p>溢水の影響評価にあたっては、発電所内で発生した溢水に対して、使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）設備が、「プール冷却」及び「プールへの給水」ができることを確認する。</p> <p>プール冷却にあたっては、想定される溢水により通常運転中の使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）冷却系に外乱が生じ、冷却を維持する必要が生じた場合、使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）を保安規定で定めた水温（65℃以下）以下に維持できること。</p> <p>プールへの給水にあたっては、想定される溢水により通常運転中の使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）補給水系に外乱が生じ、給水を維持する必要が生じた場合、使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料ピット）を燃料の放射線を遮へいするために必要な量の水を維持できること。</p>	<p>3.2 溢水影響評価</p> <p>3.2.1 使用済燃料ピットに対する溢水影響評価</p> <p>基準地震動におけるスロッシングによる使用済燃料ピットからの溢水量がピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位を求め、ピット冷却（保安規定で定められた水温65℃以下）及び使用済燃料からの遮へいに必要な量の水が確保されていることを確認している。</p>	<p>3.2 溢水影響評価</p> <p>3.2.1 使用済燃料プールに対する溢水影響評価</p> <p>基準地震動 S_s におけるスロッシングによる使用済燃料プールからの溢水量がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位を求め、プール冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）及び使用済燃料の遮蔽に必要な量の水が確保されていることを確認した。</p>	<p>3.2 溢水影響評価</p> <p>3.2.1 使用済燃料ピットに対する溢水影響評価</p> <p>基準地震動におけるスロッシングによる使用済燃料ピットからの溢水量がピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位を求め、ピット冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）及び使用済燃料からの遮蔽に必要な量の水が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 2. 2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>3. 1項の溢水源及び溢水量の想定にあたっては発生要因別に分類したが、溢水から防護すべき対象設備は、溢水の発生場所毎に「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とする。</p>	<p>3.2.2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>「ビット冷却」及び「ビットへの給水」の機能を適切に判断するために必要な設備を抽出し、防護対象設備としている。</p>	<p>3. 2. 2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>使用済燃料プールの「冷却」及び「給水」に必要な設備を抽出し、防護対象設備とした。</p>	<p>3. 2. 2 溢水から防護すべき対象設備</p> <p>使用済燃料ビットの「冷却」及び「給水」に必要な設備を抽出し、防護対象設備とした。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備名称の相違</p>
<p>3. 2. 3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画は、3. 2. 2項に該当する溢水防護対象設備が設置されている全ての区画、中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定すること。</p> <p>全ての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、3. 2. 2項に該当する防護対象設備の系統図及び配置図とを照合しなければならない。</p> <p>また、アクセス通路については、図面等により図示されていることを確認する。</p> <p>なお、同じ部屋であっても、溢水による影響を考慮した堰等で区切られている場合には、区切られた区画を溢水防護区画として取り扱うことができる。</p>	<p>3.2.3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する溢水防護区画を設定し、防護対象設備の系統図及び配置図の照合により、すべての防護対象設備が対象となっていることを確認している。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認している。</p>	<p>3. 2. 3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画は、3. 2. 2項に該当する溢水防護対象設備が設置されているすべての区画、中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定している。</p>	<p>3. 2. 3 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画は、3. 2. 2項に該当する溢水防護対象設備が設置されているすべての区画、中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定している。</p>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>
<p>3. 2. 4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、評価対象区画で想定される溢水事象に対し、その防護対象設備が没水、被水又は蒸気の影響を受けず、その機能が確保されるか否かを評価する。（図-8）</p> <p>評価対象区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在する全ての溢水防護区画を対象とする。</p> <p>溢水影響評価方法は、原子炉施設と同様の方法を用いる。</p> <p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>流水経路の設定にあたっては、以下の経路を考慮して設定する。溢水経路の設定方法は、2. 2. 4 (1)の原子炉施設の溢水経路の設定と</p>	<p>3.2.4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、防護対象設備が没水、被水又は蒸気の影響に対しその機能が確保されていることを確認している。</p> <p>溢水防護区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在するすべての溢水防護区画を対象としている。</p> <p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>溢水経路の設定にあたっては、2.2.4(1)項の原子炉施設の溢水経路の設定と同じ方法を用いている。</p>	<p>3. 2. 4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、評価対象区画で想定される溢水事象に対し、その防護対象設備が没水、被水又は蒸気の影響を受けず、その機能が確保されることを確認した。</p> <p>評価対象区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在するすべての溢水防護区画を対象とした。</p> <p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>溢水経路の設定にあたっては、2. 2. 4 (1)の原子炉施設の溢水経路の設定と同じ方法を用いた。</p>	<p>3. 2. 4 溢水影響評価</p> <p>溢水影響評価においては、評価対象区画で想定される溢水事象に対し、その防護対象設備が没水、被水又は蒸気の影響を受けず、その機能が確保されることを確認した。</p> <p>溢水防護区画は、漏えい想定箇所を起点とした溢水経路上に存在するすべての溢水防護区画を対象とした。</p> <p>(1) 溢水経路の設定</p> <p>溢水経路の設定にあたっては、2. 2. 4 (1)の原子炉施設の溢水経路の設定と同じ方法を用いた。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載表現の相違</p>

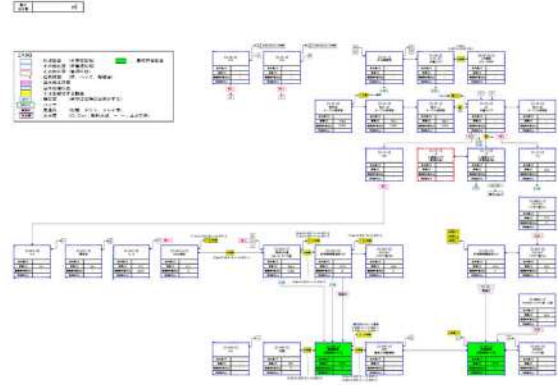
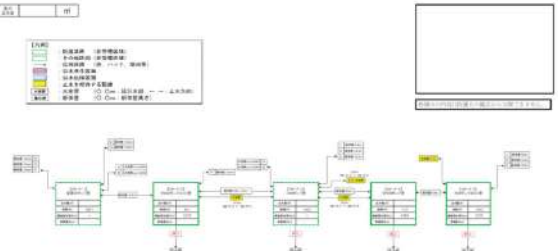
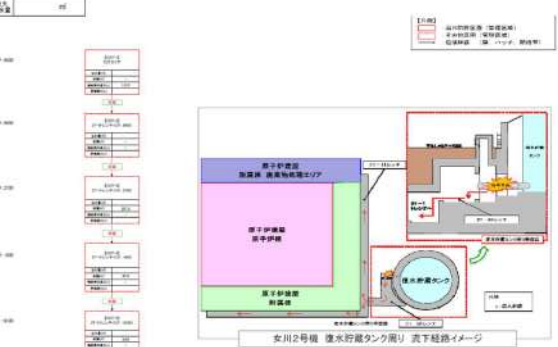
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>同じ方法を用いる。</p> <p>a. 溢水防護区画内漏えいでの溢水経路 b. 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路</p> <p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算定 溢水防護区画の評価に用いる以下の各項目の算出は、2. 2. 4 (2) の原子炉施設の算出方法と同じ算出方法を用いる。 a. 没水評価に用いる水位の算出方法 b. 被水評価に用いる飛散距離の算出方法 c. 蒸気評価に用いる拡散範囲の算出方法</p> <p>(3) 影響評価 原子力発電所内で発生する溢水に対して、防護すべき対象機器が、以下に示す没水、被水及び蒸気の要求を満足しているか確認する。確認方法は、2. 2. 4 (3) の原子炉施設の影響評価と同じ。 a. 没水による影響評価 b. 被水による影響評価 c. 蒸気による影響評価</p> <p>(4) 溢水による影響評価の判定 (3) の影響評価の結果から内部溢水に対して、使用済燃料貯蔵プールの冷却及び給水機能が失われないこと。</p>	<p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算定 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算出は、2.2.4(2)項の原子炉施設の算出方法と同じ算出方法を用いている。</p> <p>(3) 影響評価 防護すべき対象設備が没水、被水及び蒸気の要求を満足しているかの確認は、2.2.4(3)項の原子炉施設の影響評価と同じ方法を用いている。</p> <p>(4) 溢水による影響評価の判定 内部溢水に対して、使用済燃料ピットの冷却及び給水機能が失われないことを確認している。</p>	<p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算出 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算出は、2. 2. 4 (2) の原子炉施設の算出方法と同じ算出方法を用いた。</p> <p>(3) 影響評価 防護すべき対象機器が、没水、被水及び蒸気の要求を満足しているかの確認は、2. 2. 4 (3) の原子炉施設の影響評価と同じ方法を用いて確認した。</p> <p>(4) 溢水による影響評価の判定 想定される内部溢水に対して、使用済燃料プールの冷却及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	<p>(2) 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算定 溢水防護区画の評価に用いる各項目の算出は、2. 2. 4 (2) の原子炉施設の算出方法と同じ算出方法を用いた。</p> <p>(3) 影響評価 防護すべき対象機器が、没水、被水及び蒸気の要求を満足しているかの確認は、2. 2. 4 (3) の原子炉施設の影響評価と同じ方法を用いて確認した。</p> <p>(4) 溢水による影響評価の判定 想定される内部溢水に対して、使用済燃料ピットの冷却及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違 泊は評価ガイドと同様の記載としている。 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">添付資料 11</p> <p style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟 溢水伝播フロー図</p>  <p style="text-align: center;">原子炉建屋付属棟 溢水伝播フロー図</p> 	<p style="text-align: center;">添付資料 31</p> <p style="text-align: center;">溢水伝播フロー図</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">追而【ヒアリング指摘事項反映】</p> <p>溢水伝播フロー図について、現在作成中であるため、今後反映する。</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">制御建屋 溢水伝播フロー図</p>  <p style="text-align: center;">海水ポンプ室 溢水伝播フロー図</p>  <p style="text-align: center;">復水貯蔵タンクエリア 溢水伝播フロー図</p> 		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">軽油タンクエリア 溢水伝播フロー図</p> <p style="text-align: center;">原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域）） 溢水伝播フロー図</p> <p style="text-align: center;">タービン建屋（管理区域） 溢水伝播フロー図</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
	<p style="text-align: right;">添付資料19</p> <p>想定破損による没水影響評価結果から必要となる設備対策について</p> <p style="text-align: center;">表1 設備対策一覧（没水対策）（1/2）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">7/F</th> <th colspan="2">対象機器</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対策内容</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>機器番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋</td> <td rowspan="10">B3F</td> <td rowspan="2">BHRポンプ(C)出口圧力伝送器</td> <td>E11-PT004C-1</td> <td rowspan="10">R-B3F-7</td> <td rowspan="10">区画(R-B3F-1)から区画(R-B3F-7)へ移設</td> </tr> <tr> <td>E11-PT004C-2</td> </tr> <tr> <td>BHR(C)系LPCI往入隔離弁差圧伝送器</td> <td>E11-dPT008C</td> </tr> <tr> <td>BHRポンプ(C)出口流量差圧伝送器</td> <td>E11-FT006C</td> </tr> <tr> <td>PFMUWポンプ入口圧力伝送器</td> <td>F15-FT001</td> </tr> <tr> <td>PFMUWポンプ出口流量差圧伝送器</td> <td>F15-FT005</td> </tr> <tr> <td>RCICポンプ出口流量差圧伝送器</td> <td>E51-FT004</td> </tr> <tr> <td>RCICポンプ入口圧力伝送器</td> <td>E51-PT001B</td> </tr> <tr> <td>RCICポンプ出口圧力伝送器</td> <td>E51-PT003</td> </tr> <tr> <td>RCICポンプ駆動用ポンプ入口蒸気圧力伝送器</td> <td>E51-PT007</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>B1F</td> <td>CAMS配管バルブ(B)</td> <td>D23-HB1, HB2</td> <td>R-B1F-1 R-1F-5</td> <td>配管バルブの延長</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉建屋</td> <td rowspan="3">1F</td> <td>HPCWポンプ水位差圧伝送器</td> <td>P47-LT008</td> <td rowspan="3">R-2F-3</td> <td>設置位置の見直し</td> </tr> <tr> <td>CAMS(A)室空調機</td> <td>V10-D112</td> <td>周囲への搬設置※1</td> </tr> <tr> <td>CAMS(B)室空調機</td> <td>V10-D113</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2F</td> <td>FCS除湿機(A)用変圧器</td> <td>R47-TR008</td> <td>R-2F-2-2</td> <td>区画(R-2F-3)から区画(R-2F-2-2)へ移設</td> </tr> <tr> <td>FCS除湿機(B)用変圧器</td> <td>R47-TR009</td> <td>R-2F-2-3</td> <td>区画(R-2F-3)から区画(R-2F-2-3)へ移設</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">3F</td> <td rowspan="6"></td> <td>RCWポンプ(A)水位差圧伝送器</td> <td>F42-LT011A</td> <td rowspan="6">R-3F-1</td> <td rowspan="6">設置位置の見直し</td> </tr> <tr> <td>RCWポンプ(A)水位差圧伝送器</td> <td>F42-LT011C</td> </tr> <tr> <td>RCWポンプ(A)水位差圧伝送器</td> <td>F42-LT011E</td> </tr> <tr> <td>RCWポンプ(B)水位差圧伝送器</td> <td>F42-LT011B</td> </tr> <tr> <td>RCWポンプ(B)水位差圧伝送器</td> <td>F42-LT011D</td> </tr> <tr> <td>RCWポンプ(B)水位差圧伝送器</td> <td>F42-LT011F</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表1 設備対策一覧（没水対策）（2/2）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">7/F</th> <th colspan="2">対象機器</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対策内容</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>機器番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御建屋</td> <td>B2F</td> <td>中央制御室再循環ポンプ装置</td> <td>V30-D201</td> <td>C-B2F-1</td> <td>周囲への搬設置※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 区画番号R-2F-3には積極的に流下させる開口があり、搬設置による没水高さへの影響はない。（添付資料12参照）</p> <p>※2 搬設置により滞留面積の見直しが必要となる場合には、詳細への反映を実施する。</p>	建屋	7/F	対象機器		区画番号	対策内容	名称	機器番号	原子炉建屋	B3F	BHRポンプ(C)出口圧力伝送器	E11-PT004C-1	R-B3F-7	区画(R-B3F-1)から区画(R-B3F-7)へ移設	E11-PT004C-2	BHR(C)系LPCI往入隔離弁差圧伝送器	E11-dPT008C	BHRポンプ(C)出口流量差圧伝送器	E11-FT006C	PFMUWポンプ入口圧力伝送器	F15-FT001	PFMUWポンプ出口流量差圧伝送器	F15-FT005	RCICポンプ出口流量差圧伝送器	E51-FT004	RCICポンプ入口圧力伝送器	E51-PT001B	RCICポンプ出口圧力伝送器	E51-PT003	RCICポンプ駆動用ポンプ入口蒸気圧力伝送器	E51-PT007	原子炉建屋	B1F	CAMS配管バルブ(B)	D23-HB1, HB2	R-B1F-1 R-1F-5	配管バルブの延長	原子炉建屋	1F	HPCWポンプ水位差圧伝送器	P47-LT008	R-2F-3	設置位置の見直し	CAMS(A)室空調機	V10-D112	周囲への搬設置※1	CAMS(B)室空調機	V10-D113		2F	FCS除湿機(A)用変圧器	R47-TR008	R-2F-2-2	区画(R-2F-3)から区画(R-2F-2-2)へ移設	FCS除湿機(B)用変圧器	R47-TR009	R-2F-2-3	区画(R-2F-3)から区画(R-2F-2-3)へ移設	3F		RCWポンプ(A)水位差圧伝送器	F42-LT011A	R-3F-1	設置位置の見直し	RCWポンプ(A)水位差圧伝送器	F42-LT011C	RCWポンプ(A)水位差圧伝送器	F42-LT011E	RCWポンプ(B)水位差圧伝送器	F42-LT011B	RCWポンプ(B)水位差圧伝送器	F42-LT011D	RCWポンプ(B)水位差圧伝送器	F42-LT011F	建屋	7/F	対象機器		区画番号	対策内容	名称	機器番号	制御建屋	B2F	中央制御室再循環ポンプ装置	V30-D201	C-B2F-1	周囲への搬設置※2		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川では、添付資料18「想定破損による没水影響評価結果」及び添付資料26「消火水の放水による溢水影響評価結果」にて、多重性を有する設備が同時に機能喪失するケースがいくつか存在し、それらに対する対策内容を本資料にてまとめている。 一方、泊では多重性を有する設備が同時に機能喪失するケース（評価結果の判定でCに該当するもの）はなく、女川の表1に記載されているような対策が生じることがないことから、本資料の作成は不要と判断する。
建屋	7/F			対象機器				区画番号	対策内容																																																																																		
		名称	機器番号																																																																																								
原子炉建屋	B3F	BHRポンプ(C)出口圧力伝送器	E11-PT004C-1	R-B3F-7	区画(R-B3F-1)から区画(R-B3F-7)へ移設																																																																																						
			E11-PT004C-2																																																																																								
		BHR(C)系LPCI往入隔離弁差圧伝送器	E11-dPT008C																																																																																								
		BHRポンプ(C)出口流量差圧伝送器	E11-FT006C																																																																																								
		PFMUWポンプ入口圧力伝送器	F15-FT001																																																																																								
		PFMUWポンプ出口流量差圧伝送器	F15-FT005																																																																																								
		RCICポンプ出口流量差圧伝送器	E51-FT004																																																																																								
		RCICポンプ入口圧力伝送器	E51-PT001B																																																																																								
		RCICポンプ出口圧力伝送器	E51-PT003																																																																																								
		RCICポンプ駆動用ポンプ入口蒸気圧力伝送器	E51-PT007																																																																																								
原子炉建屋	B1F	CAMS配管バルブ(B)	D23-HB1, HB2	R-B1F-1 R-1F-5	配管バルブの延長																																																																																						
原子炉建屋	1F	HPCWポンプ水位差圧伝送器	P47-LT008	R-2F-3	設置位置の見直し																																																																																						
		CAMS(A)室空調機	V10-D112		周囲への搬設置※1																																																																																						
		CAMS(B)室空調機	V10-D113																																																																																								
	2F	FCS除湿機(A)用変圧器	R47-TR008	R-2F-2-2	区画(R-2F-3)から区画(R-2F-2-2)へ移設																																																																																						
		FCS除湿機(B)用変圧器	R47-TR009	R-2F-2-3	区画(R-2F-3)から区画(R-2F-2-3)へ移設																																																																																						
3F		RCWポンプ(A)水位差圧伝送器	F42-LT011A	R-3F-1	設置位置の見直し																																																																																						
		RCWポンプ(A)水位差圧伝送器	F42-LT011C																																																																																								
		RCWポンプ(A)水位差圧伝送器	F42-LT011E																																																																																								
		RCWポンプ(B)水位差圧伝送器	F42-LT011B																																																																																								
		RCWポンプ(B)水位差圧伝送器	F42-LT011D																																																																																								
		RCWポンプ(B)水位差圧伝送器	F42-LT011F																																																																																								
建屋	7/F	対象機器		区画番号	対策内容																																																																																						
		名称	機器番号																																																																																								
制御建屋	B2F	中央制御室再循環ポンプ装置	V30-D201	C-B2F-1	周囲への搬設置※2																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<p style="text-align: right;">添付資料21</p> <p>想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について</p> <p style="text-align: center;">表1 設備対策一覧（被水対策）（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="696 323 1267 1110"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象機器</th> <th rowspan="2">対策内容</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>機器番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用ガス処理系フィルタ装置出口弁(B)</td><td>T46-F003B</td><td rowspan="28">電線管接続部等にコーキング処理</td></tr> <tr><td>HPCS 注入隔離弁</td><td>E22-F003</td></tr> <tr><td>FCS A系出口隔離弁</td><td>T49-F003A</td></tr> <tr><td>FCS B系出口隔離弁</td><td>T49-F003B</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁</td><td>E11-F001A</td></tr> <tr><td>RHR A系 S/C スプレイ隔離弁</td><td>E11-F011A</td></tr> <tr><td>RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td><td>E11-F016A</td></tr> <tr><td>RHR A系停止時冷却注入隔離弁</td><td>E11-F018A</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(A) ミニマムフロー弁</td><td>E11-F024A</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(B) S/C 吸込弁</td><td>E11-F001B</td></tr> <tr><td>RHR B系 S/C スプレイ隔離弁</td><td>E11-F011B</td></tr> <tr><td>RHR B系停止時冷却吸込第二隔離弁</td><td>E11-F016B</td></tr> <tr><td>RHR B系停止時冷却注入隔離弁</td><td>E11-F018B</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(B) ミニマムフロー弁</td><td>E11-F024B</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(C) S/C 吸込弁</td><td>E11-F001C</td></tr> <tr><td>LPCS ポンプ S/C 吸込弁</td><td>E21-F001</td></tr> <tr><td>HPCS ポンプ CST 側ミニマムフロー第一弁</td><td>E22-F011</td></tr> <tr><td>HPCS ポンプ CST 側ミニマムフロー第二弁</td><td>E22-F012</td></tr> <tr><td>HPCS ポンプ S/C 側ミニマムフロー弁</td><td>E22-F013</td></tr> <tr><td>RCIC 注入弁</td><td>E51-F003</td></tr> <tr><td>RCIC タービン排気ライン隔離弁</td><td>E51-F011</td></tr> <tr><td>RCIC ポンプミニマムフロー弁</td><td>E51-F015</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理系フィルタ装置</td><td>T46-D002</td></tr> <tr><td>中央制御室再循環フィルタ装置</td><td>V30-D201</td></tr> <tr><td>CAMS(A)室空調機</td><td>V10-D112</td></tr> <tr><td>CAMS(B)室空調機</td><td>V10-D113</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表1 設備対策一覧（被水対策）（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="696 1236 1267 1390"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象機器</th> <th rowspan="2">対策内容</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>機器番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>中央制御室少量外気取入ダンパ(B)</td><td>V30-D301B</td><td rowspan="3">電線管接続部等へのコーキング処理又は被水防護用カバー設置</td></tr> <tr><td>中央制御室再循環フィルタ装置入口ダンパ(B)</td><td>V30-D302B</td></tr> <tr><td>中央制御室外気取入ダンパ(後)</td><td>V30-D304</td></tr> </tbody> </table>	対象機器		対策内容	名称	機器番号	非常用ガス処理系フィルタ装置出口弁(B)	T46-F003B	電線管接続部等にコーキング処理	HPCS 注入隔離弁	E22-F003	FCS A系出口隔離弁	T49-F003A	FCS B系出口隔離弁	T49-F003B	RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁	E11-F001A	RHR A系 S/C スプレイ隔離弁	E11-F011A	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	E11-F016A	RHR A系停止時冷却注入隔離弁	E11-F018A	RHR ポンプ(A) ミニマムフロー弁	E11-F024A	RHR ポンプ(B) S/C 吸込弁	E11-F001B	RHR B系 S/C スプレイ隔離弁	E11-F011B	RHR B系停止時冷却吸込第二隔離弁	E11-F016B	RHR B系停止時冷却注入隔離弁	E11-F018B	RHR ポンプ(B) ミニマムフロー弁	E11-F024B	RHR ポンプ(C) S/C 吸込弁	E11-F001C	LPCS ポンプ S/C 吸込弁	E21-F001	HPCS ポンプ CST 側ミニマムフロー第一弁	E22-F011	HPCS ポンプ CST 側ミニマムフロー第二弁	E22-F012	HPCS ポンプ S/C 側ミニマムフロー弁	E22-F013	RCIC 注入弁	E51-F003	RCIC タービン排気ライン隔離弁	E51-F011	RCIC ポンプミニマムフロー弁	E51-F015	非常用ガス処理系フィルタ装置	T46-D002	中央制御室再循環フィルタ装置	V30-D201	CAMS(A)室空調機	V10-D112	CAMS(B)室空調機	V10-D113	対象機器		対策内容	名称	機器番号	中央制御室少量外気取入ダンパ(B)	V30-D301B	電線管接続部等へのコーキング処理又は被水防護用カバー設置	中央制御室再循環フィルタ装置入口ダンパ(B)	V30-D302B	中央制御室外気取入ダンパ(後)	V30-D304		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は被水影響評価結果（添付資料18）から必要となる設備対策は無いことから、女川の添付資料21に該当する資料は作成していない。なお、防護対象設備の防滴仕様等の詳細については、補足説明資料16に示している。</p> <p>（女川欄の相違識別については、見やすさの観点より識別しない）</p>
対象機器		対策内容																																																																							
名称	機器番号																																																																								
非常用ガス処理系フィルタ装置出口弁(B)	T46-F003B	電線管接続部等にコーキング処理																																																																							
HPCS 注入隔離弁	E22-F003																																																																								
FCS A系出口隔離弁	T49-F003A																																																																								
FCS B系出口隔離弁	T49-F003B																																																																								
RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁	E11-F001A																																																																								
RHR A系 S/C スプレイ隔離弁	E11-F011A																																																																								
RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	E11-F016A																																																																								
RHR A系停止時冷却注入隔離弁	E11-F018A																																																																								
RHR ポンプ(A) ミニマムフロー弁	E11-F024A																																																																								
RHR ポンプ(B) S/C 吸込弁	E11-F001B																																																																								
RHR B系 S/C スプレイ隔離弁	E11-F011B																																																																								
RHR B系停止時冷却吸込第二隔離弁	E11-F016B																																																																								
RHR B系停止時冷却注入隔離弁	E11-F018B																																																																								
RHR ポンプ(B) ミニマムフロー弁	E11-F024B																																																																								
RHR ポンプ(C) S/C 吸込弁	E11-F001C																																																																								
LPCS ポンプ S/C 吸込弁	E21-F001																																																																								
HPCS ポンプ CST 側ミニマムフロー第一弁	E22-F011																																																																								
HPCS ポンプ CST 側ミニマムフロー第二弁	E22-F012																																																																								
HPCS ポンプ S/C 側ミニマムフロー弁	E22-F013																																																																								
RCIC 注入弁	E51-F003																																																																								
RCIC タービン排気ライン隔離弁	E51-F011																																																																								
RCIC ポンプミニマムフロー弁	E51-F015																																																																								
非常用ガス処理系フィルタ装置	T46-D002																																																																								
中央制御室再循環フィルタ装置	V30-D201																																																																								
CAMS(A)室空調機	V10-D112																																																																								
CAMS(B)室空調機	V10-D113																																																																								
対象機器			対策内容																																																																						
名称	機器番号																																																																								
中央制御室少量外気取入ダンパ(B)	V30-D301B	電線管接続部等へのコーキング処理又は被水防護用カバー設置																																																																							
中央制御室再循環フィルタ装置入口ダンパ(B)	V30-D302B																																																																								
中央制御室外気取入ダンパ(後)	V30-D304																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
	<p style="text-align: right;">添付資料 23</p> <p>想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について</p> <p>想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について表1に示す。</p> <p>表1 蒸気影響評価結果（想定破損）から必要となる設備対策一覧</p> <table border="1" data-bbox="698 518 1265 1252"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建屋</th> <th rowspan="2">階</th> <th colspan="2">対象機器</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対策内容</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>機器番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="17">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="14">2F</td> <td>FCS 除湿ヒータ(A)用変圧器</td> <td>E47-TB008</td> <td>R-2F-3</td> <td>R-2F-2-2へ移設、隔離ダンパ等による閉止</td> </tr> <tr> <td>FCS 除湿ヒータ(B)用変圧器</td> <td>E47-TB009</td> <td>R-2F-3</td> <td>R-2F-2-3へ移設、隔離ダンパ等による閉止</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系排風機(A)</td> <td>T46-C001A</td> <td>R-2F-1-2</td> <td rowspan="14">隔離ダンパ等による閉止</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系排風機(B)</td> <td>T46-C001B</td> <td>R-2F-1-3</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系空気乾燥装置(A)</td> <td>T46-D001A</td> <td>R-2F-1-2</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系空気乾燥装置(B)</td> <td>T46-D001B</td> <td>R-2F-1-3</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系フィルタ装置</td> <td>T46-D002</td> <td>R-2F-1-1</td> </tr> <tr> <td>空気乾燥装置(A)電気ヒータ入口温度</td> <td>T46-TE003A</td> <td>R-2F-1-2</td> </tr> <tr> <td>空気乾燥装置(B)電気ヒータ入口温度</td> <td>T46-TE003B</td> <td>R-2F-1-3</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ入口温度(A)(B)</td> <td>T46-TE006A/B</td> <td rowspan="4">R-2F-1-1</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ入口温度(A)(B)</td> <td>T46-TE008A/B</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ温度(A)(B)</td> <td>T46-TE009A/B</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ出口温度(A)(B)</td> <td>T46-TE011A/B</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ出口温度(A)(B)</td> <td>T46-TE012A/B</td> <td rowspan="3">R-3F-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋外気間室圧(北側、西側、東側)</td> <td>T46-aPT014A/B/D</td> <td>副環境仕様品への取替</td> </tr> <tr> <td>燃料プール状態表示盤</td> <td>E21-F577</td> <td>現場表示機能を不活性化</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋外気間室圧(南側)</td> <td>T46-aPT014C</td> <td>R-3F-3-2</td> <td>副環境仕様品への取替</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	階	対象機器		区画番号	対策内容	名称	機器番号	原子炉建屋 原子炉棟	2F	FCS 除湿ヒータ(A)用変圧器	E47-TB008	R-2F-3	R-2F-2-2へ移設、隔離ダンパ等による閉止	FCS 除湿ヒータ(B)用変圧器	E47-TB009	R-2F-3	R-2F-2-3へ移設、隔離ダンパ等による閉止	非常用ガス処理系排風機(A)	T46-C001A	R-2F-1-2	隔離ダンパ等による閉止	非常用ガス処理系排風機(B)	T46-C001B	R-2F-1-3	非常用ガス処理系空気乾燥装置(A)	T46-D001A	R-2F-1-2	非常用ガス処理系空気乾燥装置(B)	T46-D001B	R-2F-1-3	非常用ガス処理系フィルタ装置	T46-D002	R-2F-1-1	空気乾燥装置(A)電気ヒータ入口温度	T46-TE003A	R-2F-1-2	空気乾燥装置(B)電気ヒータ入口温度	T46-TE003B	R-2F-1-3	フィルタ装置チャコールエアフィルタ入口温度(A)(B)	T46-TE006A/B	R-2F-1-1	フィルタ装置チャコールエアフィルタ入口温度(A)(B)	T46-TE008A/B	フィルタ装置チャコールエアフィルタ温度(A)(B)	T46-TE009A/B	フィルタ装置チャコールエアフィルタ出口温度(A)(B)	T46-TE011A/B	フィルタ装置チャコールエアフィルタ出口温度(A)(B)	T46-TE012A/B	R-3F-1	原子炉建屋外気間室圧(北側、西側、東側)	T46-aPT014A/B/D	副環境仕様品への取替	燃料プール状態表示盤	E21-F577	現場表示機能を不活性化	原子炉建屋外気間室圧(南側)	T46-aPT014C	R-3F-3-2	副環境仕様品への取替		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は蒸気影響評価結果（添付資料19）から、防護対象設備に対して必要となる設備対策は無いことから、女川の添付資料23に該当する資料は作成していない。</p>
建屋	階			対象機器				区画番号	対策内容																																																								
		名称	機器番号																																																														
原子炉建屋 原子炉棟	2F	FCS 除湿ヒータ(A)用変圧器	E47-TB008	R-2F-3	R-2F-2-2へ移設、隔離ダンパ等による閉止																																																												
		FCS 除湿ヒータ(B)用変圧器	E47-TB009	R-2F-3	R-2F-2-3へ移設、隔離ダンパ等による閉止																																																												
		非常用ガス処理系排風機(A)	T46-C001A	R-2F-1-2	隔離ダンパ等による閉止																																																												
		非常用ガス処理系排風機(B)	T46-C001B	R-2F-1-3																																																													
		非常用ガス処理系空気乾燥装置(A)	T46-D001A	R-2F-1-2																																																													
		非常用ガス処理系空気乾燥装置(B)	T46-D001B	R-2F-1-3																																																													
		非常用ガス処理系フィルタ装置	T46-D002	R-2F-1-1																																																													
		空気乾燥装置(A)電気ヒータ入口温度	T46-TE003A	R-2F-1-2																																																													
		空気乾燥装置(B)電気ヒータ入口温度	T46-TE003B	R-2F-1-3																																																													
		フィルタ装置チャコールエアフィルタ入口温度(A)(B)	T46-TE006A/B	R-2F-1-1																																																													
		フィルタ装置チャコールエアフィルタ入口温度(A)(B)	T46-TE008A/B																																																														
		フィルタ装置チャコールエアフィルタ温度(A)(B)	T46-TE009A/B																																																														
		フィルタ装置チャコールエアフィルタ出口温度(A)(B)	T46-TE011A/B																																																														
		フィルタ装置チャコールエアフィルタ出口温度(A)(B)	T46-TE012A/B	R-3F-1																																																													
	原子炉建屋外気間室圧(北側、西側、東側)	T46-aPT014A/B/D	副環境仕様品への取替																																																														
	燃料プール状態表示盤	E21-F577	現場表示機能を不活性化																																																														
	原子炉建屋外気間室圧(南側)	T46-aPT014C	R-3F-3-2	副環境仕様品への取替																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p>【大飯3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-別1 補-160 より抜粋 ・算定に用いた臨界流量は、「JSME S ND1-2002 発電用原子力設備規格 配管破損防護設計規格」（以降、LBB 規格と称す）で規定されたもの。</p> <p>【大飯3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-別1-105 より抜粋 滞留面積は、コンクリート基礎等の範囲を除く有効面積を滞留面積として評価する。</p> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-5-9 より抜粋 ・溢水水位その1 溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。 溢水水位 [m] = 溢水量 [m³] / 滞留面積 [m²] + 床勾配 [m]</p>	<p>補足説明資料 27 内部溢水影響評価における評価の保守性について</p> <p>内部溢水影響評価において考慮している保守性について、表1に整理する。</p> <p>表1 内部溢水影響評価における評価の保守性(1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価対象</th> <th>項目</th> <th>算出式又は設定値</th> <th>評価における保守性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溢水量</td> <td>保有水量</td> <td>配管施工図又は平面図より配管長を算出</td> <td>・平面図を使用した場合は、計算値に50%を加味し保有水量を設定 ・計算結果を10m²単位で切り上げ処理</td> <td>補足説明資料 7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>系統溢水量</td> <td>Q=A×C×√(2×g×H) Q: 流出流量 (m³/h) A: 断面積 (m²) C: 損失係数 H: 水頭 (m)</td> <td>・すべての区画に対して最高使用圧力・最大口径から算出した系統の溢水量を使用 ・自動隔離の場合、インターロック作動までの時間に余裕を考慮 (C-FDW 系の場合、9秒 → 20秒、CUN 系の場合、30秒 → 60秒)</td> <td>補足説明資料 7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>隔離時間</td> <td>想定破損評価における手動隔離時間は基本80分を使用</td> <td>・隔離時間 80分未満の系統についても80分を使用</td> <td>補足説明資料 8</td> </tr> <tr> <td>溢水水位</td> <td>滞留面積</td> <td>・床躯体図から躯体寸法を読み取り、床面積を算出し、算出した床面積を0.7倍にした値を使用 ・機器占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用</td> <td>・アクセス開口及び通路等は床面積から除外 ・サンプ等、基壇床面より掘り込んでいる部分の容積は考慮しない ・床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てを実施</td> <td>添付資料 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水水位 (評価高さ)</td> <td>H=Q/A H: 溢水水位 (m) Q: 流入量 (m³) A: 滞留面積 (m²)</td> <td>・計算値は0.1m単位で切り上げを実施</td> <td>補足説明資料 13</td> </tr> </tbody> </table>	評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考	溢水量	保有水量	配管施工図又は平面図より配管長を算出	・平面図を使用した場合は、計算値に50%を加味し保有水量を設定 ・計算結果を10m ² 単位で切り上げ処理	補足説明資料 7		系統溢水量	Q=A×C×√(2×g×H) Q: 流出流量 (m ³ /h) A: 断面積 (m ²) C: 損失係数 H: 水頭 (m)	・すべての区画に対して最高使用圧力・最大口径から算出した系統の溢水量を使用 ・自動隔離の場合、インターロック作動までの時間に余裕を考慮 (C-FDW 系の場合、9秒 → 20秒、CUN 系の場合、30秒 → 60秒)	補足説明資料 7		隔離時間	想定破損評価における手動隔離時間は基本80分を使用	・隔離時間 80分未満の系統についても80分を使用	補足説明資料 8	溢水水位	滞留面積	・床躯体図から躯体寸法を読み取り、床面積を算出し、算出した床面積を0.7倍にした値を使用 ・機器占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用	・アクセス開口及び通路等は床面積から除外 ・サンプ等、基壇床面より掘り込んでいる部分の容積は考慮しない ・床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てを実施	添付資料 8		溢水水位 (評価高さ)	H=Q/A H: 溢水水位 (m) Q: 流入量 (m ³) A: 滞留面積 (m ²)	・計算値は0.1m単位で切り上げを実施	補足説明資料 13	<p>補足説明資料 1 内部溢水影響評価における評価の保守性について</p> <p>内部溢水影響評価において考慮している保守性について、表1に整理する。</p> <p>表1 内部溢水影響評価における評価の保守性 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価対象</th> <th>項目</th> <th>算出式又は設定値</th> <th>評価における保守性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溢水量</td> <td>保有水量</td> <td>・配管施工図又は平面図より配管長を算出</td> <td>・平面図を使用した場合は、配管が建屋外部の3辺（縦、横、高さ）にルートされ、かつ往復しているとして仮定し配管長を算出し、配管径は系統の最大径として保有水量を算出 ・図面より算出した配管の容積を1.1倍し保有水量を設定 ・計算結果を10m²単位で切り上げ処理</td> <td>補足説明資料 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>系統溢水量</td> <td>・Q=A×C×√(2×g×H) Q: 流出流量 (m³/h) A: 断面積 (m²) C: 損失係数 H: 水頭 (m)</td> <td>・すべての区画に対して最高使用圧力・最大口径から算出した系統の溢水量を使用 ・自動隔離の場合、隔離時間は秒単位を切り上げ、分単位で設定（主蒸気系統の場合、11秒→1分）</td> <td>補足説明資料 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>隔離時間</td> <td>・臨界流量は LBB 規格に規定される算出式に基づき算出</td> <td>・隔離時間 80分未満の系統についても80分を使用</td> <td>補足説明資料 12</td> </tr> <tr> <td>溢水水位</td> <td>滞留面積</td> <td>・区画の全面積から機器等の欠損面積を差し引くことで滞留面積を算出 ・常設機器、現場資機材等の欠損面積は現場調査により算出</td> <td>・欠損面積の現場測定結果を一律係数倍することで精度を確保 ・欠損面積となる部分が最大となるよう、設置物の投影面積を欠損面積として測定 ・床面積算出後に小数第2位を切り捨て処理</td> <td>添付資料 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水水位 (評価高さ)</td> <td>H=Q/A+床勾配 H: 溢水水位 (m) Q: 流入量 (m³) A: 滞留面積 (m²)</td> <td>・計算値は端数を切り上げ</td> <td>補足説明資料 15</td> </tr> </tbody> </table>	評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考	溢水量	保有水量	・配管施工図又は平面図より配管長を算出	・平面図を使用した場合は、配管が建屋外部の3辺（縦、横、高さ）にルートされ、かつ往復しているとして仮定し配管長を算出し、配管径は系統の最大径として保有水量を算出 ・図面より算出した配管の容積を1.1倍し保有水量を設定 ・計算結果を10m ² 単位で切り上げ処理	補足説明資料 2		系統溢水量	・Q=A×C×√(2×g×H) Q: 流出流量 (m ³ /h) A: 断面積 (m ²) C: 損失係数 H: 水頭 (m)	・すべての区画に対して最高使用圧力・最大口径から算出した系統の溢水量を使用 ・自動隔離の場合、隔離時間は秒単位を切り上げ、分単位で設定（主蒸気系統の場合、11秒→1分）	補足説明資料 2		隔離時間	・臨界流量は LBB 規格に規定される算出式に基づき算出	・隔離時間 80分未満の系統についても80分を使用	補足説明資料 12	溢水水位	滞留面積	・区画の全面積から機器等の欠損面積を差し引くことで滞留面積を算出 ・常設機器、現場資機材等の欠損面積は現場調査により算出	・欠損面積の現場測定結果を一律係数倍することで精度を確保 ・欠損面積となる部分が最大となるよう、設置物の投影面積を欠損面積として測定 ・床面積算出後に小数第2位を切り捨て処理	添付資料 8		溢水水位 (評価高さ)	H=Q/A+床勾配 H: 溢水水位 (m) Q: 流入量 (m ³) A: 滞留面積 (m ²)	・計算値は端数を切り上げ	補足説明資料 15	<p>【大飯】記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川】資料番号の相違 （以下同様箇所は相違理由の記載省略） 【保有水量】 【女川】設計方針の相違 平面図を使用した場合の保守性の考慮方法が女川と異なるが、実際よりも配管長を保守的に設定し、さらに配管径を系統の最大径とすることで、十分な保守性を確保している。</p> <p>【系統溢水量】 【女川】設計方針の相違 ・泊は高エネルギー配管からの流出流量の算定において、臨界流量を用いている（大飯と同じ）。 ・自動隔離の場合の時間余裕の相違</p> <p>【滞留面積】 【女川】設計方針の相違 ・女川は床躯体図から滞留面積を算出しているのに対し、泊は区画全体の面積から機器等の欠損面積を差し引くことで滞留面積を算出している（考え方は大飯と同じ）。 ・女川は滞留面積の算出時に係数を乗じているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に係数倍増しすることで保守性を確保している。</p> <p>【溢水水位（評価高さ）】 【女川】設計方針の相違 泊では溢水水位の算出において床勾配を考慮している（島根と同じ）。</p>
評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考																																																											
溢水量	保有水量	配管施工図又は平面図より配管長を算出	・平面図を使用した場合は、計算値に50%を加味し保有水量を設定 ・計算結果を10m ² 単位で切り上げ処理	補足説明資料 7																																																											
	系統溢水量	Q=A×C×√(2×g×H) Q: 流出流量 (m ³ /h) A: 断面積 (m ²) C: 損失係数 H: 水頭 (m)	・すべての区画に対して最高使用圧力・最大口径から算出した系統の溢水量を使用 ・自動隔離の場合、インターロック作動までの時間に余裕を考慮 (C-FDW 系の場合、9秒 → 20秒、CUN 系の場合、30秒 → 60秒)	補足説明資料 7																																																											
	隔離時間	想定破損評価における手動隔離時間は基本80分を使用	・隔離時間 80分未満の系統についても80分を使用	補足説明資料 8																																																											
溢水水位	滞留面積	・床躯体図から躯体寸法を読み取り、床面積を算出し、算出した床面積を0.7倍にした値を使用 ・機器占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用	・アクセス開口及び通路等は床面積から除外 ・サンプ等、基壇床面より掘り込んでいる部分の容積は考慮しない ・床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てを実施	添付資料 8																																																											
	溢水水位 (評価高さ)	H=Q/A H: 溢水水位 (m) Q: 流入量 (m ³) A: 滞留面積 (m ²)	・計算値は0.1m単位で切り上げを実施	補足説明資料 13																																																											
評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考																																																											
溢水量	保有水量	・配管施工図又は平面図より配管長を算出	・平面図を使用した場合は、配管が建屋外部の3辺（縦、横、高さ）にルートされ、かつ往復しているとして仮定し配管長を算出し、配管径は系統の最大径として保有水量を算出 ・図面より算出した配管の容積を1.1倍し保有水量を設定 ・計算結果を10m ² 単位で切り上げ処理	補足説明資料 2																																																											
	系統溢水量	・Q=A×C×√(2×g×H) Q: 流出流量 (m ³ /h) A: 断面積 (m ²) C: 損失係数 H: 水頭 (m)	・すべての区画に対して最高使用圧力・最大口径から算出した系統の溢水量を使用 ・自動隔離の場合、隔離時間は秒単位を切り上げ、分単位で設定（主蒸気系統の場合、11秒→1分）	補足説明資料 2																																																											
	隔離時間	・臨界流量は LBB 規格に規定される算出式に基づき算出	・隔離時間 80分未満の系統についても80分を使用	補足説明資料 12																																																											
溢水水位	滞留面積	・区画の全面積から機器等の欠損面積を差し引くことで滞留面積を算出 ・常設機器、現場資機材等の欠損面積は現場調査により算出	・欠損面積の現場測定結果を一律係数倍することで精度を確保 ・欠損面積となる部分が最大となるよう、設置物の投影面積を欠損面積として測定 ・床面積算出後に小数第2位を切り捨て処理	添付資料 8																																																											
	溢水水位 (評価高さ)	H=Q/A+床勾配 H: 溢水水位 (m) Q: 流入量 (m ³) A: 滞留面積 (m ²)	・計算値は端数を切り上げ	補足説明資料 15																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>【大阪3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-14より抜粋 ・具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-2より抜粋 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開放角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表1 内部溢水影響評価における評価の保守性(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価対象</th> <th>項目</th> <th>算出式又は設定値</th> <th>評価における保守性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溢水水位</td> <td>排水</td> <td>-</td> <td>床ドレン系による排水には期待せず、溢水最安全が伝播するものとして評価（カーブで囲まれた区画内へ滞留される分を考慮しない）</td> <td>別添1-4 補足説明資料 13</td> </tr> <tr> <td>流下開口からの流出量</td> <td>扉からの流出量</td> <td>開口部からの溢水深 C、17mを考慮し、溢水水位を設定 ・超流計算には、実際により求められた長方形の流量算出式を使用 $Q = C \times B \times h^3$ Q: 超流量 (m³/s) C: 流量係数 (m²/s) h: 超流水深 (m)</td> <td>原子炉建屋原子炉棟では、最大漏えい流量 263 m³/h (HPCS系) 原子炉建屋付属棟では、最大漏えい流量 204 m³/h (RCV系) に対して層1箇所からの流出量は 331 m³/h ・原子炉建屋原子炉棟では、流下経路として層2箇所を設定 ・ハッチについては、開口4辺のうち、小さい2辺から流出するものとして算出 ・開口が2辺の吹抜については、小さい1辺から流出するものとして算出 ・開口が3辺の吹抜については、大きい1辺から流出するものとして算出</td> <td>添付資料 12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>床開口からの流出量</td> <td>$Q = A \sqrt{\frac{2gH}{d + L + \lambda}}$ Q: 流量 (m³/s) A: 断面積 (m²) H: 落差 (m) d: 内径 (m) L: 直管長 (m) λ: 損失係数 λ: 摩擦係数</td> <td>流量は落差が大きいほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さのみを考慮 ・摩擦係数の算出は、最も粗度の高いコンクリート管を考慮 ・管路入口の損失係数は、最も損失が大きい角管を考慮</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考	溢水水位	排水	-	床ドレン系による排水には期待せず、溢水最安全が伝播するものとして評価（カーブで囲まれた区画内へ滞留される分を考慮しない）	別添1-4 補足説明資料 13	流下開口からの流出量	扉からの流出量	開口部からの溢水深 C、17mを考慮し、溢水水位を設定 ・超流計算には、実際により求められた長方形の流量算出式を使用 $Q = C \times B \times h^3$ Q: 超流量 (m³/s) C: 流量係数 (m²/s) h: 超流水深 (m)	原子炉建屋原子炉棟では、最大漏えい流量 263 m³/h (HPCS系) 原子炉建屋付属棟では、最大漏えい流量 204 m³/h (RCV系) に対して層1箇所からの流出量は 331 m³/h ・原子炉建屋原子炉棟では、流下経路として層2箇所を設定 ・ハッチについては、開口4辺のうち、小さい2辺から流出するものとして算出 ・開口が2辺の吹抜については、小さい1辺から流出するものとして算出 ・開口が3辺の吹抜については、大きい1辺から流出するものとして算出	添付資料 12		床開口からの流出量	$Q = A \sqrt{\frac{2gH}{d + L + \lambda}}$ Q: 流量 (m³/s) A: 断面積 (m²) H: 落差 (m) d: 内径 (m) L: 直管長 (m) λ: 損失係数 λ: 摩擦係数	流量は落差が大きいほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さのみを考慮 ・摩擦係数の算出は、最も粗度の高いコンクリート管を考慮 ・管路入口の損失係数は、最も損失が大きい角管を考慮		<p>表1 内部溢水影響評価における評価の保守性(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価対象</th> <th>項目</th> <th>算出式又は設定値</th> <th>評価における保守性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溢水水位</td> <td>排水</td> <td>-</td> <td>床ドレンによる排水には期待せず、溢水量全量が伝播するものとして評価（図示等） 閉まれた区画内へ滞留される分を考慮しない</td> <td>別添1-4</td> </tr> <tr> <td>流下開口からの流出量</td> <td>グレーチング・吹抜けからの流出量</td> <td>$Q = C \times B \times h^3$ Q: 超流量 (m³/s) C: 流量係数 (m²/s) h: 超流水深 (m) B: 開口の幅 (m)</td> <td>・流出を期待できる開口の幅の50%として設定 ・開口周辺に堰が無い場合でも、堰があるものとして流出量を算出</td> <td>添付資料 11</td> </tr> <tr> <td>機能喪失高さ</td> <td>機能喪失高さ（基本設定箇所）</td> <td>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実効値である「個別測定箇所」に見直す。「基本設定箇所」は以下の通りとする。 ・弁類 ・弁が設置されている配管の中心レベル ・ポンプ類、ファン類 ・コンクリート基礎の高さ ・電気盤類 対象機器の設置レベル ・計器関係 計器下端レベル</td> <td>・「基本設定箇所」、「個別測定箇所」ともに最大水上高さである50mmを差し引いた値として設定 ・水面のゆらぎによる影響を考慮し、機能喪失高さの裕度が小さい場合、ゆらぎ対策を実施</td> <td>添付資料 5 補足説明資料 4</td> </tr> </tbody> </table>	評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考	溢水水位	排水	-	床ドレンによる排水には期待せず、溢水量全量が伝播するものとして評価（図示等） 閉まれた区画内へ滞留される分を考慮しない	別添1-4	流下開口からの流出量	グレーチング・吹抜けからの流出量	$Q = C \times B \times h^3$ Q: 超流量 (m³/s) C: 流量係数 (m²/s) h: 超流水深 (m) B: 開口の幅 (m)	・流出を期待できる開口の幅の50%として設定 ・開口周辺に堰が無い場合でも、堰があるものとして流出量を算出	添付資料 11	機能喪失高さ	機能喪失高さ（基本設定箇所）	機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実効値である「個別測定箇所」に見直す。「基本設定箇所」は以下の通りとする。 ・弁類 ・弁が設置されている配管の中心レベル ・ポンプ類、ファン類 ・コンクリート基礎の高さ ・電気盤類 対象機器の設置レベル ・計器関係 計器下端レベル	・「基本設定箇所」、「個別測定箇所」ともに最大水上高さである50mmを差し引いた値として設定 ・水面のゆらぎによる影響を考慮し、機能喪失高さの裕度が小さい場合、ゆらぎ対策を実施	添付資料 5 補足説明資料 4	<p>【排水】</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【流下開口からの流出量】</p> <p>【女川】設計方針の相違</p> <p>・保守的な評価となるよう、泊は先行PWRと同様に扉及び床開口（管路）からの流出に期待しておらず、女川のハッチ・吹抜けに相当するグレーチング・吹抜けからの流出量のみ記載する。</p> <p>・当該開口の位置が部屋の端にあることや開口の幅が1辺のみであることを踏まえ、開口幅は流出を期待できる開口の幅の50%として設定している。（島根と同様）</p> <p>【機能喪失高さ】</p> <p>【女川】設計方針の相違</p> <p>泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、基本設定箇所で没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。（柏崎及び島根と同様）</p>
評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考																																							
溢水水位	排水	-	床ドレン系による排水には期待せず、溢水最安全が伝播するものとして評価（カーブで囲まれた区画内へ滞留される分を考慮しない）	別添1-4 補足説明資料 13																																							
流下開口からの流出量	扉からの流出量	開口部からの溢水深 C、17mを考慮し、溢水水位を設定 ・超流計算には、実際により求められた長方形の流量算出式を使用 $Q = C \times B \times h^3$ Q: 超流量 (m³/s) C: 流量係数 (m²/s) h: 超流水深 (m)	原子炉建屋原子炉棟では、最大漏えい流量 263 m³/h (HPCS系) 原子炉建屋付属棟では、最大漏えい流量 204 m³/h (RCV系) に対して層1箇所からの流出量は 331 m³/h ・原子炉建屋原子炉棟では、流下経路として層2箇所を設定 ・ハッチについては、開口4辺のうち、小さい2辺から流出するものとして算出 ・開口が2辺の吹抜については、小さい1辺から流出するものとして算出 ・開口が3辺の吹抜については、大きい1辺から流出するものとして算出	添付資料 12																																							
	床開口からの流出量	$Q = A \sqrt{\frac{2gH}{d + L + \lambda}}$ Q: 流量 (m³/s) A: 断面積 (m²) H: 落差 (m) d: 内径 (m) L: 直管長 (m) λ: 損失係数 λ: 摩擦係数	流量は落差が大きいほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さのみを考慮 ・摩擦係数の算出は、最も粗度の高いコンクリート管を考慮 ・管路入口の損失係数は、最も損失が大きい角管を考慮																																								
評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考																																							
溢水水位	排水	-	床ドレンによる排水には期待せず、溢水量全量が伝播するものとして評価（図示等） 閉まれた区画内へ滞留される分を考慮しない	別添1-4																																							
流下開口からの流出量	グレーチング・吹抜けからの流出量	$Q = C \times B \times h^3$ Q: 超流量 (m³/s) C: 流量係数 (m²/s) h: 超流水深 (m) B: 開口の幅 (m)	・流出を期待できる開口の幅の50%として設定 ・開口周辺に堰が無い場合でも、堰があるものとして流出量を算出	添付資料 11																																							
機能喪失高さ	機能喪失高さ（基本設定箇所）	機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実効値である「個別測定箇所」に見直す。「基本設定箇所」は以下の通りとする。 ・弁類 ・弁が設置されている配管の中心レベル ・ポンプ類、ファン類 ・コンクリート基礎の高さ ・電気盤類 対象機器の設置レベル ・計器関係 計器下端レベル	・「基本設定箇所」、「個別測定箇所」ともに最大水上高さである50mmを差し引いた値として設定 ・水面のゆらぎによる影響を考慮し、機能喪失高さの裕度が小さい場合、ゆらぎ対策を実施	添付資料 5 補足説明資料 4																																							
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-補足16-4より抜粋</p> <p>表1-2 内部溢水影響評価の溢水水位算出に用いる項目の保守性一覧(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価対象</th> <th>項目</th> <th>算出式又は設定値</th> <th>保守性又は数値設定の考え方</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能喪失高さ ④機能喪失高さ ⑤溢水水位の比較</td> <td>機能喪失高さ</td> <td>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実効値である「個別測定箇所」に見直す。 なお、機能喪失高さの設定においては、電線管接続部等を考慮した設定としている。</td> <td>設定した機能喪失高さが実際の機能喪失高さ以下であることをプラントウォークダウンにより確認した。また、溢水水位に対し機能喪失高さは、水面のゆらぎ(50mm)以上の裕度が確保されていることを確認した。</td> <td>切り捨て</td> </tr> </tbody> </table>	評価対象	項目	算出式又は設定値	保守性又は数値設定の考え方	備考	機能喪失高さ ④機能喪失高さ ⑤溢水水位の比較	機能喪失高さ	機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実効値である「個別測定箇所」に見直す。 なお、機能喪失高さの設定においては、電線管接続部等を考慮した設定としている。	設定した機能喪失高さが実際の機能喪失高さ以下であることをプラントウォークダウンにより確認した。また、溢水水位に対し機能喪失高さは、水面のゆらぎ(50mm)以上の裕度が確保されていることを確認した。	切り捨て	<p>表1 内部溢水影響評価における評価の保守性(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価対象</th> <th>項目</th> <th>算出式又は設定値</th> <th>評価における保守性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能喪失高さ</td> <td>機能喪失高さ（設定位置）</td> <td>・弁類 弁が設置されている配管の中心レベル、又は弁軸のレベル ・ポンプ類、ファン類 コンクリート基礎の高さ ・電気盤類 対象機器の設置レベル ・計器関係 計器下端レベル</td> <td>・弁類、ポンプ類、ファン類であれば、駆動部の設置高さが実際の機能喪失高さとなる ・電気盤類については、盤内配置状況に基づき個別に設定できるが、設置レベルで設定 ・計器関係では、計器の抜点部分について個別に評価し設定できるが、計器下端レベルで設定</td> <td>添付資料 5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機能喪失高さ（評価で使用する値）</td> <td>設計値と実測値を比較し、より低い(小さい)方を溢水影響を判定する際の機能喪失高さとして設定</td> <td>・設計値、実測値ともに最大水上高さである55mmを差し引いた値として設定 ・水面のゆらぎによる影響を考慮し、機能喪失高さの裕度が小さい場合、ゆらぎ対策を実施</td> <td>補足説明資料 26</td> </tr> </tbody> </table>	評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考	機能喪失高さ	機能喪失高さ（設定位置）	・弁類 弁が設置されている配管の中心レベル、又は弁軸のレベル ・ポンプ類、ファン類 コンクリート基礎の高さ ・電気盤類 対象機器の設置レベル ・計器関係 計器下端レベル	・弁類、ポンプ類、ファン類であれば、駆動部の設置高さが実際の機能喪失高さとなる ・電気盤類については、盤内配置状況に基づき個別に設定できるが、設置レベルで設定 ・計器関係では、計器の抜点部分について個別に評価し設定できるが、計器下端レベルで設定	添付資料 5		機能喪失高さ（評価で使用する値）	設計値と実測値を比較し、より低い(小さい)方を溢水影響を判定する際の機能喪失高さとして設定	・設計値、実測値ともに最大水上高さである55mmを差し引いた値として設定 ・水面のゆらぎによる影響を考慮し、機能喪失高さの裕度が小さい場合、ゆらぎ対策を実施	補足説明資料 26																	
評価対象	項目	算出式又は設定値	保守性又は数値設定の考え方	備考																																							
機能喪失高さ ④機能喪失高さ ⑤溢水水位の比較	機能喪失高さ	機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実効値である「個別測定箇所」に見直す。 なお、機能喪失高さの設定においては、電線管接続部等を考慮した設定としている。	設定した機能喪失高さが実際の機能喪失高さ以下であることをプラントウォークダウンにより確認した。また、溢水水位に対し機能喪失高さは、水面のゆらぎ(50mm)以上の裕度が確保されていることを確認した。	切り捨て																																							
評価対象	項目	算出式又は設定値	評価における保守性	備考																																							
機能喪失高さ	機能喪失高さ（設定位置）	・弁類 弁が設置されている配管の中心レベル、又は弁軸のレベル ・ポンプ類、ファン類 コンクリート基礎の高さ ・電気盤類 対象機器の設置レベル ・計器関係 計器下端レベル	・弁類、ポンプ類、ファン類であれば、駆動部の設置高さが実際の機能喪失高さとなる ・電気盤類については、盤内配置状況に基づき個別に設定できるが、設置レベルで設定 ・計器関係では、計器の抜点部分について個別に評価し設定できるが、計器下端レベルで設定	添付資料 5																																							
	機能喪失高さ（評価で使用する値）	設計値と実測値を比較し、より低い(小さい)方を溢水影響を判定する際の機能喪失高さとして設定	・設計値、実測値ともに最大水上高さである55mmを差し引いた値として設定 ・水面のゆらぎによる影響を考慮し、機能喪失高さの裕度が小さい場合、ゆらぎ対策を実施	補足説明資料 26																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料</p> <p>3-1 想定破損における溢水量の算出について</p> <p>1. はじめに 溢水量は隔離が完了するまでの時間と漏えい箇所からの流量の積に配管保有水量を加えたものである。想定破損において溢水量を算出するために、以下の考え方に基づき検討した。</p> <p>(1) 検知、判断、隔離の方法及び手順について、統一的な考え方を整理し、また、それに基づき漏えいを停止するまでの時間の積上げを行うこと。</p> <p>(2) 漏えい停止までの時間に漏えい流量を乗じて溢水量を算出すること。</p> <p>2. 統一的な考え方 「統一的な考え方」とは時間、流量等に関するもので保守的な評価をするための考え方である。時間に関するものは以下の4項目である。</p> <p>(1)原子炉手動トリップを行う場合は、事象の検知、判断及び漏えい箇所の特定のための時間を考慮する。</p> <p>(2)原子炉手動トリップを行った場合、状況の確認の時間5分を確保する^{※1}。</p> <p>(3)隔離時間は、操作にかかる時間（以下、操作時間）と停止にかかる時間（以下、停止時間）の合計とする。</p> <p>(4)操作時間は、通常1操作1分とする。ポンプを停止する場合、停止時間を考慮し操作時間に加える。^{※2}</p> <p>なお、溢水量が保守的になるように漏えい停止までの隔離時間を確保するために、安全解析を実施しているケースでは、保守性のために運転操作余裕（10分）を確保している。また、安全解析を実施していないケースに対しても原子炉手動トリップさせる場合には、運転操作余裕（10分）以外に原子炉手動トリップ操作後の確認時間（5分）を保守的に設定している。</p> <p>※1 「原子炉手動トリップを行った場合、状況の確認の時間5分を確保する。」とは、運転員が「事象の判断及び漏えい箇所を特定」するまでの時間10分の後に、隔離すべきループを確定するために原子炉手動トリップ操作を行い、原子炉手動トリップ後の状況確認に必要な時間を確保することである。これは、確実にプラント停止が行われていることを確認するために必要な時間であり、訓練等において、原子炉手動トリップ後の確認に要する実績時間が2分であったことから余裕をもって5分と設定している。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料7</p> <p>保有水量・系統別溢水量算出要領</p> <p>1. 対象範囲 (1) 水系及び油系配管系統のすべてを保有水量算出対象とする。</p> <p>(2) A系、B系など複数に分割されている場合は、各々の系統について算出する。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料2</p> <p>保有水量・系統別溢水量算出要領</p> <p>1. 対象範囲 (1) 水系及び油系配管系統のすべてを保有水量算出対象とする。</p> <p>(2) A系、B系など複数に分割されている場合は、各々の系統について算出する。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

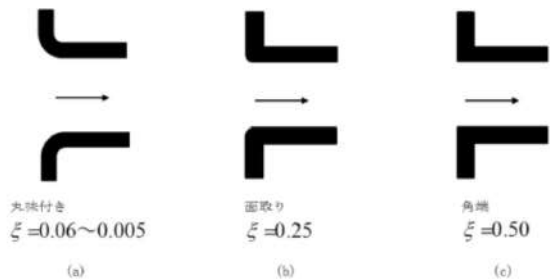
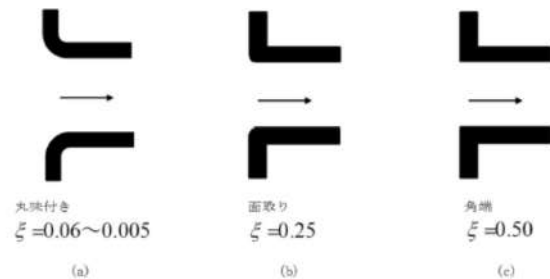
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※2 「操作時間は、通常1操作1分とする。」とは、操作はすべて中央制御室にて実施することから、運転シミュレータを用いて検証したところ模擬事象での収束に要する実績時間は1分以内であったこと（操作時間は20秒、弁閉止時間は20秒）による。</p> <p>また、「ポンプを停止する場合、停止するまでの時間を考慮し操作時間に加える。」とは、ポンプを停止する場合は、充てんポンプについては空転時間を考慮し1分とし主給水ポンプは出口弁閉止までの5分としたことによる。</p> <p>流量、保有水量に関して以下のとおり考えた。</p>	<p>2. 系統漏えい量 (W1) 算出要領</p> <p>溢水量は溢水ガイドに基づき算出した。考慮する条件等を以下に示す。</p> <p>(1) 隔離時間 (自動)：自動隔離を期待できる場合は、インターロックを考慮した隔離時間とする。</p> <p>(2) 隔離時間 (手動/単一破損)：手動隔離の場合、隔離時間は基本 80 分を使用する。</p> <p>(3) 破損想定箇所：「破損想定箇所の最高使用圧力」、「破損想定箇所の口径」とし、系統で漏えい量が最も厳しい箇所を破損想定とし、建屋毎には算出しない。</p> <p>(4) 破損形状は内包する流体のエネルギーに応じて、原則、高エネルギー配管は完全全周破断、低エネルギー配管は、配管内径の1/2の長さで配管肉厚1/2の幅を有する貫通クラックを想定する。</p> <p>(5) 数値処理：保守的に算出した漏えい量的小数点以下第1位を切り上げた値とする。</p> <p>(6) ポンプ運転流量：「定格流量」とする。</p> <p>(7) 配管内圧：「最高使用圧力」とする。</p> <p>(8) 停止系統の配管内圧：停止中の配管内圧とし、接続される系統の「最高使用圧力」等を用いる。(残留熱除去系の封水系統など)</p>	<p>2. 系統漏えい量 (W1) 算出要領</p> <p>溢水量は溢水ガイドに基づき算出した。考慮する条件等を以下に示す。</p> <p>(1) 隔離時間 (自動)：自動隔離を期待できる場合は、インターロックを考慮した隔離時間とする。</p> <p>(2) 隔離時間 (手動/単一破損)：手動隔離の場合、隔離時間は基本 80 分を使用する。</p> <p>(3) 破損想定箇所：「破損想定箇所の最高使用圧力」、「破損想定箇所の口径」とし、系統で漏えい量が最も厳しい箇所を破損想定とし、建屋ごとには算出しない。</p> <p>(4) 破損形状は内包する流体のエネルギーに応じて、原則、高エネルギー配管は完全全周破断、低エネルギー配管は、配管内径の1/2の長さで配管肉厚1/2の幅を有する貫通クラックを想定する。</p> <p>(5) 数値処理：保守的に算出した漏えい量的小数点以下第1位を切り上げた値とする。</p> <p>(6) ポンプ運転流量：「定格流量」とする。</p> <p>(7) 配管内圧：「最高使用圧力」とする。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊の停止系統は、低エネルギー配管であって、応力評価を実施することで想定破損除外を適用できる配管のみであることから、漏えい量算出要領には記載しない方針とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(5) 漏えい流量の考え方</p> <p>配管破断箇所より系統の運転流量等で漏えいが発生するものとする。具体的には、以下のとおりである。</p> <p>a. 安全解析の設定が適用できる場合は、その解析で使用される流量を用いた。</p> <p>b. 配管の圧力、温度、口径等から算出される臨界流量を用い、臨界流量算出に当たっては流量が保守的になるように加速損失、摩擦損失を無視し入口損失だけを考慮した。（別紙16参照）</p> <p>c. ポンプ出口の配管の破断では、ポンプのランナウト流量を適用した。</p> <p>d. 補助給水配管からの漏えい流量は、1箇所から全流量が流出すると設定した（ポンプは4台の蒸気発生器に水を送水するため配管は4本あり、そのうち1本が破断する）。</p>	<p>以上を踏まえ、当該系統に対して他系統との接続、大容量水源及び補給の何れかが存在する場合、系統漏えい量を以下のとおり算出した。</p> $W1(\text{系統漏えい量 (m}^3\text{)})=Q(\text{流出流量(m}^3\text{/h)}) \times t(\text{隔離時間(h)})$	<p>以上を踏まえ、当該系統に対して他系統との接続、大容量水源及び補給のいずれかが存在する場合、系統漏えい量を以下のとおり算出した。</p> $W1(\text{系統漏えい量 (m}^3\text{)}) = Q(\text{流出流量 (m}^3\text{/h)}) \times t(\text{隔離時間(h)})$ <p>ここで、高エネルギー配管における完全全周破断の場合、配管破断箇所より系統の運転流量等で漏えいが発生するものとする。具体的には、以下のとおりである。</p> <p>a. 安全解析の設定が適用できる場合は、その解析で使用される流量を用いた。</p> <p>b. 配管の圧力、温度、口径等から算出される臨界流量を用い、臨界流量算出に当たっては流量が保守的になるように加速損失、摩擦損失を無視し入口損失だけを考慮した。（別紙1参照）</p> <p>c. ポンプ出口の配管の破断では、ポンプのランナウト流量を適用した。</p> <p>d. 補助給水配管からの漏えい流量は、1箇所から全流量が流出すると設定した。（ポンプは3台の蒸気発生器に水を送水するため、配管は3本あり、そのうち1本が破断する）</p> <p>これらの考え方をを用いて、高エネルギー配管の溢水量を算出した結果を別紙2「高エネルギー配管の溢水量算出結果」に示す。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>高エネルギー配管の流量の考え方については、大阪の審査実績と比較を実施する。</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 高エネルギー配管の完全全周破断についての考え方は大阪と同様であるため、ここでは大阪との比較を実施する。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 設計方針の相違 大阪は4ループであり、泊は3ループであることによる相違。 記載方針の相違 大阪は添付資料1.4.1-2「想定破損による溢水影響評価(設水影響評価)」にて、溢水量の算出結果を記載している。泊では、女川と資料構成を合わせているため、本資料の別紙2として示す。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ここで、貫通クラックの場合は、以下の計算式より求める。 Q（流出流量）$=A \times C \times \sqrt{(2 \times g \times H)} \times 3600$ （A：破断面積（m^2），C：流出流量損失係数（0.82）^{*1}，g：重力加速度（m/s^2），H：水頭（m）） ※1 流出流量損失係数 C について 流出流量損失係数 C は次式により算出される。</p> $C = \sqrt{\frac{1}{1+\xi}} \quad \xi : \text{損失係数}$ <p>損失係数 ξ は、破損部の入口形状により決定する係数であるが、貫通クラックを想定するため、図1(c)が最も近い形状であり、損失係数は0.50を使用した。</p>  <p style="text-align: center;">図1 管路の入口形状と損失形状</p>	<p>貫通クラックの場合は、以下の計算式より求める。 Q（流出流量）$=A \times C \times \sqrt{(2 \times g \times H)} \times 3600$ （A：破断面積（m^2），C：流出流量損失係数（0.82）^{*1}，g：重力加速度（m/s^2），H：水頭（m）） ※1 流出流量損失係数 C について 流出流量損失係数 C は次式により算出される。</p> $C = \sqrt{\frac{1}{1+\xi}} \quad \xi : \text{損失係数}$ <p>損失係数 ξ は、破損部の入口形状により決定する係数であるが、貫通クラックを想定するため、図1(c)が最も近い形状であり、損失係数は0.50を使用した。</p>  <p style="text-align: center;">図1 管路の入口形状と損失形状</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p>
<p>(6) 保有水量の考え方 破損箇所の隔離範囲内の系統の保有水がすべて漏えいするものとして設定した。 さらに、サンプ水位については、警報が遅く発信するように水位計の誤差を考慮した。また、漏えい箇所特定に要する時間は、充てんポンプのミニマムフローラインの場合、体積制御タンクの水位の減少等から現場確認する範囲を予め絞り込めることから、溢水ガイドに定める30分は必要ないものの保守的に評価するためガイドの規定の30分を用いた。（別紙6参照）</p>	<p>3. 系統保有水量（W2）の算出要領 (1) 溢水ガイドにおいて破損を想定する機器及び呼び径25Aを超える配管に対し、配管塗装線図（P&ID）にて、保有水量を算出する範囲を抽出する。 (2) 抽出した範囲について、配管施工図を準備する。 (3) 配管施工図より配管長を算出する。 a. 配管施工図がない場合は、平面図を使用する。 b. エルボ、ティー等の管継手部は保守的に配管長を算出する。（図2参照） c. レデューサは大口径側の口径を使用する。 d. バルブ、スペシャリティ、フランジは接続配管の内径面積×面間寸法により算出するものとする。 (4) 配管長×内径面積により、保有水量を算出する（内径面積は、公称肉厚にて算出）。</p>	<p>3. 系統保有水量（W2）の算出要領 (1) 溢水ガイドにおいて破損を想定する機器及び呼び径25Aを超える配管に対し、系統図にて、保有水量を算出する範囲を抽出する。 (2) 抽出した範囲について、配管施工図を準備する。 (3) 配管施工図より配管長を算出する。 a. 配管施工図がない場合は、平面図を使用する。 b. エルボ、ティー等の管継手部は保守的に配管長を算出する。（図2参照） c. レデューサは大口径側の口径を使用する。 d. バルブ、スペシャリティ、フランジは接続配管の内径面積×面間寸法により算出するものとする。 (4) 配管長×内径面積により、保有水量を算出する。（内径面積は、公称肉厚にて算出）</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(5) 機器保有水量は「運転時重量」と「乾燥重量」の差等とする。</p> <p>(6) 保有水量の算出に当たっては、評価に保守性を確保する観点から、以下のとおり取り扱う。(いずれの場合も、10m³単位で切り上げ処理)</p> <p>a. 配管保有水量の算出において配管施工図を使用した場合は、呼び径 25A 以下の小口径配管等の保有水量を考慮し、計算値に10%^{*2}を加味し評価上の保有水量と設定する。</p> <p>b. 配管保有水量の算出において平面図を使用した場合は、配管の立上り等の据付状態及び、呼び径 25A 以下の小口径配管等の保有水量を考慮し、計算値に50%^{*3}加味し評価上の保有水量と設定する。</p> <p>c. 機器に接続されている呼び径 25A 以下の小口径配管等の保有水量を考慮し、算出した機器保有水量に10%^{*2}を加味し評価上の保有水量と設定する。</p> <p>※2 機器の据付公差による配管長への影響や製作公差による配管断面積への影響、ドレン・ベントライン等の小口径配管、微量の保有水を有するラック内等の保有水量の影響を考慮し、算出した配管保有水量に10%加味する。</p> <p>※3 配管の立上り等の据付状態は平面図上に記載がないものと想定し、算出した配管保有水量に50%加味することとしているが、今回保有水量の算出に用いた平面図においては、配管の立上り等の据付状態が記載されており、据付状態を考慮した保有水量を算出していることから、十分な余裕を確保できていると考えられる</p>	<p>(5) 機器保有水量は「運転時重量」と「乾燥重量」の差等とする。</p> <p>(6) 保有水量の算出に当たっては、評価に保守性を確保する観点から、以下のとおり取り扱う。(いずれの場合も、10m³単位で切り上げ処理)</p> <p>a. 配管保有水量の算出において配管施工図を使用した場合は、呼び径 25A 以下の小口径配管等の保有水量を考慮し、計算値に10%^{*2}を加味し評価上の保有水量と設定する。</p> <p>b. 配管保有水量の算出において平面図を使用した場合は、建屋外郭の3辺(縦、横、高さ)にルートされ、かつ往復していると仮定し、また配管サイズを系統の最大径^{*3}として保有水量を設定する。</p> <p>c. 機器に接続されている呼び径 25A 以下の小口径配管等の保有水量を考慮し、算出した機器保有水量に10%^{*2}を加味し評価上の保有水量と設定する。</p> <p>※2 機器の据付公差による配管長への影響や製作公差による配管断面積への影響、ドレン・ベントライン等の小口径配管、微量の保有水を有するラック内等の保有水量の影響を考慮し、算出した配管保有水量に10%加味する。</p> <p>※3 配管の立上り等の据付状態は平面図上に記載がないものと想定し、配管は建屋外郭の3辺(縦、横、高さ)にルートされ、かつ往復していると仮定し、また配管サイズを系統の最大径として保有水量を算出していることから、十分な余裕を確保できていると考えられる。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊では、保有水量の算出において機器配置図を使用した場合は、建屋の縦横上下に往復していると仮定して、さらに配管サイズも系統の最大径とすることで、保守性を十分に確保している。(先行PWRは同様であることを事業者内で確認している。)</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊では、今回保有水量の算出に用いた平面図において、配管の立上り等の据え付け状態の記載がないが、建屋外郭の縦横上下に往復していると仮定して、さらに配管サイズも系統の最大径とすることで、保守性を十分に確保していると考えている。(先行PWRは同様であることを事業者内で確認している。)</p> <p><u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 記載表現の相違</p>
<p>図2 管継手の配管長L</p> <p>4. 溢水量 (W) 算出要領</p> <p>(1) 当該系統に対し、他系統との接続、大容量水源及び補給の何れかが存在する場合の溢水量</p> $W(\text{系統溢水量 (m}^3\text{)}) = W1(\text{系統漏えい量 (m}^3\text{)}) + W2(\text{系統保有水量 (m}^3\text{)})$ <p>(2) 当該系統のみで、他系統との接続、大容量水源及び補給の何れも無い場合の溢水量</p> $W(\text{系統溢水量 (m}^3\text{)}) = W2(\text{系統保有水量 (m}^3\text{)})$	<p>図2 管継手の配管長L</p> <p>4. 溢水量 (W) 算出要領</p> <p>(1) 当該系統に対し、他系統との接続、大容量水源及び補給のいずれかが存在する場合の溢水量</p> $W(\text{系統溢水量 (m}^3\text{)}) = W1(\text{系統漏えい量 (m}^3\text{)}) + W2(\text{系統保有水量 (m}^3\text{)})$ <p>(2) 当該系統のみで、他系統との接続、大容量水源及び補給のいずれも無い場合の溢水量</p> $W(\text{系統溢水量 (m}^3\text{)}) = W2(\text{系統保有水量 (m}^3\text{)})$	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙 16</p> <p>臨界流量について</p> <p>臨界流量は、破断箇所からの溢水流量を最も保守的に評価するために用いる流量である。保守的な設定をするための考え方を以下に整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定に用いた臨界流量は、「JSME S ND1-2002 発電用原子力設備規格 配管破損防護設計規格」（以降、LBB 規格と称す）で規定されたもの。 ・LBB 規格では、臨界流評価モデルとして「Henry のサブクール水モデル」と「Moody のスリップモデル」が規定。加圧水の流出に対しては「Henry のサブクール水モデル」を適用。 （飽和水、飽和蒸気については、「Moody のスリップモデル」を用いる） ・臨界流量を算出するためには、系統圧力、温度、配管口径、長さ、圧力損失等が必要。 ・LBB 規格では、臨界流量評価において以下の圧力損失を考慮することが記載されているが、保守的に臨界流量を大きくするため、加速損失および摩擦損失を考慮しなかった。 <p>①入口損失：主給水管から補助給水への流入部等、破断点へ向かう流れが分岐管へ流入する際に生じる損失 ②加速損失：破断点へ向かう流れの中で加圧水が気液 2 相流となる過程で起こる密度変化により生じる損失 ③摩擦損失：配管壁面との摩擦により生じる損失</p> <p>加速損失及び摩擦損失は入口から破断点までの配管長さに依存し、破断点までが長くなればこれらの圧力損失が大きくなるため、臨界流量が小さくなり流出流量が制限される。</p>		<p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p>臨界流量について</p> <p>臨界流量は、破断箇所からの溢水流量を最も保守的に評価するために用いる流量である。保守的な設定をするための考え方を以下に整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算定に用いた臨界流量は、「JSME S ND1-2002 発電用原子力設備規格 配管破損防護設計規格」（以降、LBB 規格と称す）で規定されたもの。 ・LBB 規格では、臨界流評価モデルとして「Henry のサブクール水モデル」と「Moody のスリップモデル」が規定。加圧水の流出に対しては「Henry のサブクール水モデル」を適用。 （飽和水、飽和蒸気については、「Moody のスリップモデル」を用いる） ・臨界流量を算出するためには、系統圧力、温度、配管口径、長さ、圧力損失等が必要。 ・LBB 規格では、臨界流量評価において以下の圧力損失を考慮することが記載されているが、保守的に臨界流量を大きくするため、加速損失及び摩擦損失を考慮しなかった。 <p>①入口損失：主給水管から補助給水への流入部等、破断点へ向かう流れが分岐管へ流入する際に生じる損失 ②加速損失：破断点へ向かう流れの中で加圧水が気液 2 相流となる過程で起こる密度変化により生じる損失 ③摩擦損失：配管壁面との摩擦により生じる損失</p> <p>加速損失及び摩擦損失は入口から破断点までの配管長さに依存し、破断点までが長くなればこれらの圧力損失が大きくなるため、臨界流量が小さくなり流出流量が制限される。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違 【女川】 設計方針の相違 ・特に高圧の配管においては、現実的な流出流量になるように臨界流量を用いている。（大阪と同様） ・別紙1においては、大阪との相違箇所につき、マーキングを実施する。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>